

内閣府 令和5年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査 調査結果 報告書

2023年12月8日

株式会社マーケティング・コミュニケーションズ

目次

調査結果報告書要旨

- (1) 調査の概要 . . . 4
- (2) 本調査のまとめ . . . 5

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

- (1) 調査の概要 . . . 11
- (2) 回答者属性 . . . 12
- (3) ウェイトによる補正 . . . 14

第二章 就職活動に関する意識と準備

9

- (1) 就職・採用活動時期に関する認知状況 . . . 19
- (2) 就職・採用活動の時期（就活ルール）に関する認識と考え . . . 20
- (3) 就職・採用活動についての考え . . . 22

第三章 インターンシップと呼称されるものについて

- (1) インターンシップと呼称されるものへの参加状況 . . . 25
- (2) インターンシップと呼称されるものの効果についての認識 . . . 36

第四章 就職活動内容について

- (1) 企業説明会やセミナー等の参加状況 . . . 45
- (2) エントリーシートの提出状況 . . . 49
- (3) 採用面接の参加状況 . . . 54
- (4) 内々定の状況 . . . 60
- (5) 採用試験・面接等を受けた経路 . . . 70
- (6) 就職活動の始まりと終わりの認識 . . . 73

第五章 就職活動における諸問題について

- (1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況 . . . 82
- (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価 . . . 84
- (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮 . . . 85
- (4) 遠隔地への就職活動への配慮 . . . 86
- (5) 留学経験者への配慮 . . . 87
- (6) 秋採用や通年採用などに関する機会提供や情報発信 . . . 88
- (7) 新型コロナウイルス感染症の影響 . . . 90
- (8) 「オワハラ」の状況 . . . 91
- (9) 「セクシュアルハラスメント」の状況 . . . 105
- (10) 「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」の状況 . . . 108

第六章 ジョブ型採用について

- (1) ジョブ型採用での就職活動経験について . . . 111
- (2) ジョブ型採用での内々定の状況 . . . 112
- (3) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について . . . 114

第七章 就活ルール解禁前の活動

- (1) 就活ルール解禁前の活動について . . . 117

【第八章】文系・理系別の集計

- (1) 文系・理系別の就職活動の内容 . . . 139
- (2) 文系・理系別の就職予定企業について . . . 150

【第九章】就職予定の企業の業界別の集計

- (1) 就職予定の企業の業界別の就職活動の内容 . . . 157

調査結果報告書要旨

調査結果報告書要旨

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、2023年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2024年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

【参考】就職・採用活動開始時期の変更経緯(大学4年生の場合)

	広報活動開始	採用選考活動開始
2015年度 卒業者	大学3年生 12月	大学4年生 4月
2015年度 卒業者	大学3年生 3月	大学4年生 8月
2016年度 卒業者		大学4年生 6月
2017年度 卒業者		
2018年度 卒業者		
2019年度 卒業者		
2020年度 卒業者		
2021年度 卒業者		
2022年度 卒業者		
2023年度 卒業者		

2. 調査の実施方法

【対象】：大学4年生、大学院2年生

(医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科、海外からの留学生を除く。)

【方法】：インターネット調査。62の大学から所属対象学生に案内。

【期間】：2023年7月13日から8月14日(8月1日時点の状況を回答)

3. 有効回答件数

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	3,482件	1,483件	4,965件

(注) この資料中、「2022年度調査」とあるのは、内閣府令和4年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2021年度調査」とあるのは、内閣府令和3年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2020年度調査」とあるのは、内閣府令和2年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2019年度調査」とあるのは、内閣府令和元年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2018年度調査」とあるのは、内閣府平成30年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2017年度調査」とあるのは、内閣府平成29年度委託事業「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」、「2016年度調査」は、内閣府平成28年度委託事業「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、「2015年度調査」は、内閣府平成27年度委託調査事業「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」を指す。なお、2016年度調査～今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

(注) 2015年度調査～2017年度調査については、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018年度以降調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。なお、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際には、学校基本調査の在学者数を基にしたウエイトによりデータの補正を行っている。

(注) 原則として「就職活動を行った(終えた)」又は「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の回答者を除いて集計をしている設問がある。インターンシップと呼称されるものに関する設問には「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。

(注) 四捨五入により、複数の選択肢の回答を合わせた結果について、グラフに掲載した個々の選択肢の回答割合を足し合わせたものと小数点以下第1位の値が一致しない場合がある。

(2) 本調査のまとめ

1. 就職・採用活動時期に関する認識

1 就活ルールについて、「ルールは必要」とする人は各段階において全て約7割。特に「正式内定は10月」に対し、「ルールは必要」とする割合が最も高い。

2 昨年と同じ時期であることについて、「昨年度の情報を参考にできた」が約6割、「暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」「予定をたてやすく準備・行動ができた」が5割。

- 就活ルール(広報活動3月、採用選考活動6月、正式内定10月)について、「ルールは必要」とする人はいずれの段階に対しても約7割。特に、「正式内定は10月1日」に対して、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」との回答の割合が5割と高い。
- 2023年度の就職活動時期が、昨年度と同じ時期であることについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」などのメリットが挙げられた。

【就職・採用活動時期(就活ルール)に関する認識】

(n=3,986)	ルールは必要計
広報活動は3月1日以降	68.3%
採用選考活動は6月1日以降	72.4%
正式内定は10月1日以降	74.6%

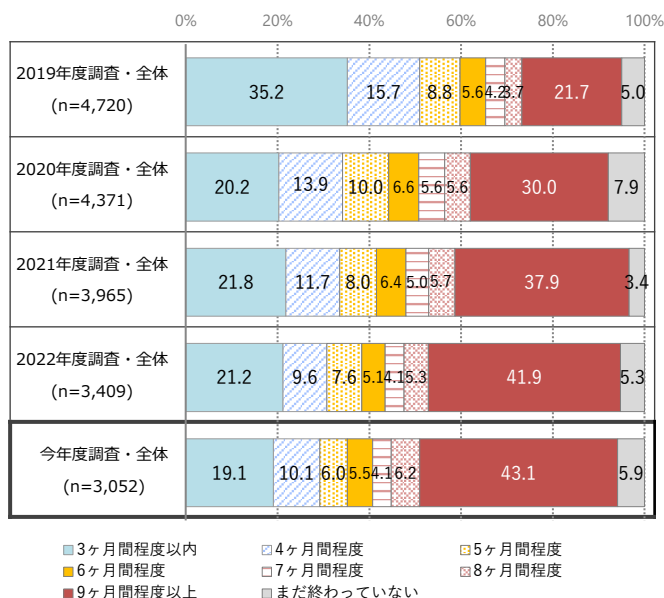
2. 就職活動に要する期間と学生の認識

1 就職活動に要する期間は「9ヶ月間程度以上」が約4割と最も高い。この割合は年々上昇しており、長期化が進む傾向が見られる。

2 就職活動が「始まった」と学生が考えるタイミングについては、「就職活動準備」が4割、「インターンシップ関連」3割、「就職活動に関する具体的なアクション」2割となった。

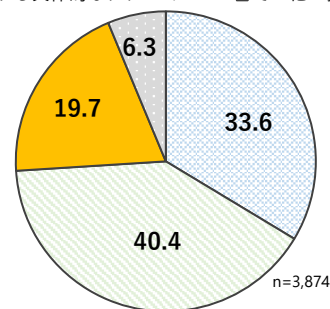
- 「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の期間について見ると、「9ヶ月間程度以上」の割合が約4割と最も高い。過年度調査と比較をすると、「9ヶ月間程度以上」の割合が高くなっており、長期化が進んでいる実態が窺える。
- 就職活動が「始まった」と考えるタイミングについては、「就職活動準備」が最も高く4割、「インターンシップと呼称されるもの関連」が3割、「就職活動に関する具体的なアクション」が2割。詳細結果では、「インターンシップと呼称されるもの」に関するウェブサイトに登録した時」が約2割と最も高い。

【就職活動の始まりから終わりまでの期間】 ※全体値



【就職活動が「始まった」と考えるタイミング (選択肢をカテゴリーでまとめた結果)】 ※全体値

- インターンシップと呼称されるもの関連
- 就職活動準備
- 就職活動に関する具体的なアクション
- その他・覚えていない



【就職活動が「始まった」と考えるタイミング 詳細結果】 ※全体値、割合が高いものを抜粋

「インターンシップと呼称されるもの」に関するウェブサイト(当該企業のHP、リクルート・マイナビ等)に登録した時	23.1%
就職活動に関するウェブサイト(リクナビ・マイナビ等)に登録した時	10.7%
「インターンシップと呼称されるもの」に参加した時	10.5%
エントリーシートを提出した時	10.0%
企業説明会やセミナー等に参加した時	9.8%
企業にエントリー(資料・情報の請求など)をした時	9.1%

(2) 本調査のまとめ

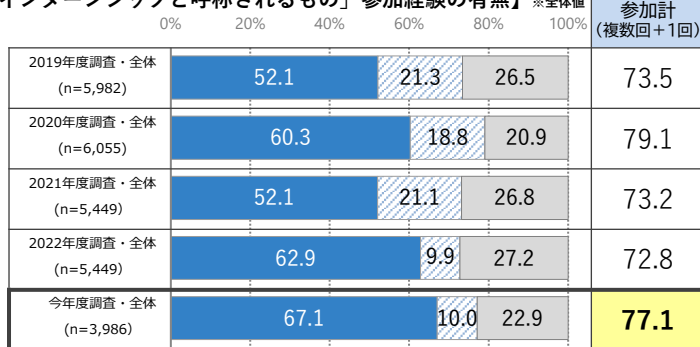
3. 「インターンシップと呼称されるもの」参加状況について

1 **参加割合は約8割。前年度調査から増加し、コロナ前(2020年度調査)の数値に近づく。「複数回参加」の割合も7割弱と増加。**

2 **参加したインターンシップと呼称されるものの最長日数について、「5日以上」の割合は約2割と増加傾向にあるものの、依然「1日以下」が約4割を占める。**

- ・ インターンシップと呼称されるもの参加経験について、約8割が「参加したことがある」と回答、約7割が「複数回参加したことがある」と回答。過年度と比較すると、参加割合、複数回参加割合ともに上昇傾向。
- ・ 参加したインターンシップと呼称されるもののうち、最長の日数のものについて、「1日以下」の回答割合は約4割、「5日以上」の回答は約2割であった。

【「インターンシップと呼称されるもの」参加経験の有無】※全体値



■ 複数回参加したことがある □ 参加したことがある(1回) ▨ 参加したことがない

※今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

【「インターンシップと呼称されるもの」の最長参加日数】※全体値

	1日以下	5日以上
2021年度調査・全体 (n=3,988)	46.8%	20.1%
2022年度調査・全体 (n=3,355)	42.4%	21.2%
今年度調査・全体 (n=3,075)	38.4%	24.6%

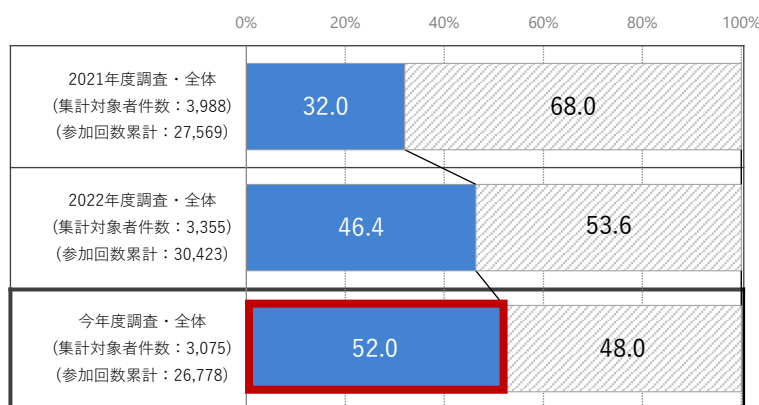
4. 「インターンシップと呼称されるもの」参加者への企業側のアプローチについて

1 **参加した「インターンシップと呼称されるもの」において、実質的な選考があった割合は52%。経年比較すると、年々その割合は高まってきている。**

2 **「インターンシップと呼称されるもの」後の参加者を対象としたアプローチについては、「早期選考の案内」が約7割、「採用説明会、セミナーへの参加」が約6割と高い。**

- ・ 参加した「インターンシップと呼称されるもの」における実質的な選考実施があった割合は、52%となり半数。年々その割合は年々高まってきている。
- ・ 「インターンシップと呼称されるもの」参加後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けたかどうかを集計すると、「早期選考の案内」が約7割、「採用説明会・セミナーに参加した(2023年2月以前に開催されたもの)」が約6割、「採用試験、面接を受けた」が約5割となった。

【参加した「インターンシップと呼称されるもの」における実質的な選考実施の有無】※全体値



■ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいた

□ 採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいなかった(又は含んでいるかわからなかった)

※今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

【「インターンシップと呼称されるもの」参加後に、参加者を対象としたアプローチを受けたか】※全体値

	2022年度調査・全体 (n=3,355)	今年度調査・全体 (n=3,075)
1 早期選考の案内	54%	65%
2 採用説明会、セミナーに参加した (卒業・修了前年度2月以前に開催されたもの)	56%	57%
3 採用試験、面接等を受けた	34%	48%

(2) 本調査のまとめ

5. 就職・採用活動の動きについて

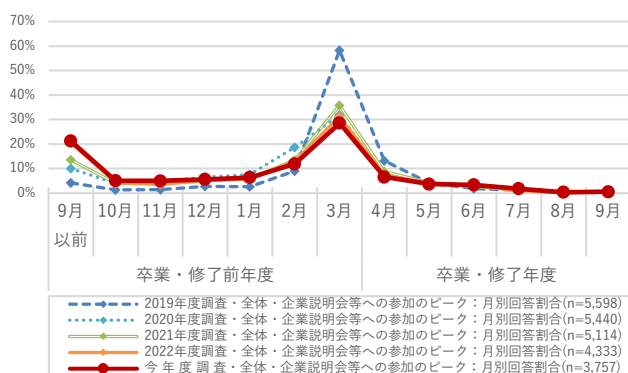
1 企業説明会等の参加時期のピークについて、広報活動開始前の「卒業・修了前年度9月以前」は約2割と、昨年度とほぼ同様に高い。

2 最初の採用面接を受けた時期は、昨年度と比べ、採用選考活動開始前の3月の割合が低下。累計で見ると、2月までに約6割の学生が最初の面接を受けている。

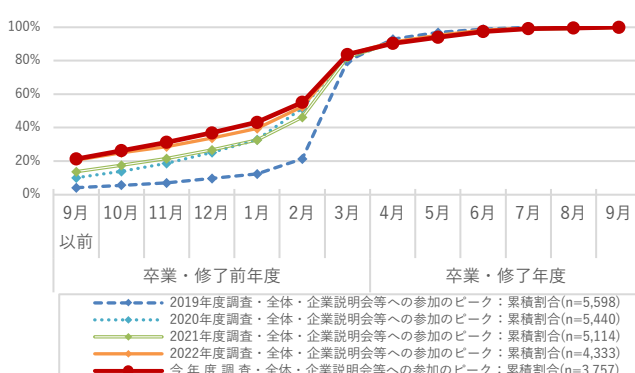
3 最初の内々定を受けた時期は、過年度調査と同様に採用選考活動開始前である4月の割合が最も高い。

- 企業説明会やセミナー等の参加時期の「ピーク」について、広報活動開始時期前である「卒業・修了前年度9月以前」の回答割合が約2割となっており昨年度とほぼ同様に高い。
- 企業説明会やセミナー等の参加時期について、過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」共に、特に「卒業・修了前年度3月以前」において、少しずつ時期が早まっている。
- 採用面接の時期について、「最初に採用面接を受けた時期」は、広報活動開始時期である卒業・修了前年度3月の回答割合が約2割で最も高いが、昨年度と比べるとその割合は低下。一方卒業・修了前年度2月以前の回答割合が約6割と上昇している。「ピーク～最後」についても僅かに時期が早まっている。
- 最初の内々定を受けた時期について、最も回答割合が高い月は採用選考活動開始時期前である「卒業・修了前年度4月」にきており、約2割。昨年度と比較すると、「卒業・修了前年度12月」～「卒業・修了前年度3月」の割合が高まっており、採用選考活動開始時期である6月時点までの回答割合は上昇傾向。
- 説明会、面接、内々定、いずれについても、昨年度結果よりも時期が早まっている傾向が見られた。

【企業説明会等への参加時期（ピーク）】 ※全体値



【企業説明会等への参加時期（ピーク） 累計】 ※全体値



6. 企業からの学修活動等への配慮や就職活動実施方法について

1 「説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮」について、「多く又はある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割。

2 「インターンシップと称されるもの」「採用面接」について、ウェブ等での参加が含まれる割合は、どちらも全体の約8割。

- 就職活動を行った企業における説明会や個別の面接日時・時間帯等について、多くの企業又はある程度の企業で「配慮していた」と感じた学生の割合は約8割。
- 「インターンシップと称されるもの」への参加方法について、「対面のみ」約2割、「ウェブ等のみ」約7割、「対面とウェブ等」が約1割となり、約8割はウェブ等の参加が含まれるものであった。
- 「採用面接」への参加方法について、「対面のみ」約2割、「ウェブ等のみ」「対面とウェブ等」が4割ずつとなった。過年度調査と比較すると、「対面とウェブ」のハイブリット型が増加傾向にある（昨年度調査：3割→今年度調査：4割）。

(2) 本調査のまとめ

7. オワハラについて

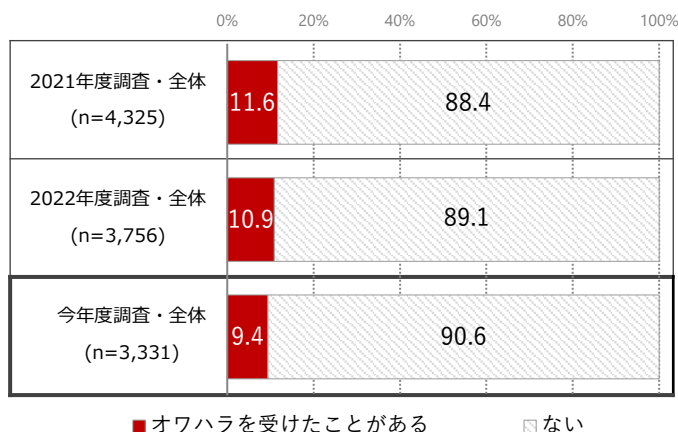
1 **オワハラの経験有無について、「受けたことがある」とした人は約9.4%。過年度調査と比較すると、僅かに減少傾向にあるが、例年約1割の学生がオワハラを受けている。**

2 **オワハラの内容は、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」が約7割と、過年度に引き続き最も高い。**

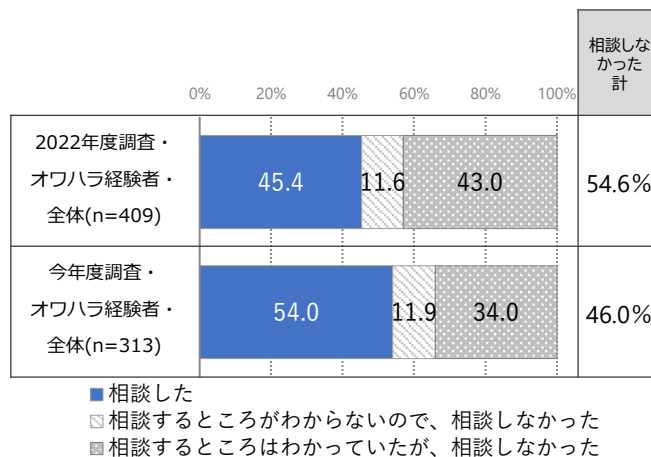
3 **オワハラを受けた際の対応について、「相談した」は約5割と昨年度より上昇。「相談するところはわかっていたが、相談しなかった」は、約3割と昨年度より減少した。**

- オワハラの経験有無について、今年度調査において「オワハラを受けたことがある」とした人は9.4%。過年度調査と比べると、「ある」と回答した割合は、僅かに減少傾向にある。
- オワハラの内容は、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」が約7割。
- オワハラを受けた際の対応について、2022年度結果と比較すると、「相談した」が今年度調査では54.0%と増加。「相談するところはわかっていたが、相談しなかった」が、今年度調査では34.0%と減少。

【受けた「オワハラ」の内容】 ※全体値



【「オワハラ」を受けた際の対応】 ※全体値



8. 内々定を受けた企業の種類と時期について

1 **就職予定企業の種類別内々定の時期は、国内企業では6月が最も高く、一方外資系企業は2月以前の割合が4割にのぼり、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。**

2 **最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定の時期について、累計割合で見ると、「5,000人規模以上」では、約5割が3月までに最初の内々定を受けている。**

- 就職予定の企業が国内企業かどうかについて見ると、国内企業(ベンチャー企業)が9%、国内企業(ベンチャー以外)が85%、外資系企業が4%、わからないが2%という分布となっており、国内企業は9割となった。
- 内々定を受けた時期を企業の種類別に見ると、就職予定企業では、「国内企業」では6月が最も高い。一方、「外資系企業」は5月以前の割合が特に高く、4割が卒業・修了前年度の2月以前に内々定を受けており、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。
- 「最初に内々定を受けた企業の規模別に、最初の内々定時期を見ると、いずれの規模でも、4月の割合が最も高い。一方「5,000人～9,999人規模」では、「1月」の割合が他規模に比べて高く、「99人以下規模」では、「3月」の割合が低く、「7月」の割合が高い。
- 累計割合で見ると、「5,000人～9,999人規模」「10,000人以上規模」では約5割が3月までに最初の内々定を受けている。

※ベンチャー企業については、「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業。」と、回答者に案内した上で調査を行った。

調査結果報告書本文

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

第一章 調査結果概要・回答者の基本属性

(1) 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、2023年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2024年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

2. 調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の62の大学に協力いただき、それらの大学から、大学4年生及び大学院修士課程(博士前期課程)2年生(以下、「大学院2年生」と表記)にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、2023年7月13日から8月14日までの間開設した。

3. 回答状況

対象学年別の有効回答件数は次の図表の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

【学年別の有効回答件数】

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	3,482件	1,483件	4,965件

(2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域による割合を、対象学年別に下記に示し、それぞれ右欄に2022年度の学校基本調査※1(文部科学省調べ)の情報(確定版)について掲載した※2。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学4年生が「女性」からの回答割合が高く、大学・大学院の設置主体については大学4年生・大学院2年生ともに「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている状況にあることが把握できる。

【①性別】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)
男性	45.0%	56.7%	67.6%	70.6%
女性	53.4%	43.3%	31.1%	29.4%
その他・答えたくない	1.6%	-	1.3%	-
集計度数	3,482	556,282	1,483	74,665

【②大学・大学院の設置主体】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)
国立	30.4%	16.3%	66.6%	57.5%
公立	5.7%	4.9%	6.1%	6.2%
私立	63.9%	78.8%	27.3%	36.3%
集計度数	3,482	556,282	1,483	74,665

※1：学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成19年法律第53号）に基づく基幹統計調査である。調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。また本調査では専攻として確認した「情報」は学校基本調査の情報の中でないが、「文系」として集計している。

※2：2023年度の学校基本調査の情報（速報値）では、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「大学・大学院の所在地域別」の学生数が公開されているが、「専攻別」の学生数が公開されていないため、2022年度の学校基本調査の情報（確定版）から、大学3年生・大学院1年生の値を用いてウエイトを作成した。比較対象として2022年度の学校基本調査の情報（確定版）の値を掲載している。

なお、本調査の値と2021年度学校基本調査（確定版）いずれの値も、小数点第2位を四捨五入した上で表示しているため、割合の合計が100%を超えたり、小計の値を超えたりする場合がある。

今年度調査においては、性別を尋ねる設問において、「その他」と「答えたくない」の選択肢を設定した。ここでは、これらの回答を「その他」として集計した。

【③専攻】

対象	大学4年生		大学院2年生	
	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2022年度 学校基本調査 (確定版)
人文科学	22.7%	15.9%	7.3%	5.8%
社会科学	38.3%	36.6%	7.4%	9.6%
情報	5.0%	-	9.1%	-
理学	7.3%	3.5%	26.2%	8.9%
工学	11.4%	17.1%	34.5%	45.9%
農学	2.4%	3.4%	7.6%	6.1%
保健	1.7%	-	1.3%	-
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.3%	3.1%	0.7%	0.6%
教育	4.5%	8.4%	2.9%	2.7%
芸術	0.5%	3.5%	0.7%	3.0%
その他	4.8%	8.5%	2.3%	17.3%
文系	77.2%	76.0%	30.5%	39.0%
理系	22.8%	24.0%	69.5%	61.0%
集計度数	3,482	556,282	1,483	74,665

※「人文科学」、「社会科学」、「情報」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

(3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられることから、実態について集計結果を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましい。そこで、本調査では、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。なお、本調査では過年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計と、大学4年生と大学院2年生の学年別の集計を行い結果を掲載した。大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際にも、学校基本調査の在学者数※1を基にしたウェイトによりデータの補正を行った。分類別のウェイト値は、大学4年生・大学院2年生を合わせた集計結果を示す場合と、別々に示す場合とで、それぞれ設定をした※2。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は、下記、また次ページの表のようにになっている※3。これから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる※4。

※1：2015年度調査から2019年度調査については、各調査年度の学校基本調査の速報値から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学4年生・大学院2年生の在学者数の情報を用いてウェイト値を作成していたが、2020年度・2021年度・2022年度・今年度については学校基本調査の速報値に「専攻別」の情報の掲載がなかった。そのため、2021年度の学校基本調査の確定版から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学3年生・大学院1年生の在学者数の情報を用いてウェイトを作成した。

※2：性別が「その他」の者に関しては、学校基本調査には直接的に対応する値はないが、性別以外の「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」のバランスをふまえてウェイト値を設定した。

※3：ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合（％）は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

※4：「文系・理系別」の詳しい内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。

【大学生・大学院生をまとめて集計する際のウエイト値】

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.7725	0.4820
		理系	0.9345	0.3306
	公立	文系	1.4871	0.5871
		理系	0.8030	0.4099
	私立	文系	1.7768	0.5012
		理系	3.2453	0.5298
女性	国立	文系	0.4494	0.4192
		理系	0.5334	0.2219
	公立	文系	1.4461	0.8270
		理系	0.4430	0.1971
	私立	文系	1.2029	0.6820
		理系	1.3712	0.3528
その他	国立	文系	0.7822	0.2519
		理系	0.8004	0.6950
	公立	文系	2.3273	0.1875
		理系	0.9989	0.3811
	私立	文系	1.1836	0.3212
		理系	2.4227	1.6994

【大学4年生・大学院2年生を別々に集計する際のウエイト値】

本調査			大学4年生	大学院2年生
男性	国立	文系	0.6139	1.2190
		理系	0.7427	0.8363
	公立	文系	1.1818	1.4848
		理系	0.6382	1.0368
	私立	文系	1.4121	1.2675
		理系	2.5792	1.3400
女性	国立	文系	0.3572	1.0603
		理系	0.4239	0.5612
	公立	文系	1.1493	2.0917
		理系	0.3521	0.4985
	私立	文系	0.9560	1.7251
		理系	1.0898	0.8922
その他	国立	文系	0.6567	0.5528
		理系	0.6721	1.5255
	公立	文系	1.9540	0.4114
		理系	0.8387	0.8365
	私立	文系	0.9938	0.7050
		理系	2.0342	3.7300

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第4位まで掲載しているが、実際には小数点以下第15位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

【①性別(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
男性	57.4%	55.8%	69.7%
女性	41.0%	42.6%	29.0%
その他	1.6%	1.6%	1.3%
集計度数	4,965	3,482	1,483

【②大学・大学院の設置主体(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
国立	21.2%	16.3%	57.5%
公立	5.1%	4.9%	6.2%
私立	73.8%	78.8%	36.3%
集計度数	4,965	3,482	1,483

【③専攻(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
人文科学	20.1%	21.5%	9.5%
社会科学	36.8%	40.4%	9.8%
情報	5.6%	4.9%	11.3%
理学	9.6%	7.8%	23.0%
工学	14.8%	12.6%	31.3%
農学	2.4%	1.9%	5.7%
保健	1.6%	1.7%	1.1%
商船	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.0%	1.0%	0.8%
教育	3.0%	3.0%	3.4%
芸術	0.6%	0.5%	1.1%
その他	4.5%	4.7%	3.1%
文系	71.6%	76.0%	39.0%
理系	28.4%	24.0%	61.0%
集計度数	4,965	3,482	1,483

【④大学・大学院の所在地域(ウエイトによる補正後)】

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
北海道・東北	10.8%	10.7%	11.7%
関東	49.5%	48.8%	54.7%
中部	14.5%	15.0%	10.7%
近畿	15.6%	16.8%	7.3%
中国・四国	5.5%	5.1%	8.2%
九州・沖縄	4.1%	3.6%	7.4%
集計度数	4,965	3,482	1,483

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき集計を行った。なお、原則として大学4年生・大学院2年生をあわせて集計をした結果と、別々に集計した結果の両方を掲載している。また適宜、2019年度・2020年度・2021年度・2022年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」※1との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

本資料に掲載した集計結果等に関しては、次のような点に留意されたい。

- ◆集計結果の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。
- ◆設問には選択肢からひとつだけ回答するものと、選択肢から複数の項目を回答するものがあり、複数回答する場合の設問では、選択肢別の集計結果の割合合計が100%を超える場合がある。
- ◆本資料で扱う今年度調査の集計について、ほとんどの設問は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の設問は「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。このほか、一部の回答者を除いて集計をしている設問があるが、これらの点はページ下部の注釈にて説明を記載した。

※1：それぞれ、「2015年度調査」「2016年度調査」「2017年度調査」「2018年度調査」「2019年度調査」「2020年度調査」「2021年度調査」と表記し、これら7ヶ年の調査をあわせて「過年度調査」と表記する。また、今回2022年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。
なお、2016年度調査、2017年度調査、2018年度調査、2019年度調査、2020年度調査、2021年度調査、今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

第二章 就職活動に関する意識と準備

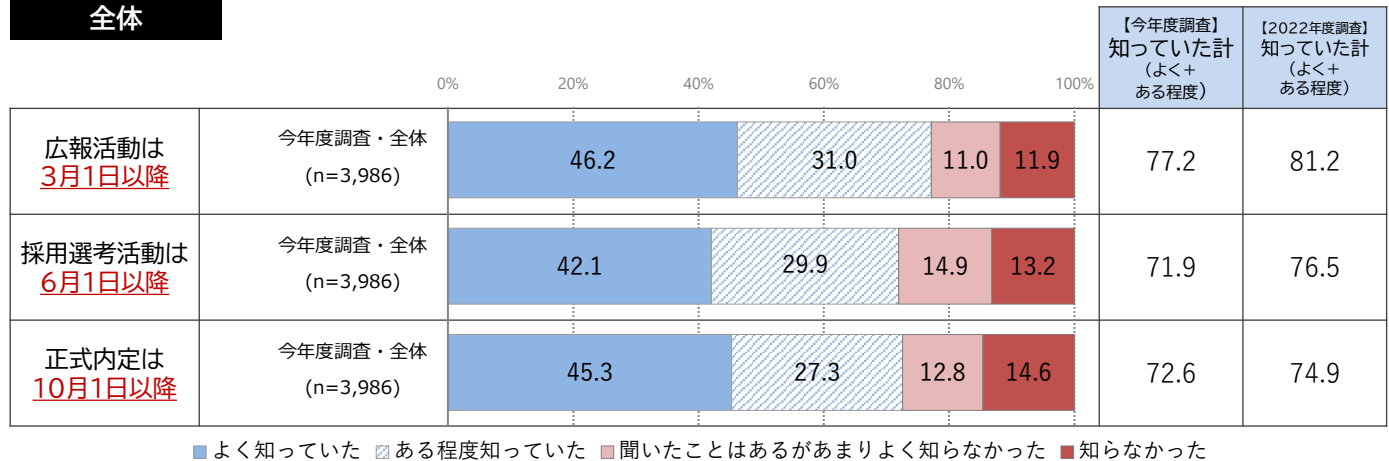
第二章 就職活動に関する意識と準備

(1) 就職・採用活動時期に関する認知状況

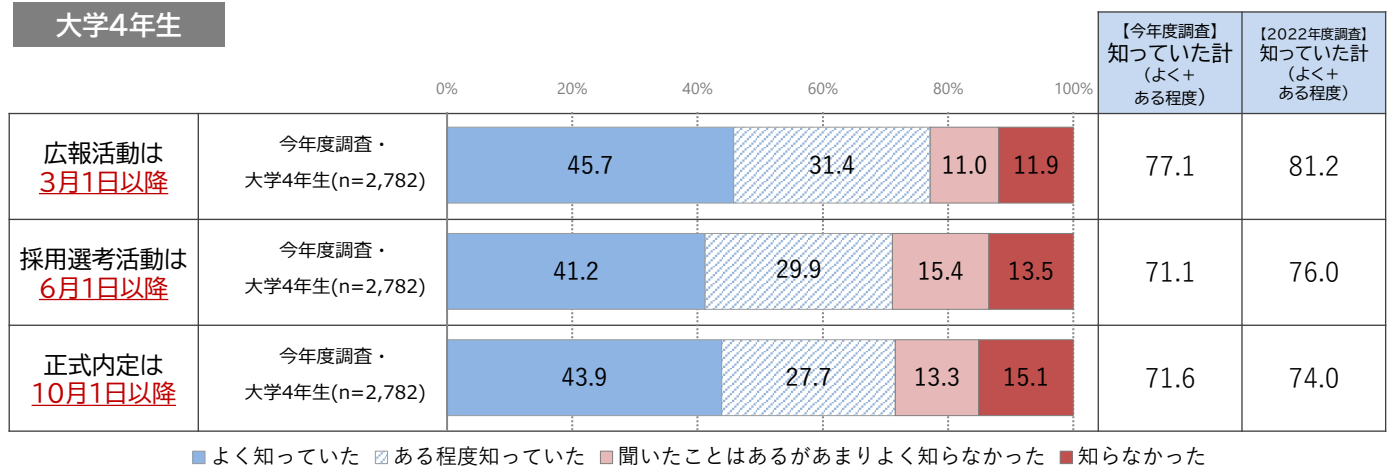
①就職・採用活動の時期(就活日程ルール)の認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期(就活日程ルール)は、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、正式内定は10月1日以降で行われることについて、それぞれの「知っていた」の回答割合は※1、「広報活動は3月1日以降」が最も高く、約8割。「正式内定は10月1日以降」「採用選考活動は6月1日以降」は、約7割。2022年度調査と比較すると、「広報活動は3月1日以降」、「採用選考活動は6月1日以降」、「正式内定は10月1日以降」のいずれについても、「知っていた」計の回答割合がやや低くなっている※1。

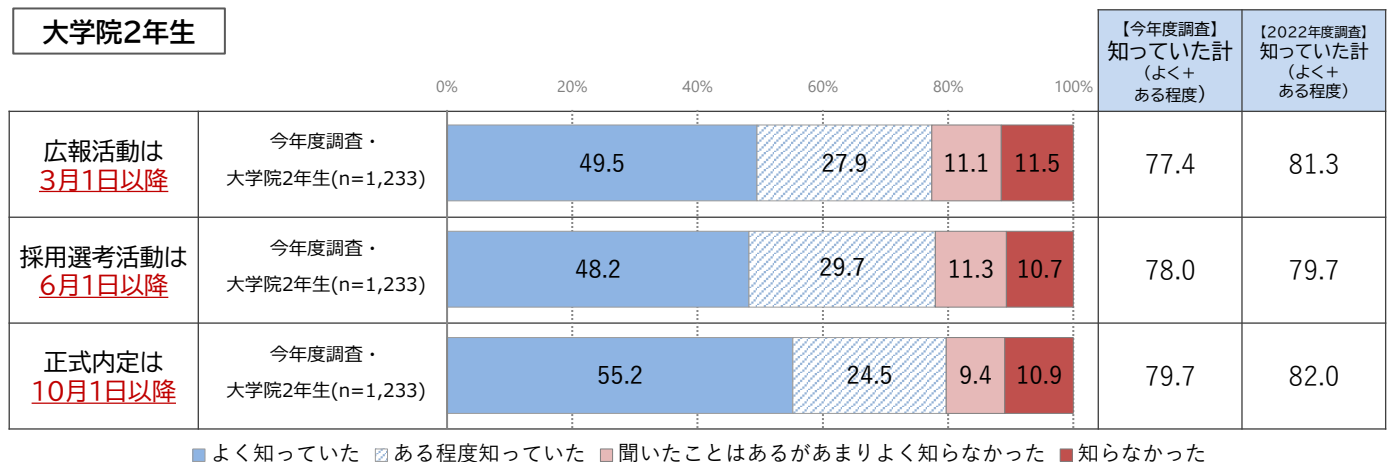
全体



大学4年生



大学院2年生



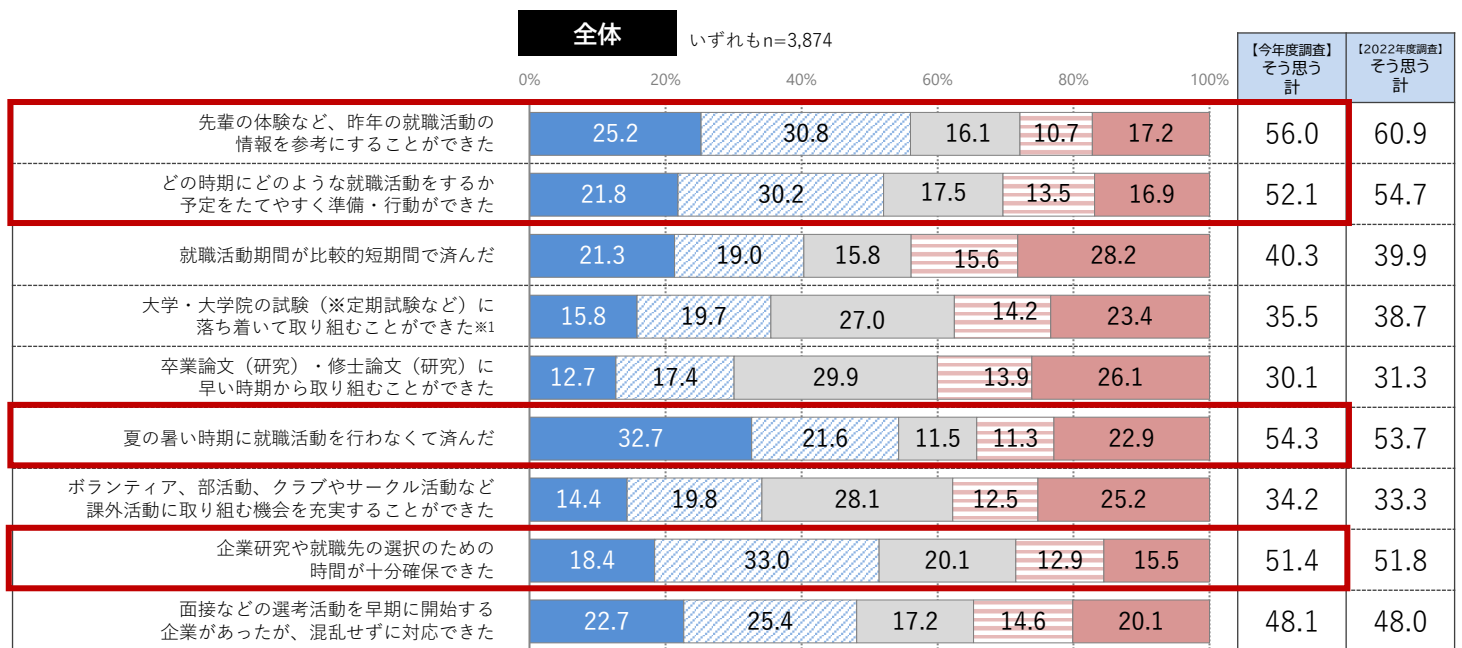
※1：いずれの年度の調査も、「就職活動を行った(終了)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

(2) 就職・採用活動の時期(就活日程ルール)に関する認識と考え

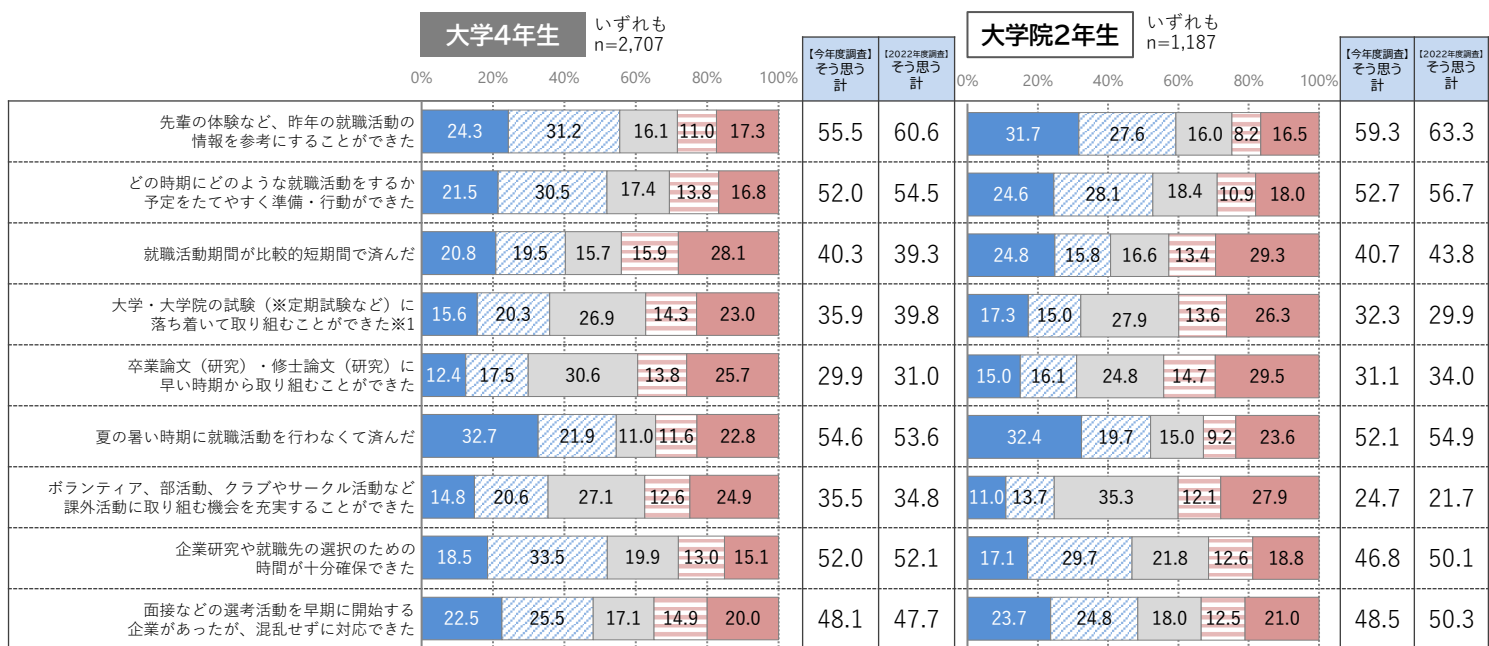
①就職・採用活動の時期(就活日程ルール)についての認識

就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された(広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降)ことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」、「企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できた」という点で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が5割を超え比較的高かった。

2022年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ■ どちらでもない ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない



■ そう思う ▨ どちらかといえばそう思う ■ どちらでもない ▨ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない

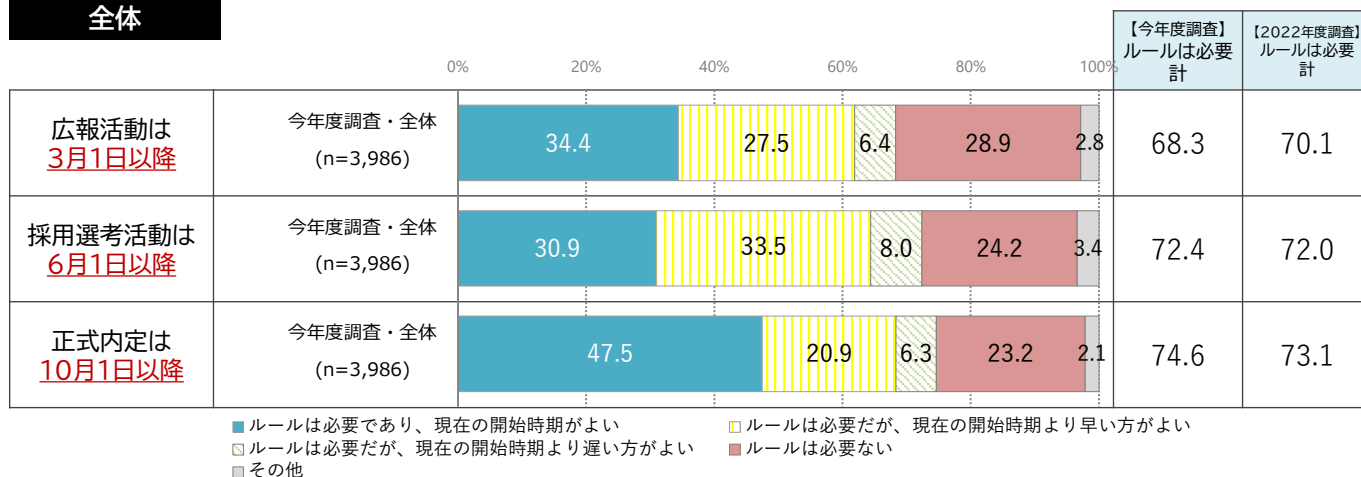
※1：2022年度調査以前の選択肢は「大学の試験に落ち着いて取り組むことができた」。

②就職・採用活動の時期・就活日程ルールに関する考え

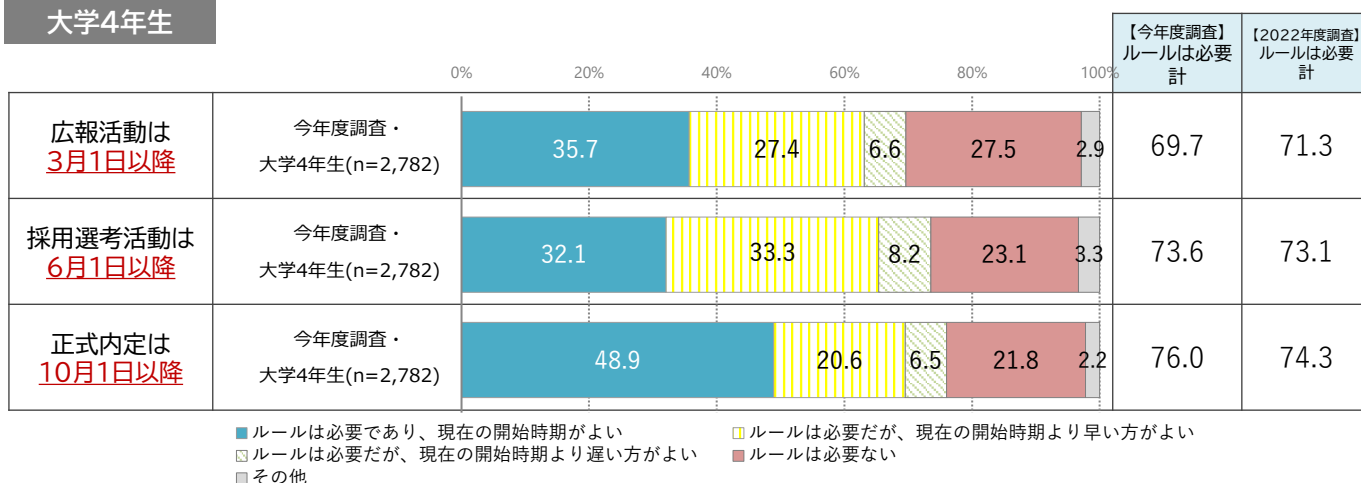
就職・採用活動開始時期や、いわゆる「就活ルール」に関する考えについて、広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降、正式内定は10月1日以降で行われることに対して、「ルールは必要」※1とする人はそれぞれ約7割。最も「ルールは必要」が高いのは「正式内定は10月1日以降」で、約5割が「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」とした。

2022年度調査と比べると、ほぼ同様の結果となっている。

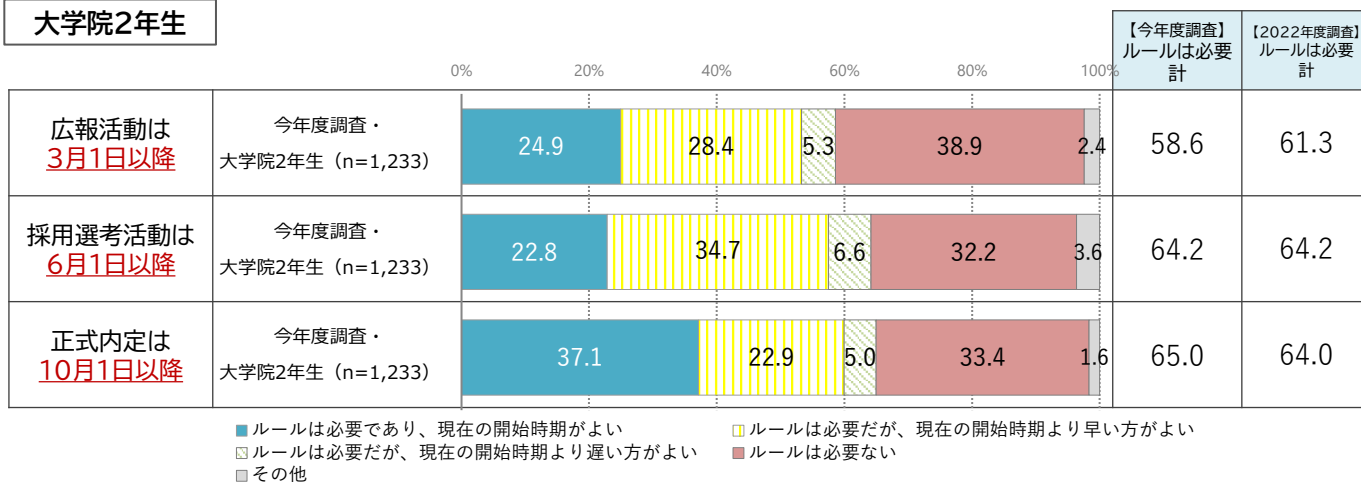
全体



大学4年生



大学院2年生



※1：「ルールは必要」の計は、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より早い方がよい」と、「ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい」を合わせた数値。

(3) 就職・採用活動についての考え

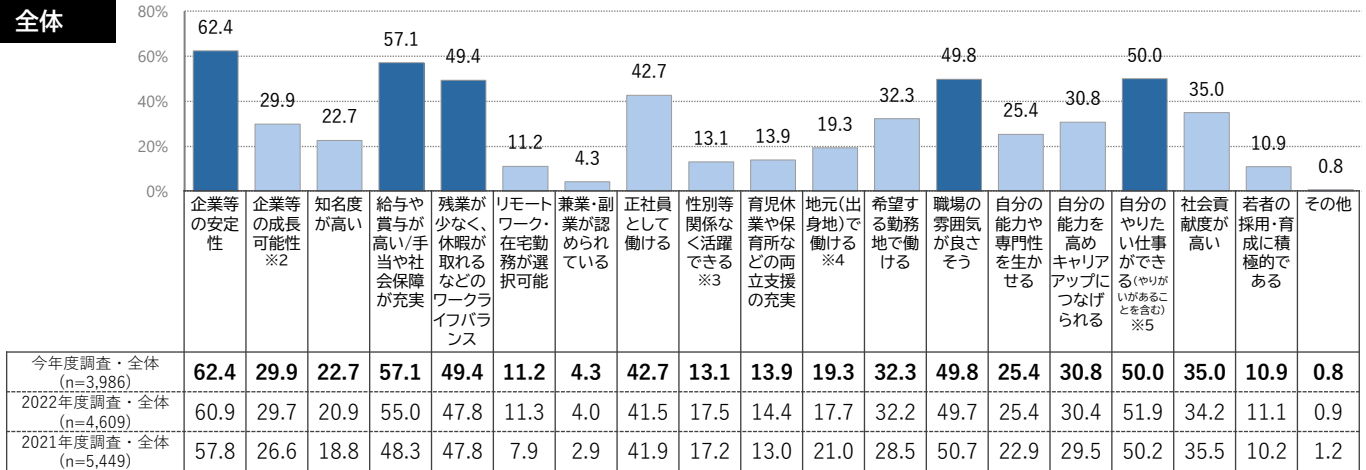
①就職先を決めるにあたって重視していること

就職先を決めるにあたって重視していることについて※1、「企業等の安定性」との回答が約6割で最も高く、次いで、「給与や賞与が高い/手当や社会保障が充実」「自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)」「職場の雰囲気が良さそう」「残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス」が高くなっている。

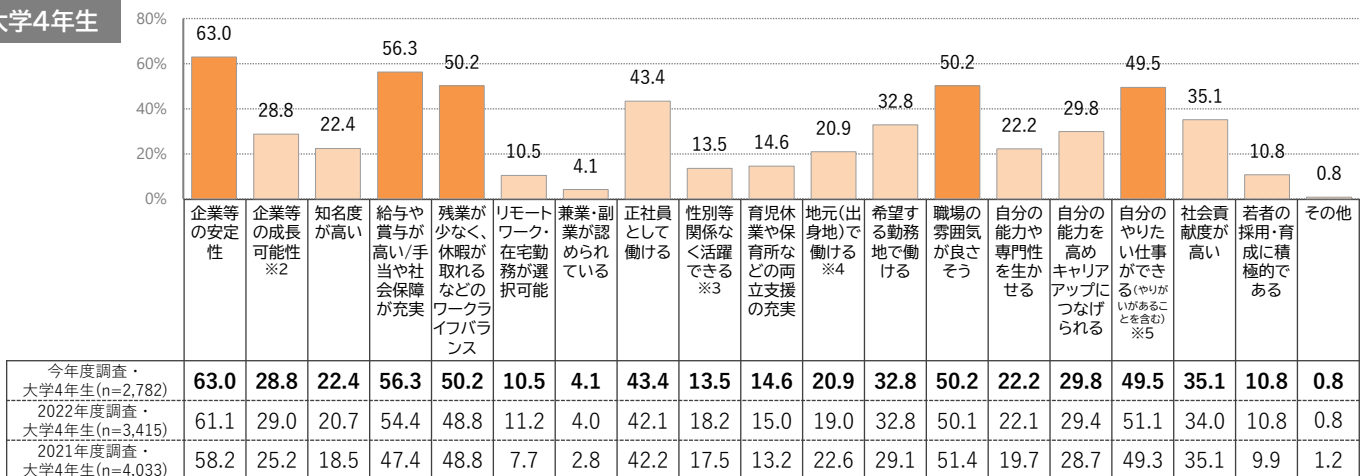
過年度調査と比較すると、「企業等の安定性」「給与や賞与が高い/手当や社会保障が充実」が増加傾向にある。

※グラフは今年度の数字

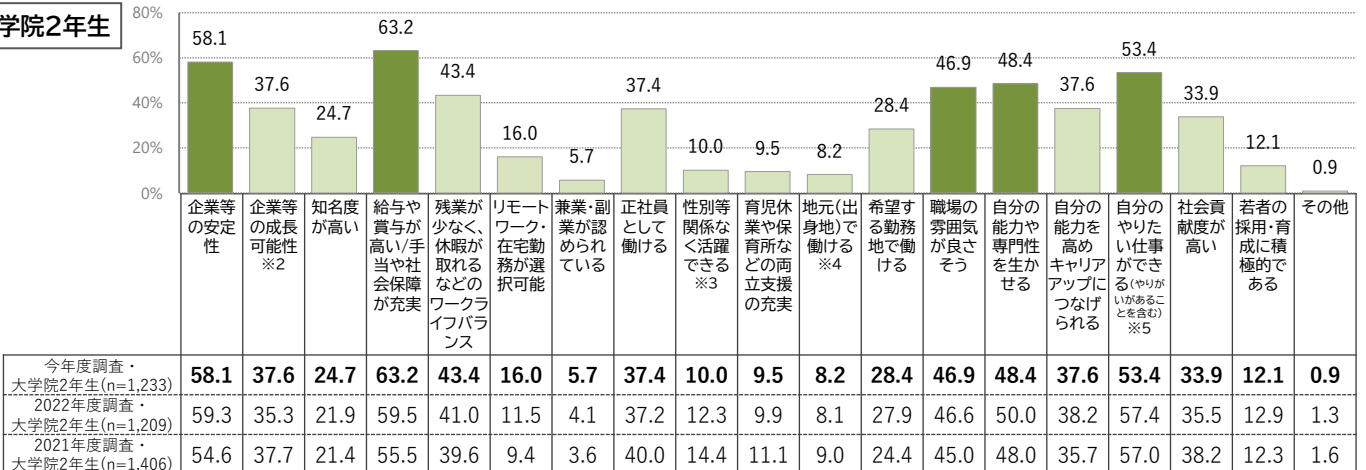
全体



大学4年生



大学院2年生



※1:「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

※2:2022年度調査以前の選択肢は「企業の成長可能性」。

※3:2022年度調査以前の選択肢は「女性が活躍できる」。

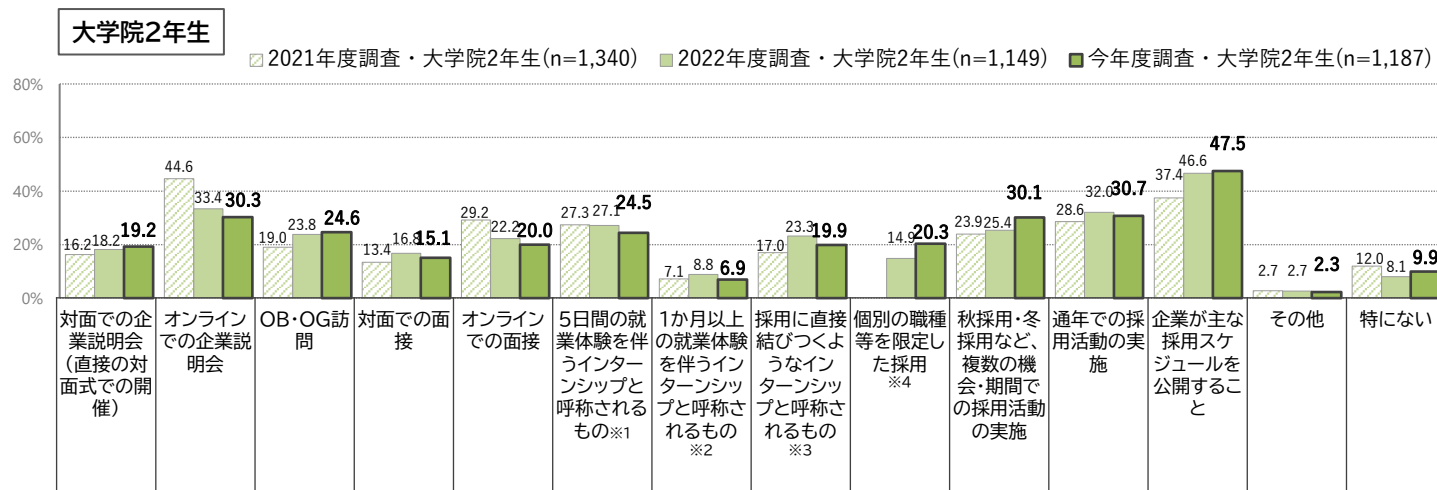
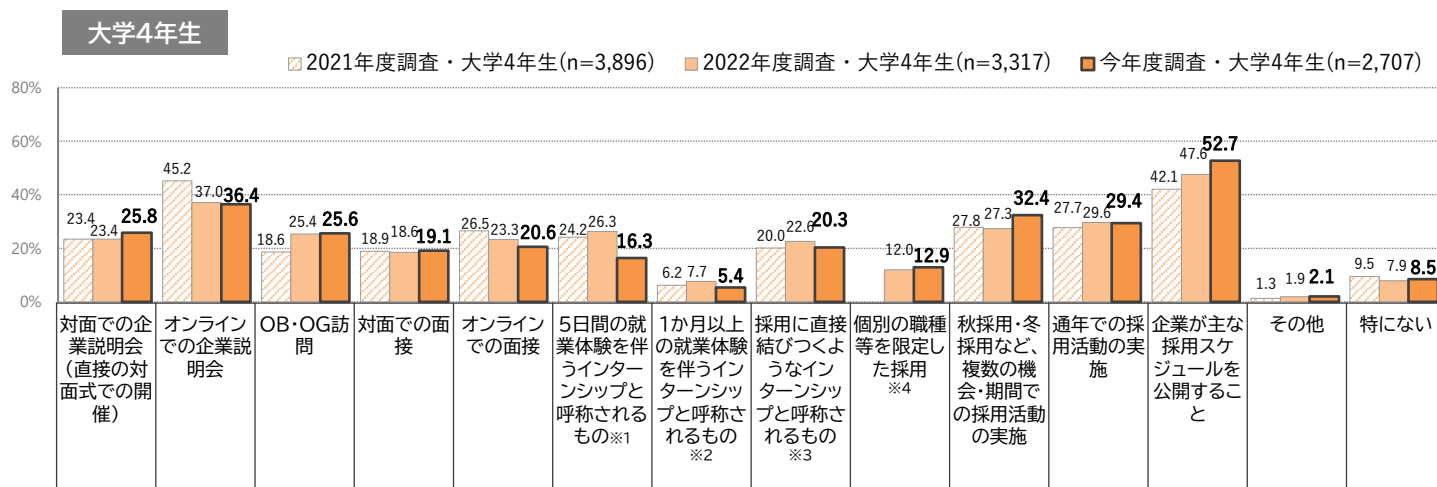
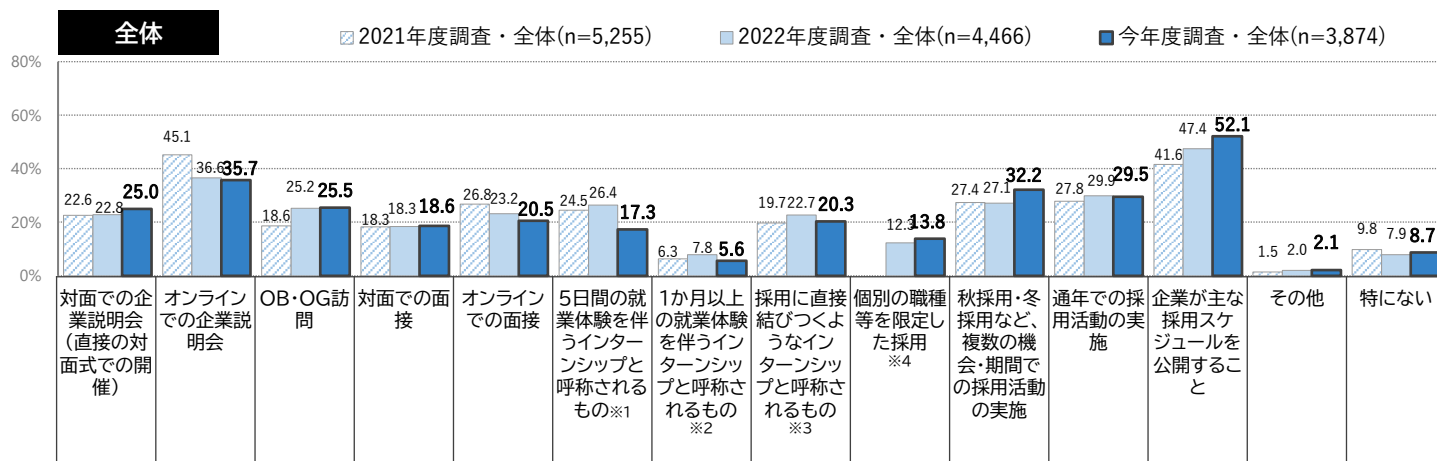
※4:2022年度調査以前の選択肢は「地元で働ける」。

※5:2022年度調査以前の選択肢は「自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)」。

②これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるもの

現状と比べてこれからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものについて、「企業が主な採用スケジュールを公開すること」の回答割合が約5割で最も高く、次いで「オンラインでの企業説明会」が約4割、「秋採用・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施」「通年での採用活動の実施」「OB・OG訪問」「対面での企業説明会」が約3割となっている。

過年度調査と比較すると、「企業が主な採用スケジュールを公開すること」が増加傾向にあり、一方で「オンラインでの企業説明会」「オンラインでの面接」が減少傾向にある。



※1：2022年度調査以前の選択肢は「数日間の就業体験を伴うインターンシップ」。
 ※2：2022年度調査以前の選択肢は「1か月以上の就業体験を伴うインターンシップ」。
 ※3：2022年度調査以前の選択肢は「採用に直接結びつくようなインターンシップ」。
 ※4：「個別の職種等を限定した採用」は2022年度調査より新たに設けた項目である。

第三章 インターンシップと呼称されるものについて

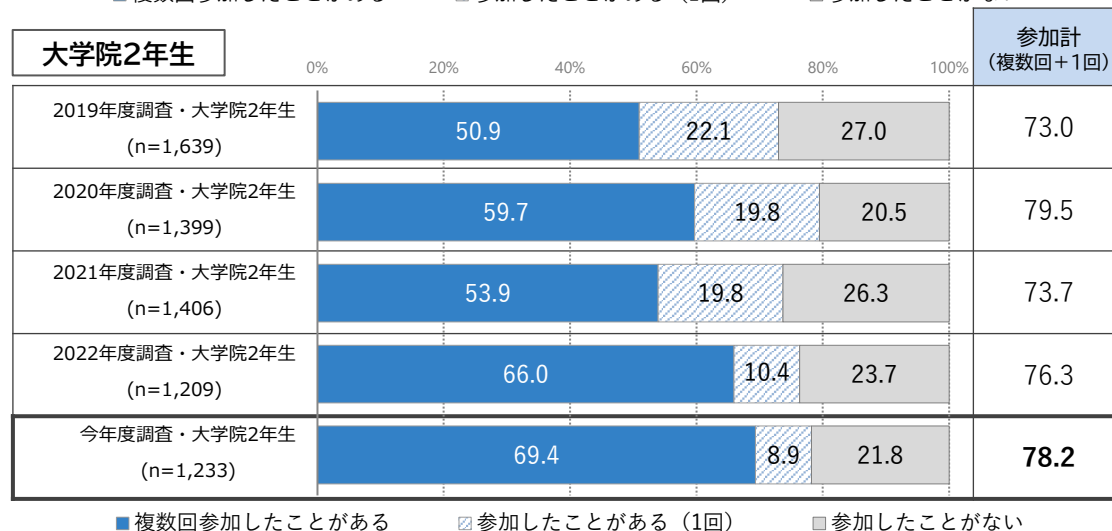
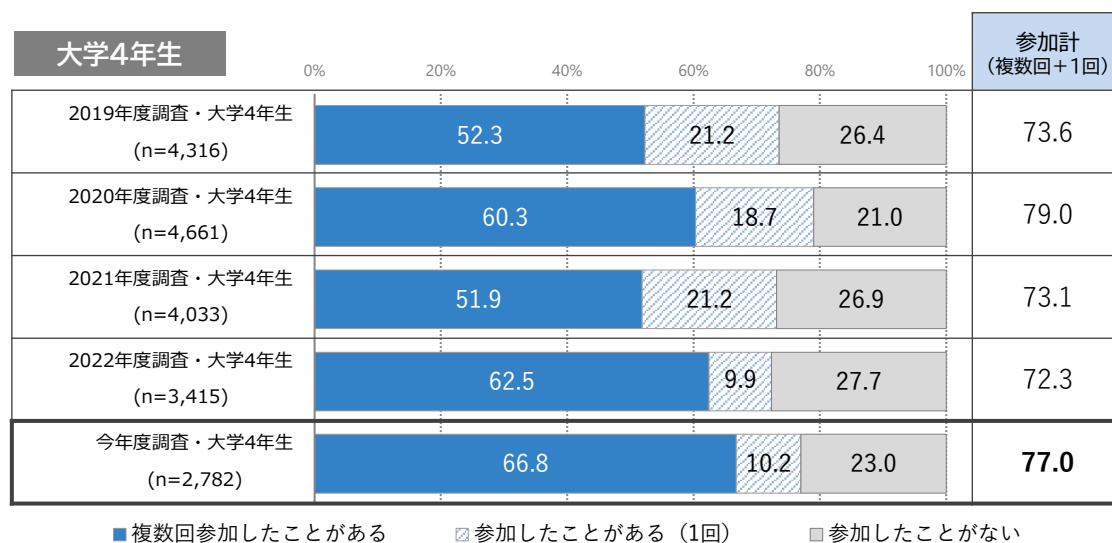
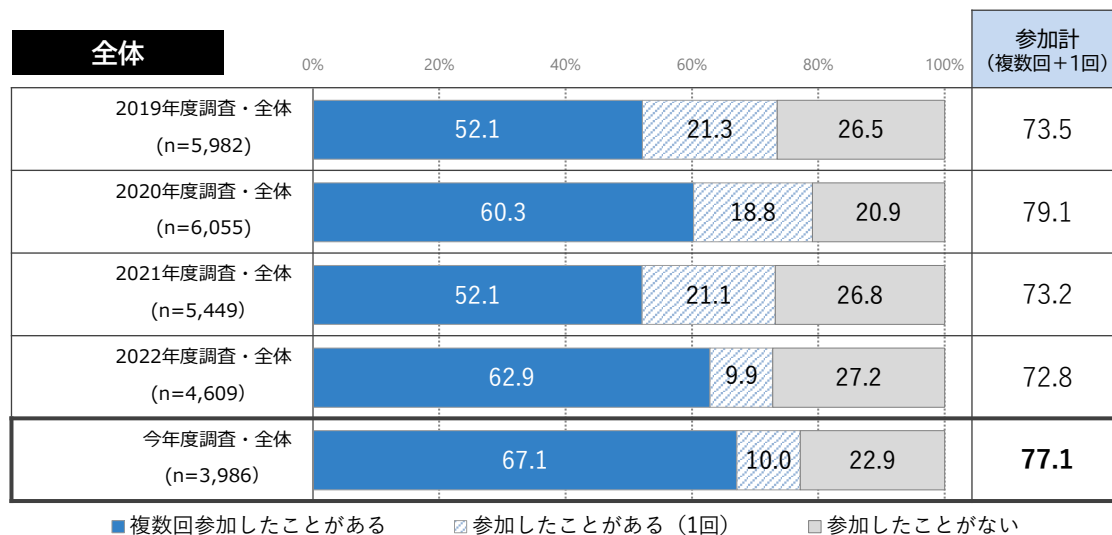
第三章 インターンシップと呼称されるものについて

(1) インターンシップと呼称されるものへの参加状況

①参加の有無

インターンシップと呼称されるもの※1への参加経験について※2、約8割が「参加したことがある」と回答している。なお、約7割が「複数回参加したことがある」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査は「複数回参加したことがある」と回答した割合について、過去5年で最も高くなっている。



※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：2022年度調査より、インターンシップに参加したことがある「日数（半日、1日など）」に対して参加有無を答えてもらい、全ての「日数」に対して「参加していない」と回答した人を「参加したことがない」として処理している。

②参加時期

インターンシップと呼称されるもの※1への参加の時期について※2、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」が約6割と最も高く、次いで「10～12月」が約5割、「1月～3月」が約4割と高くなっている。

2022年度調査と比較すると、大学3年生・大学院1年生の「7月～9月」において、インターンシップと呼称されるものに参加したと回答した割合が高くなっており、特に大学院1年生で高くなっている。

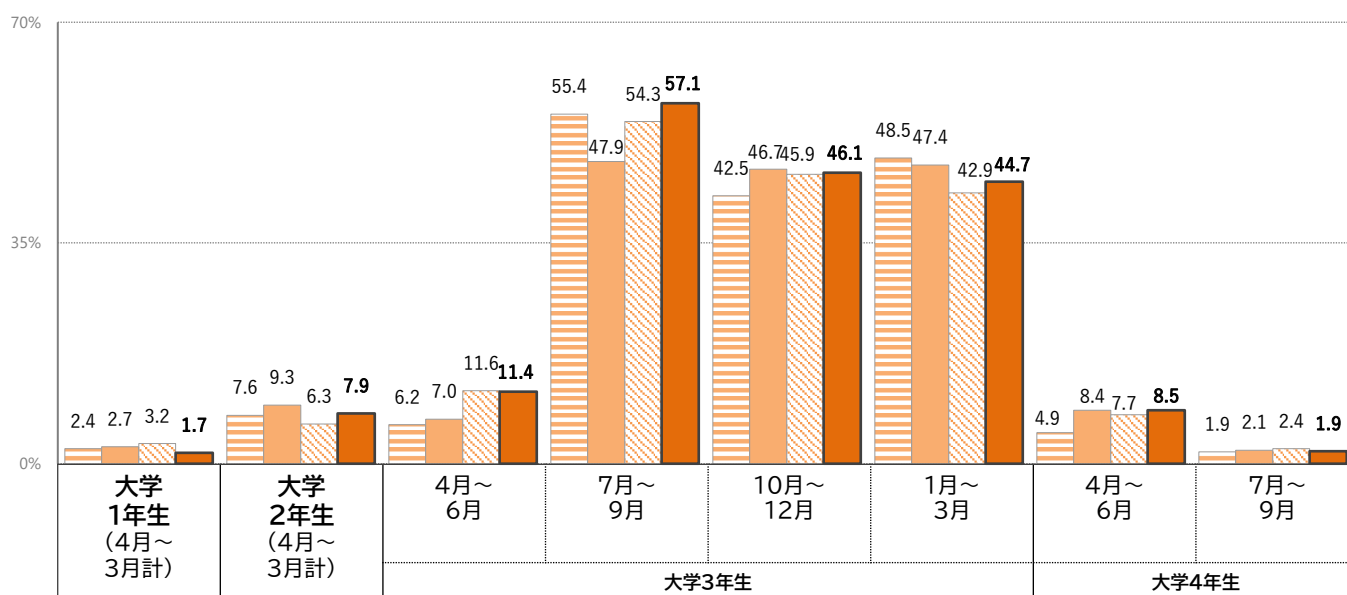
大学4年生

2020年度調査・大学4年生(n=4,661)

2021年度調査・大学4年生(n=4,033)

2022年度調査・大学4年生(n=3,415)

今年度調査・大学4年生(n=2,784)



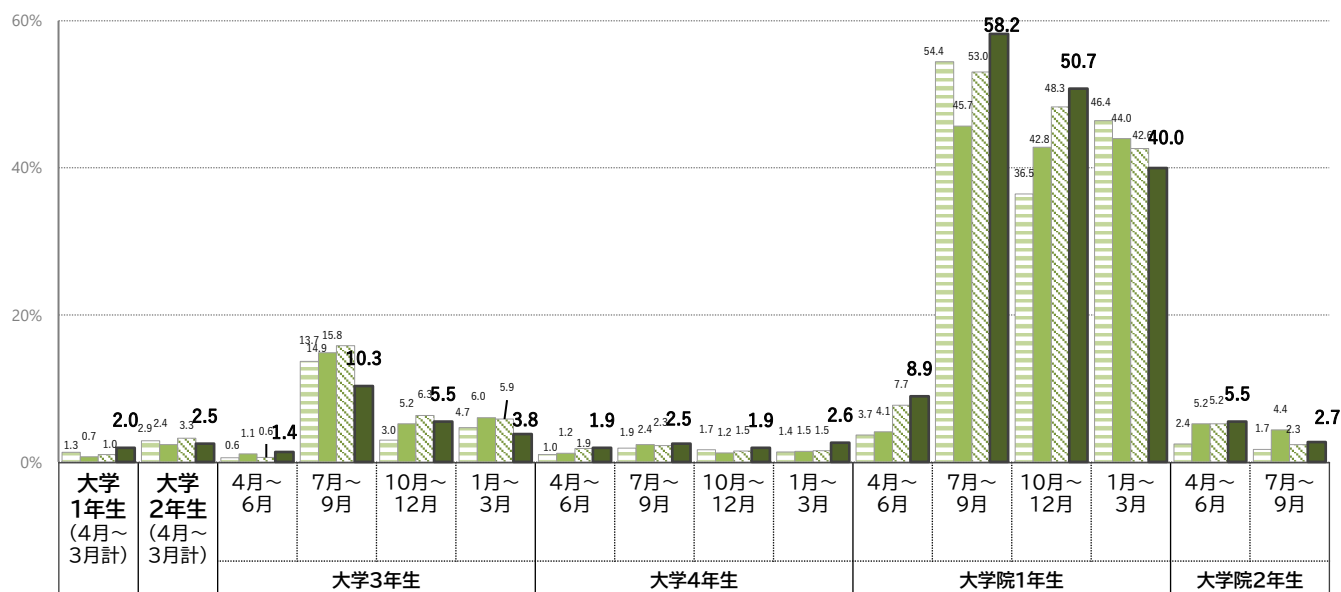
大学院2年生

2020年度調査・大学院2年生(n=1,399)

2021年度調査・大学院2年生(n=1,408)

2022年度調査・大学院2年生(n=1,209)

今年度調査・大学院2年生(n=1,233)



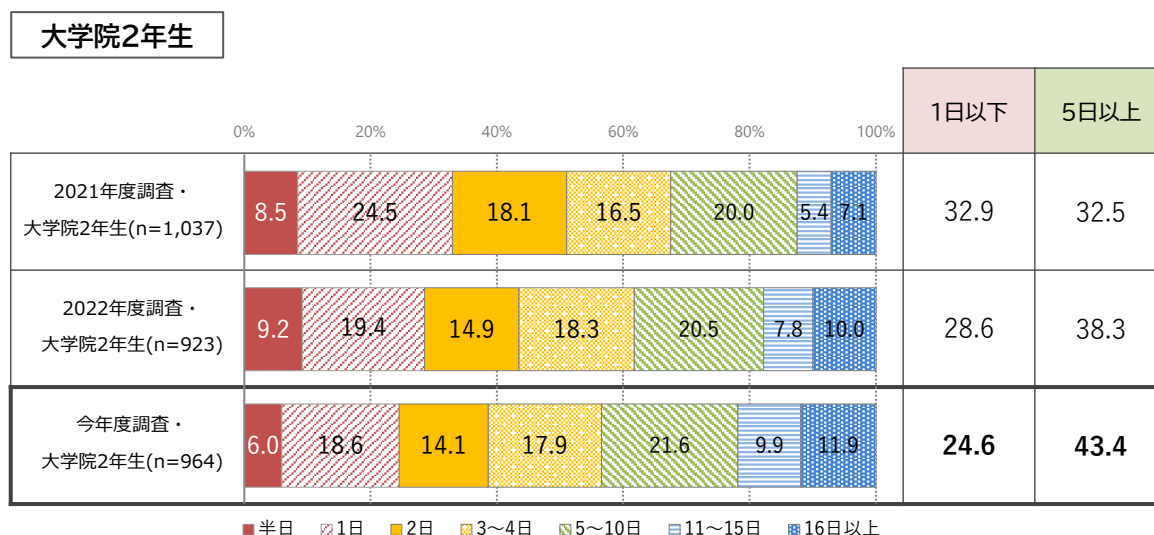
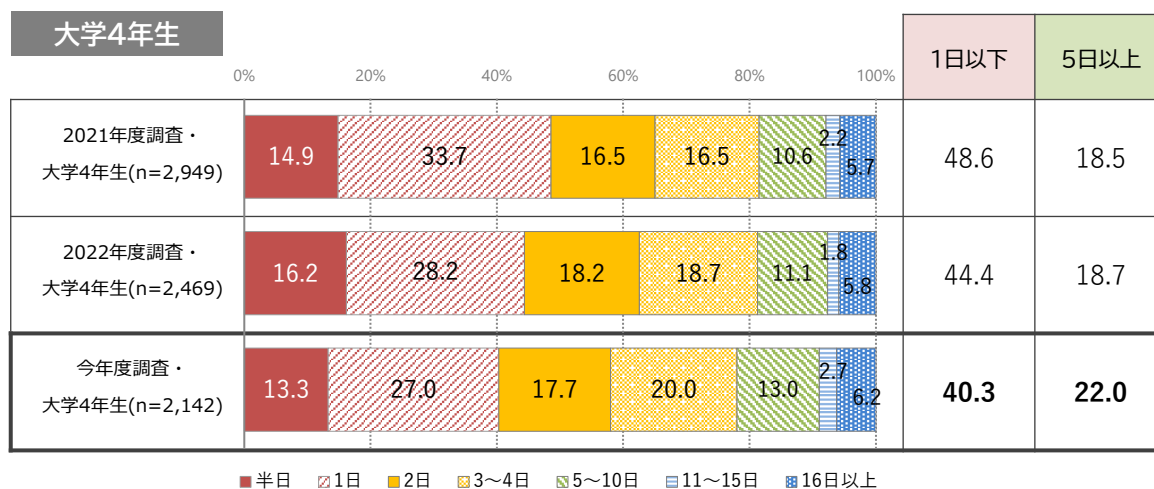
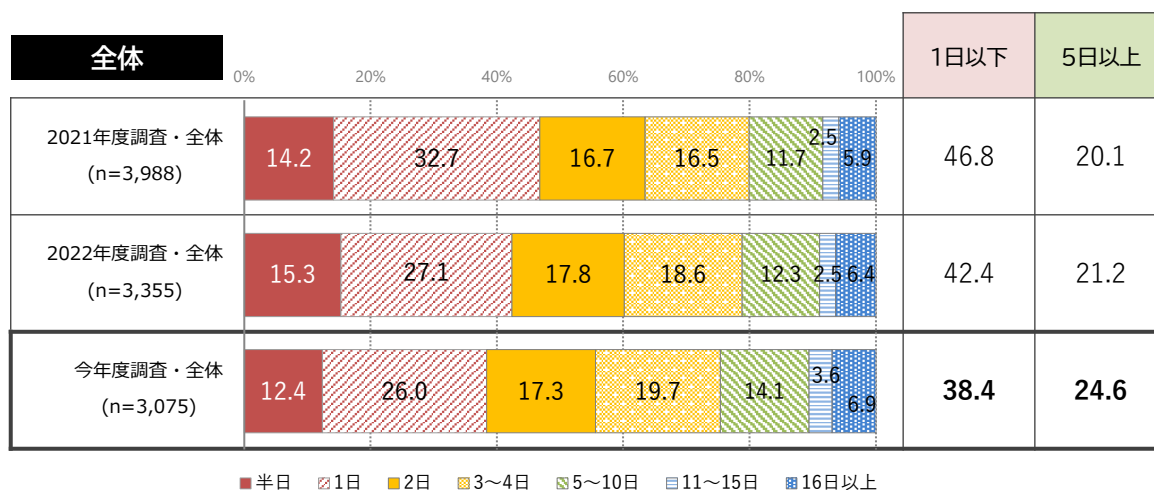
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：ここでの集計対象（母数）には、「就職活動を行ったもの」を対象としているが、インターンシップと呼称されるものに参加しなかった者も含む。

③参加日数(最長の日数)

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「5日以上」の回答は約2割であった。

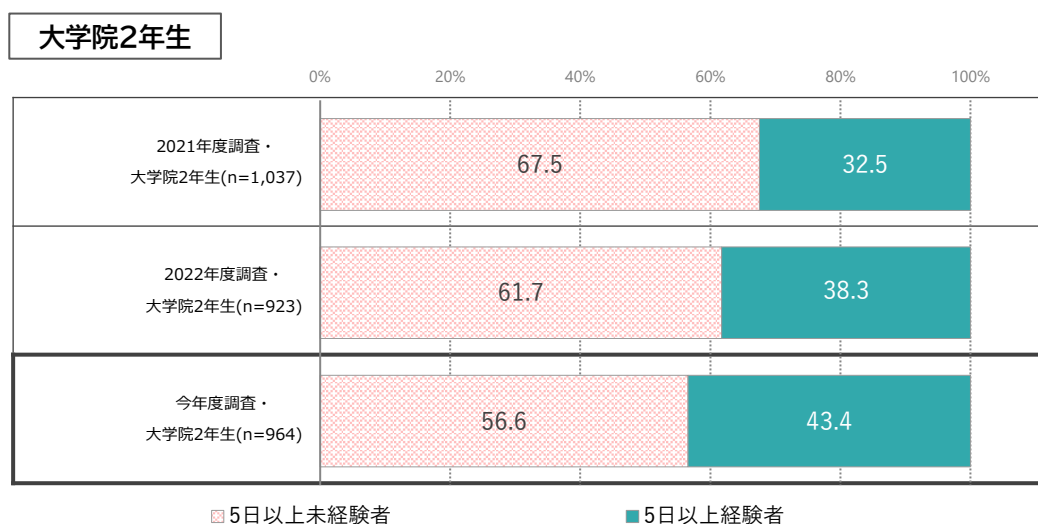
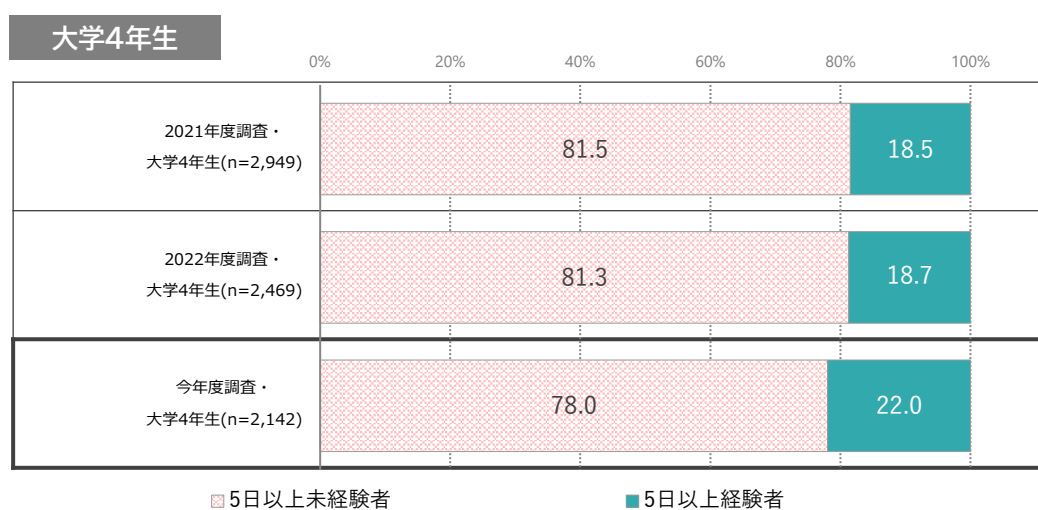
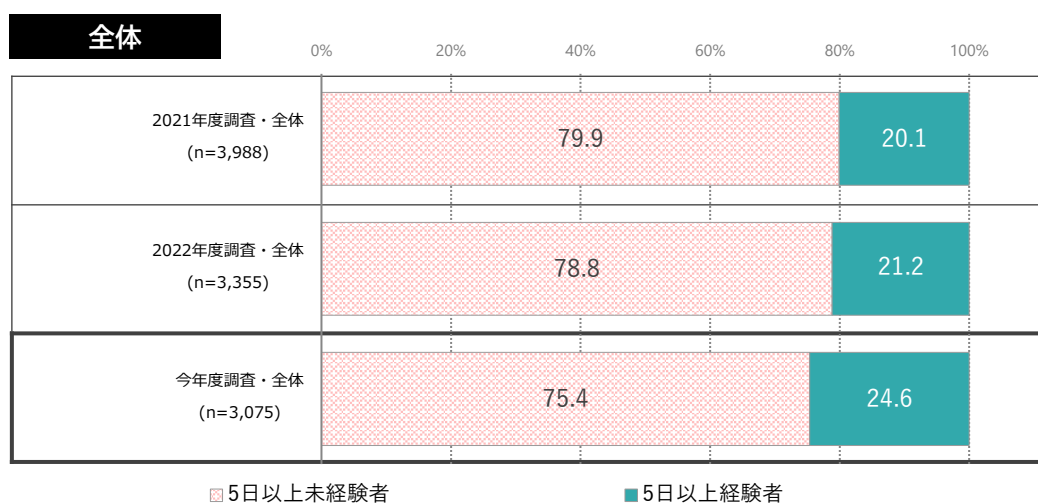
過年度調査と比較すると、今年度調査では「1日以下」を最長とする割合は減少傾向にあるが、依然として全体の4割程度を占めている。



※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

④5日以上インターンシップと呼称されるものの参加状況

すべてのインターンシップと呼称されるもの※1の参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合は、全体の約8割であった。この割合は、2022年度調査とほぼ同様となっている。



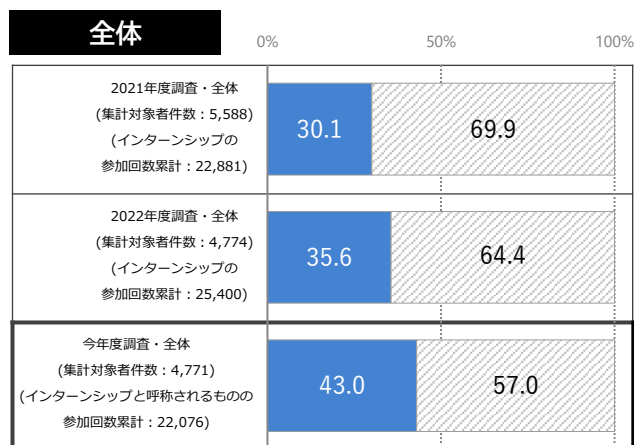
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

⑤参加したインターンシップと呼称されるものの就業体験等との関係

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、就業体験等※2を伴っていたかどうかを集計すると、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」に関して、就業体験を伴うものだった割合は約4割であり、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」に関しては、約8割となっている。

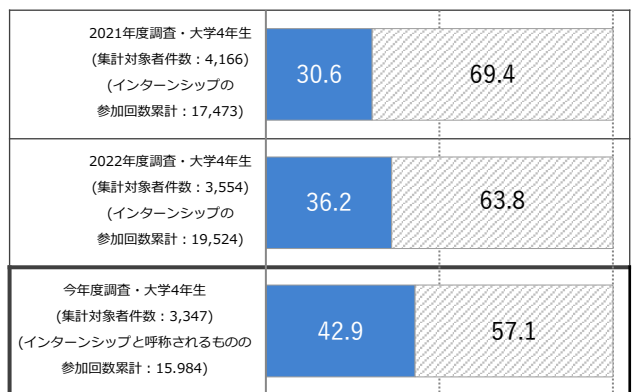
「就業体験等を伴うものだった」の回答割合を2022年度調査と比較すると、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」のどちらも高くなっている。

半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの



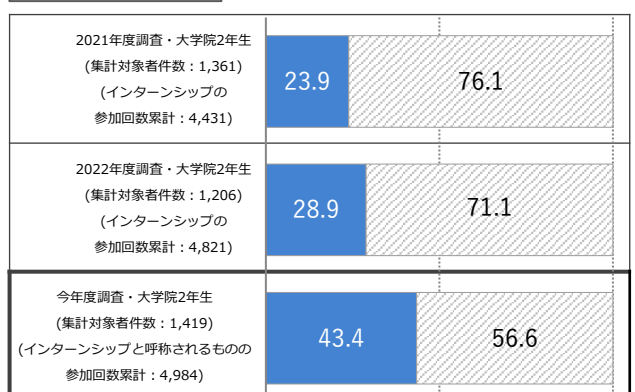
■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった

大学4年生



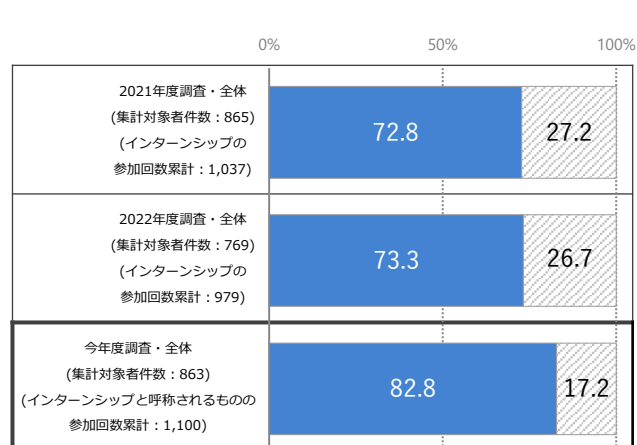
■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった

大学院2年生

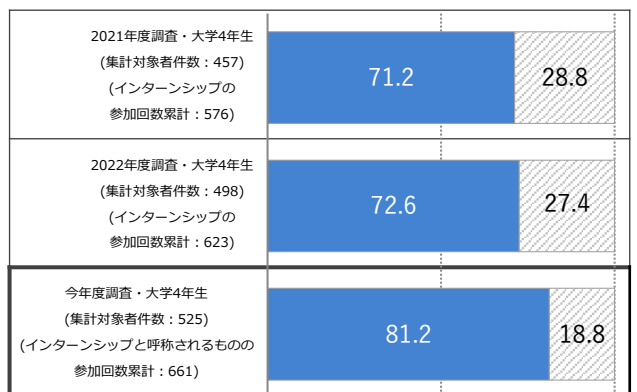


■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった

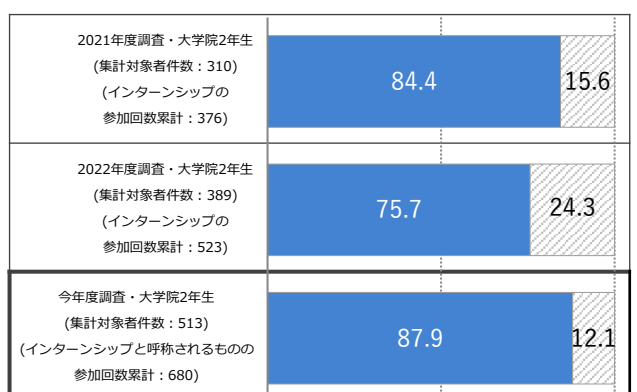
5日間以上のインターンシップと呼称されるもの



■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった



■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった



■ 就業体験等を伴うものだった
 ☐ 就業体験等を伴うものではなかった

※1: 今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2: 就業体験とは、企業の業務内容の説明や職場見学のみものは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

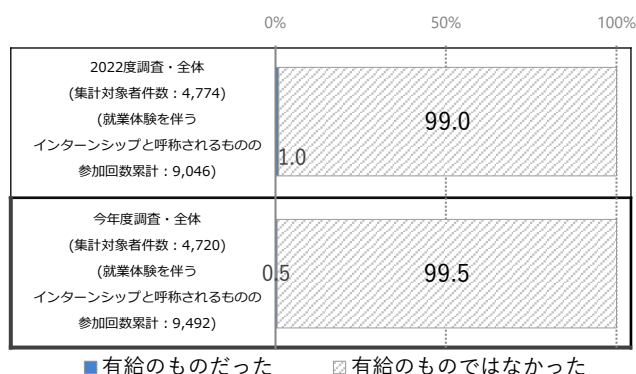
⑥就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるものが有給であったかどうか

就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、有給であったものを集計すると、「半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの」に関して、有給のものだった割合は0.5%であり、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」に関しては、34%となっている。

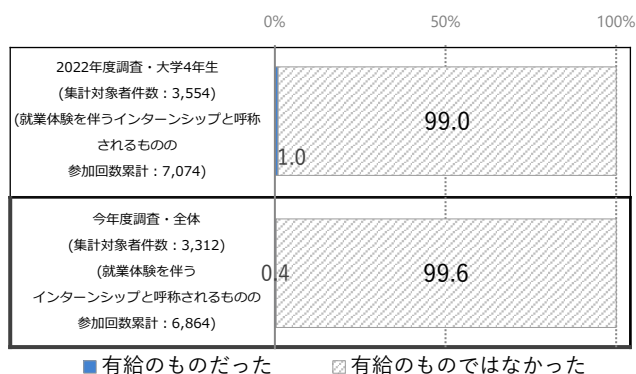
2022年度調査と比較すると、「半日間・1日間」「5日以上」ともに、ほぼ同様の結果となっている。

半日間・1日間のインターンシップと呼称されるもの

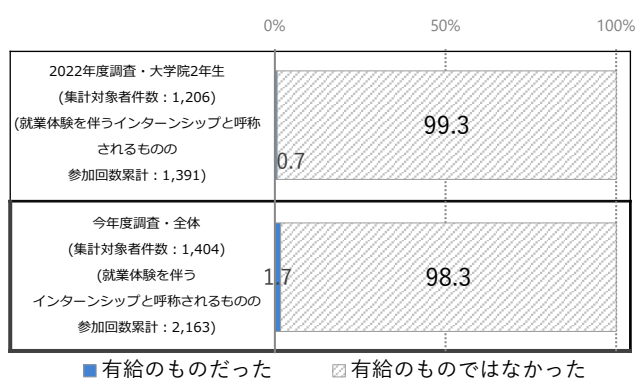
全体



大学4年生

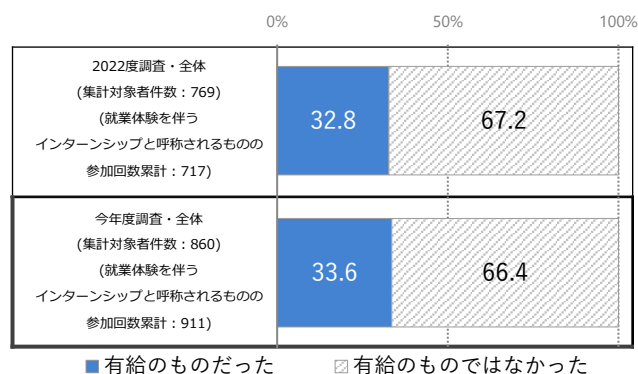


大学院2年生

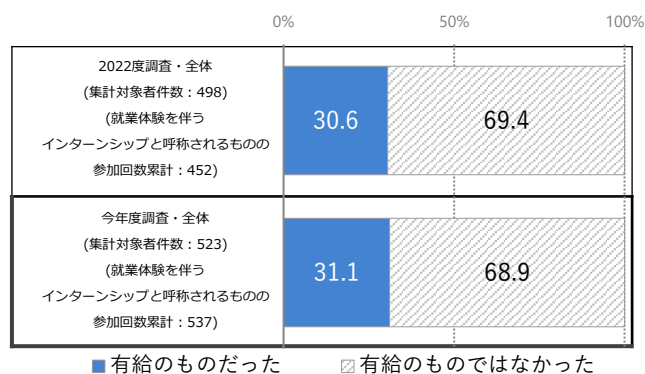


5日間以上のインターンシップと呼称されるもの

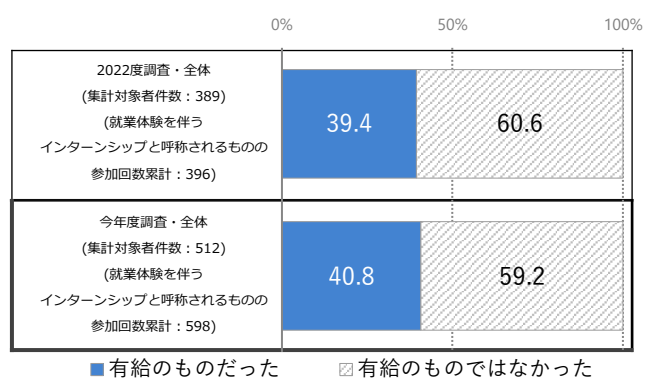
全体



大学4年生



大学院2年生



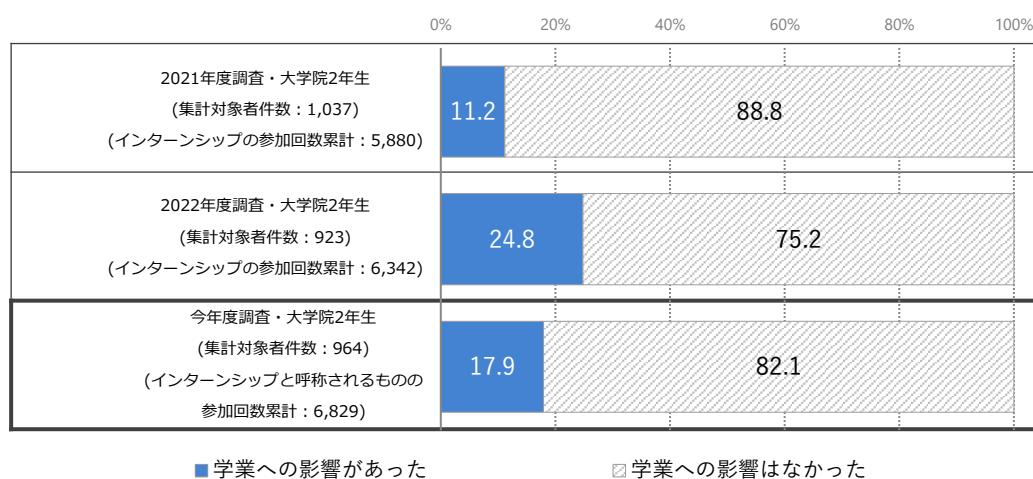
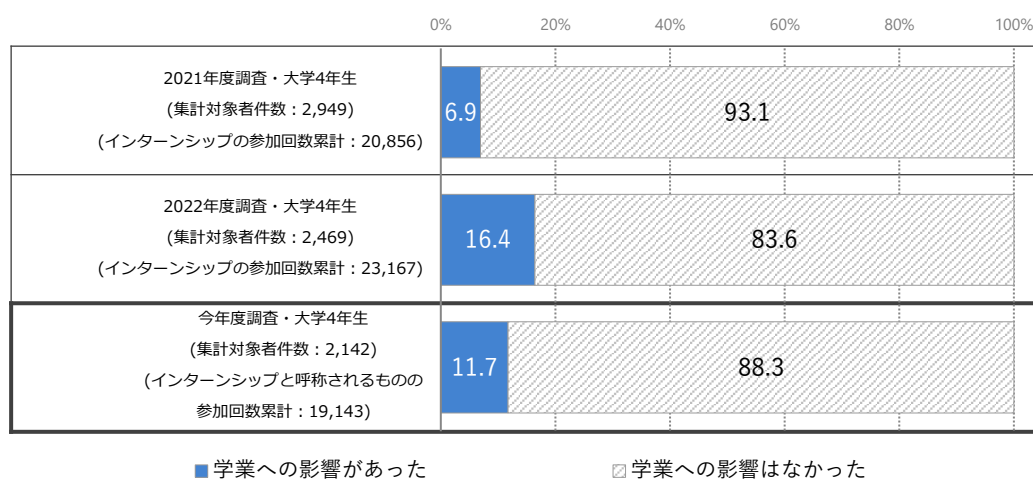
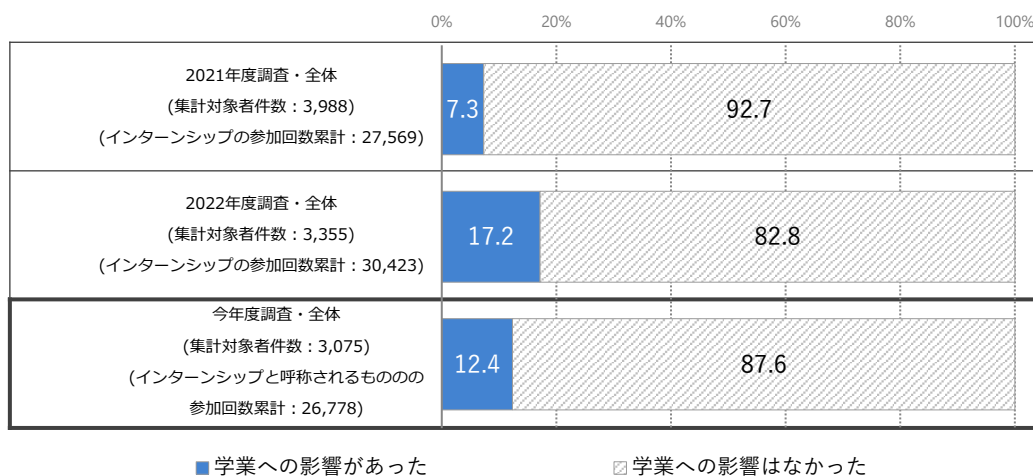
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：有給のものとは、企業の業務内容の説明や職場見学のみのもは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。その上で、就業体験を伴ったインターンシップと呼称されるもののうち、有給のものが何件あったかで割合を算出している。

⑦参加したインターンシップと呼称されるものの学業(授業)への影響

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、学業への影響※2があったかどうかを集計すると、約1割が「学業への影響があった」とした。

2022年度調査と比較すると、「学業への影響があった」とする回答割合が減少した。



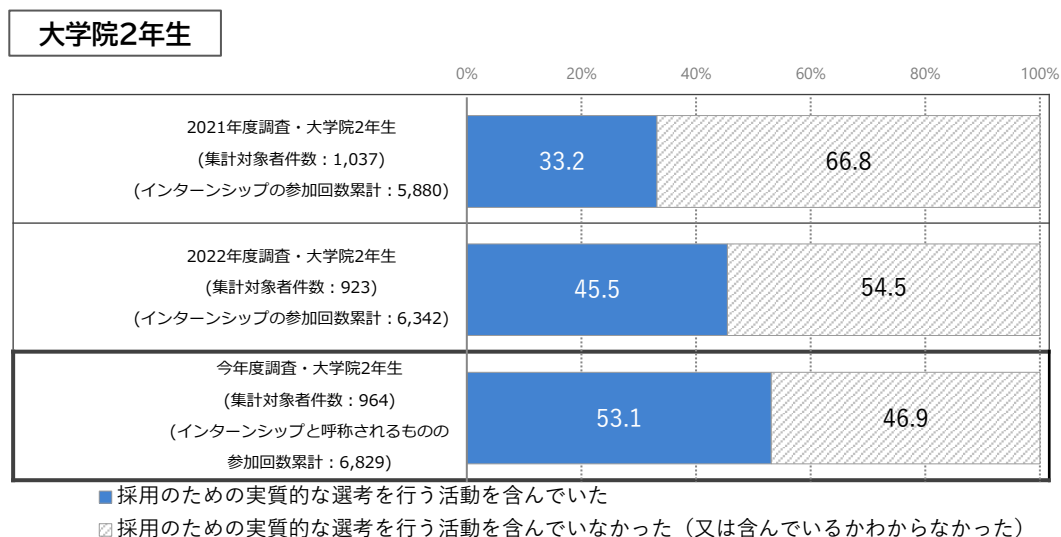
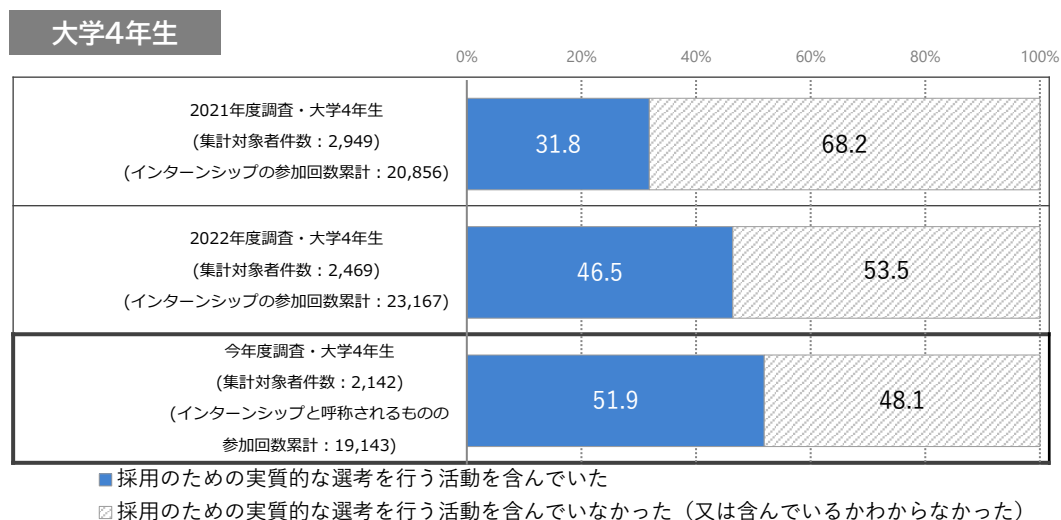
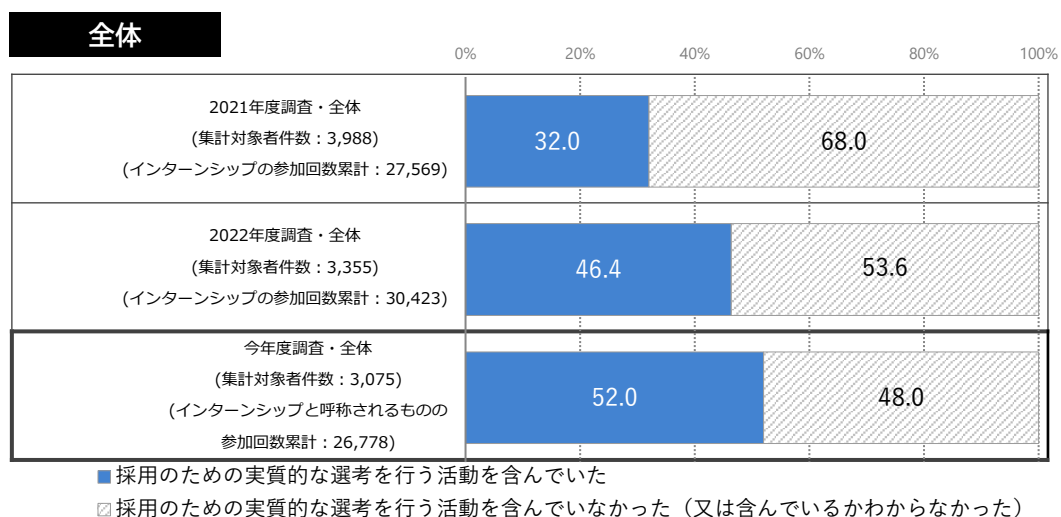
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：「学業への影響」とは、授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものについて考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。

⑧インターンシップと呼称されるものにおける実質的な選考・採用実施の有無

参加したインターンシップと呼称されるもの※1のなかで、採用のための実質的な選考を行う活動※2を含んでいたかどうかを集計すると約5割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。

2022年度調査と比較すると、採用のための実質的な選考を行う活動を含んでいたとする回答割合が増加した。



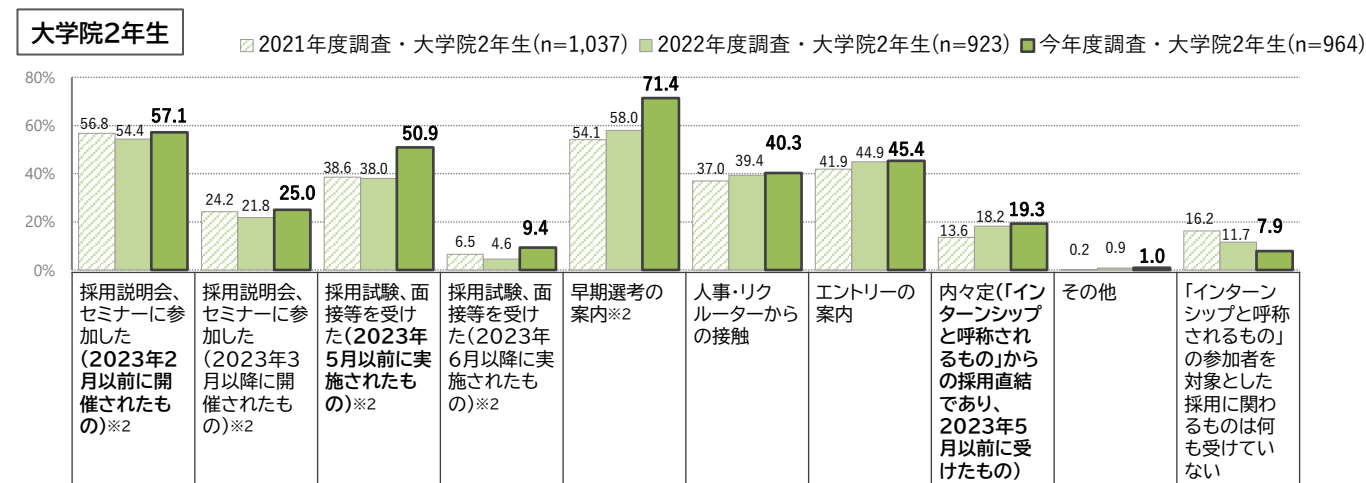
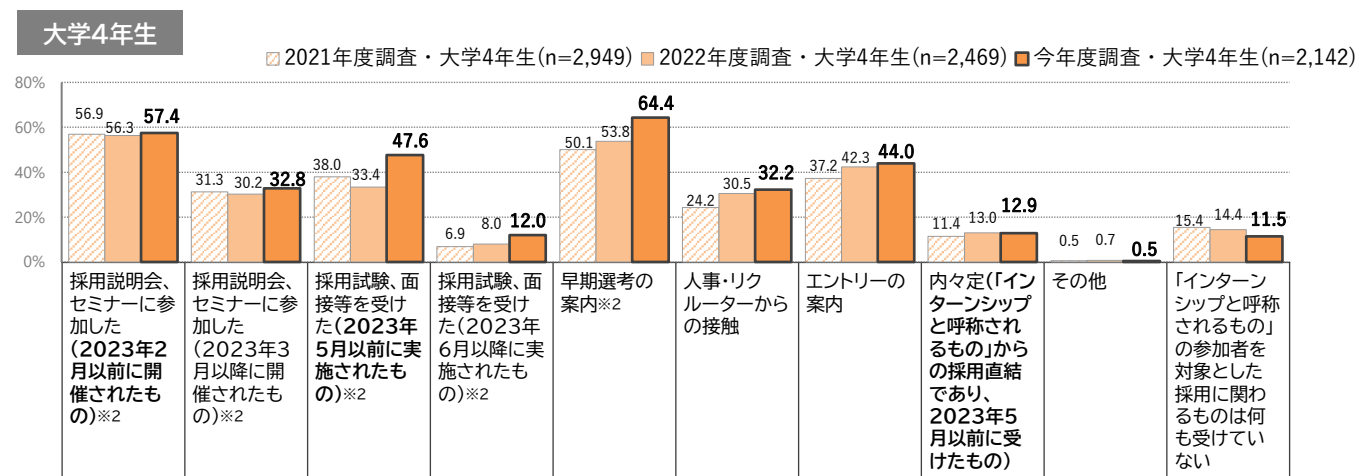
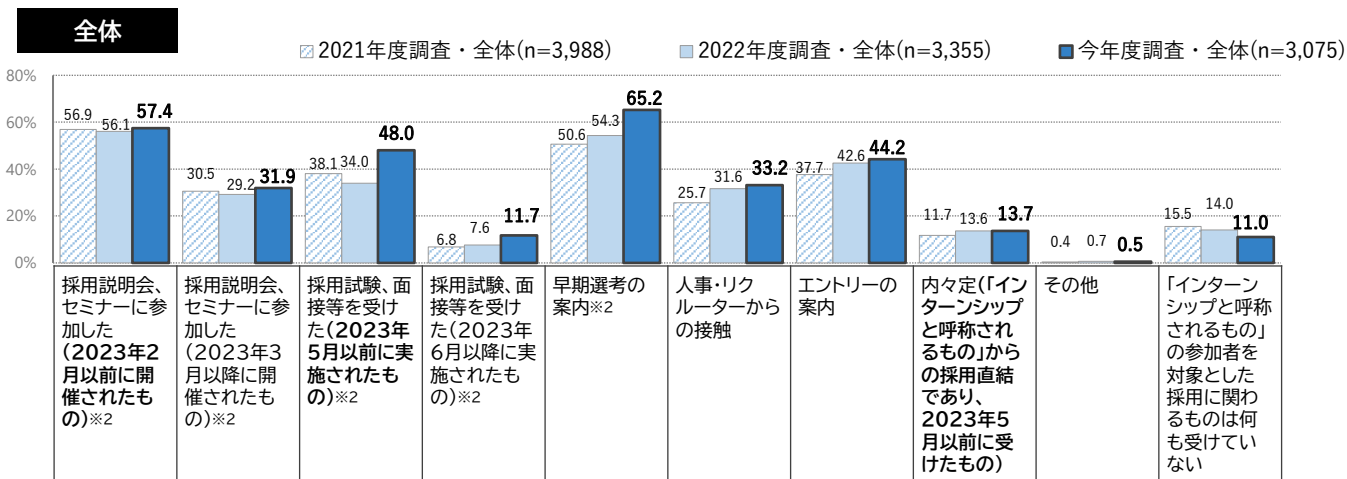
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップと呼称されるものの参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていたり、インターンシップと呼称されるものの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。

⑨インターンシップと呼称されるもの参加後に、参加者を対象としたアプローチを受けたか

インターンシップと呼称されるもの※1参加後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けたかどうかを集計すると、「早期選考の案内」が約7割、「採用説明会・セミナーに参加した(2023年2月以前に開催されたもの)」が約6割、「エントリーの案内」が約4割となった。

過年度調査と比較すると、「早期選考の案内」が増加傾向にある。

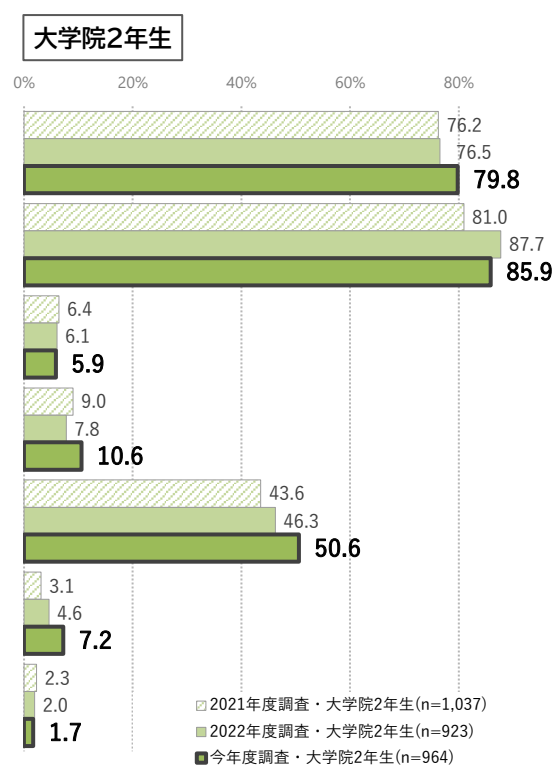
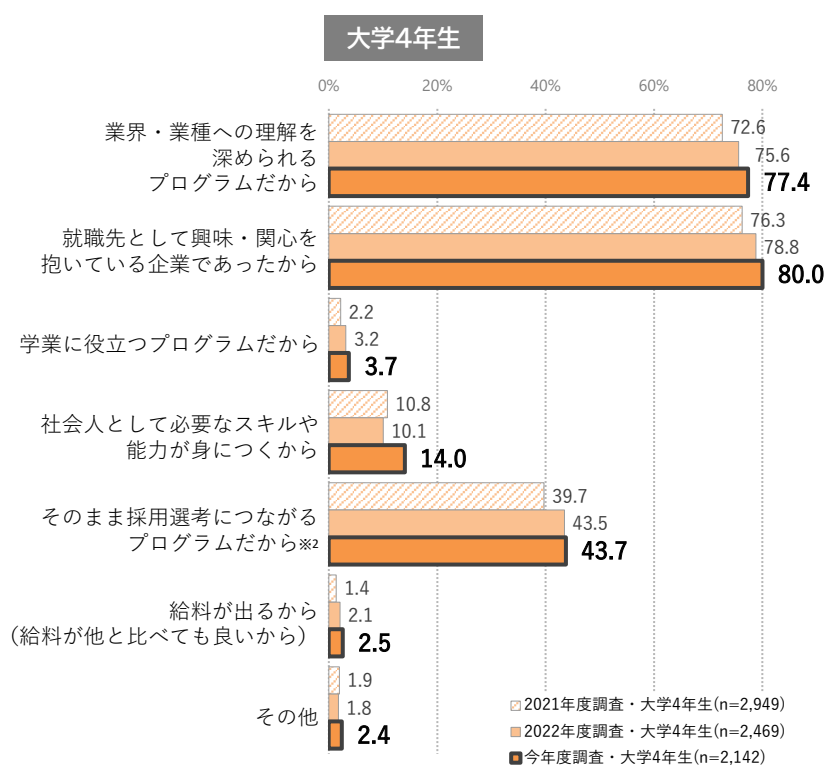
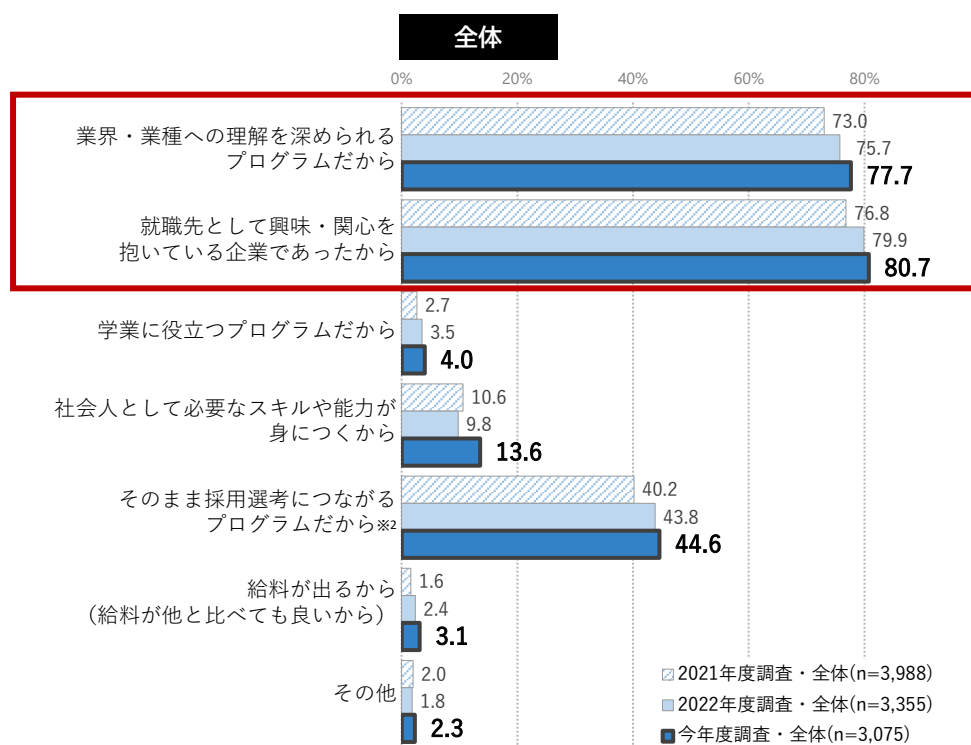


※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：2022年度調査以前の選択肢は文頭に「インターンシップ参加者を対象とした」がついていたが、今年度調査から削除した。

⑩インターンシップと呼称されるものの参加基準・選択した理由

どのような基準で参加したインターンシップと呼称されるもの※1を選択したかについて、「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」が約8割、「そのまま採用選考につながるプログラムだから」の回答割合も約4割と比較的高く、いずれも過年度調査と比較して高まっている。



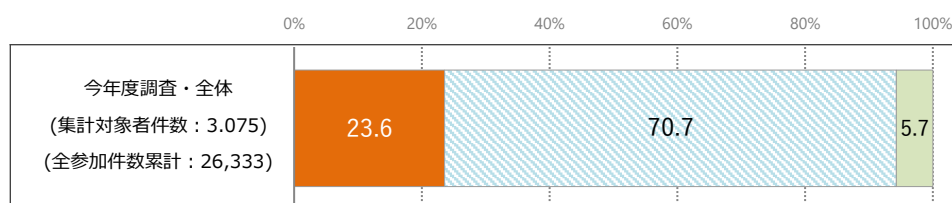
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：2022年度調査以前の選択肢は「採用選考につながるプログラムだから」。

⑪インターンシップと呼称されるものへの参加方法について

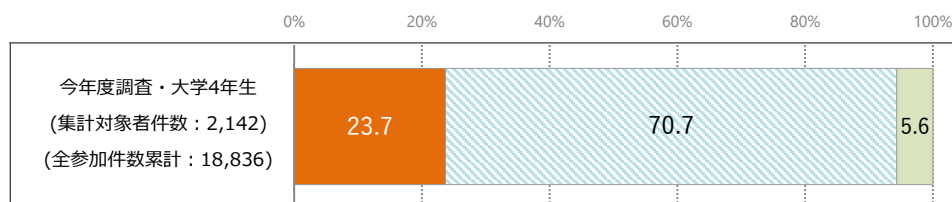
インターンシップと呼称されるもの※1への参加方法すべての企業数を累計※2し、実施方法別の企業数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの実施」が最も多く約7割となっている。「対面のみでの参加」は約2割、「対面とウェブ等の両方での参加」は約1割。

全体



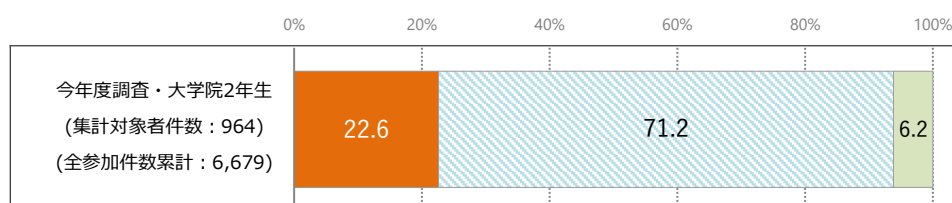
■ 対面のみでの参加 ■ ウェブ等のみでの参加 ■ 対面とウェブ等の両方での参加

大学4年生



■ 対面のみでの参加 ■ ウェブ等のみでの参加 ■ 対面とウェブ等の両方での参加

大学院2年生



■ 対面のみでの参加 ■ ウェブ等のみでの参加 ■ 対面とウェブ等の両方での参加

※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：調査においては、合計で何件のインターンシップと呼称されるものに参加したかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加件数」と後者の「方法別で尋ねた参加件数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(2) インターンシップと呼称されるものの効果についての認識

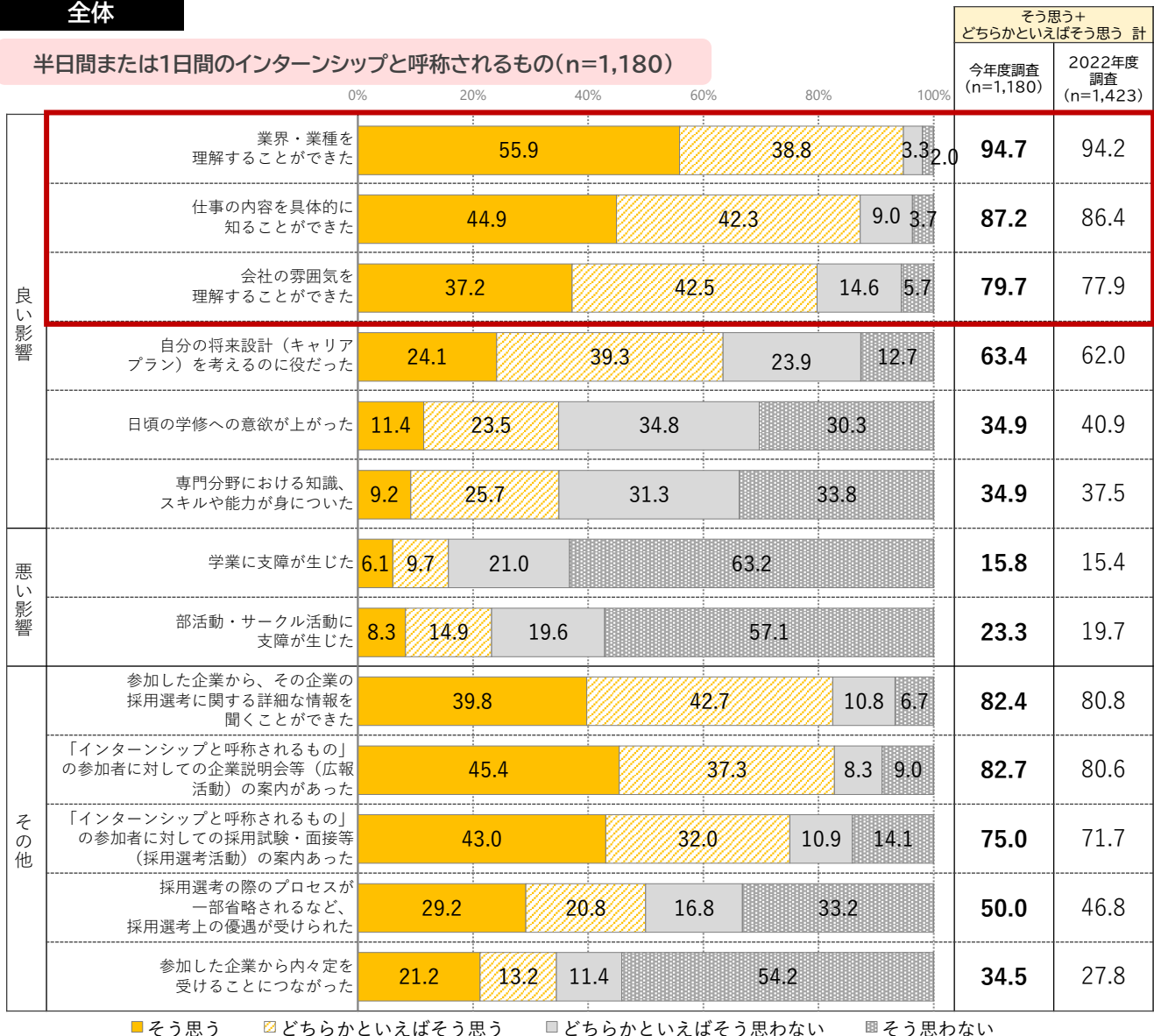
①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

インターンシップと呼称されるもの※1に参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップと呼称されるものを日数別に集計すると※2、「半日または1日間のインターンシップと呼称されるもの」では、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上、「仕事の内容を具体的に知ることができた」も約9割、「会社の雰囲気を理解することができた」も約8割と高くなっている。

2022年度調査と比較すると、「参加した企業から内々定を受ける事につながった」が高くなっている。一方、「日頃の学修への意欲が上がった」は低くなっている。

全体

半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの(n=1,180)



※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：「半日間又は1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

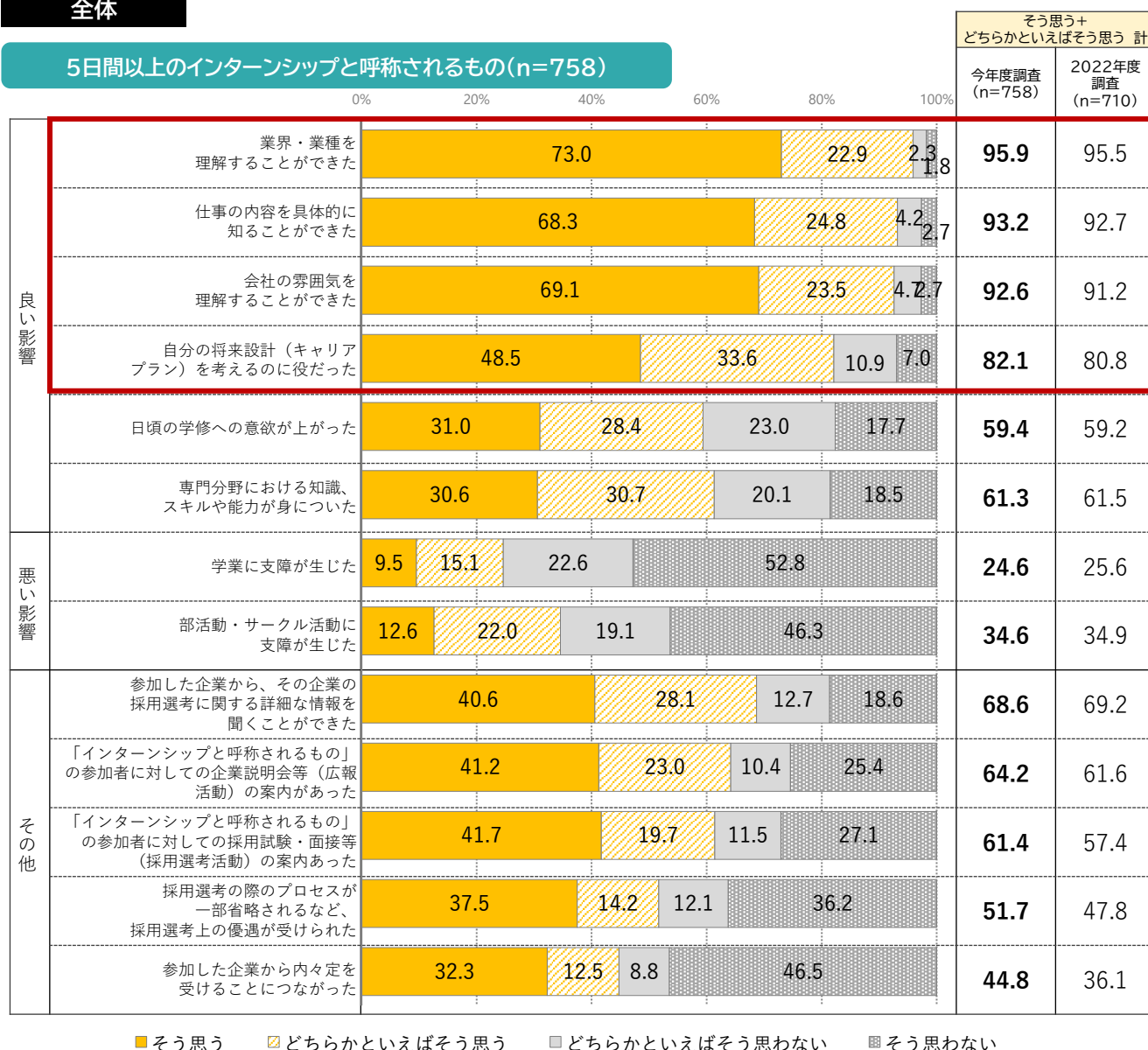
①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの※1」でも、「半日又は1日間のインターンシップと呼称されるもの」と同様に、「業界・業種を理解することができた」「仕事の内容を具体的に知ることができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。さらに「会社の雰囲気を理解することができた」も約9割、「自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった」も約8割と高い。

2022年度調査と比較すると、「参加した企業から内々定を受ける事につながった」が高くなっている。

全体

5日間以上のインターンシップと呼称されるもの(n=758)



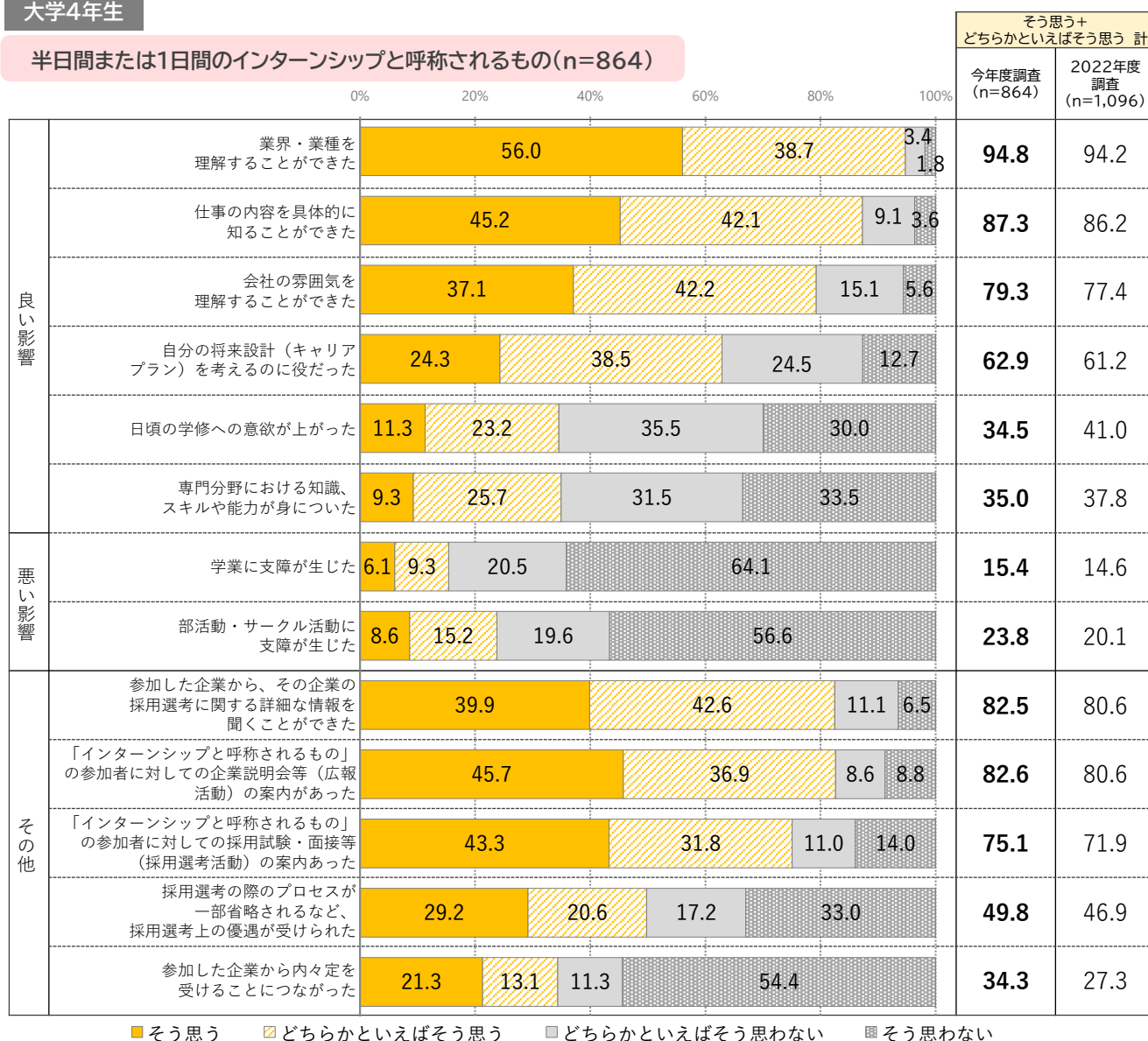
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：「半日又は1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

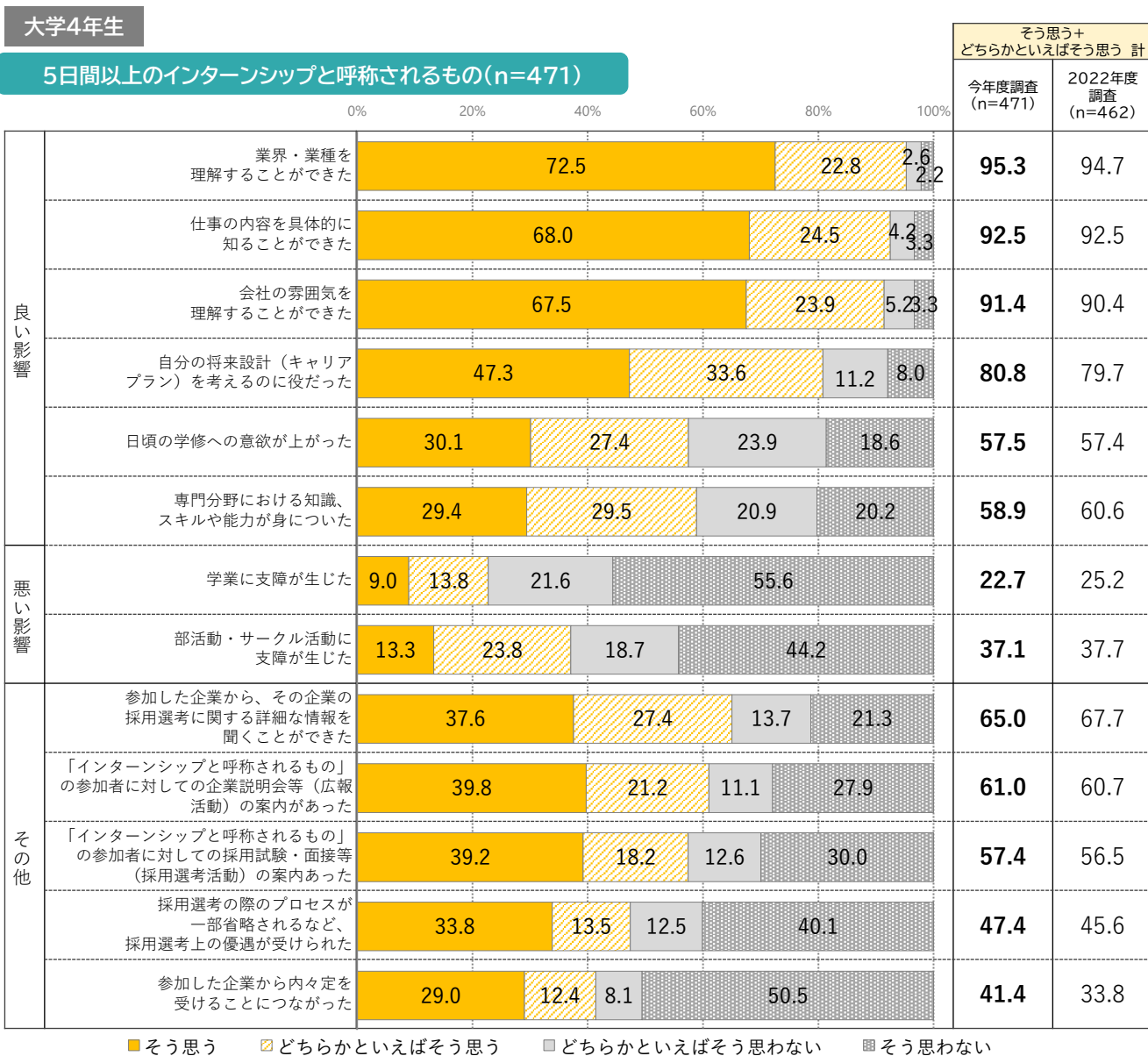
①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学4年生

半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの(n=864)



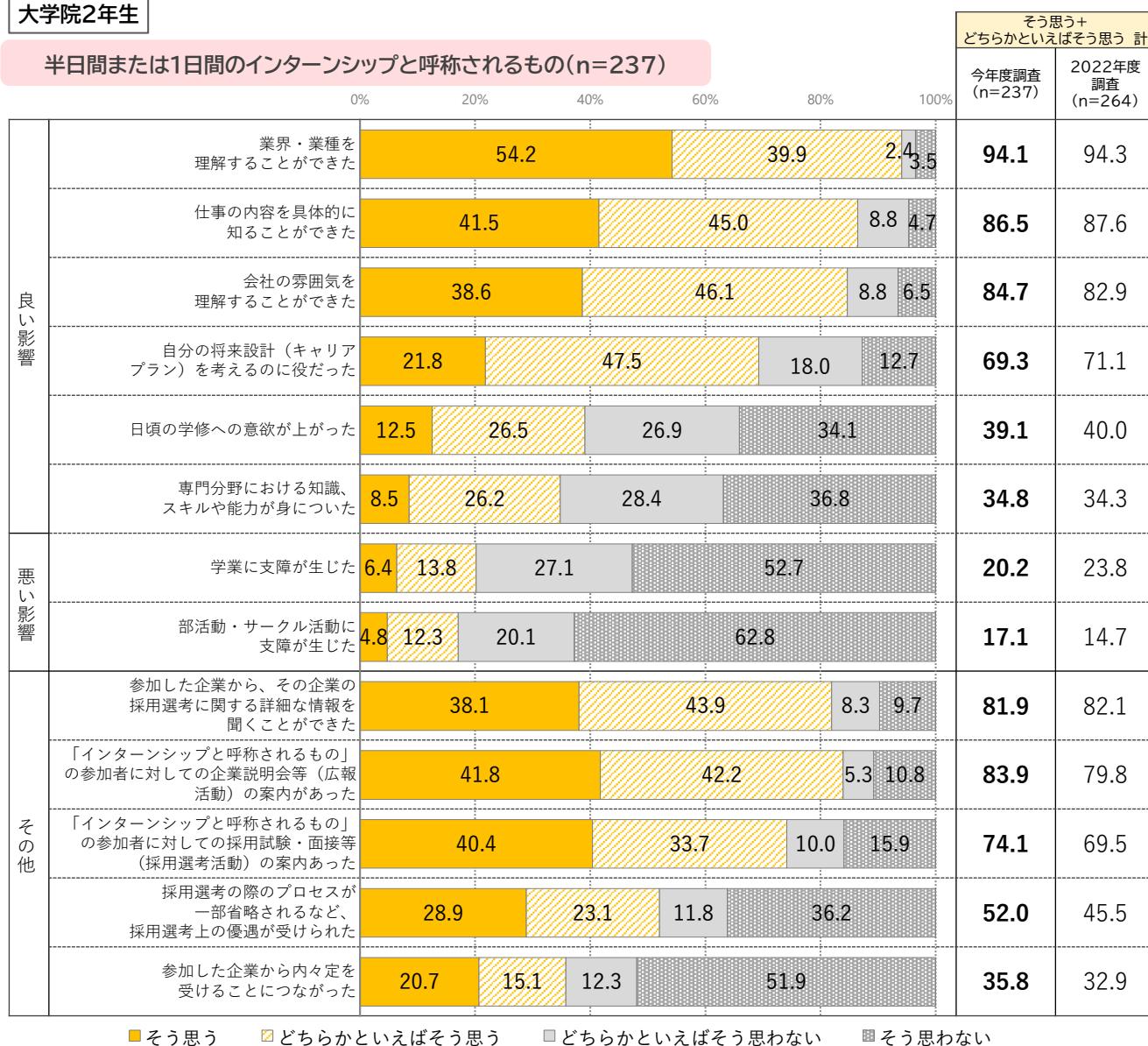
①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果



①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学院2年生

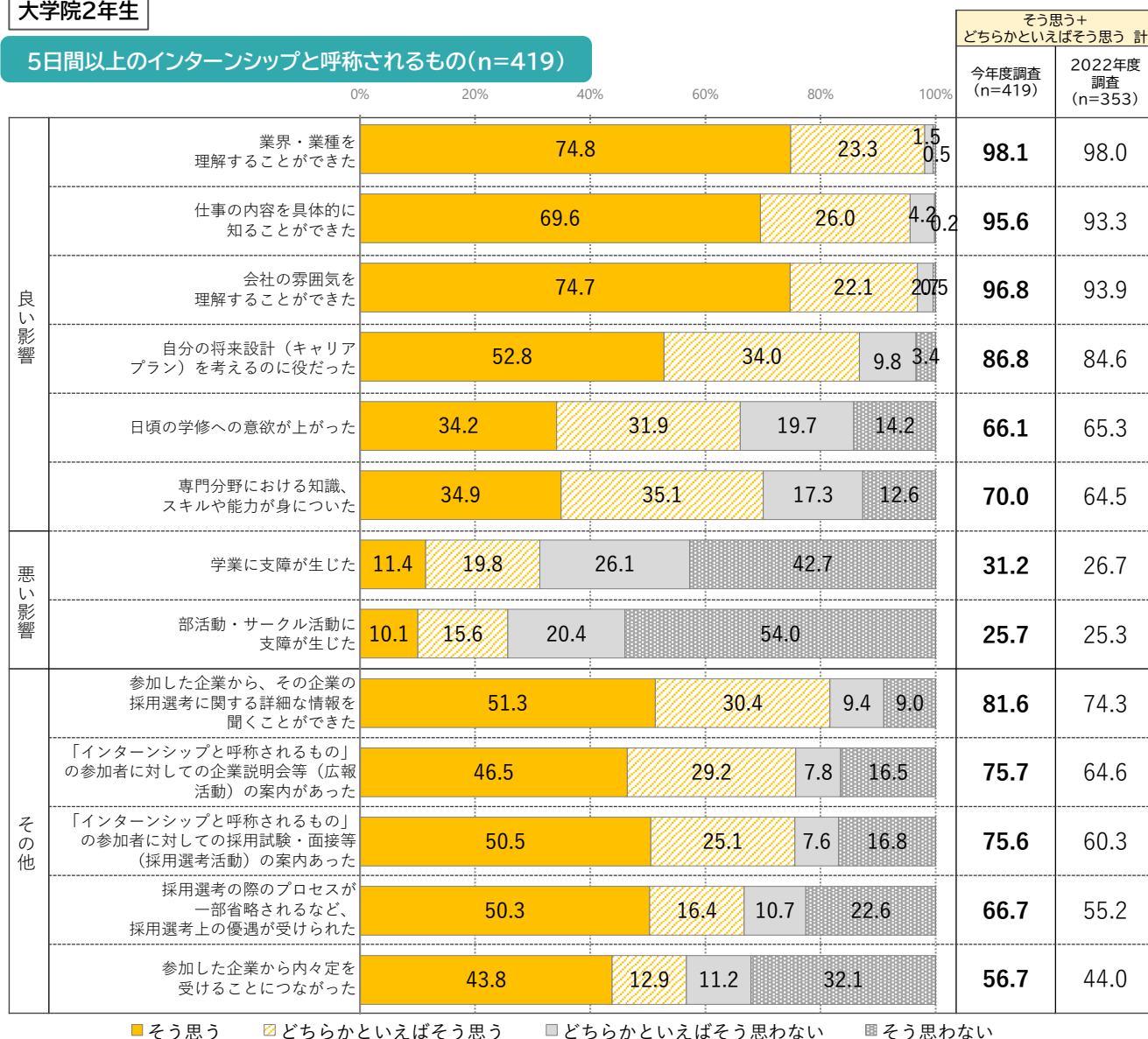
半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの(n=237)



①インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果

大学院2年生

5日間以上のインターンシップと呼称されるもの(n=419)



②インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果の比較

インターンシップと呼称されるもの※1に参加してどのような効果があったと感じたかについて、参加したインターンシップと呼称されるもので最も長かった日数別に「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計値を比較した。「良い影響」「悪い影響」共に、「半日又は1日間のインターンシップと呼称されるもの」に比べ「5日以上」のインターンシップと呼称されるものの方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている項目が多い※2。

全体

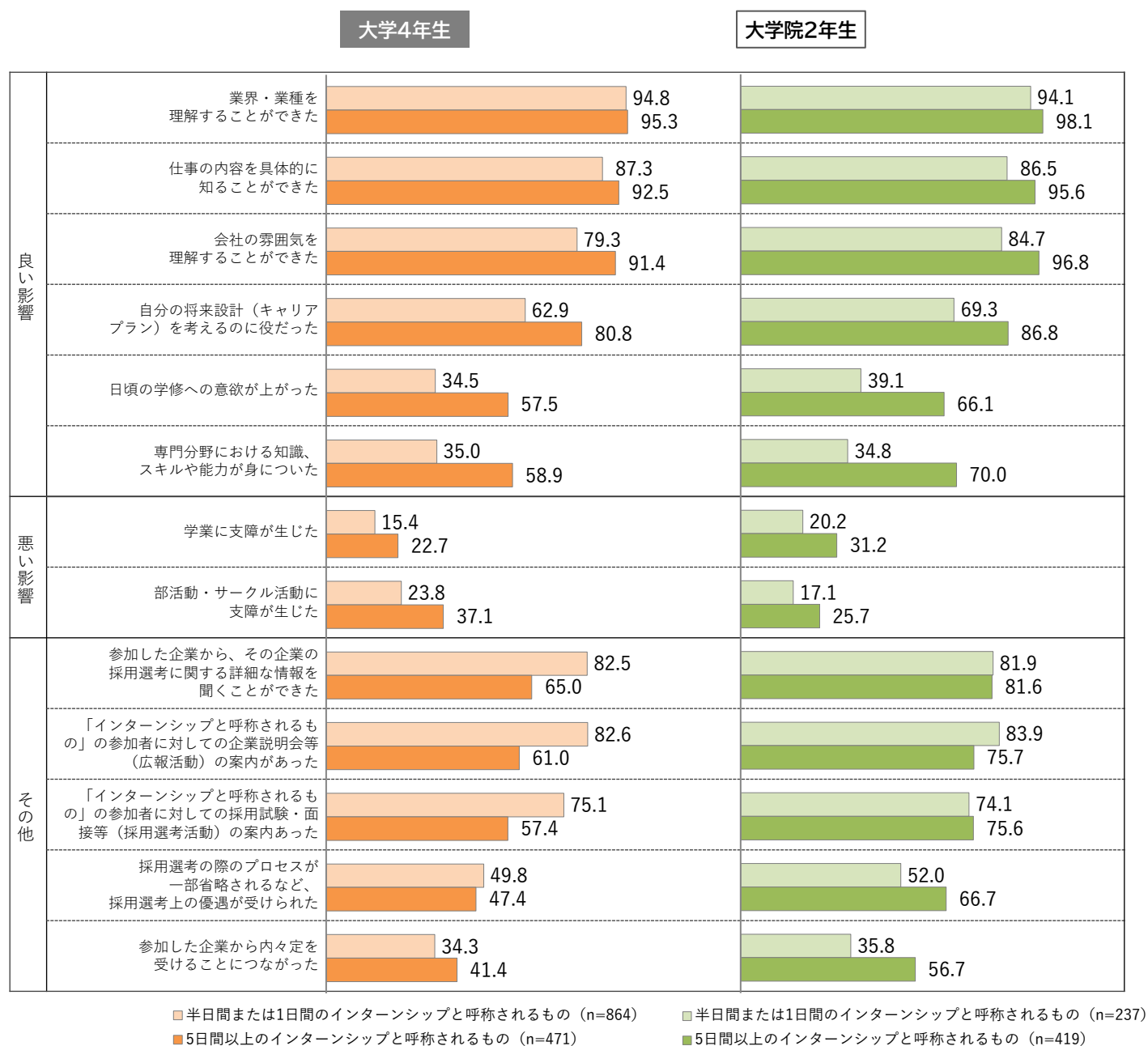
良い影響	業界・業種を理解することができた	94.7	95.9
	仕事の内容を具体的に知ることができた	87.2	93.2
	会社の雰囲気を理解することができた	79.7	92.6
	自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった	63.4	82.1
	日頃の学修への意欲が上がった	34.9	59.4
	専門分野における知識、スキルや能力が身についた	34.9	61.3
悪い影響	学業に支障が生じた	15.8	24.6
	部活動・サークル活動に支障が生じた	23.3	34.6
その他	参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた	82.4	68.6
	「インターンシップと呼称されるもの」の参加者に対しての企業説明会等（広報活動）の案内があった	82.7	64.2
	「インターンシップと呼称されるもの」の参加者に対しての採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった	75.0	61.4
	採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた	50.0	51.7
	参加した企業から内々定を受けることにつながった	34.5	44.8

■ 半日間または1日間のインターンシップと呼称されるもの（n=1,180）
 ■ 5日間以上のインターンシップと呼称されるもの（n=758）

※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

※2：「半日間又は1日間のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「半日」もしくは「1日間」に該当する者、「5日間以上のインターンシップと呼称されるもの」についての集計対象者は、参加したインターンシップと呼称されるもののうち最長が「5日間」以上に該当する者とした上で、「参加したうちの最も長いインターンシップと呼称されるものについて」答えてもらうよう設問を設定した。

②インターンシップと呼称されるものに参加して感じた効果の比較



第四章 就職活動内容について

第四章 就職活動内容について

(1) 企業説明会やセミナー等の参加状況

①企業説明会やセミナー等の参加時期

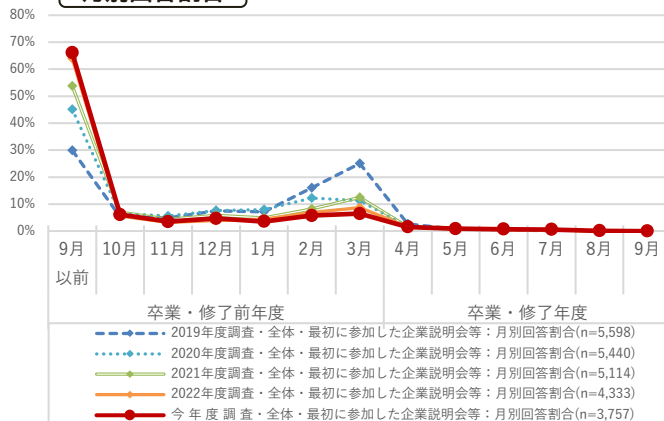
企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期前である「2022年9月以前」の回答割合が約6割と最も高くなっている※1。「参加のピーク」については、約3割が「2023年3月」と回答しており最も割合が高い※2。「最後に参加した時期」については、「2023年3月」の回答割合が約2割と最も高く、「2023年4月」「2023年5月」と続く。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」共に、少しずつ時期が早まっている。

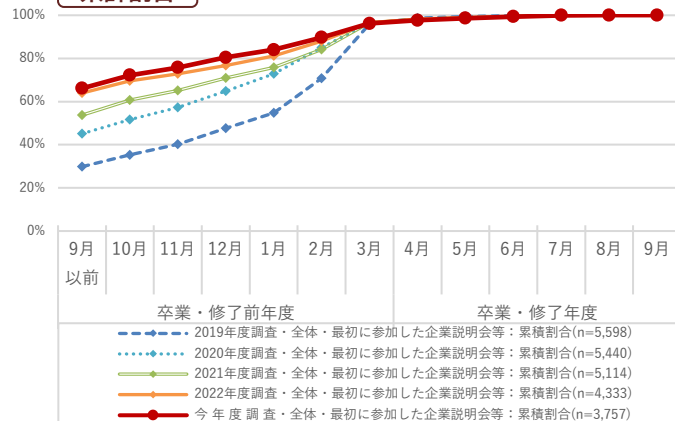
全体

最初に参加した時期

月別回答割合

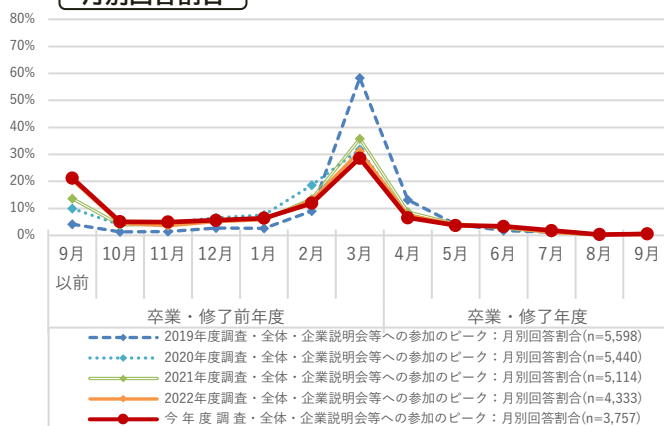


累計割合

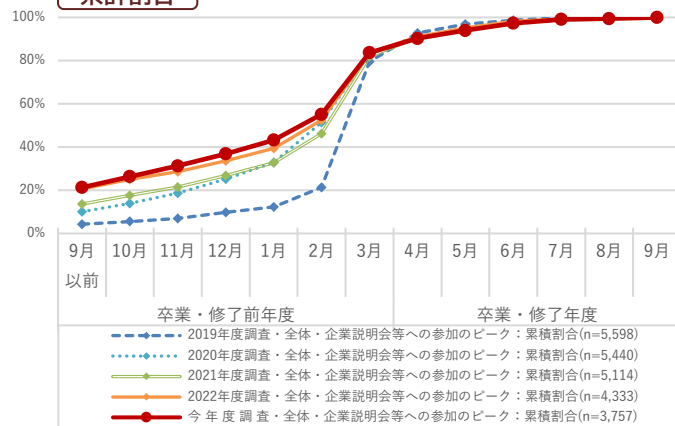


参加のピーク

月別回答割合

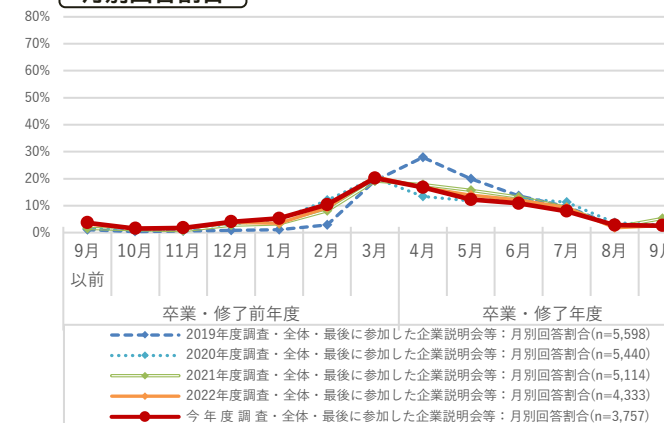


累計割合

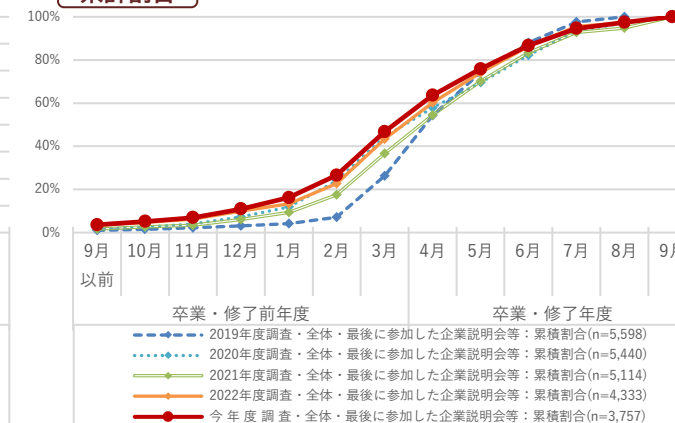


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合



※1：企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

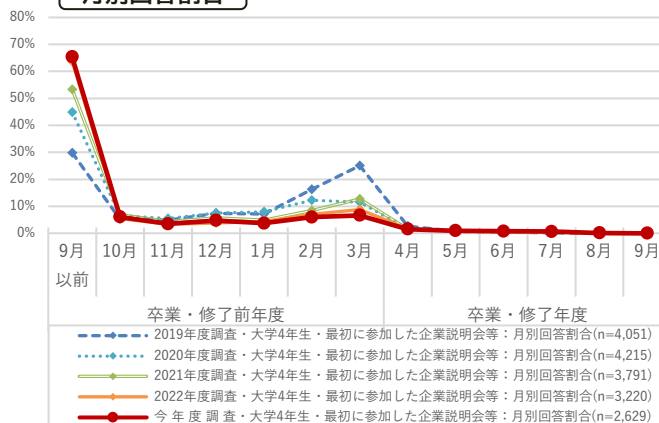
※2：「参加のピーク」および「最後に参加した時期」について、今年度調査では「2022年9月以降（予定）」を選択肢として設けているが、グラフ中では「卒業・修了年度9月」の値として示している（以降、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

①企業説明会やセミナー等の参加時期

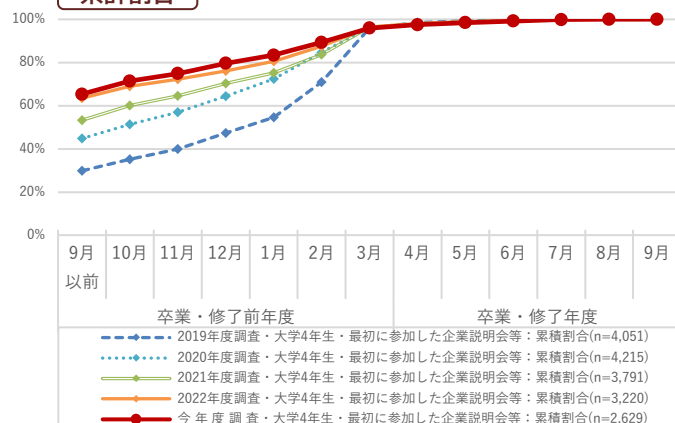
大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

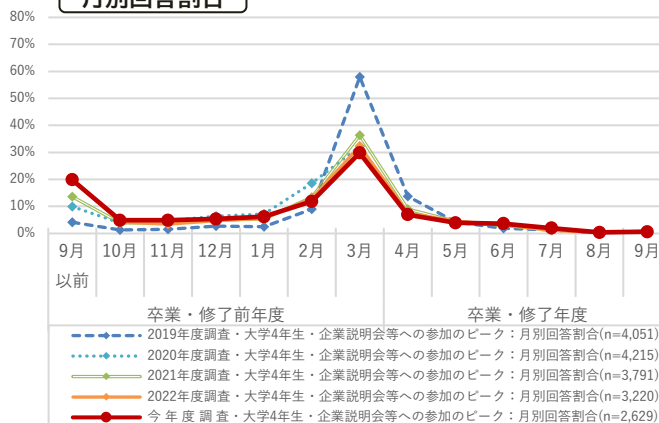


累計割合

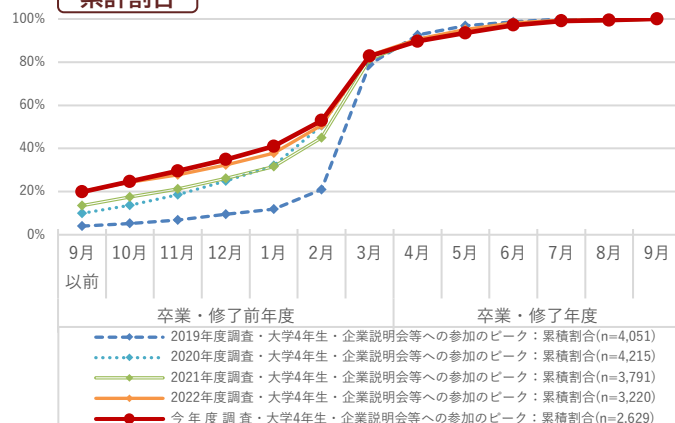


参加のピーク

月別回答割合

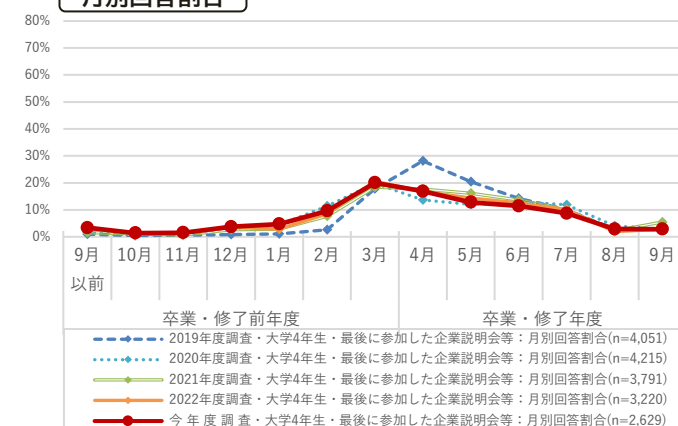


累計割合

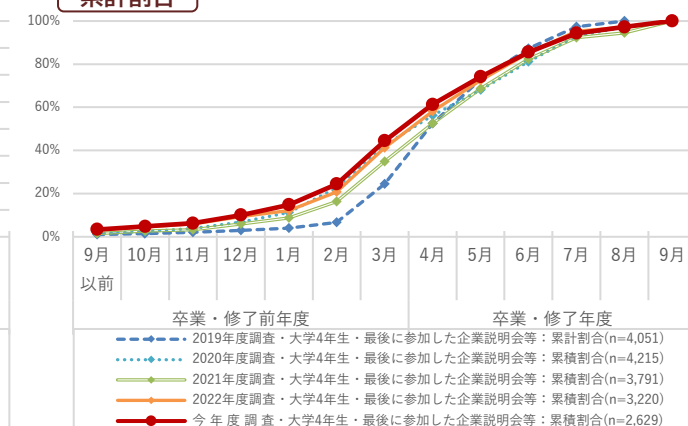


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合

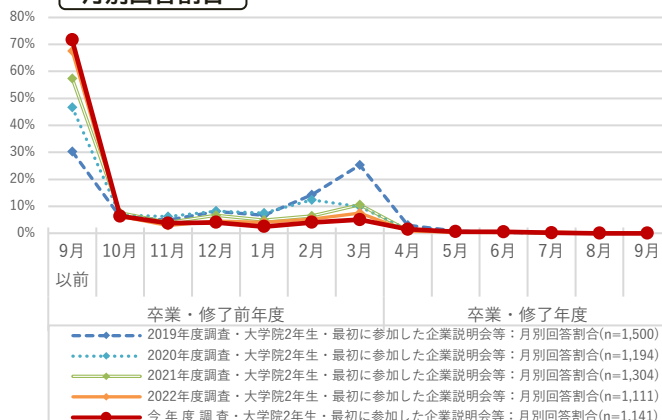


①企業説明会やセミナー等の参加時期

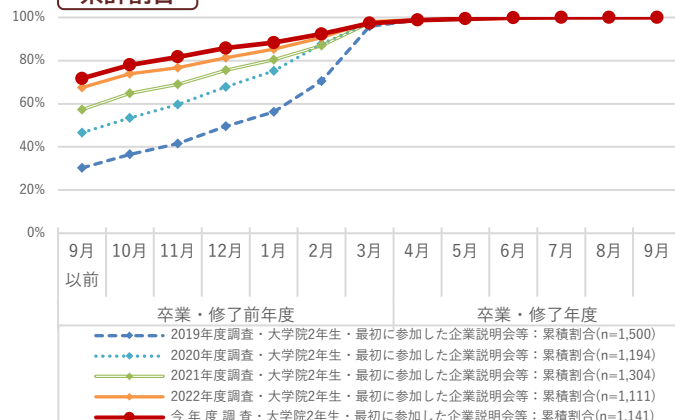
大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

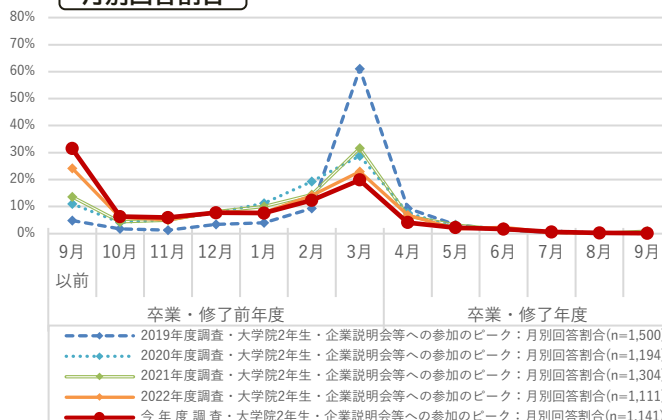


累計割合

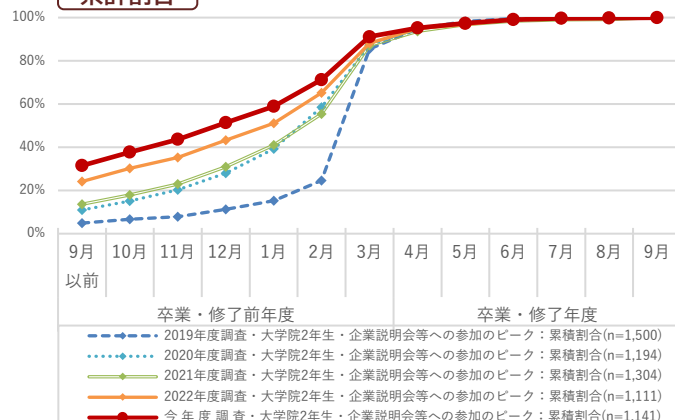


参加のピーク

月別回答割合

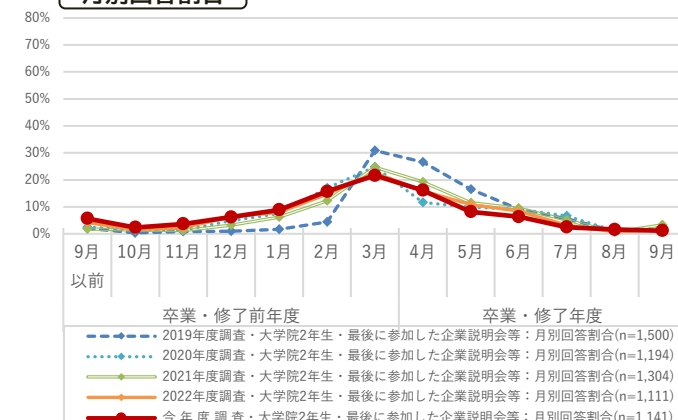


累計割合

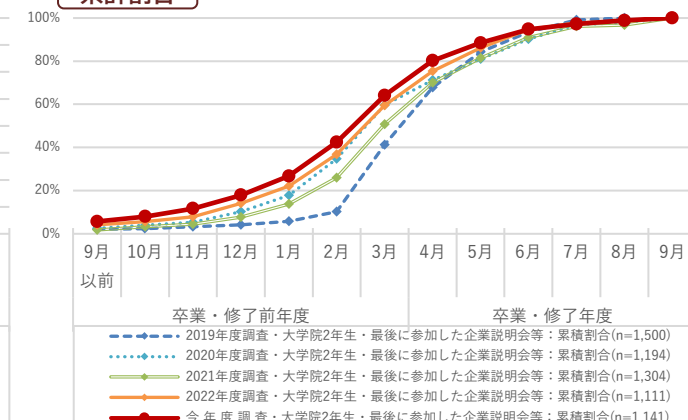


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合



①企業説明会やセミナー等の参加時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	35.7	16.1	9.8	4.5	6.1	3.5	4.7	3.6	5.7	6.4	1.5	0.9	0.7	0.6	0.1	0.0
累積割合	35.7	51.8	61.6	66.1	72.2	75.7	80.4	84.0	89.7	96.1	97.7	98.6	99.3	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.7	4.1	9.8	4.7	5.0	5.0	5.6	6.3	11.9	28.6	6.6	3.7	3.4	1.8	0.3	0.5
累積割合	2.7	6.8	16.6	21.2	26.3	31.3	36.8	43.2	55.1	83.7	90.3	94.0	97.3	99.1	99.5	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.7	0.7	1.2	1.1	1.5	1.8	4.0	5.3	10.4	20.2	16.8	12.3	10.8	7.9	2.8	2.6
累積割合	0.7	1.3	2.5	3.7	5.2	7.0	11.0	16.2	26.6	46.8	63.6	75.8	86.7	94.6	97.4	100.0

大学4年生

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	34.8	16.1	9.8	4.6	6.1	3.5	4.8	3.7	6.0	6.6	1.5	0.9	0.8	0.6	0.1	0.0
累積割合	34.8	50.9	60.7	65.4	71.4	74.9	79.7	83.4	89.4	96.0	97.5	98.5	99.2	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.3	3.7	9.6	4.2	4.9	4.8	5.3	6.2	11.9	29.8	6.9	3.9	3.6	2.0	0.4	0.6
累積割合	2.3	6.0	15.6	19.8	24.7	29.6	34.9	41.0	52.9	82.7	89.6	93.5	97.1	99.1	99.4	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.6	0.6	1.2	1.0	1.4	1.5	3.7	4.8	9.6	20.0	16.9	12.8	11.4	8.7	2.9	2.8
累積割合	0.6	1.2	2.4	3.4	4.8	6.3	10.0	14.8	24.4	44.4	61.3	74.1	85.6	94.3	97.2	100.0

大学院2年生

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	42.6	15.4	9.8	3.7	6.3	3.7	4.0	2.5	4.0	5.0	1.5	0.6	0.5	0.2	0.0	0.0
累積割合	42.6	58.1	67.9	71.7	78.0	81.7	85.7	88.3	92.3	97.3	98.7	99.3	99.8	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.8	6.8	10.9	8.0	6.3	5.9	7.7	7.6	12.4	19.9	4.1	2.2	1.7	0.6	0.2	0.1
累積割合	5.8	12.6	23.5	31.5	37.8	43.7	51.4	59.0	71.3	91.2	95.2	97.4	99.1	99.7	99.9	100.0
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.2	1.0	1.4	2.2	2.3	3.7	6.2	8.9	15.7	21.7	16.1	8.2	6.3	2.5	1.6	1.2
累積割合	1.2	2.1	3.5	5.7	8.0	11.7	17.9	26.8	42.5	64.1	80.2	88.4	94.7	97.2	98.8	100.0

(2) エントリーシートの提出状況

①エントリーシートの提出時期

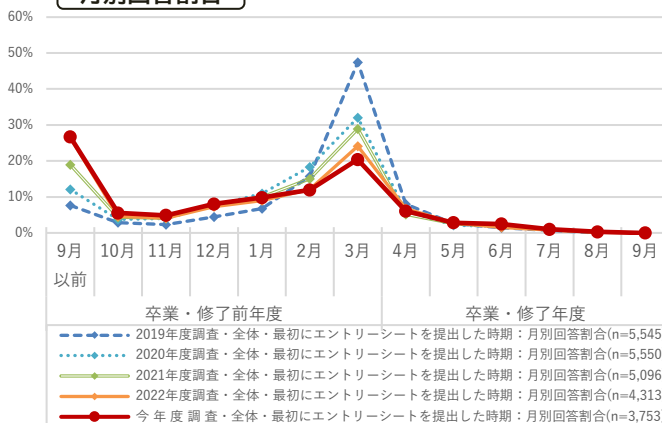
エントリーシートの提出時期について、「最初に提出した時期」は、「2022年9月以前」の回答割合が約3割と「2023年3月」を上回り最も高くなっている。「提出のピーク」は「2023年3月」の回答割合が約4割と最も高く、「最後に提出した時期」については、「2023年4月」の回答割合が約2割と最も高い。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」共に、少しずつ時期が早まっている。

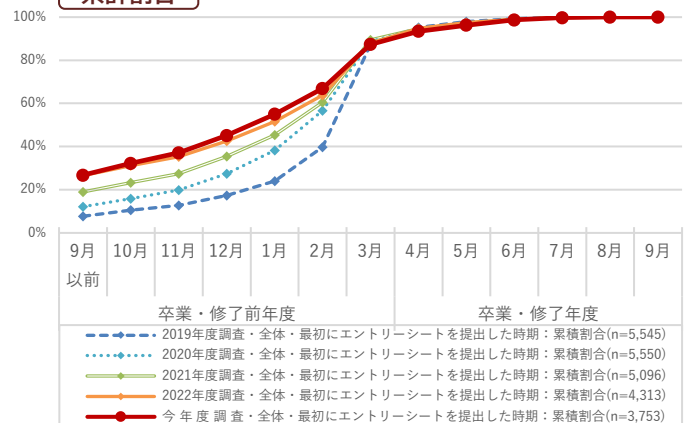
全体

最初に提出した時期

月別回答割合

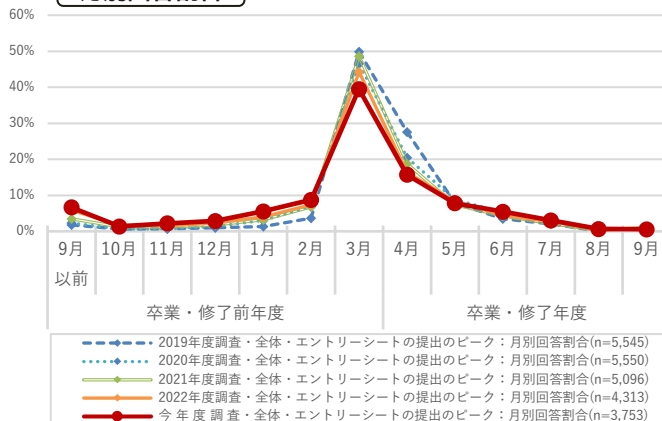


累計割合

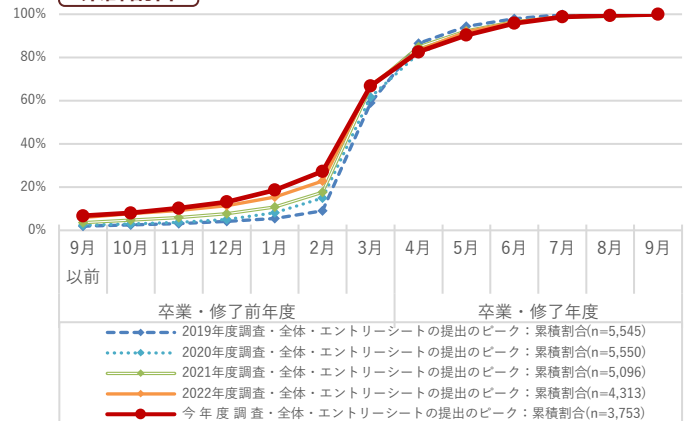


提出のピーク

月別回答割合

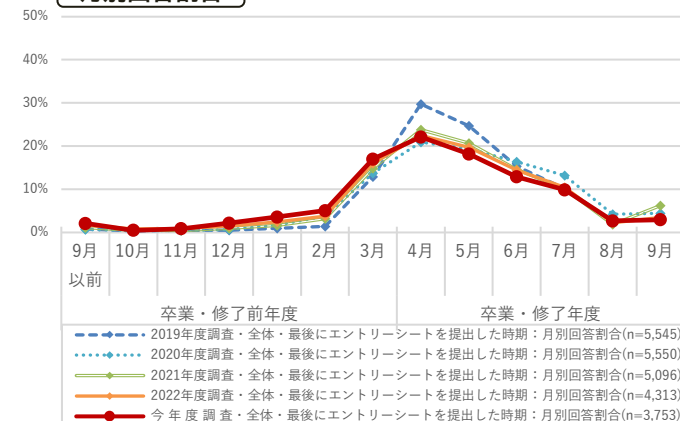


累計割合

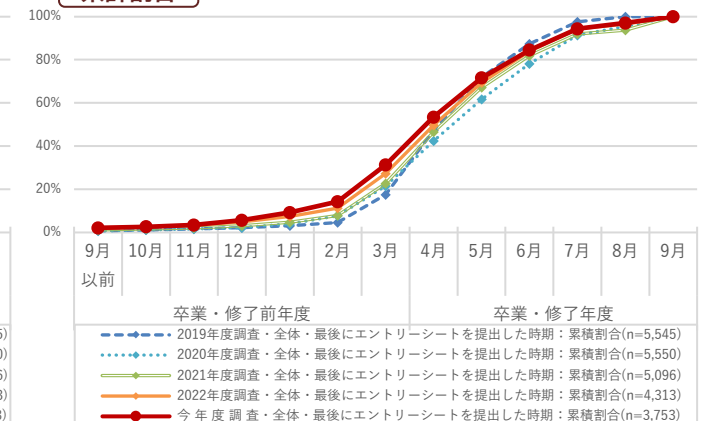


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合



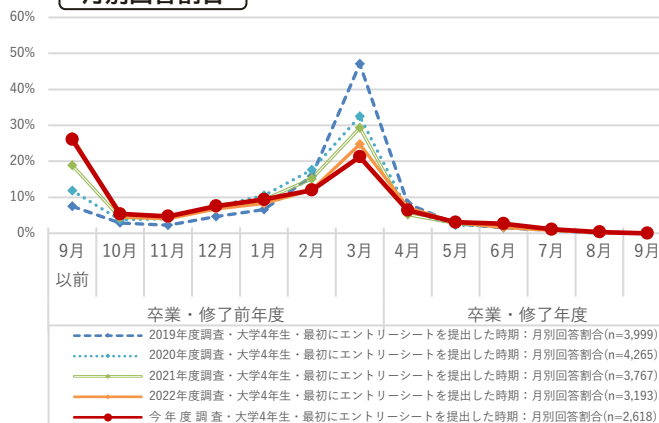
※1：エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

①エントリーシートの提出時期

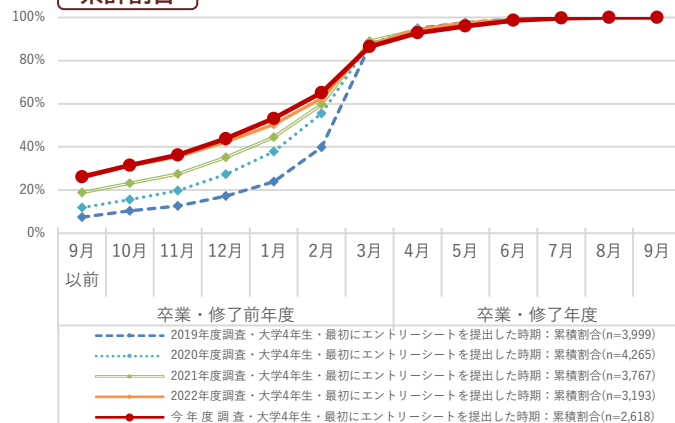
大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

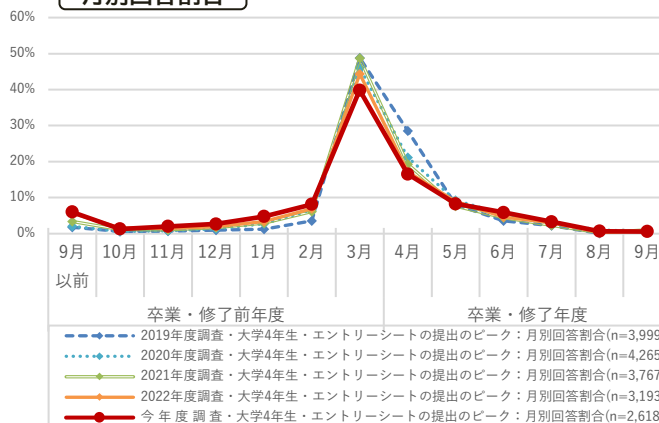


累計割合

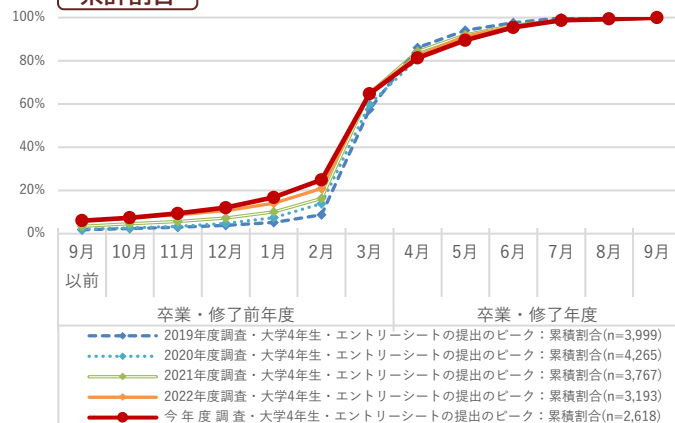


提出のピーク

月別回答割合

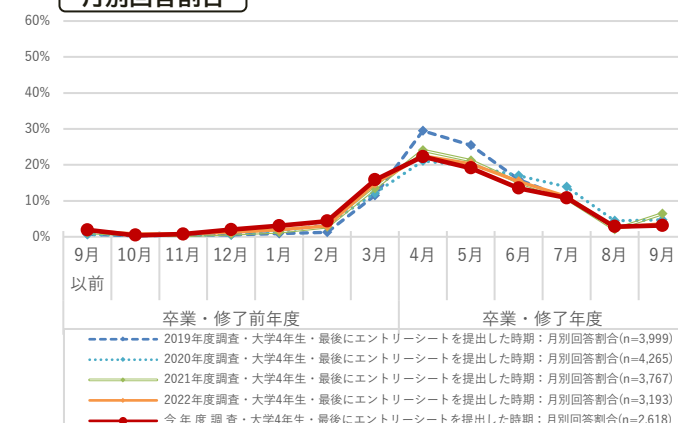


累計割合

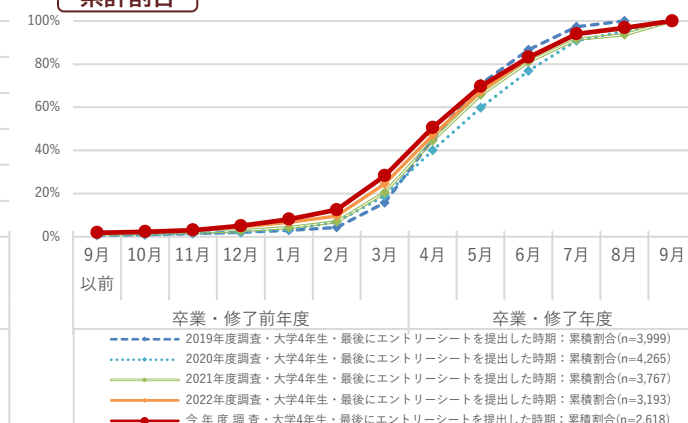


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合

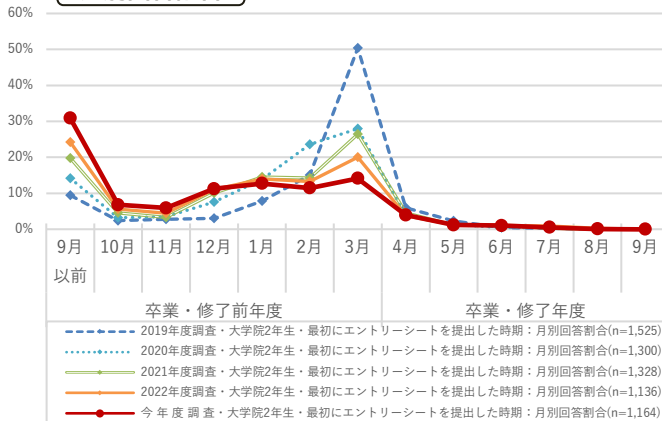


①エントリーシートの提出時期

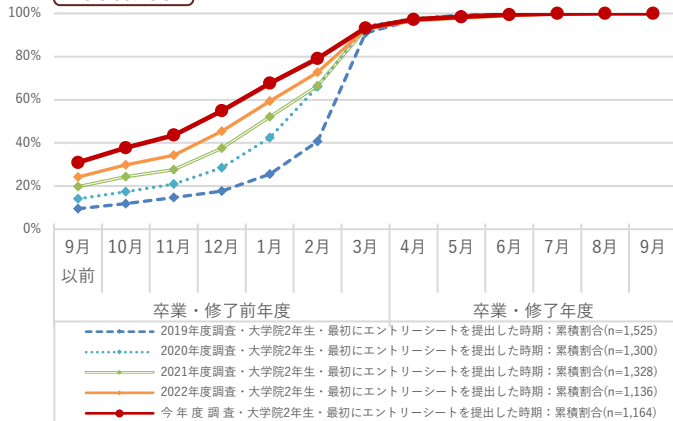
大学院2年生

最初に提出した時期

月別回答割合

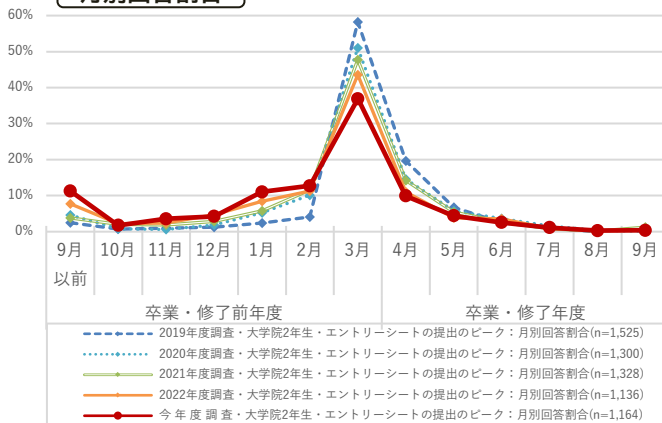


累計割合

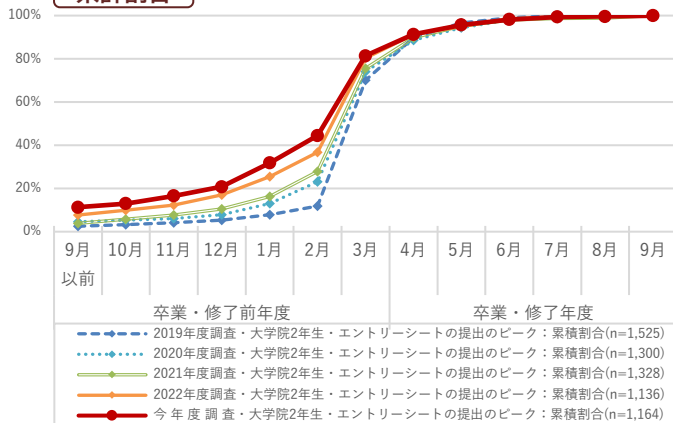


提出のピーク

月別回答割合

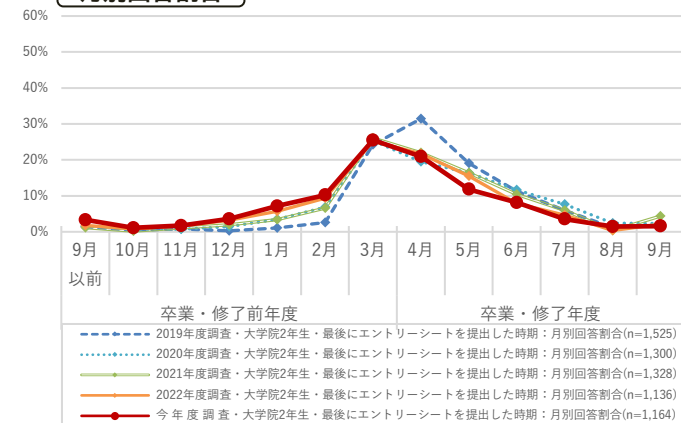


累計割合

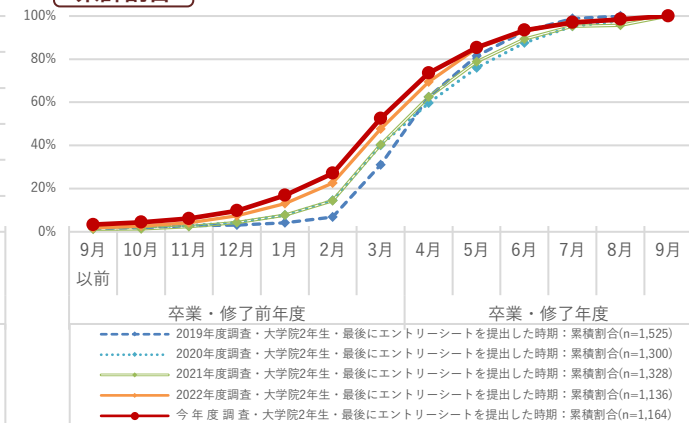


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合



①エントリーシートの提出時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.8	7.0	2.8	3.1	5.5	4.9	8.0	9.8	11.9	20.4	6.1	2.8	2.5	1.0	0.3	0.0
累積割合	13.8	20.8	23.6	26.7	32.3	37.1	45.2	55.0	66.9	87.3	93.4	96.2	98.7	99.7	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.5	2.7	1.5	1.0	1.4	2.2	2.9	5.5	8.7	39.5	15.7	7.8	5.5	3.0	0.6	0.6
累積割合	1.5	4.1	5.6	6.7	8.0	10.2	13.1	18.6	27.3	66.8	82.5	90.3	95.8	98.8	99.4	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.5	0.4	0.7	0.5	0.5	0.9	2.2	3.6	5.1	17.0	22.1	18.2	12.9	9.9	2.7	3.0
累積割合	0.5	0.9	1.6	2.1	2.6	3.5	5.6	9.2	14.3	31.3	53.4	71.6	84.5	94.3	97.0	100.0

大学4年生

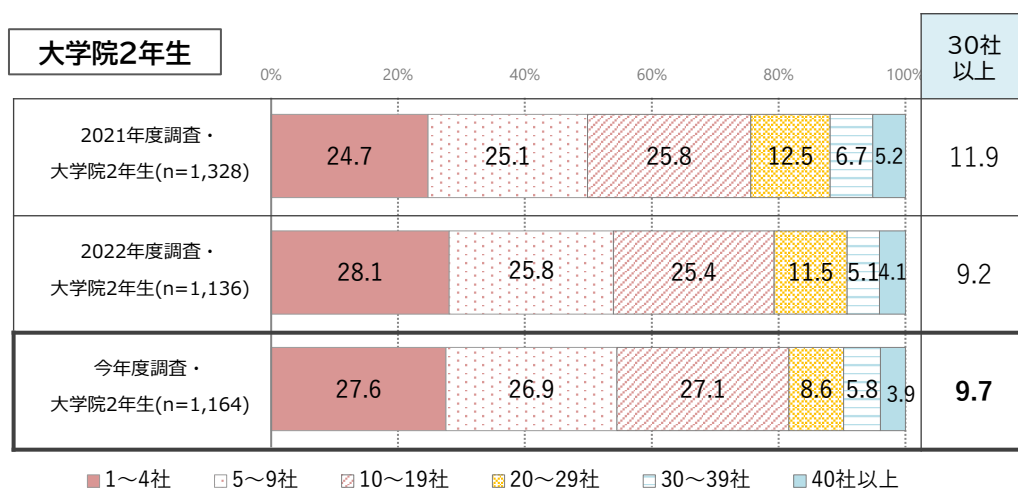
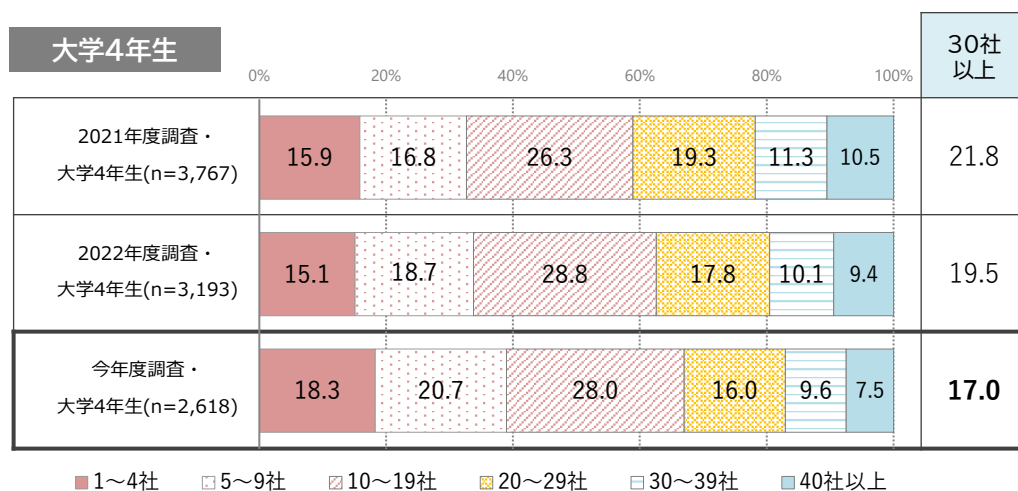
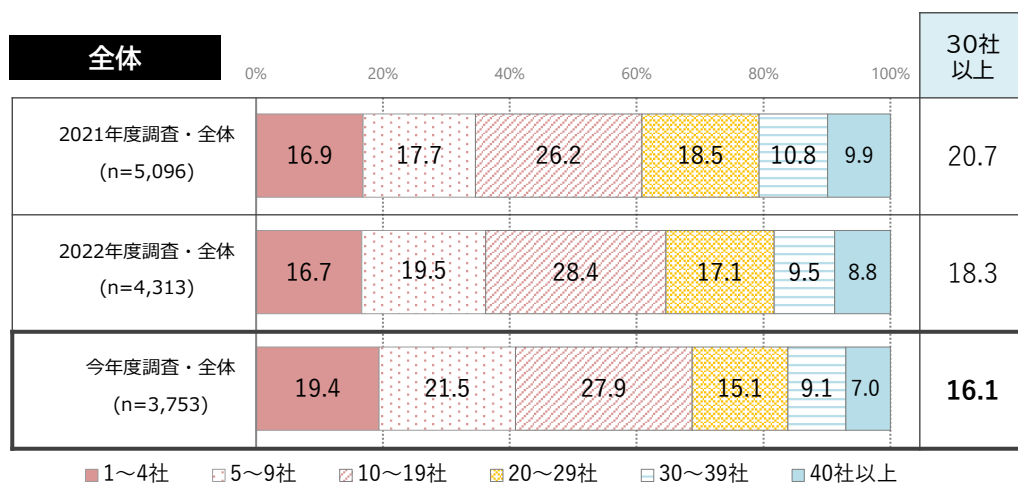
最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	13.1	6.9	2.8	3.3	5.4	4.7	7.6	9.4	12.0	21.3	6.4	3.1	2.7	1.1	0.3	0.0
累積割合	13.1	20.1	22.8	26.1	31.5	36.2	43.8	53.2	65.2	86.4	92.8	95.9	98.6	99.7	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.0	2.5	1.5	1.0	1.3	2.0	2.7	4.7	8.2	39.8	16.6	8.3	5.9	3.3	0.7	0.6
累積割合	1.0	3.5	5.0	6.0	7.3	9.3	12.0	16.7	24.9	64.7	81.3	89.6	95.4	98.7	99.4	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.4	0.3	0.7	0.5	0.4	0.7	2.0	3.1	4.3	15.8	22.3	19.1	13.5	10.8	2.9	3.2
累積割合	0.4	0.7	1.4	1.9	2.3	3.1	5.1	8.2	12.5	28.3	50.6	69.7	83.2	94.0	96.8	100.0

大学院2年生

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	18.7	7.3	3.0	2.0	6.8	5.9	11.3	12.7	11.5	14.1	4.0	1.2	1.0	0.5	0.1	0.0
累積割合	18.7	26.0	29.0	30.9	37.7	43.6	54.9	67.6	79.1	93.2	97.2	98.4	99.4	99.9	100.0	100.0
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.6	3.9	1.7	1.1	1.7	3.5	4.2	11.0	12.7	36.9	9.9	4.4	2.5	1.1	0.3	0.4
累積割合	4.6	8.5	10.2	11.3	13.0	16.5	20.7	31.8	44.5	81.4	91.3	95.7	98.3	99.4	99.6	100.0
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.1	0.9	0.5	0.9	1.1	1.7	3.6	7.1	10.2	25.5	20.9	11.8	8.1	3.5	1.5	1.6
累積割合	1.1	2.0	2.4	3.3	4.4	6.2	9.8	16.9	27.1	52.6	73.5	85.3	93.4	97.0	98.4	100.0

②エントリーシートの提出数

何社にエントリーシートを提出したかについて、「10～19社」であった者の割合が約3割で最も高くなっている。
 なお、30社以上にエントリーシートを提出した者が約2割となっている。
 過年度調査と比較すると、「30社以上」の回答割合が減少傾向にある。



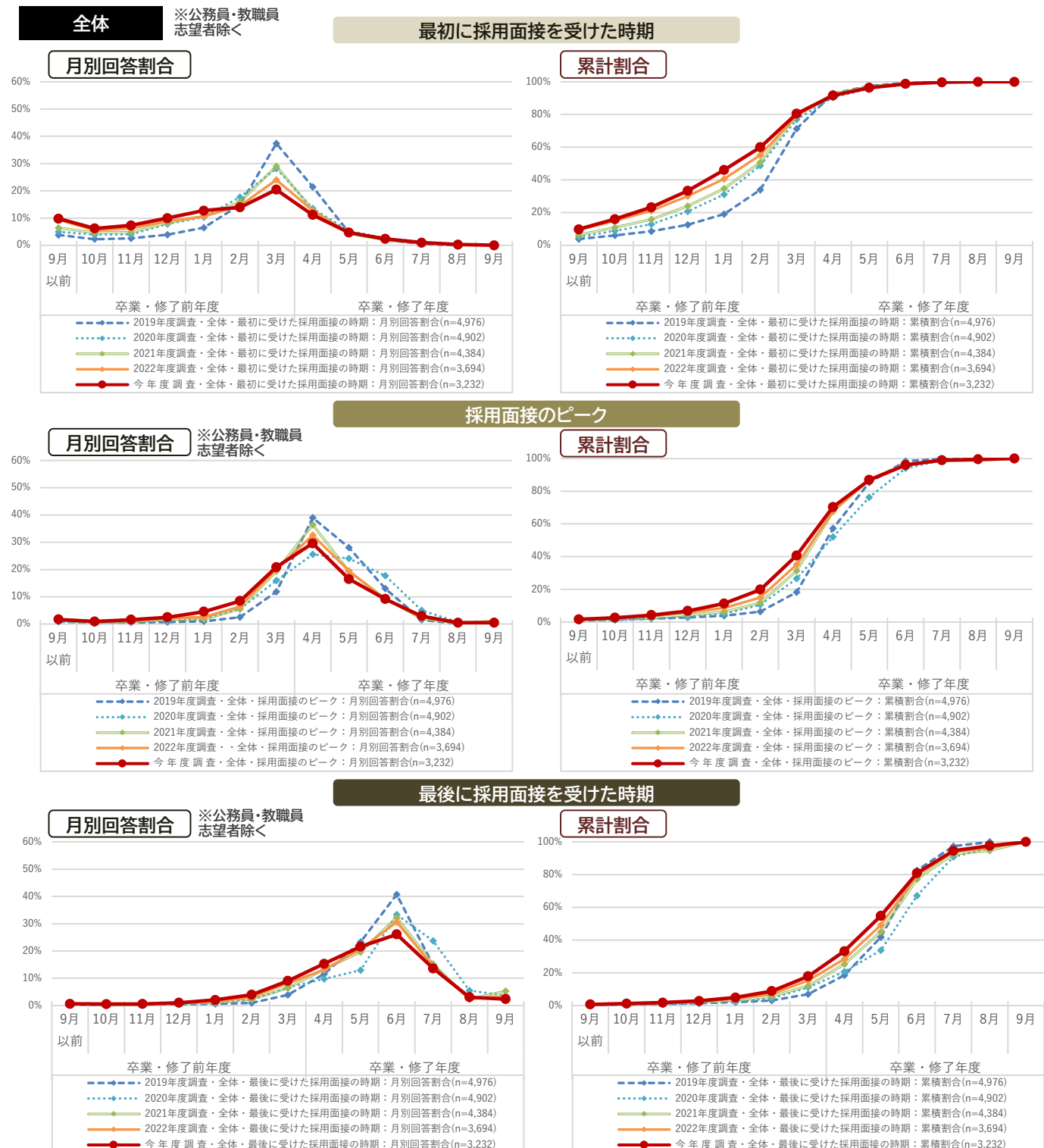
※1：エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

(3) 採用面接の参加状況

①採用面接の参加時期

採用面接の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、広報活動開始時期である「2023年3月」の回答割合が約2割で最も高くなっている※1。「採用面接のピーク」は「2023年4月」が約3割と最も高く、採用・選考活動開始時期である6月より前にきている。「最後に受けた採用面接の時期」については、採用・選考活動開始時期である「2023年6月」の回答割合が約3割と最も高くなっている。

過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」共に、少しずつ時期が早まっている。



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした(以降、採用面接に関しては同様の処理を行っている)。また、その上で、採用面接について「特段受けなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

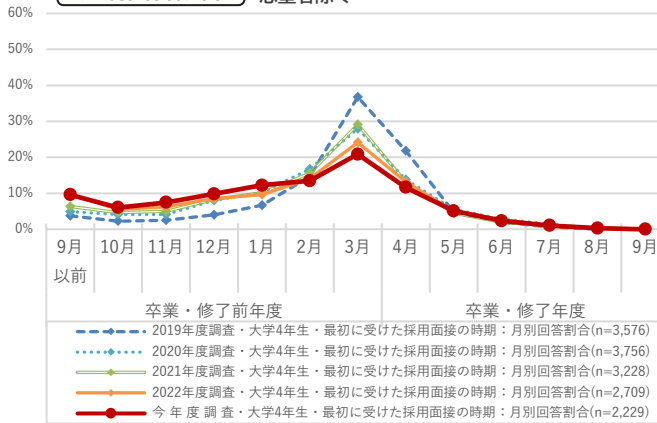
①採用面接の参加時期

大学4年生

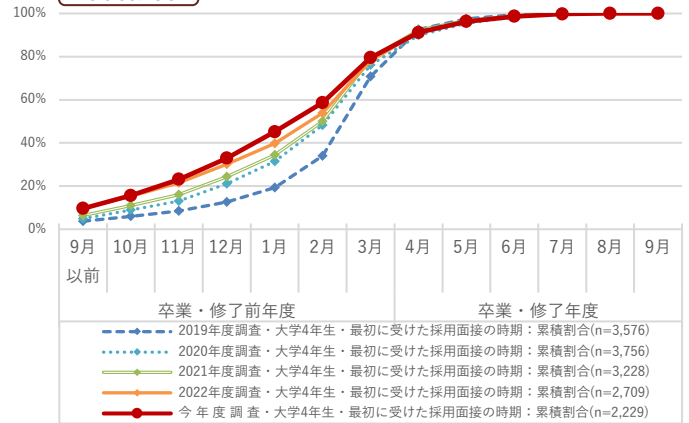
最初に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



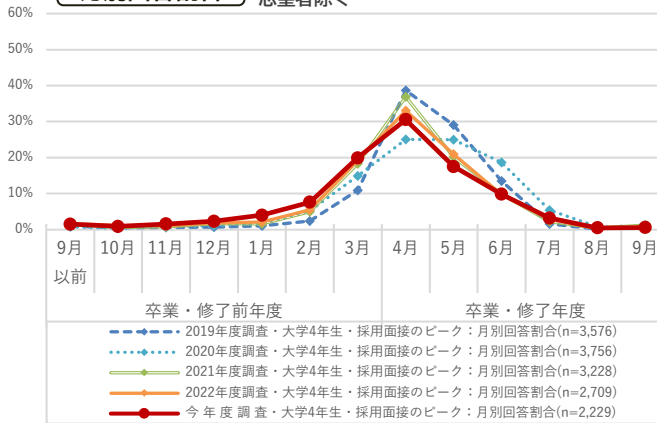
累計割合



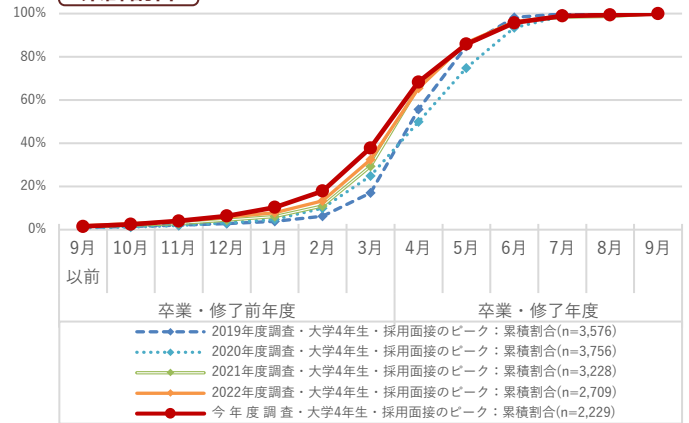
採用面接のピーク

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



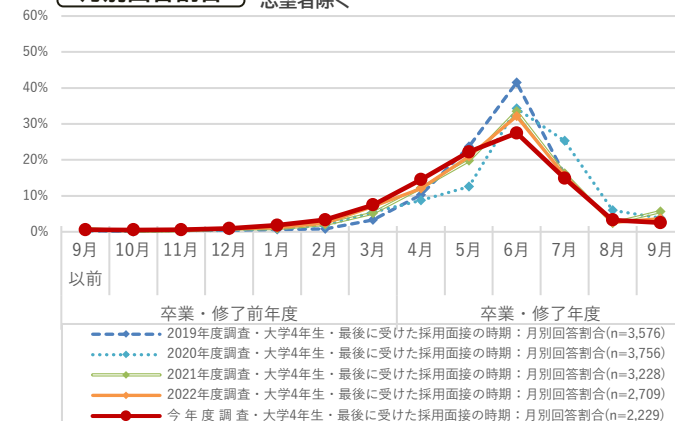
累計割合



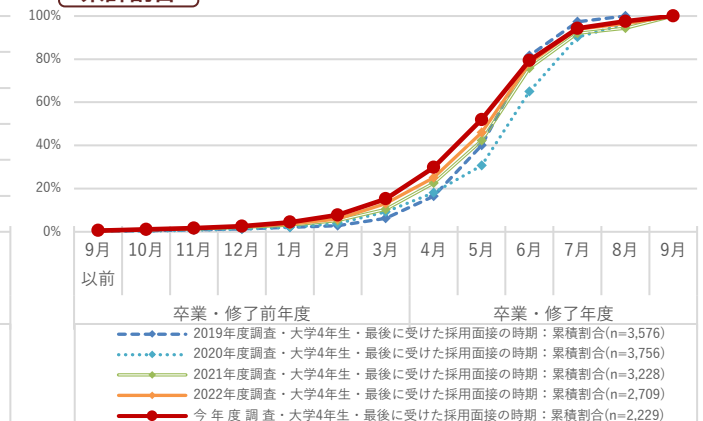
最後に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



累計割合



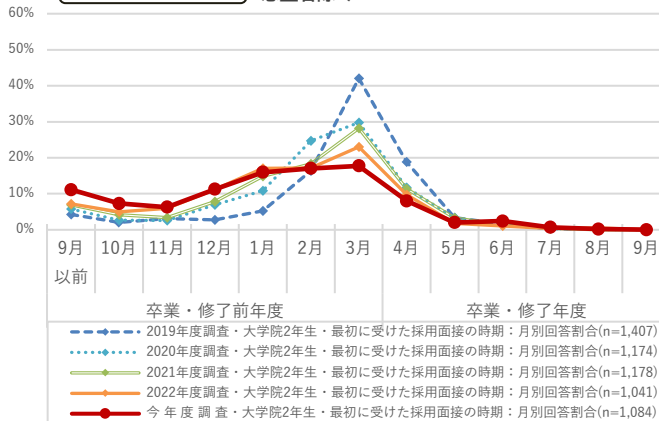
①採用面接の参加時期

大学院2年生

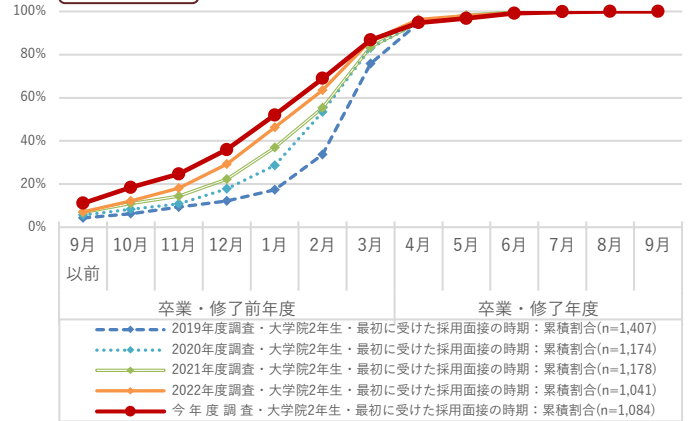
最初に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



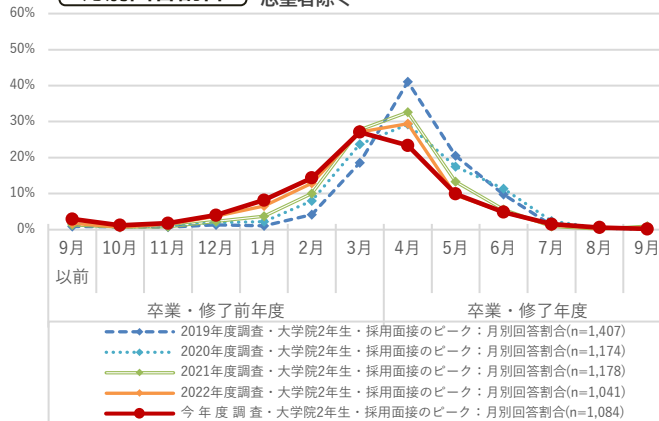
累計割合



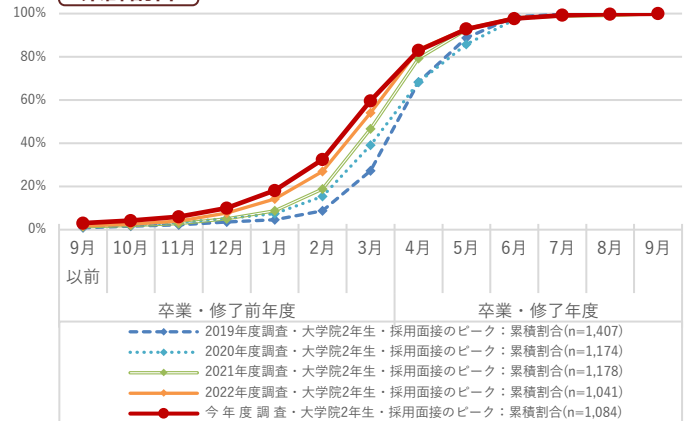
採用面接のピーク

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



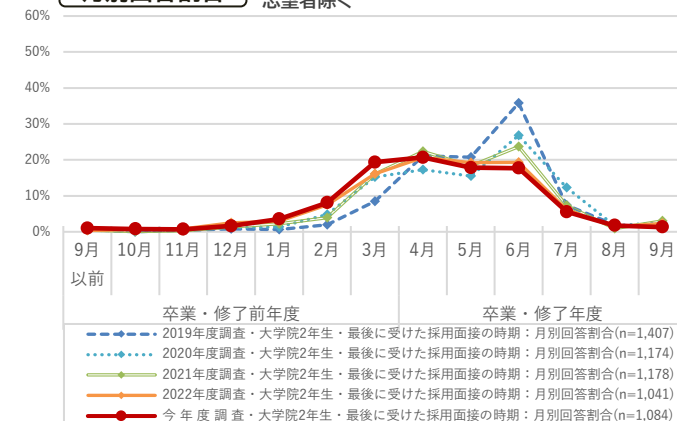
累計割合



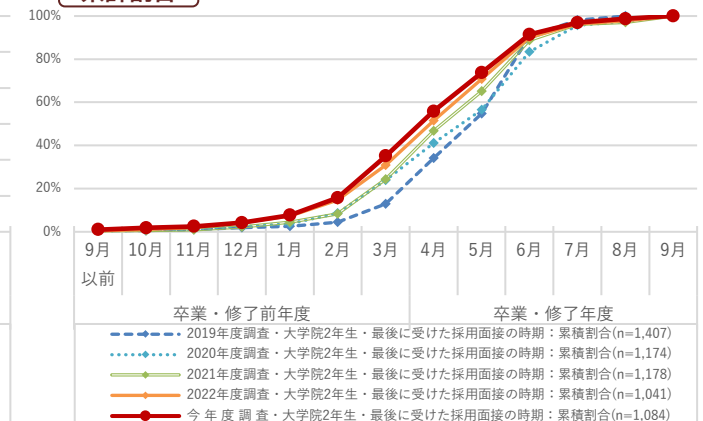
最後に採用面接を受けた時期

月別回答割合

※公務員・教職員
志望者除く



累計割合



①採用面接の参加時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.9	2.6	1.7	2.6	6.2	7.3	10.0	12.7	13.9	20.4	11.2	4.7	2.4	1.0	0.3	0.0
累積割合	2.9	5.5	7.2	9.8	16.0	23.3	33.4	46.1	60.0	80.4	91.6	96.3	98.7	99.7	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2	0.6	0.4	0.5	0.9	1.6	2.5	4.6	8.5	20.9	29.6	16.5	9.2	3.0	0.5	0.5
累積割合	0.2	0.8	1.2	1.7	2.6	4.3	6.8	11.3	19.8	40.7	70.3	86.8	96.0	99.0	99.5	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.1	0.2	0.1	0.2	0.5	0.6	1.0	2.1	4.0	9.0	15.3	21.6	26.1	13.6	3.1	2.4
累積割合	0.1	0.3	0.4	0.6	1.2	1.8	2.8	4.9	8.9	17.9	33.2	54.8	80.9	94.6	97.6	100.0

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.7	2.7	1.6	2.7	6.0	7.5	9.8	12.2	13.5	20.8	11.6	5.1	2.4	1.1	0.3	0.0
累積割合	2.7	5.4	6.9	9.6	15.7	23.1	32.9	45.2	58.6	79.5	91.1	96.2	98.6	99.7	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.2	0.5	0.4	0.5	0.9	1.6	2.3	4.0	7.6	19.9	30.6	17.5	9.8	3.2	0.5	0.6
累積割合	0.2	0.7	1.0	1.5	2.4	4.0	6.3	10.3	17.9	37.8	68.4	85.9	95.7	98.9	99.4	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.1	0.2	0.1	0.1	0.5	0.6	0.9	1.8	3.3	7.5	14.5	22.2	27.4	14.9	3.3	2.5
累積割合	0.1	0.3	0.4	0.6	1.1	1.7	2.6	4.4	7.8	15.3	29.8	51.9	79.3	94.2	97.5	100.0

大学院2年生

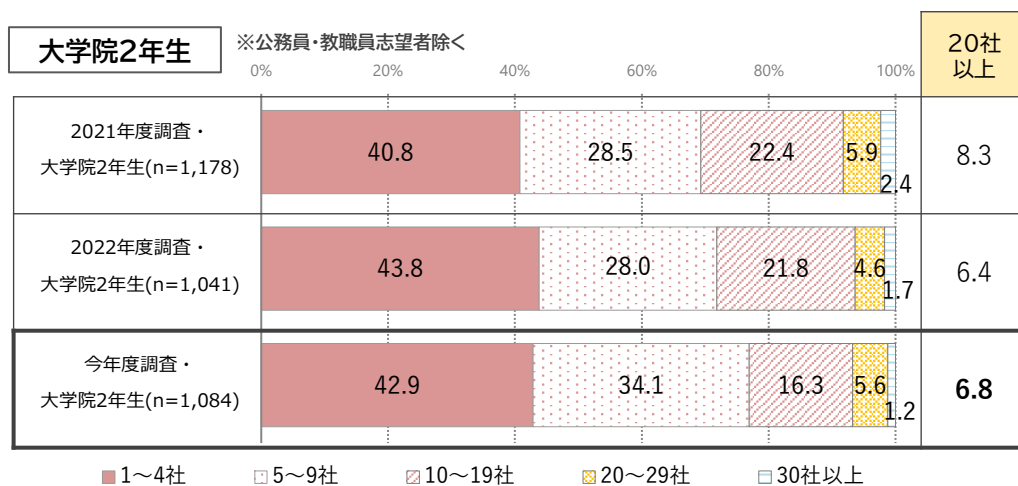
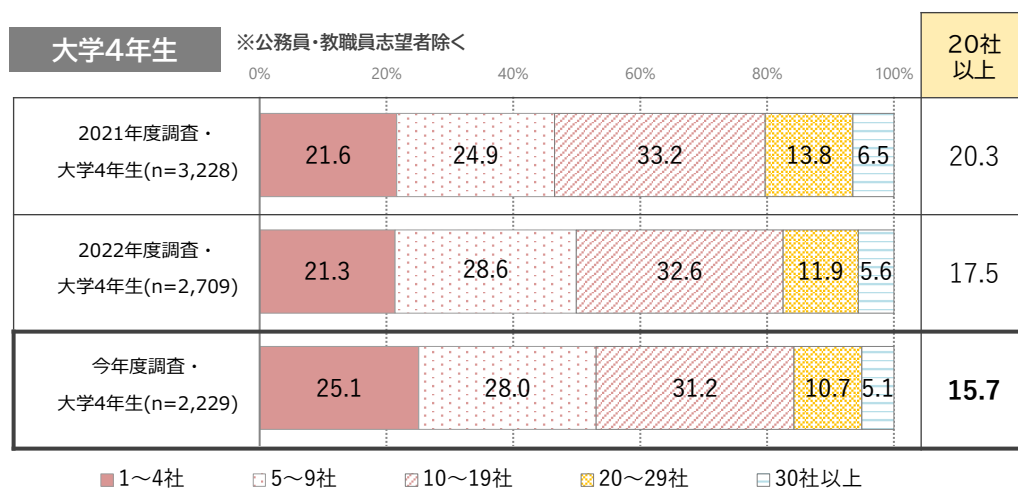
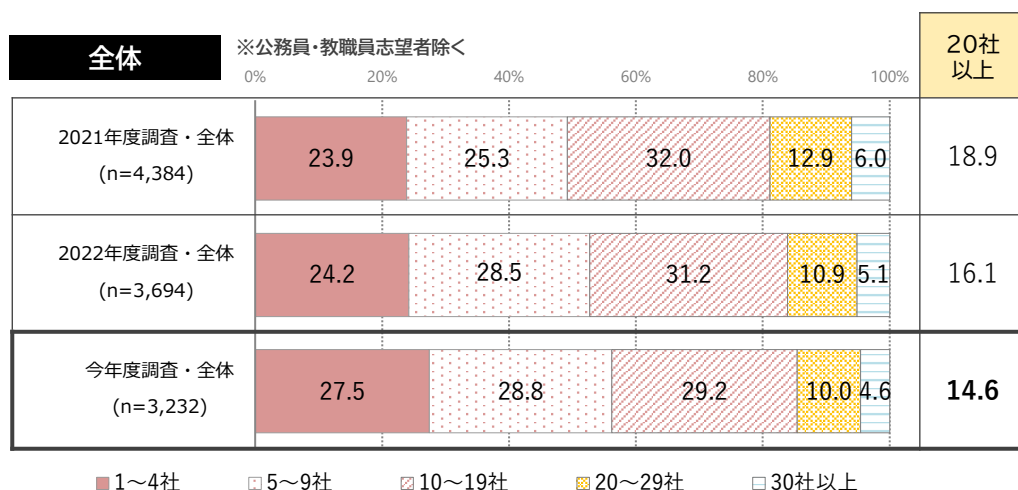
※公務員・教職員志望者除く

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	4.2	2.2	2.4	2.3	7.3	6.3	11.2	16.0	17.0	17.7	8.0	2.0	2.4	0.7	0.2	0.0
累積割合	4.2	6.4	8.8	11.1	18.4	24.7	35.9	51.9	69.0	86.7	94.7	96.7	99.1	99.8	100.0	100.0
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.4	1.4	0.5	0.7	1.2	1.8	4.0	8.2	14.3	27.1	23.4	9.9	4.8	1.5	0.6	0.2
累積割合	0.4	1.8	2.3	2.9	4.1	5.9	9.9	18.1	32.5	59.6	82.9	92.9	97.7	99.2	99.8	100.0
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.0	0.2	0.2	0.6	0.8	0.7	1.7	3.5	8.1	19.3	20.7	17.8	17.7	5.5	1.8	1.3
累積割合	0.0	2.1	2.1	6.7	8.8	7.8	18.0	38.3	87.5	209.7	224.4	193.3	192.1	60.1	19.3	14.2

②採用面接を受けた企業数

採用面接を受けた企業数について、「1～4社」「5～9社」「10～19社」であった者の割合がいずれも約3割となっている。なお、20社以上の採用面接を受けた者は約1割となっている。

過年度調査と比較すると、「20社以上」の回答割合が減少傾向にある。

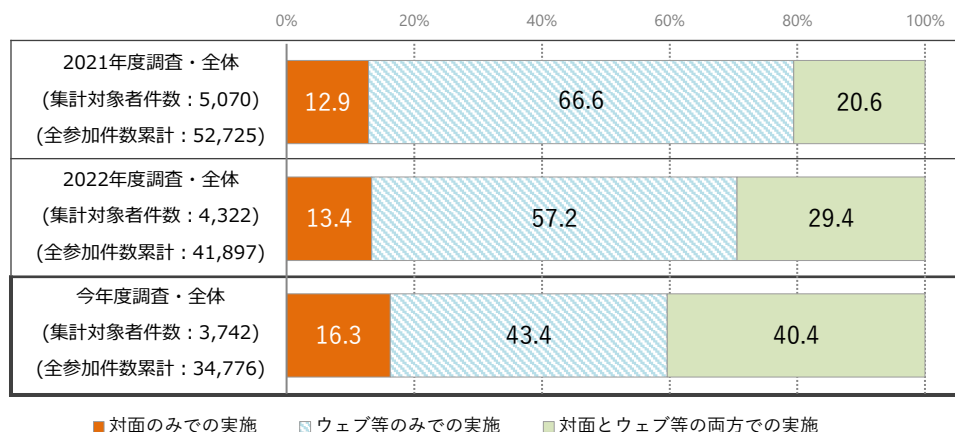


③採用面接の参加方法について

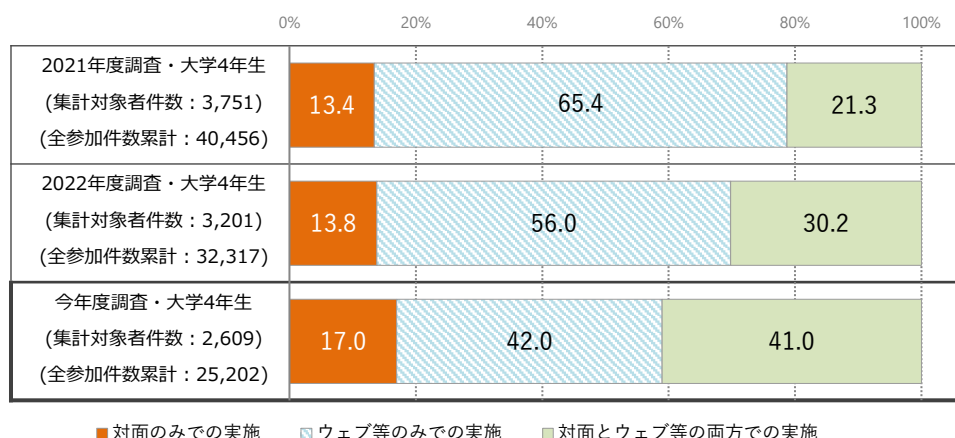
採用面接について実施された方法すべての企業数を累計※1し、実施方法別の企業数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの実施」「対面とウェブ等での両方での実施」がどちらも約4割となっている。

過年度調査と比較すると、「ウェブ等のみでの参加」が低くなり、「対面とウェブ等の両方での参加」が高まっている。

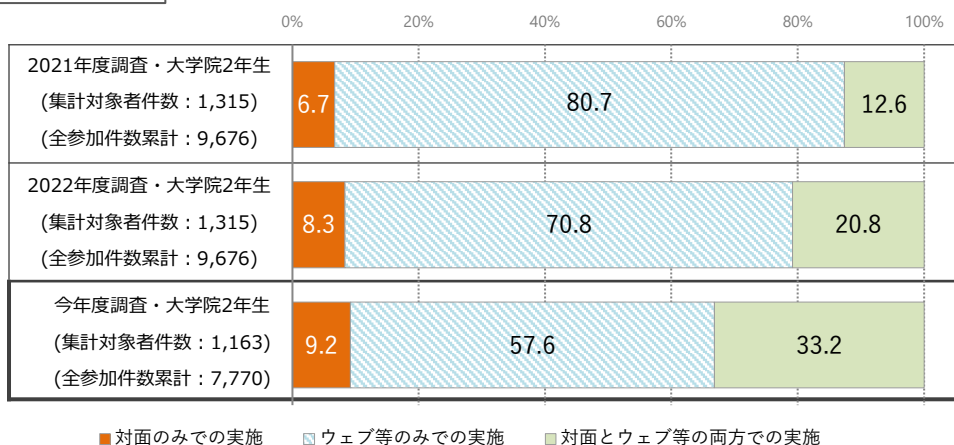
全体



大学4年生



大学院2年生



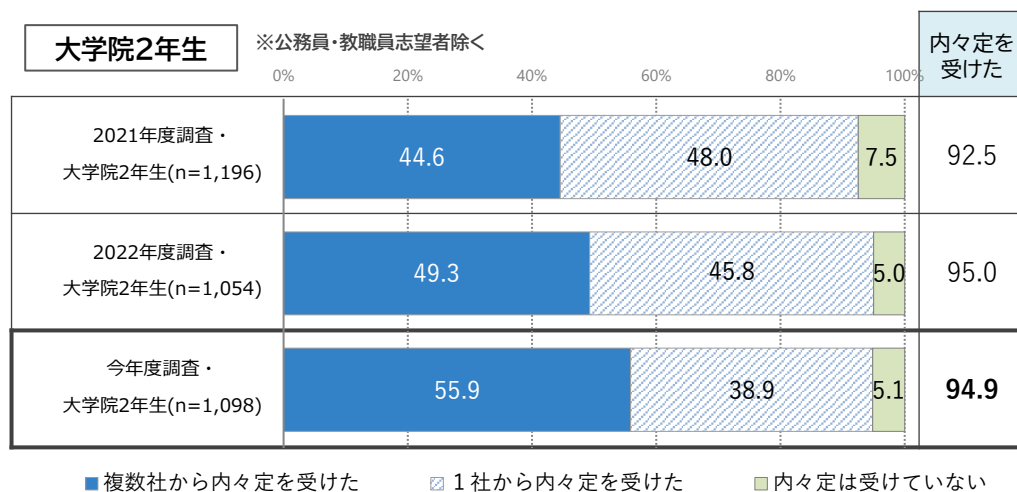
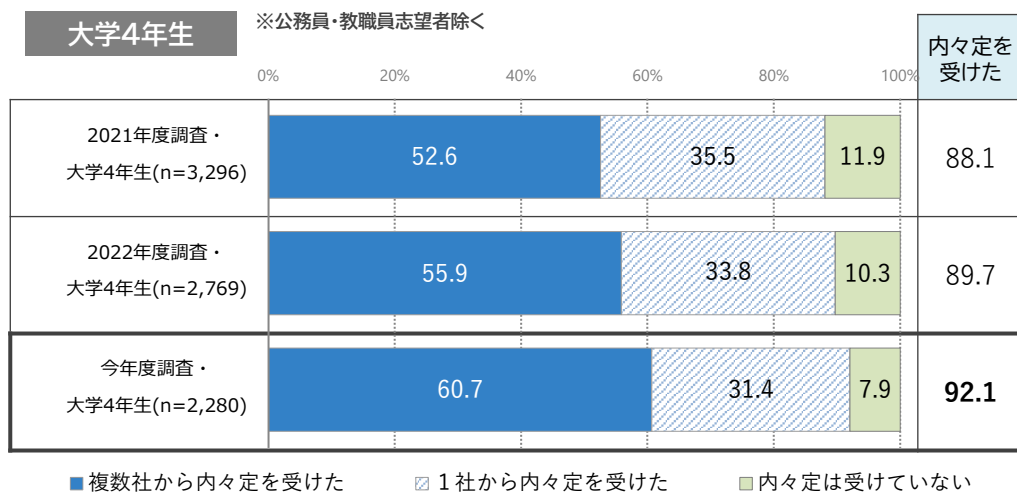
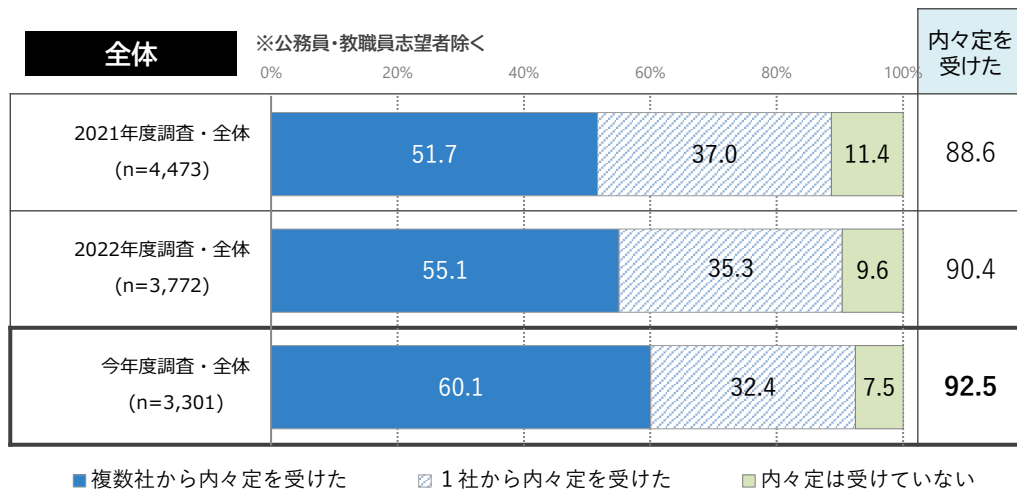
※1：調査においては、合計で何社の採用面接を受けたかを尋ねる設問と、対面のみでの実施、ウェブ等のみでの実施、対面とウェブ等の両方での方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「実施された合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(4) 内々定の状況

①調査実施時点での内々定の状況

内々定※1の状況について※2、調査実施時点で約9割が内々定を受けている状況にある。また、約6割が「複数社から内々定を受けた」と回答している。

過年度調査と比較すると、「内々定を受けた」の計、また「複数社から内々定を受けた」の回答割合についても、増加傾向にある。



※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った(以降、採用面接に関しては同様の処理を行っている)。

②内々定を受けた時期(最初の内々定)

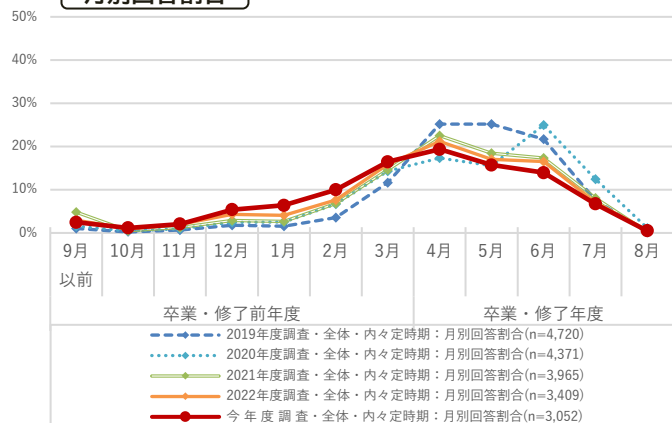
最初の内々定※1を受けた時期について※2、最も回答割合が高いのは「2023年4月」が約2割と、採用・選考活動開始時期前である。なお、累積割合では、2月までに約3割、5月までに約8割、6月までに約9割の学生が、最初の内々定を受けている。

過年度調査と比較すると時期が早まっている傾向がみられ、特に卒業・修了前年度の12月から3月までの時期が早まっている。

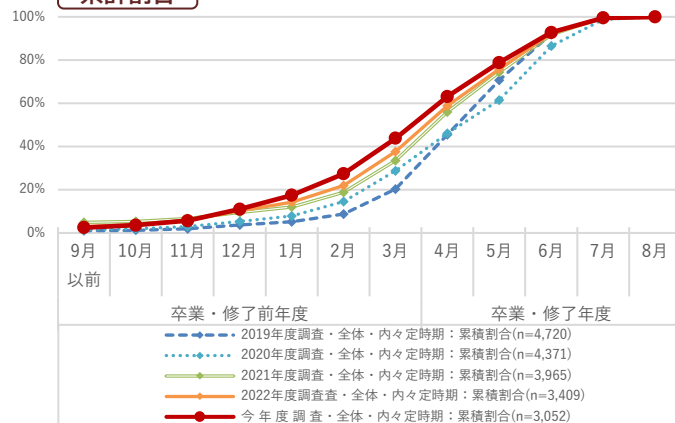
全体

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



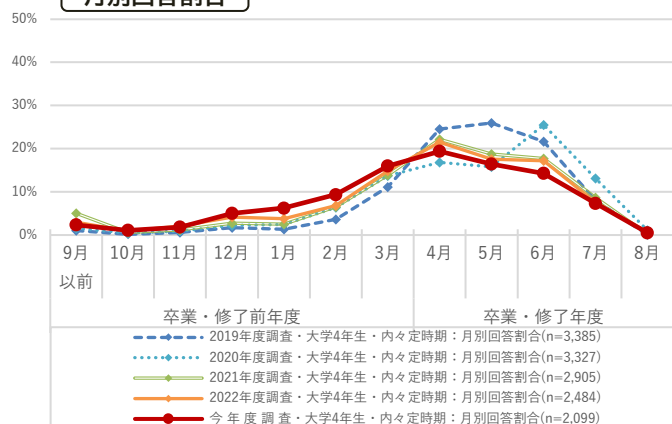
累計割合



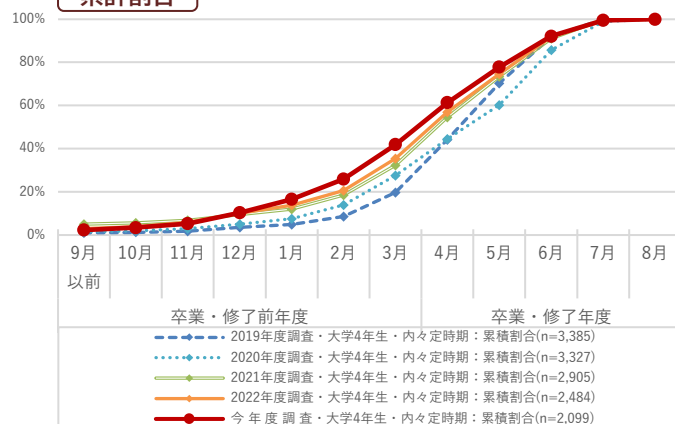
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



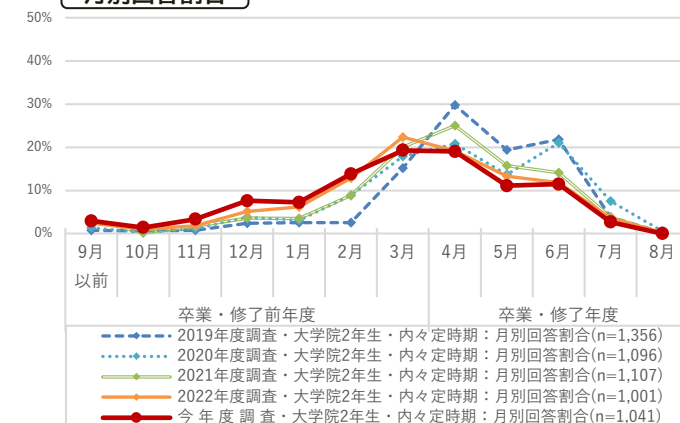
累計割合



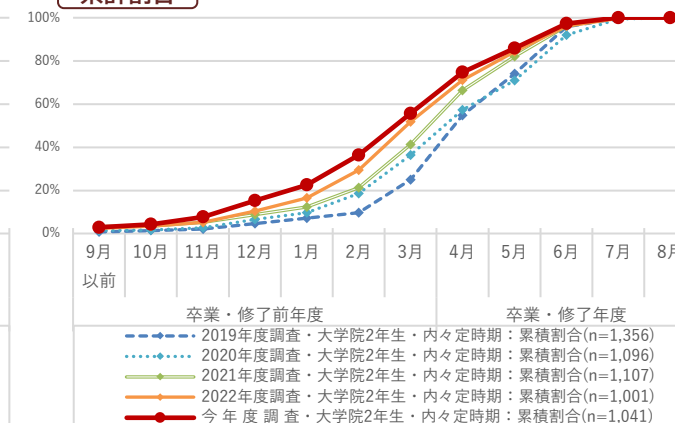
大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合



※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

②内々定を受けた時期(最初の内々定)

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7	0.5	0.6	0.6	1.1	2.0	5.4	6.4	10.0	16.5	19.3	15.7	13.9	6.7	0.5
累積割合	0.7	1.2	1.8	2.4	3.6	5.6	11.0	17.4	27.4	43.8	63.2	78.9	92.8	99.5	100.0

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.5	0.6	0.5	1.1	1.8	5.0	6.2	9.4	16.0	19.4	16.4	14.3	7.4	0.5
累積割合	0.8	1.3	1.9	2.4	3.4	5.3	10.3	16.6	25.9	42.0	61.3	77.8	92.1	99.5	100.0

大学院2年生

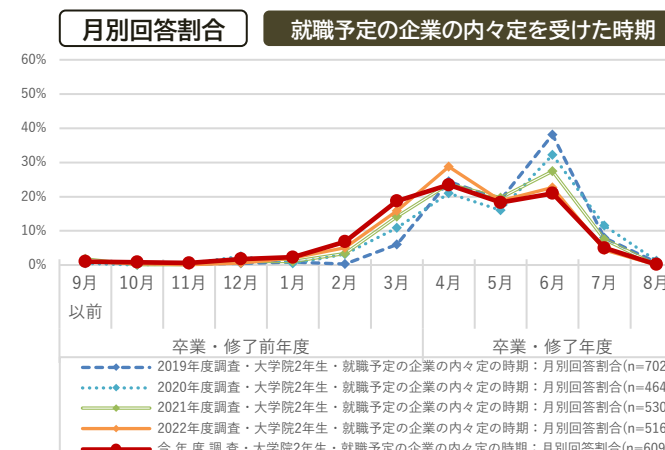
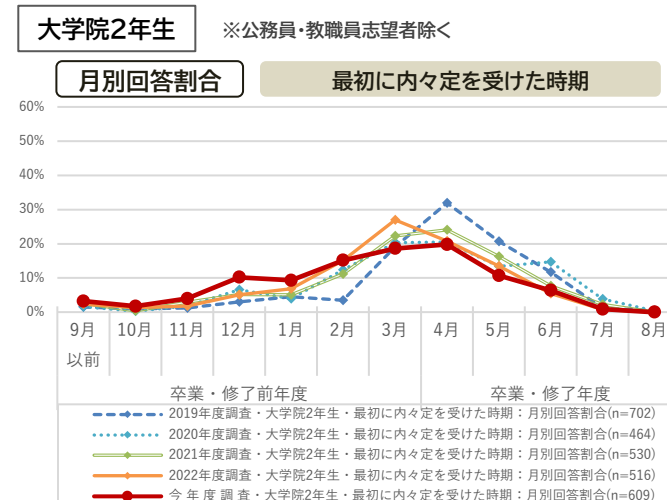
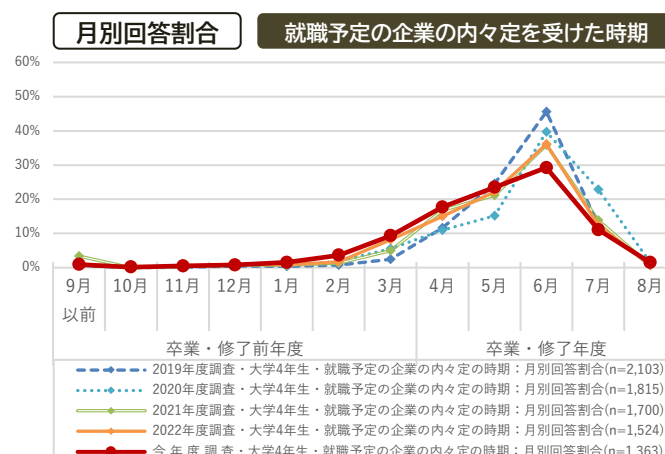
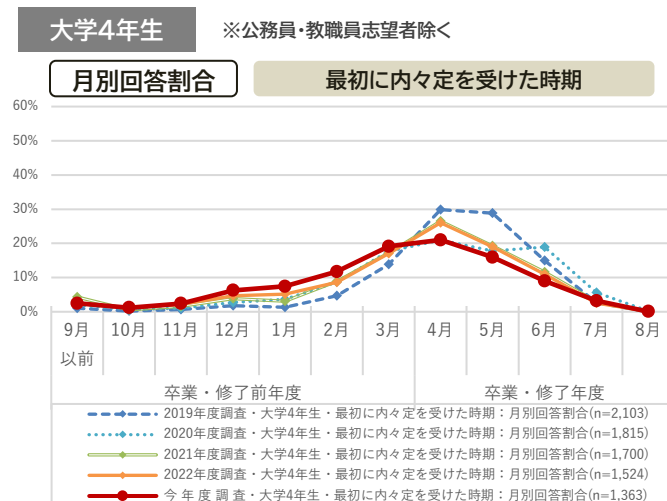
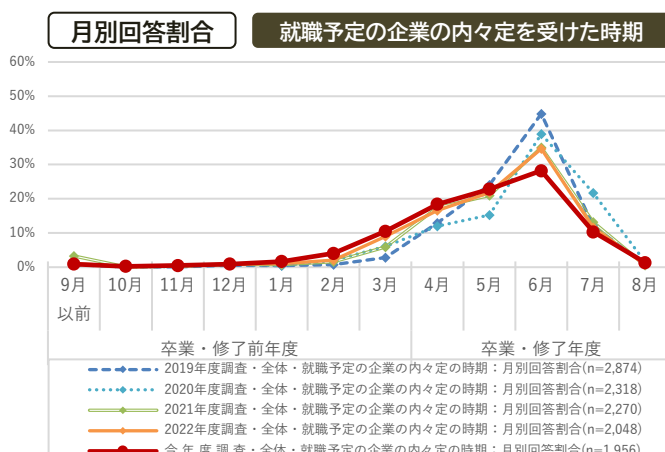
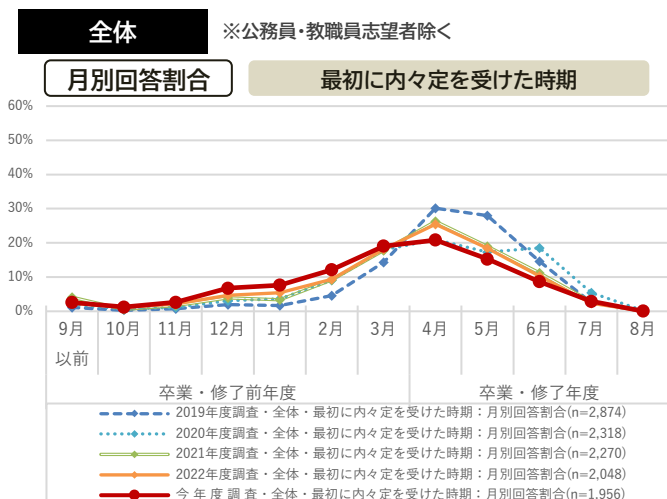
※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.3	0.9	1.3	1.4	3.4	7.6	7.2	13.9	19.3	19.0	11.1	11.5	2.7	0.0
累積割合	0.4	0.7	1.6	2.9	4.4	7.7	15.3	22.6	36.4	55.7	74.7	85.8	97.3	100.0	100.0

③内々定を受けた時期(内々定を複数社から受けた場合)

「複数社から内々定※1を受けた」と回答した者について、「最初に内々定を受けた時期」は「2023年4月」「2022年3月」との回答がどちらも約2割と高く、「就職予定の企業の内々定を受けた時期」は「2023年6月」との回答が約3割で最も高くなっている※2。

過年度調査と比較すると、「最初に内々定を受けた時期」「就職予定の企業の内々定を受けた時期」共に、時期が早まっている傾向が見られた。



※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：「最初の内々定」「就職予定の企業の内々定」いずれについても、「就職予定の企業の内々定」に関して「就職予定の企業はない」と回答した者は集計の対象外とした。

③内々定を受けた時期(内々定を複数社から受けた場合)

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9	0.4	0.7	0.7	1.3	2.6	6.8	7.7	12.2	19.1	20.9	15.3	8.7	2.9	0.1
累積割合	0.9	1.2	1.9	2.6	3.9	6.5	13.2	20.9	33.1	52.1	73.0	88.3	97.0	99.9	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.3	0.1	0.2	0.3	0.5	0.9	1.6	4.1	10.5	18.4	22.8	28.2	10.3	1.3
累積割合	0.4	0.6	0.7	0.9	1.2	1.7	2.6	4.3	8.4	18.9	37.3	60.1	88.3	98.7	100.0

大学4年生		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9	0.4	0.7	0.5	1.2	2.4	6.3	7.4	11.7	19.1	21.0	16.0	9.0	3.2	0.1
累積割合	0.9	1.3	2.0	2.5	3.7	6.1	12.4	19.8	31.6	50.7	71.7	87.7	96.7	99.9	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.3	0.1	0.1	0.2	0.5	0.8	1.6	3.7	9.4	17.7	23.5	29.2	11.1	1.5
累積割合	0.4	0.7	0.8	0.9	1.1	1.6	2.4	4.0	7.6	17.0	34.7	58.2	87.4	98.5	100.0

大学院2年生		※公務員・教職員志望者除く													
最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.5	0.2	0.8	1.8	1.7	4.0	10.2	9.3	15.2	18.6	19.8	10.7	6.4	0.9	0.0
累積割合	0.5	0.7	1.5	3.2	5.0	8.9	19.1	28.4	43.6	62.2	82.0	92.7	99.1	100.0	100.0
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.0	0.0	0.8	0.8	0.6	1.8	2.3	6.8	18.7	23.5	18.3	21.0	5.0	0.2
累積割合	0.2	0.2	0.2	1.0	1.9	2.5	4.3	6.5	13.4	32.1	55.5	73.8	94.8	99.8	100.0

④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

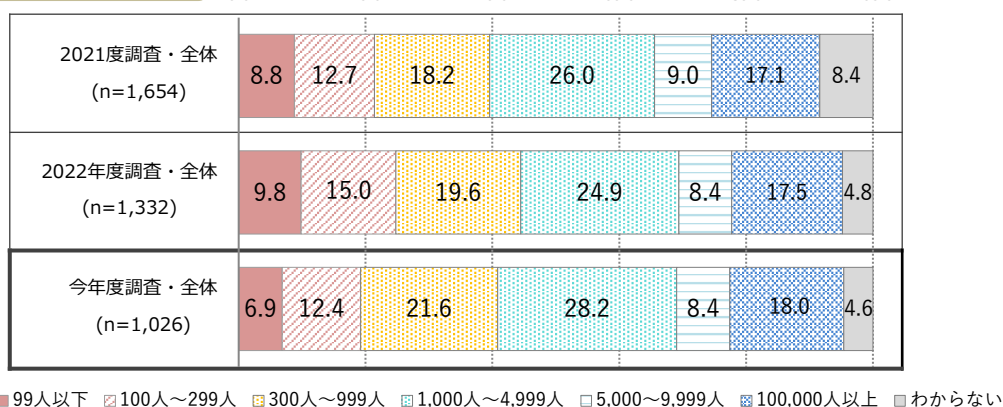
内々定※1を受けた企業の企業規模(従業員数)について※2、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者のそれぞれについて集計を行った。1社から内々定を受けた者については就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者については、最初に内々定を受けた企業と、就職予定の企業についてそれぞれ把握した。

これらのうち、複数社から内々定を受けた者について、「最初に内々定を受けた企業」に対して「就職予定の企業」の方が、規模(従業員数)の大きい企業である割合が高くなっている。これは、過年度調査と同様の結果となっている。なお過年度調査と比べると、複数社から内々定を受けた者に関して、就職予定の企業の内々定について「1,000人以上」の回答が占める割合が高くなっている。

全体

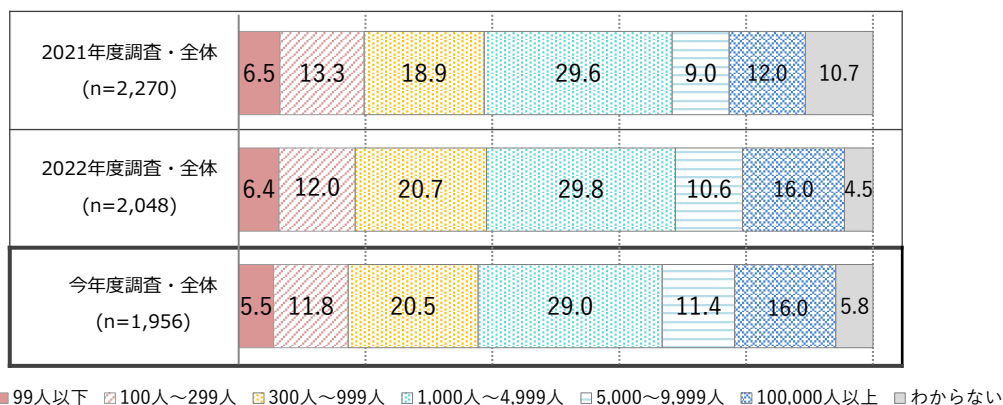
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

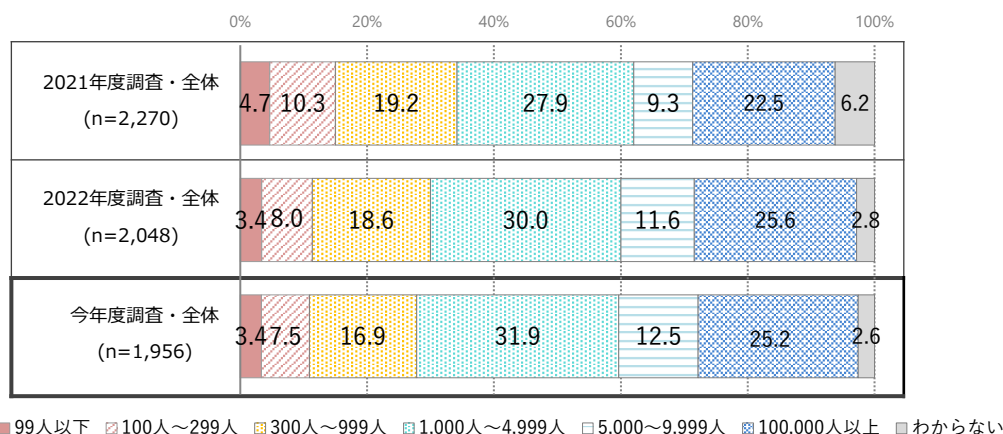


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業



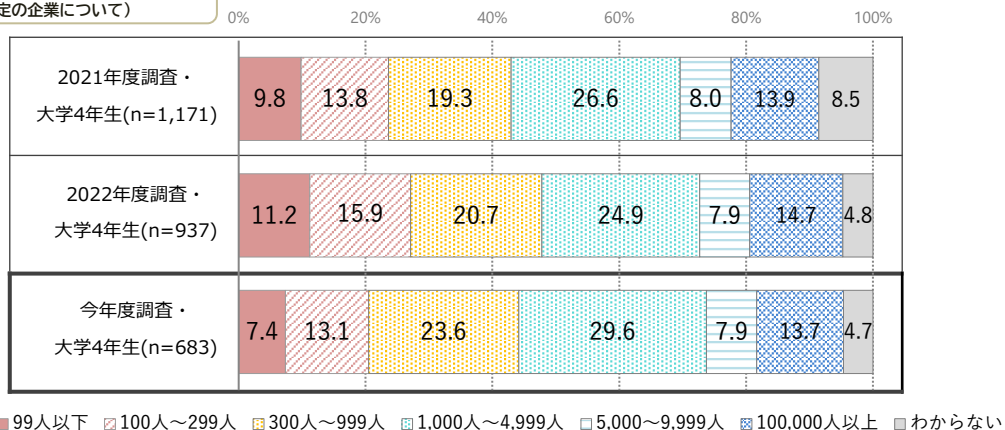
※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。
 ※2：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った(以降、就職予定企業に関しては同様の処理を行っている)。

④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

大学4年生

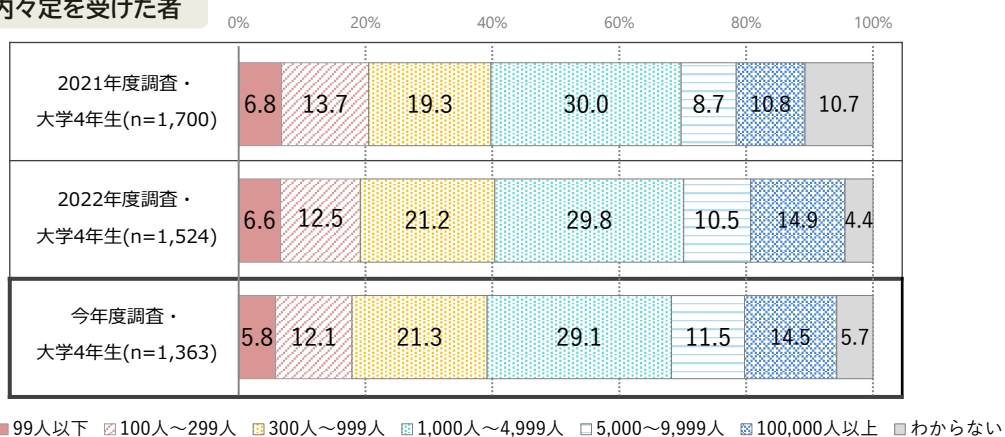
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

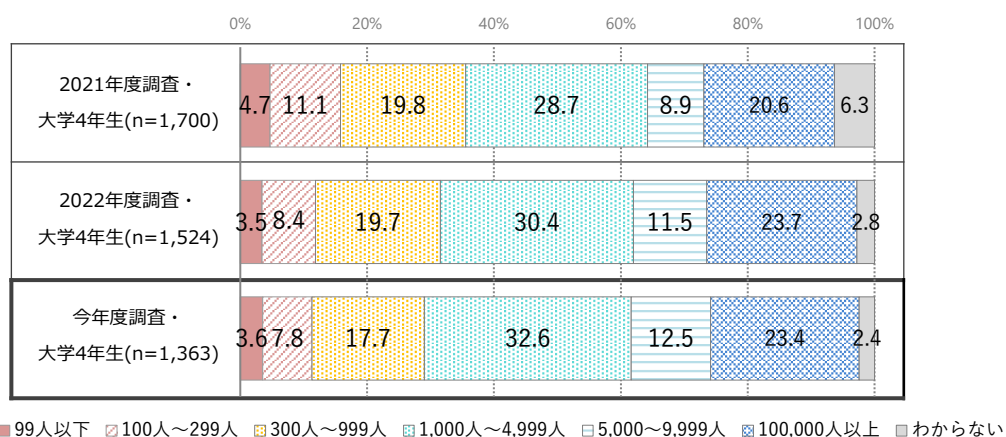


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業

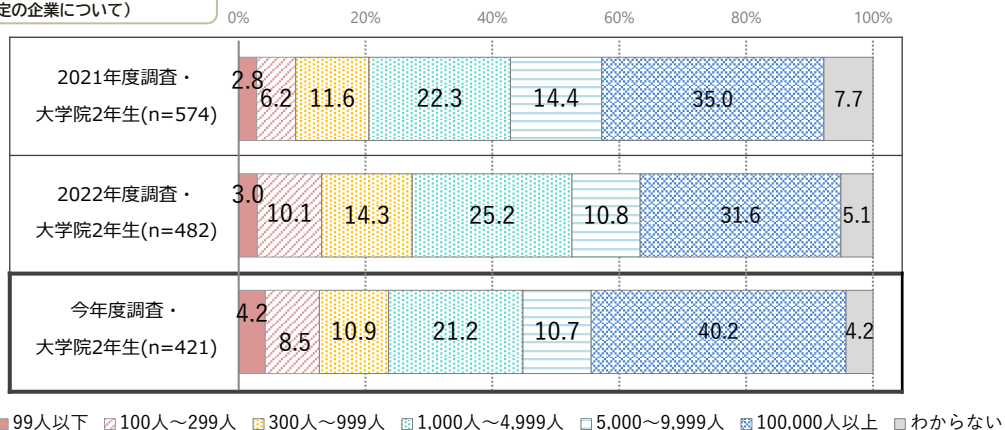


④内々定を受けた企業の企業規模(従業員数)

大学院2年生

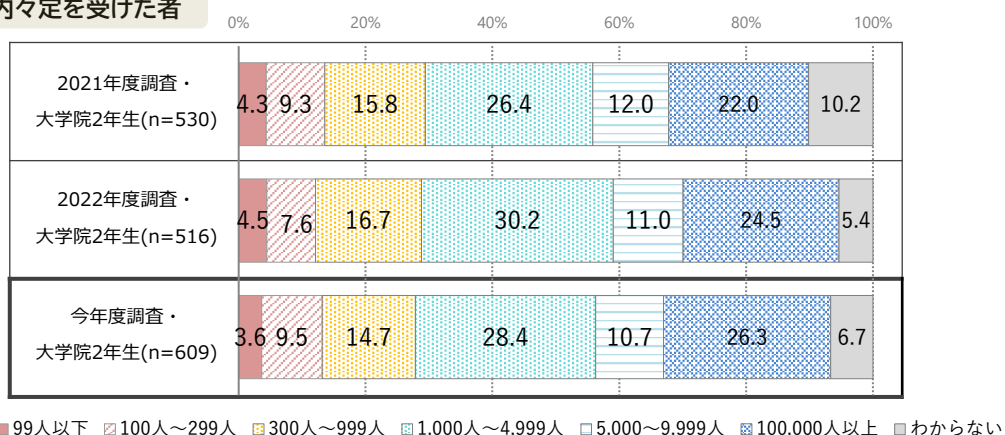
※公務員・教職員志望者除く

1社から内々定を受けた者 (就職予定の企業について)

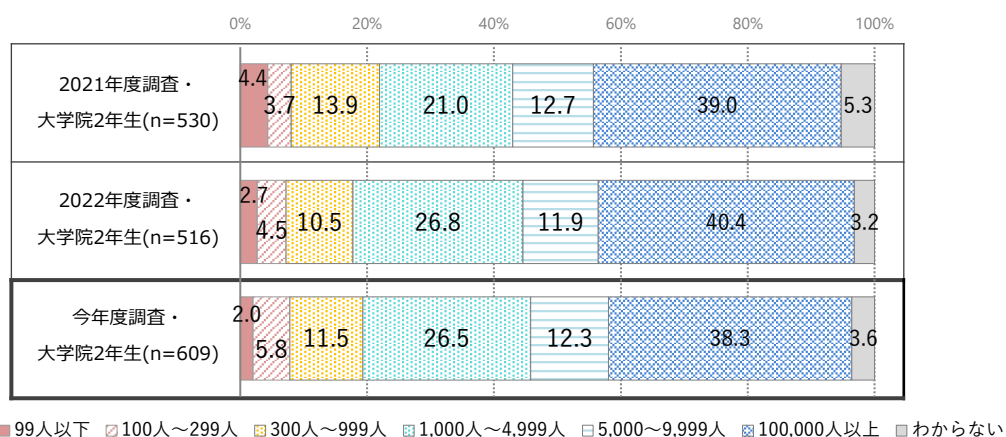


複数社から内々定を受けた者

最初に内々定を受けた企業



就職予定の企業



⑤就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期

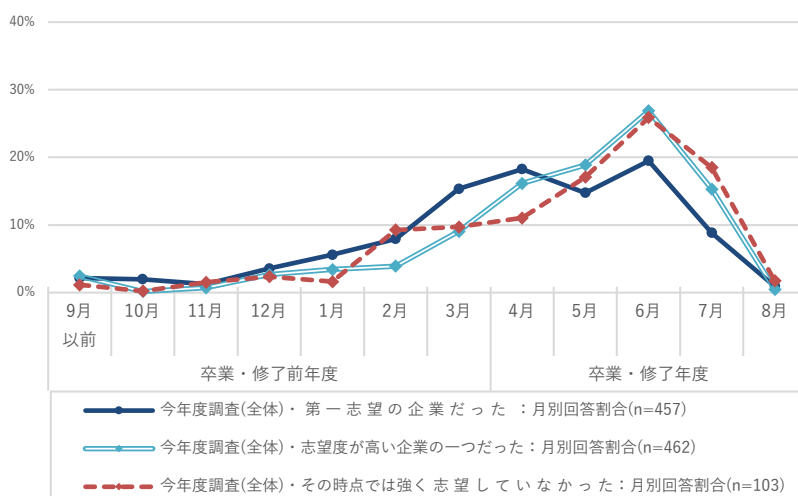
就職予定の企業からの内々定※1の時期※2について、その企業に対する志望度別に集計※3すると、複数社から内々定を受けた者ではいずれの場合も、就職予定の企業の内々定の時期は「2023年6月」の回答割合が約2～3割と最も高くなっている。1社から内々定を受けた者に関しては、「志望度が高い企業の一つだった」「その時点では強く志望していなかった」では「2023年6月」とする回答割合が最も高いが、「第一志望の企業だった」では「2023年4月」「2023年6月」が約2割ずつと、山が分散する形となった。

全体

※公務員・教職員志望者除く

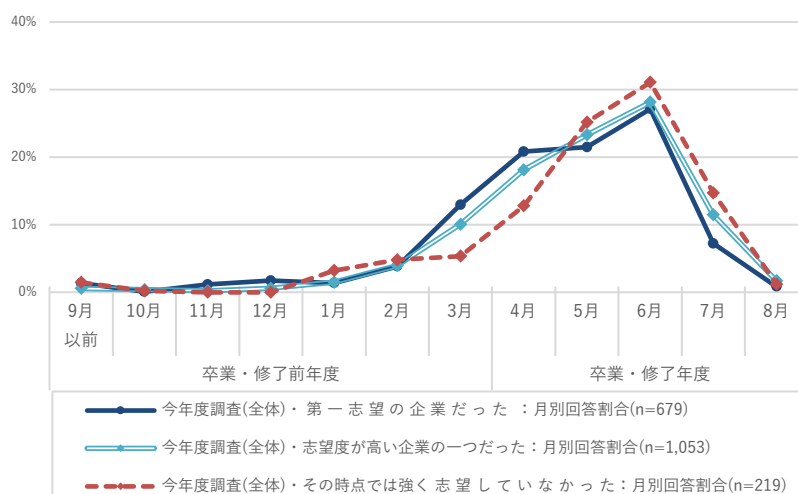
1社から内々定を受けた者

月別回答割合



複数社から内々定を受けた者

月別回答割合



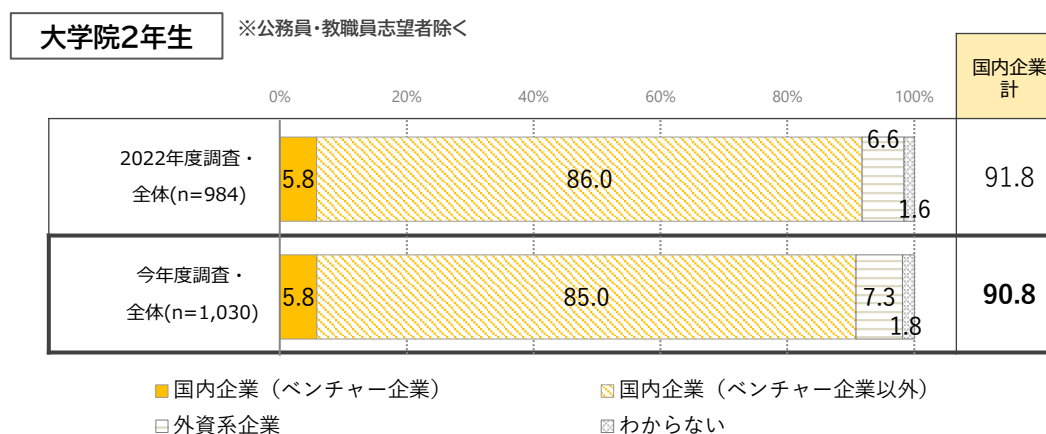
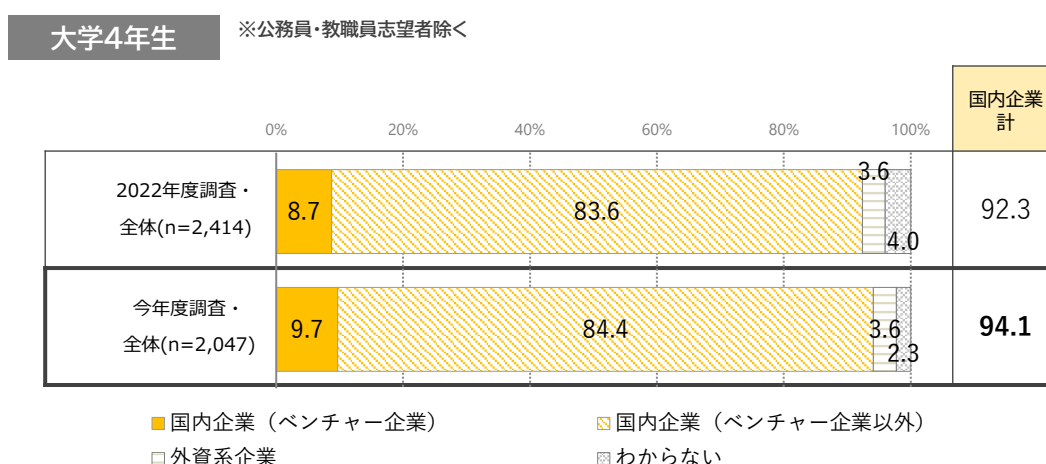
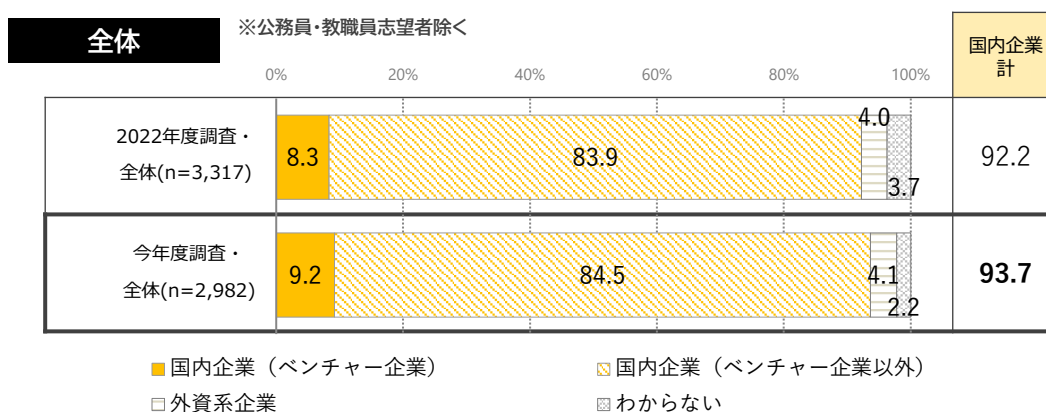
※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

※2：1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。

※3：就職予定の企業の採用選考に応募した時点で志望していた企業の全てを思い返したうえでの志望度について尋ねた回答の結果を基に分類をした。なお、志望度について「覚えていない」と回答した者は集計の対象外とした。また、分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

⑥就職予定の企業の種類

就職予定の企業が国内企業かどうかについて、「国内企業（ベンチャー企業※1）」の回答割合は約1割で、「国内企業（ベンチャー企業以外）」と合わせると国内企業とする回答割合は約9割となった。
過年度調査と比べると、同様の傾向となっている。

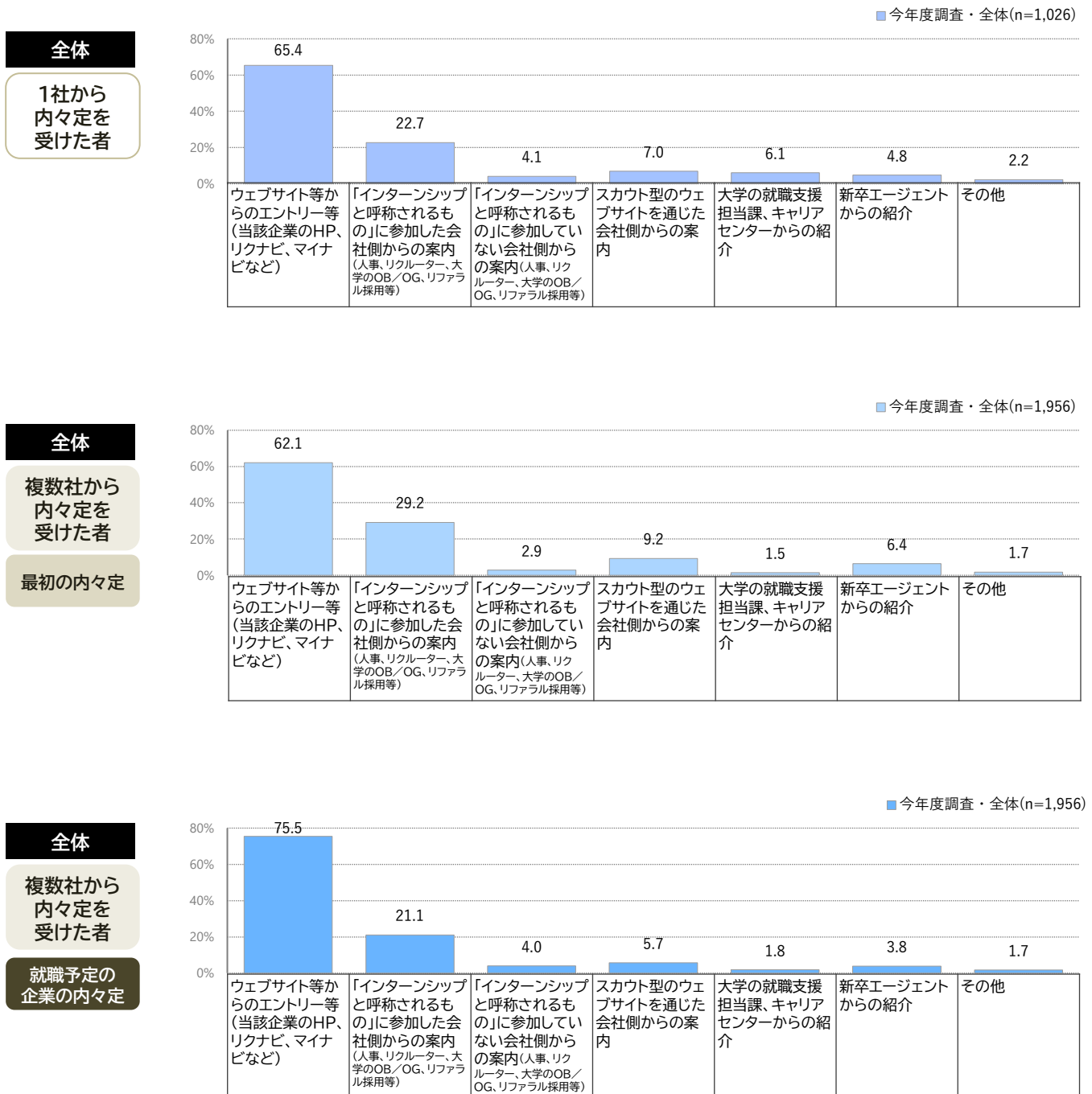


※1：ベンチャー企業については、2022年度調査では「ここでは、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこととする。」と案内、今年度調査では「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行った。

(5) 採用試験・面接等を受けた経路

①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

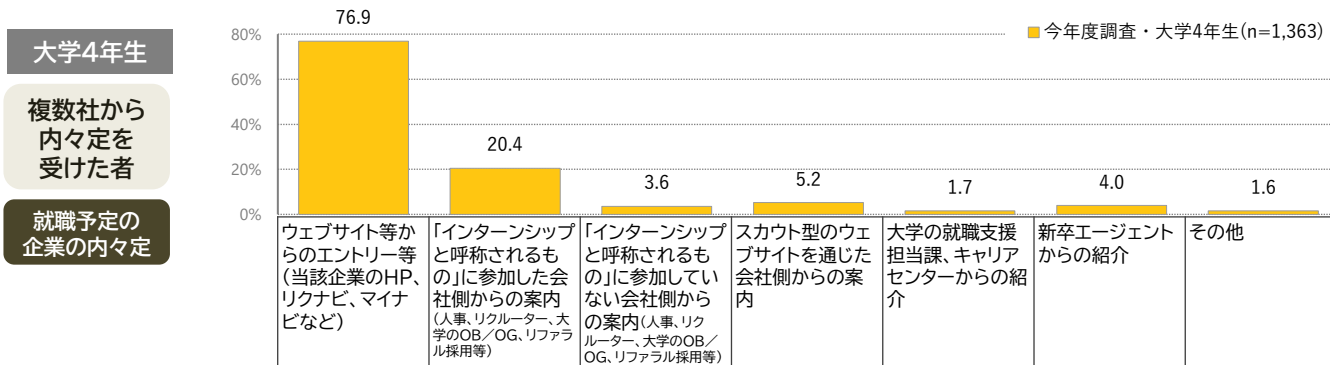
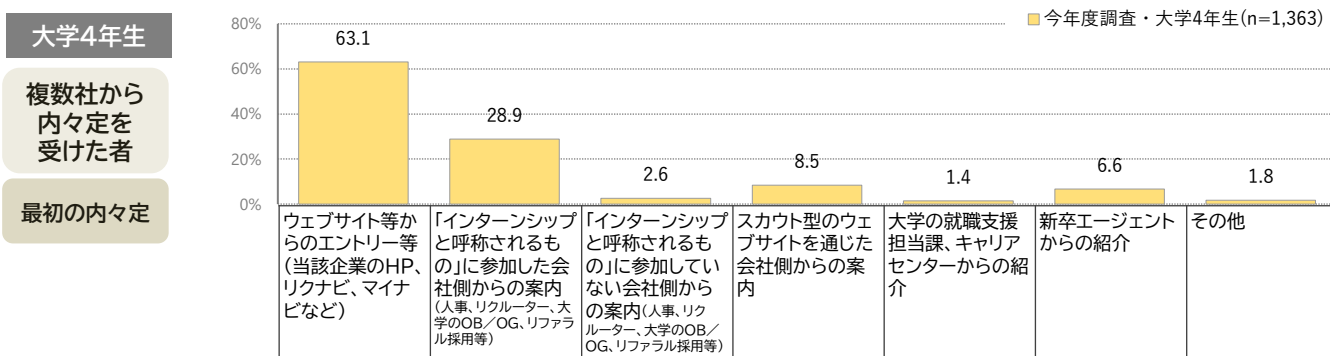
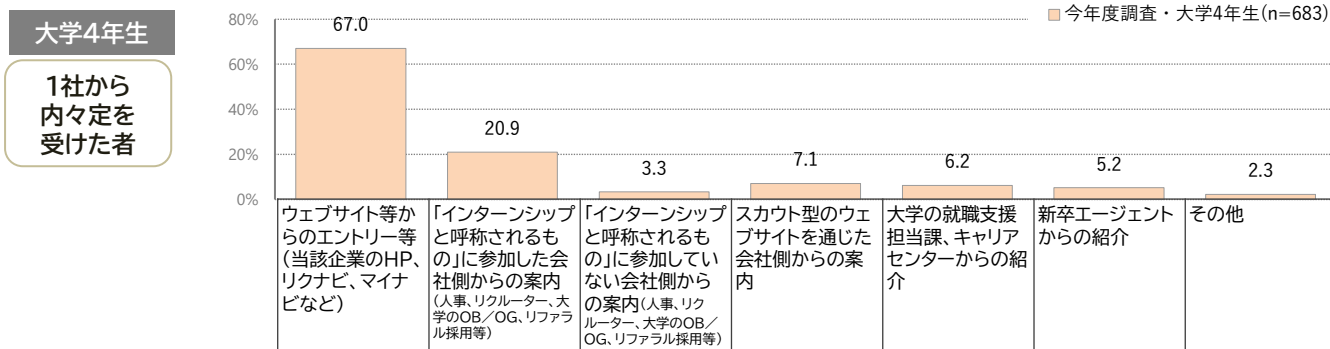
内々定※1を受けた企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたか※2について、1社から内々定を受けた者では、「ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど）」の割合が約7割、「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）」が約2割となっている。また、複数社から内々定を受けた者では、「最初の内々定」について「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）」の割合が約3割とやや高くなっている。



※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

※2：1社から内々定を受けた者は就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた企業と就職予定の企業のそれぞれについて調査し、集計をした。

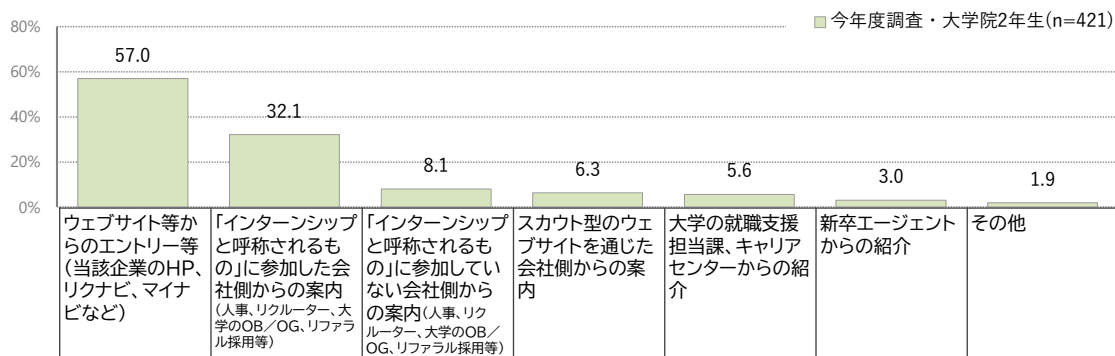
①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路



①内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

大学院2年生

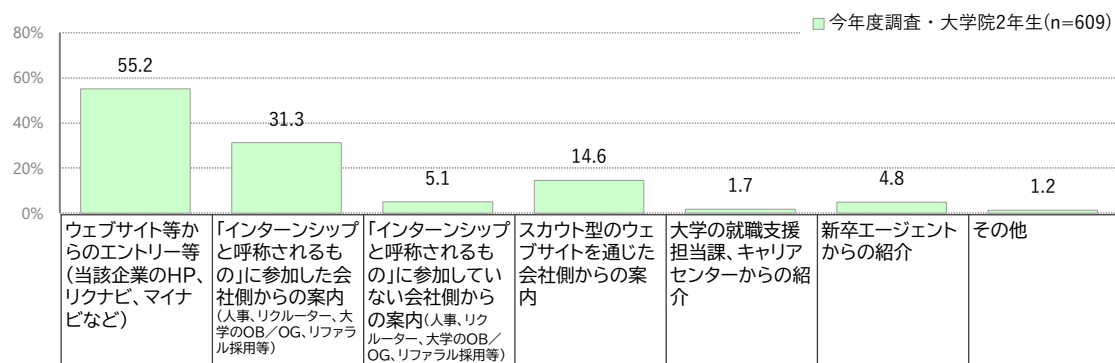
1社から
内々定を
受けた者



大学院2年生

複数社から
内々定を
受けた者

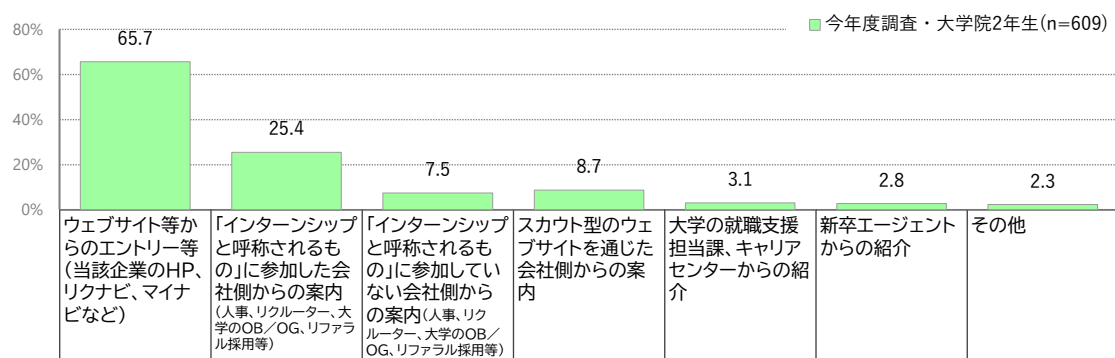
最初の内々定



大学院2年生

複数社から
内々定を
受けた者

就職予定の
企業の内々定



(6) 就職活動の始まりと終わりの認識

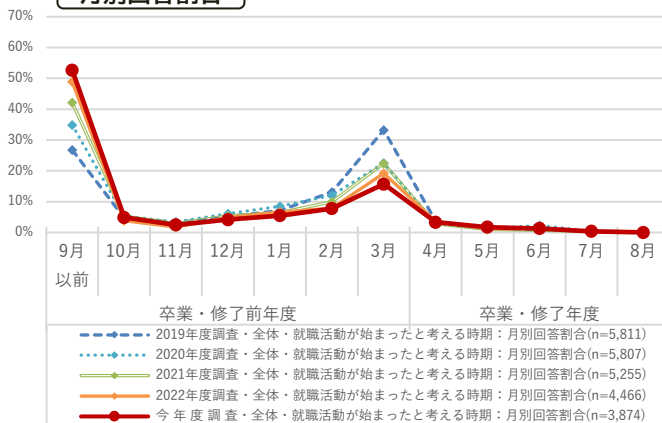
①就職活動が始まったと考える時期

回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、「2022年9月以前」が約5割と最も高く、次いで「2023年3月」の回答割合が約2割と高くなっている。

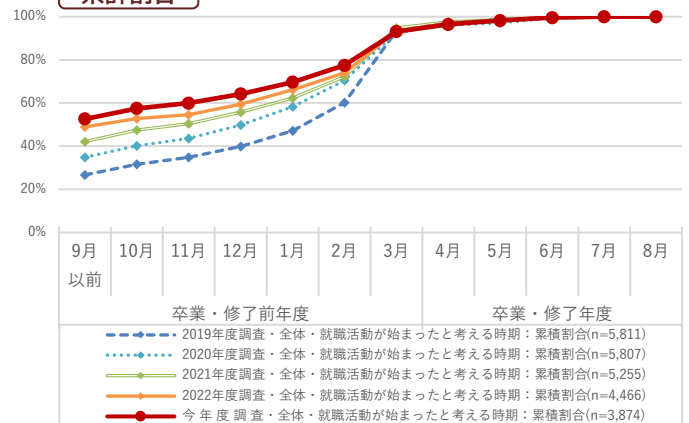
今年度調査では卒業・修了前年度3月の回答割合が比較的高い傾向は続いているが、卒業・修了前年度2月以前の回答割合は年々高くなっている。

全体

月別回答割合

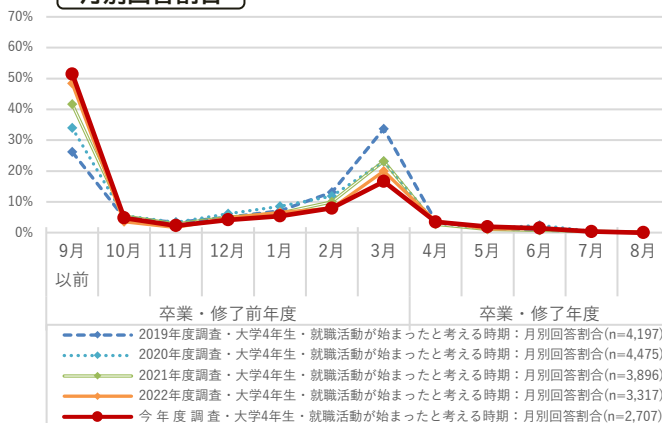


累計割合

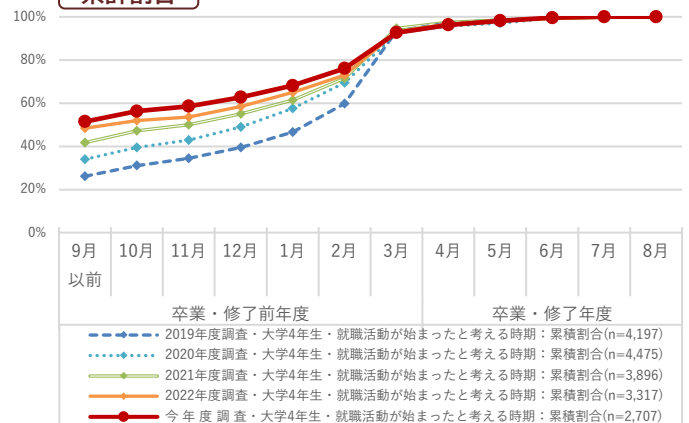


大学4年生

月別回答割合

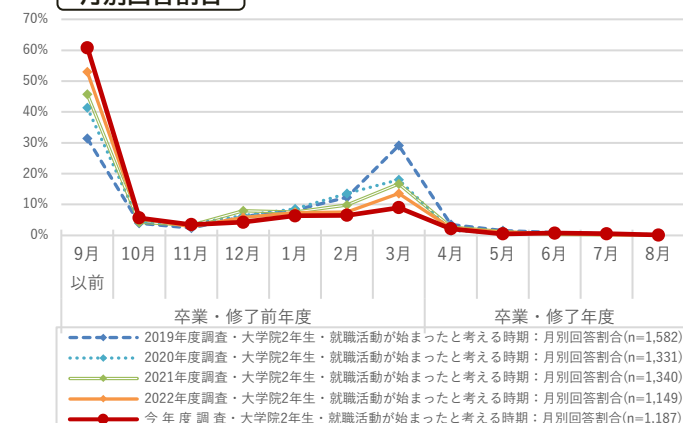


累計割合

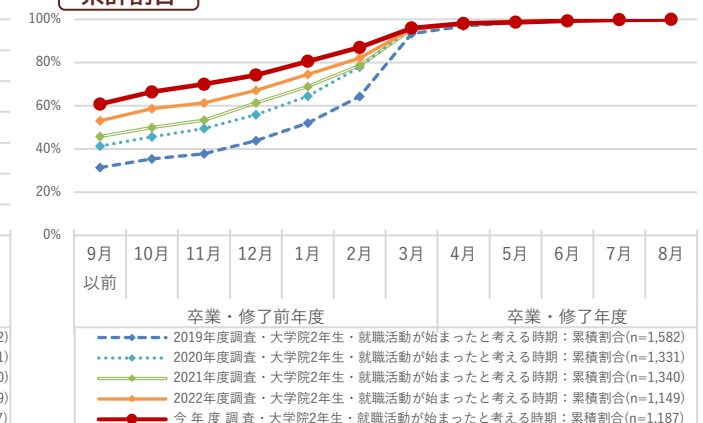


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



①就職活動が始まったと考える時期

【今年度調査・詳細データ】※全て％

全体

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	32.7	10.5	6.2	3.2	4.9	2.5	4.2	5.5	7.8	15.7	3.3	1.8	1.4	0.4	0.0
累積割合	32.7	43.2	49.4	52.6	57.5	60.0	64.2	69.7	77.4	93.1	96.5	98.2	99.6	100.0	100.0

大学4年生

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	31.4	10.6	6.2	3.3	4.8	2.3	4.2	5.4	7.9	16.6	3.5	1.9	1.4	0.4	0.0
累積割合	31.4	42.0	48.1	51.5	56.3	58.6	62.8	68.2	76.1	92.7	96.2	98.2	99.6	100.0	100.0

大学院2年生

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	41.9	10.2	6.4	2.3	5.6	3.5	4.3	6.3	6.5	9.0	2.1	0.5	0.7	0.5	0.1
累積割合	41.9	52.1	58.5	60.8	66.5	70.0	74.2	80.6	87.1	96.0	98.2	98.6	99.4	99.9	100.0

②就職活動が終わったと考える時期

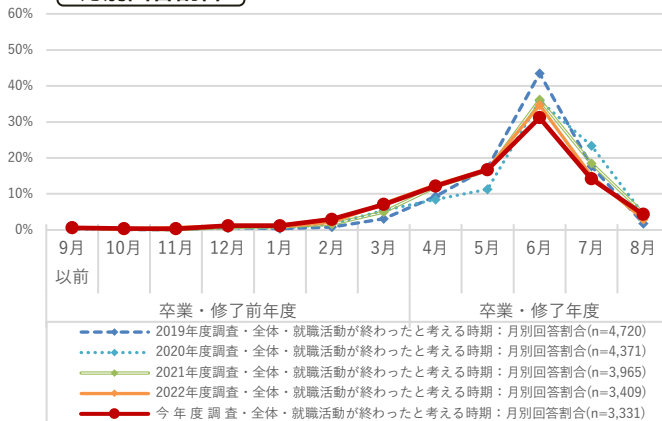
内々定を1社以上受けたと回答した者※1にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、「2023年6月」の回答割合が約3割となっている。なお、累積割合※2では、2023年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは約4割となっている。

2022年度調査と比較すると、今年度調査では卒業・修了年度5月までに終わったと回答している人はほぼ同様となっているが、卒業・修了年度の8月までに終わったと回答する人の割合がやや低くなっている。

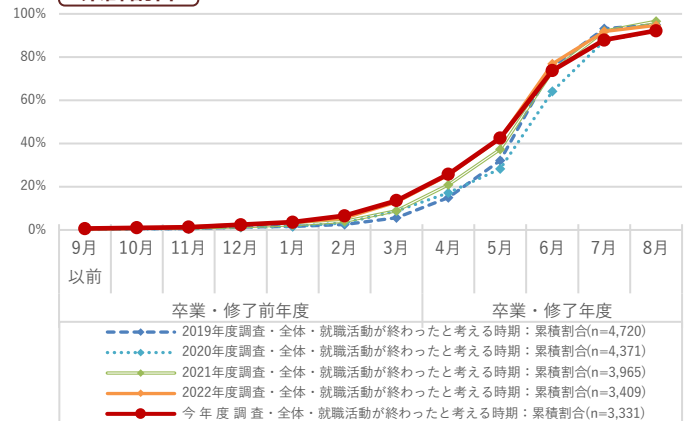
全体

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



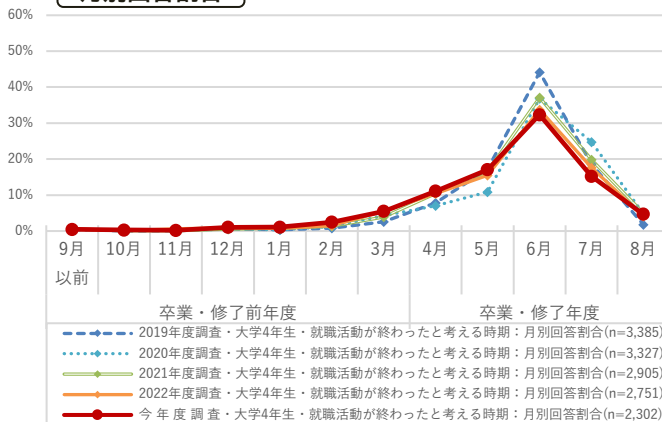
累計割合



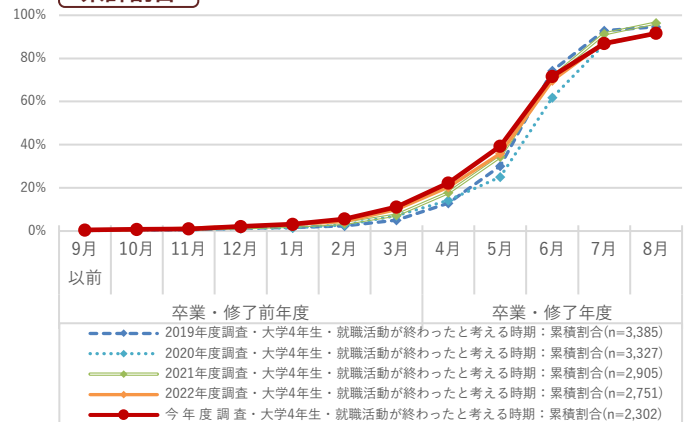
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



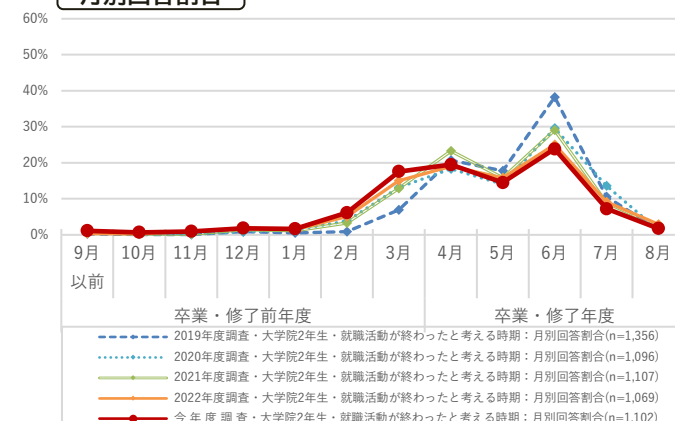
累計割合



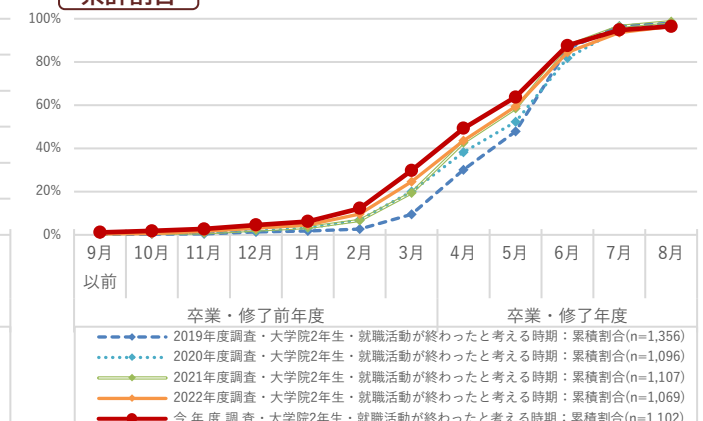
大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合



※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：「内々定をもらったが、就職予定の企業の内々定をもらっていない」とした人を、「まだ終わっていない」とした。そのため、「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

②就職活動が終わったと考える時期

【今年度調査・詳細データ】※全て％

全体

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.2	0.0	0.2	0.4	0.3	1.2	1.2	2.9	7.1	12.2	16.7	31.2	14.2	4.3
累積割合	0.2	0.4	0.4	0.6	0.9	1.3	2.4	3.6	6.5	13.6	25.8	42.5	73.7	87.9	92.2

大学4年生

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.2	0.2	0.0	0.1	0.3	0.2	1.1	1.1	2.5	5.5	11.1	17.1	32.3	15.2	4.7
累積割合	0.2	0.4	0.4	0.5	0.8	1.0	2.1	3.2	5.7	11.2	22.3	39.3	71.7	86.9	91.6

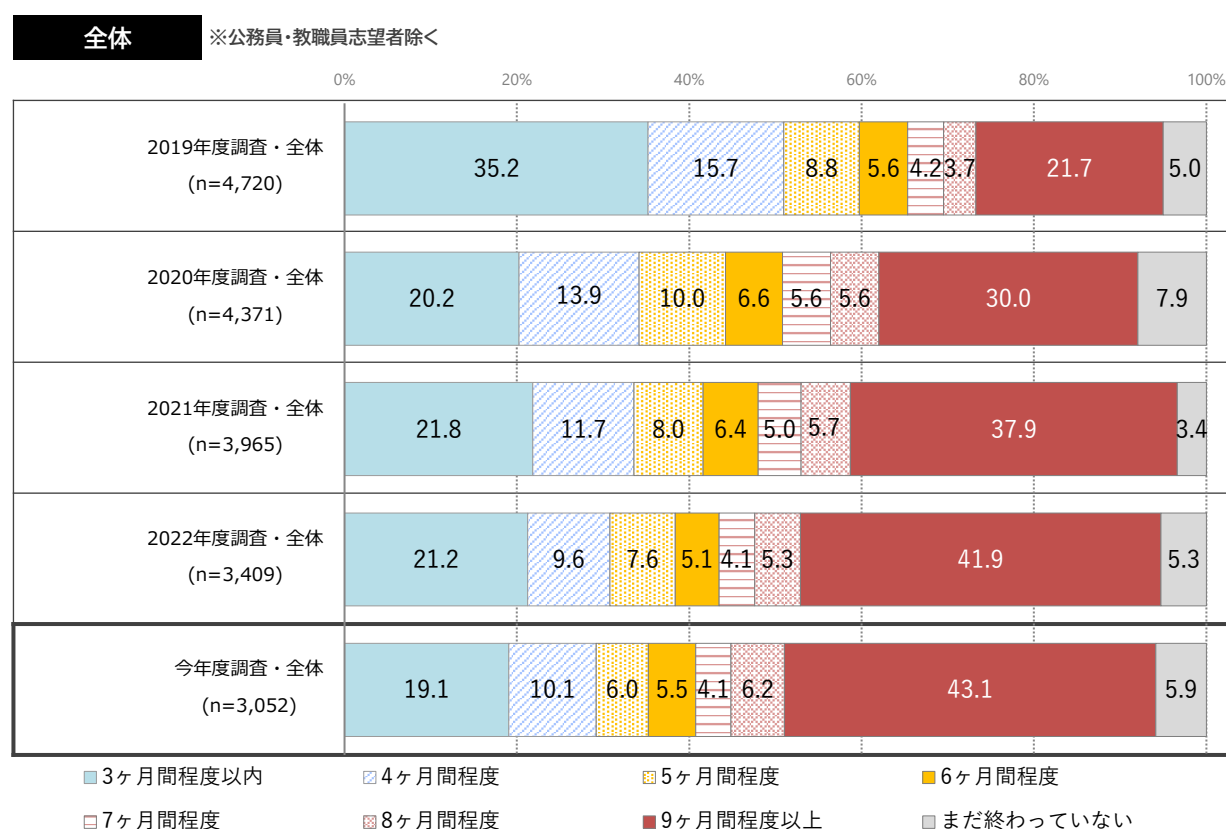
大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	0.0	0.2	0.6	0.7	0.9	1.8	1.6	6.1	17.6	19.4	14.5	23.8	7.2	1.7
累積割合	0.3	0.3	0.5	1.1	1.8	2.7	4.5	6.1	12.2	29.8	49.2	63.7	87.6	94.7	96.5

③就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると※1、「9ヶ月間程度以上」の割合が約4割と最も高く、次いで「3ヶ月間程度以内※2」が約2割と高い。
過年度調査と比較すると、「9ヶ月間程度以上」の割合が年々高くなっており、長期化の傾向がみられる。



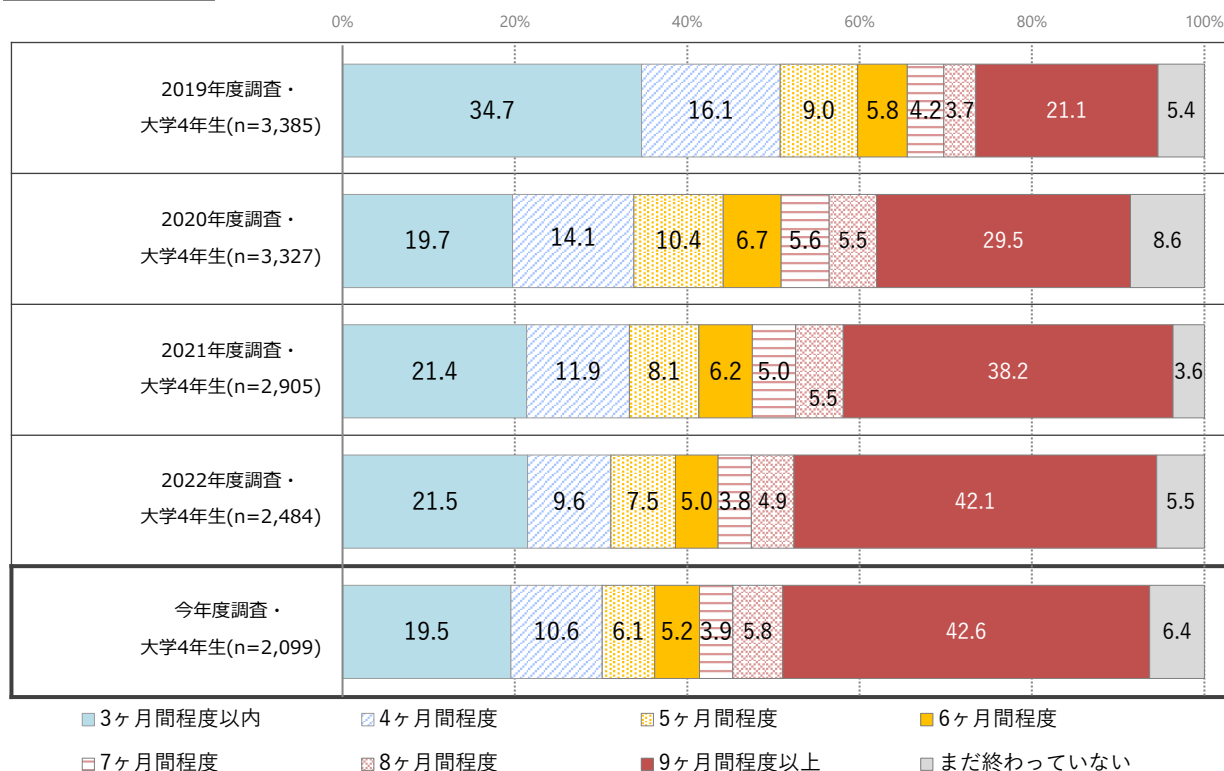
※1公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

③就職活動の始まりから終わりまでの期間

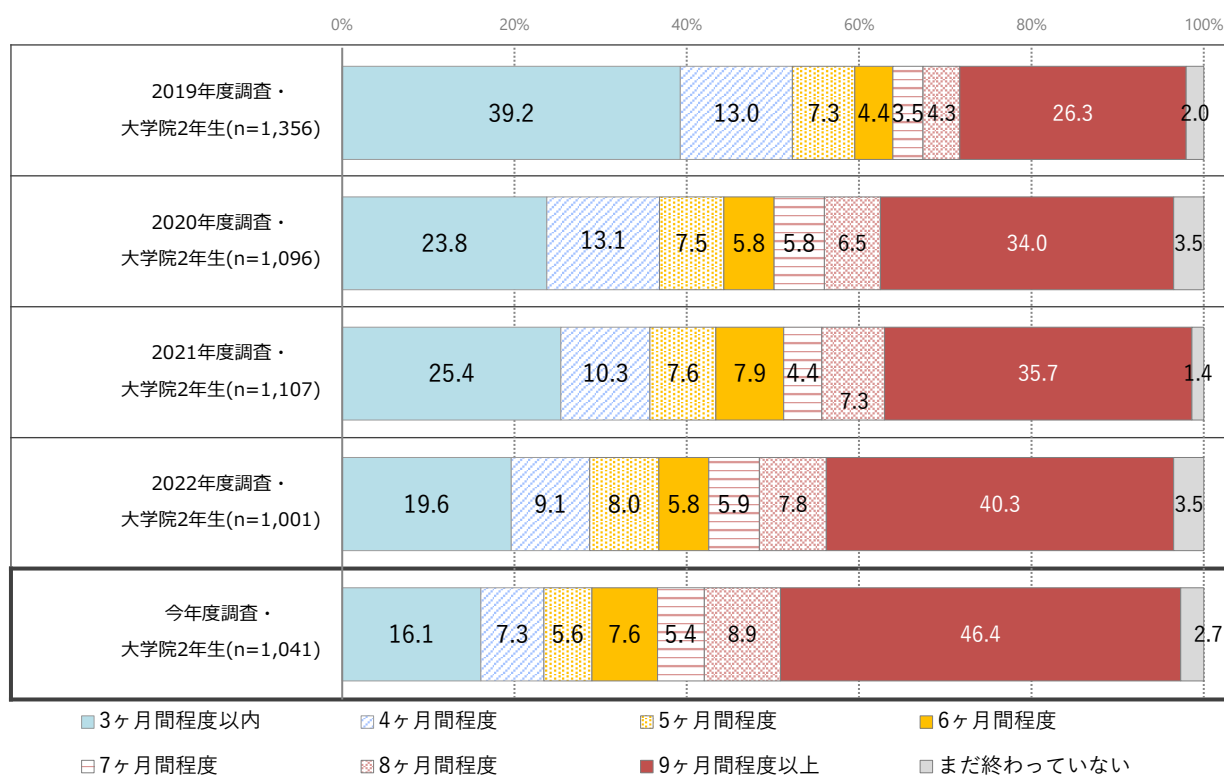
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



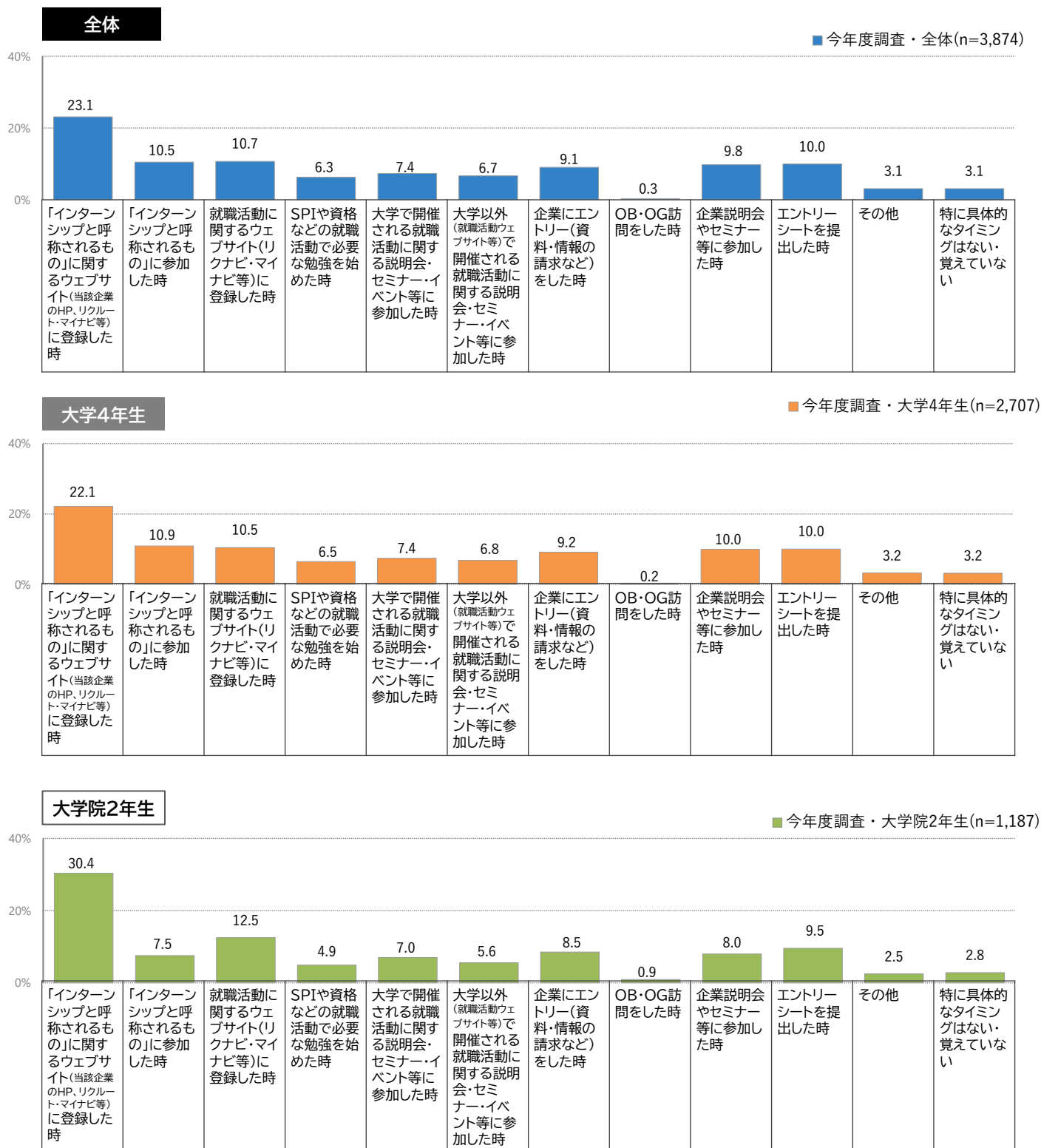
大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



④就職活動が「始まった」と考えるタイミング

就職活動が「始まった」と考えるタイミングについて、「「インターンシップと呼称されるもの」に関するウェブサイトに登録した時」が約2割と最も高く、次いで「就職活動に関するウェブサイトに登録した時」「インターンシップと呼称されるもの」に参加した時」「エントリーシートを提出した時」「企業説明会やセミナー等に参加した時」「企業にエントリーをした時」などが1割前後で並んでいる。

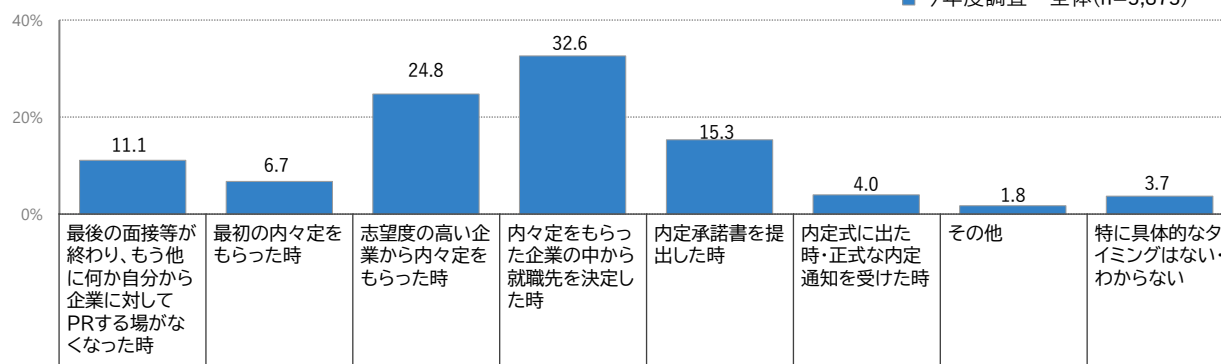


⑤就職活動が「終わった」と考えるタイミング

就職活動が「終わった」と考えるタイミングについて、「内々定をもらった企業の中から就職先を決定した時」が約3割と最も高く、次いで「志望度の高い企業から内々定をもらった時」「内定承諾書を提出した時」が約2割となっている。

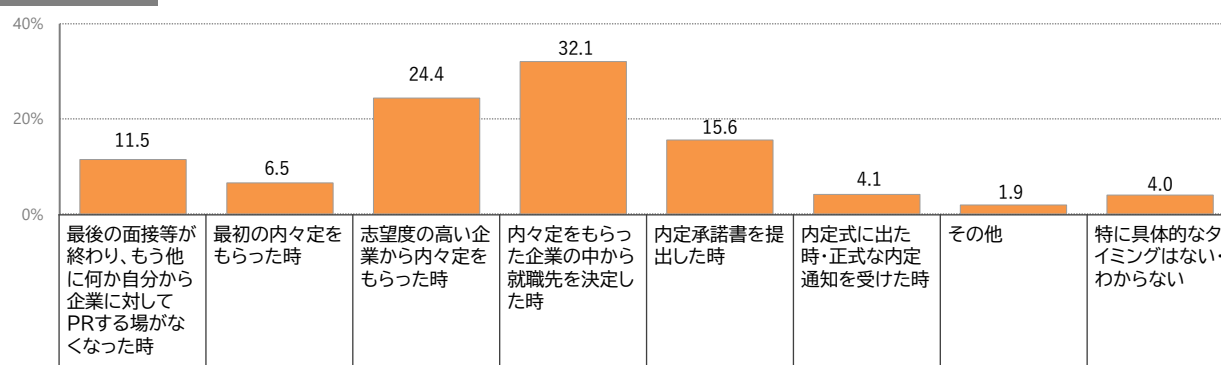
全体

■ 今年度調査・全体(n=3,873)



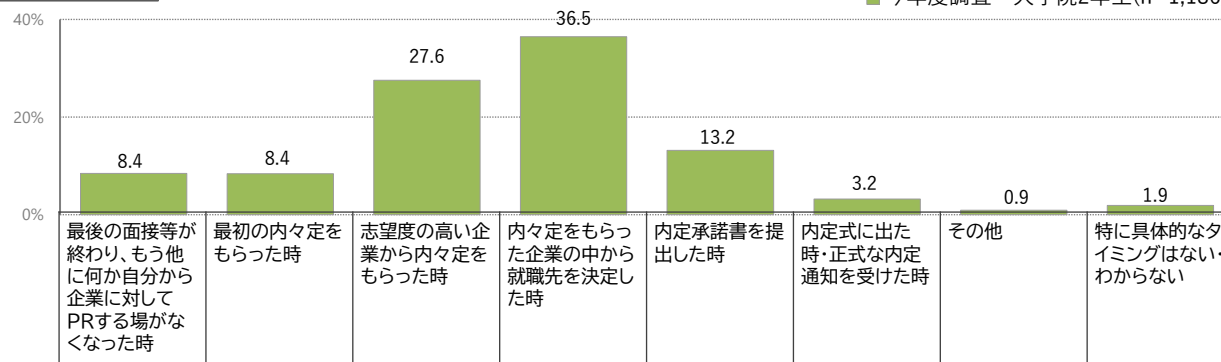
大学4年生

■ 今年度調査・大学4年生(n=2,707)



大学院2年生

■ 今年度調査・大学院2年生(n=1,186)



第五章 就職活動における諸問題について

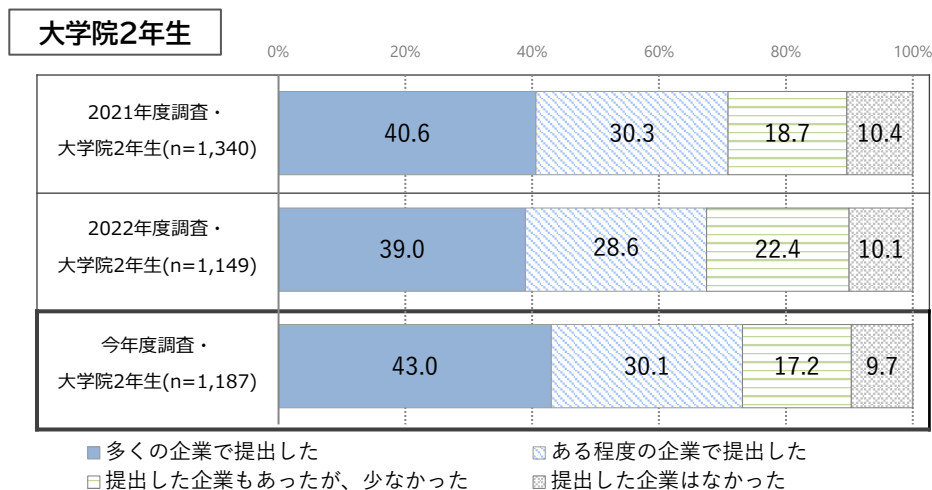
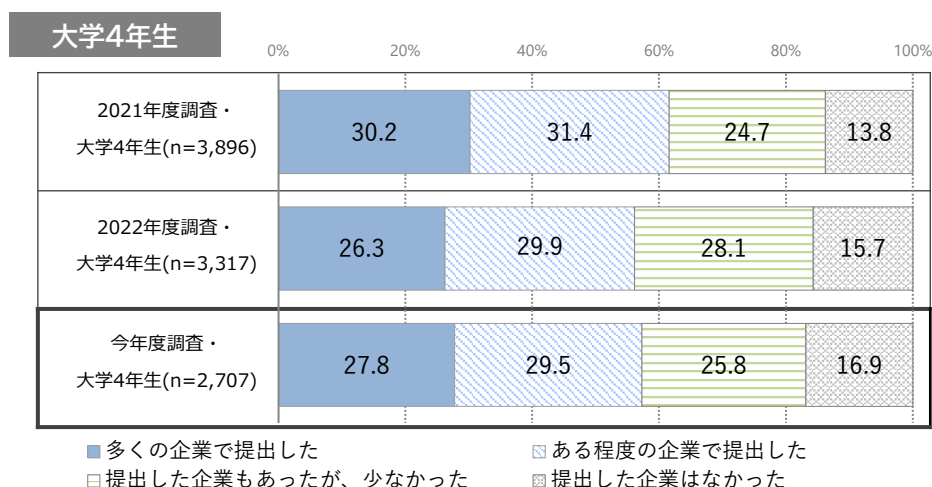
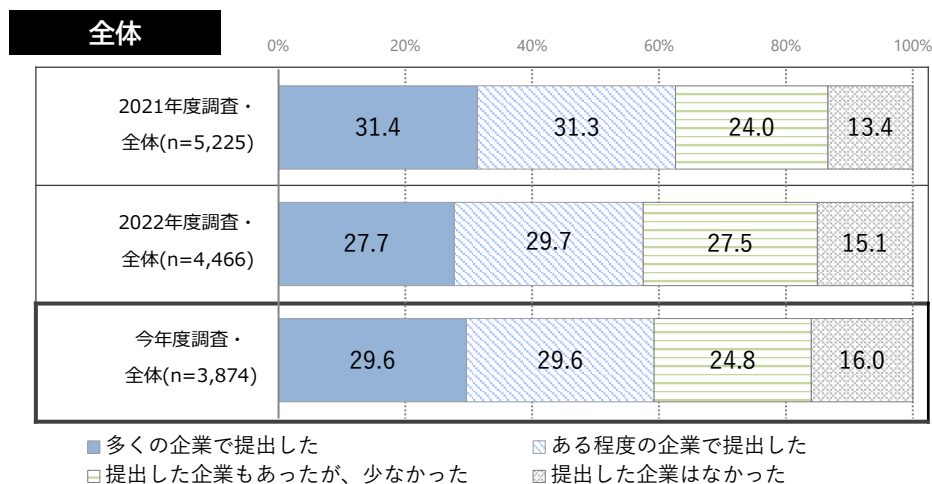
第五章 就職活動における諸問題について

(1) 履修履歴(成績証明書など)の提出の状況

①提出の状況

就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。

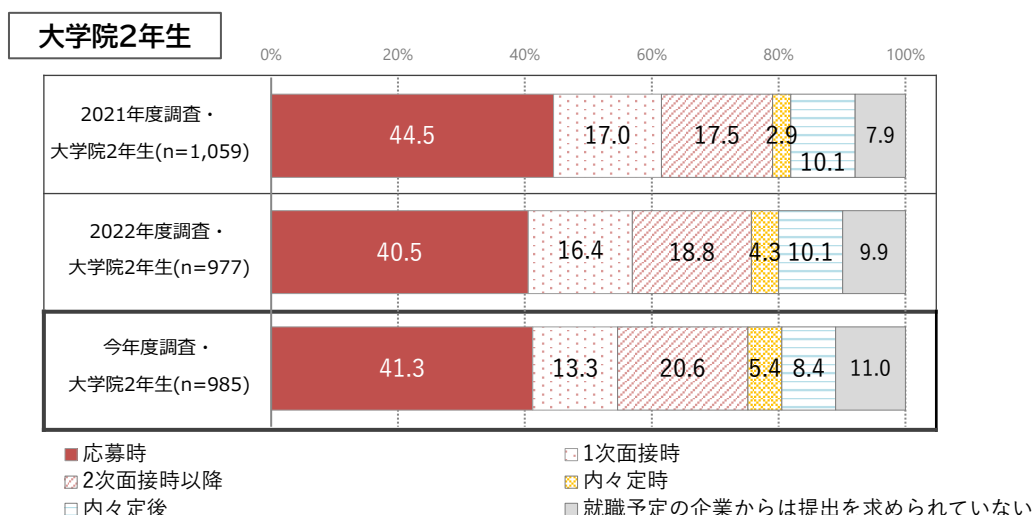
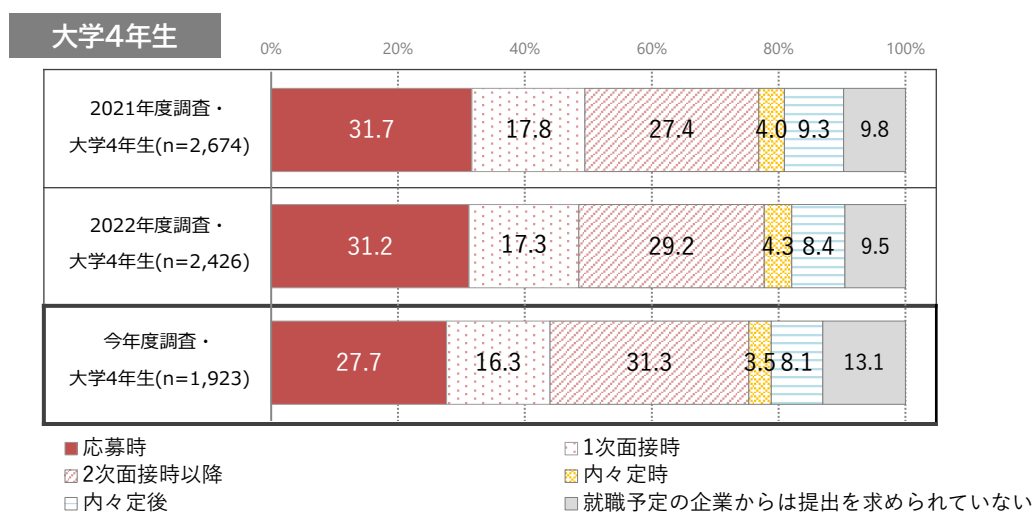
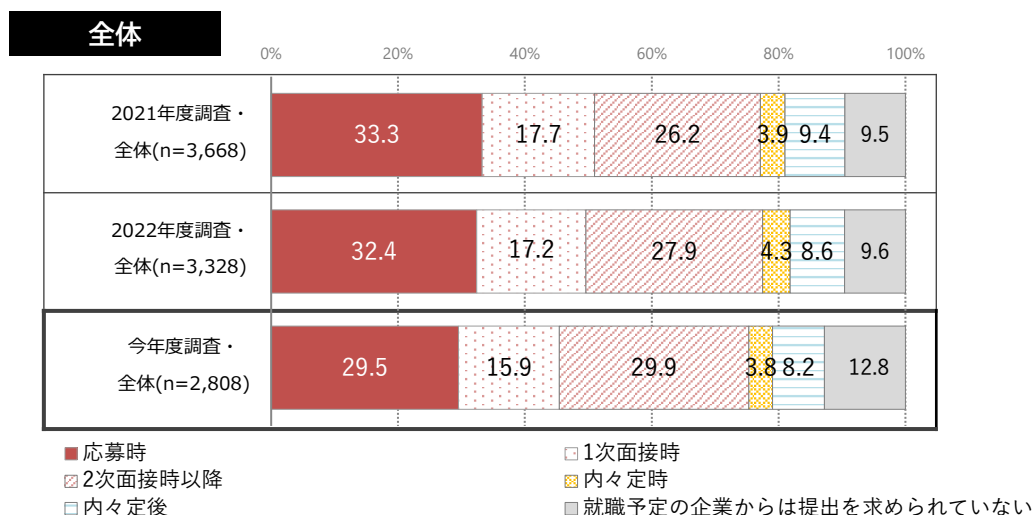
過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②就職予定の企業への履修履歴提出のタイミング

就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて※1、「2次面接時以降」「応募時」の回答割合が約3割と高くなっている。

過年度調査と比べると、「応募時」がやや減少し、「2次面接時以降」がやや増加傾向にある。



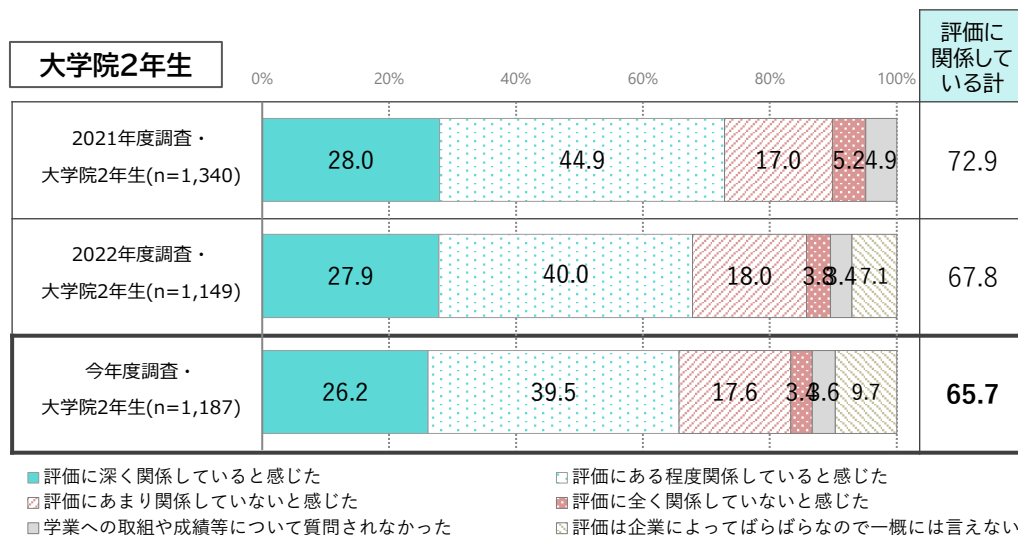
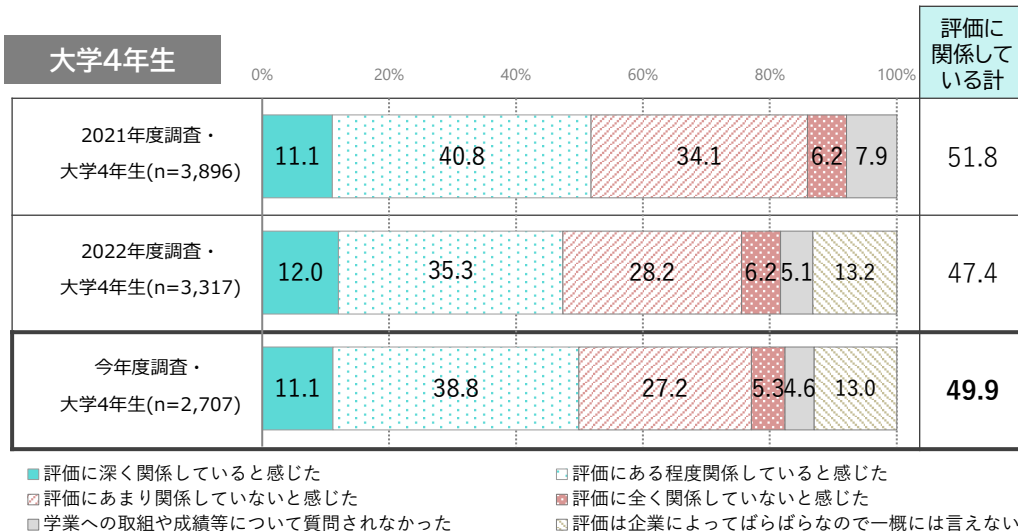
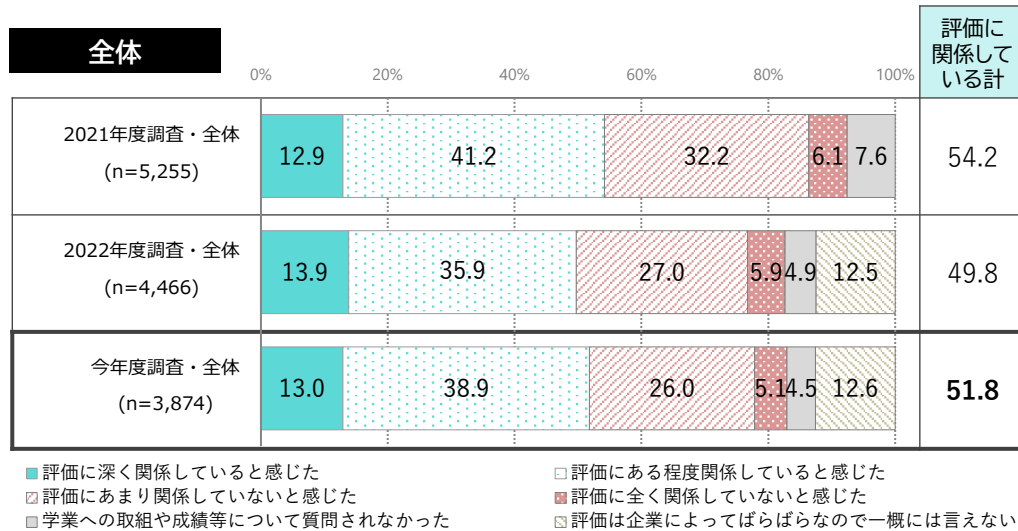
※1：就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「就職予定の企業の内々定を受けたのはいつ頃ですか」という設問に対して、「まだ受けていない」と回答した者、または「就職活動に採用試験・面接等を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度ありましたか」という設問に対して、「提出した企業はなかった」と回答した者は除いて集計した。

(2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

①採用面接の際の学業の取り組みや成績等への質問有無と評価との関係

採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問などを受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて※1、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

2022年度調査と比べると、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、ほぼ同様の結果となっている。

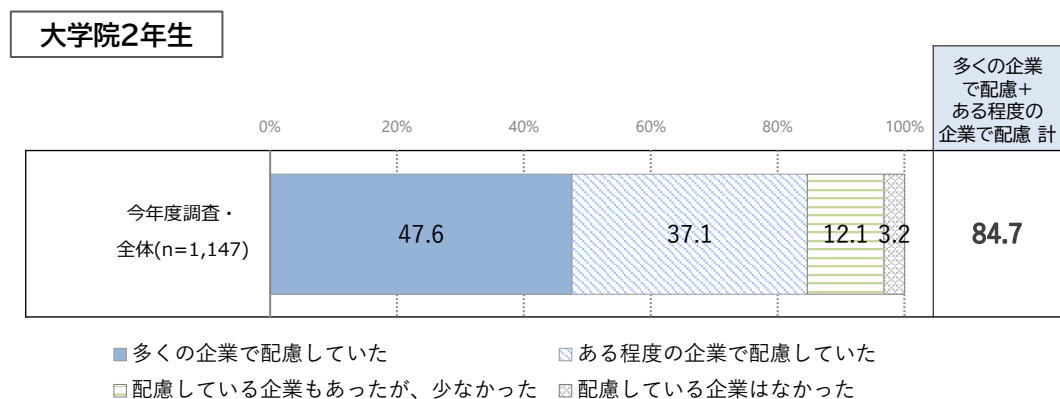
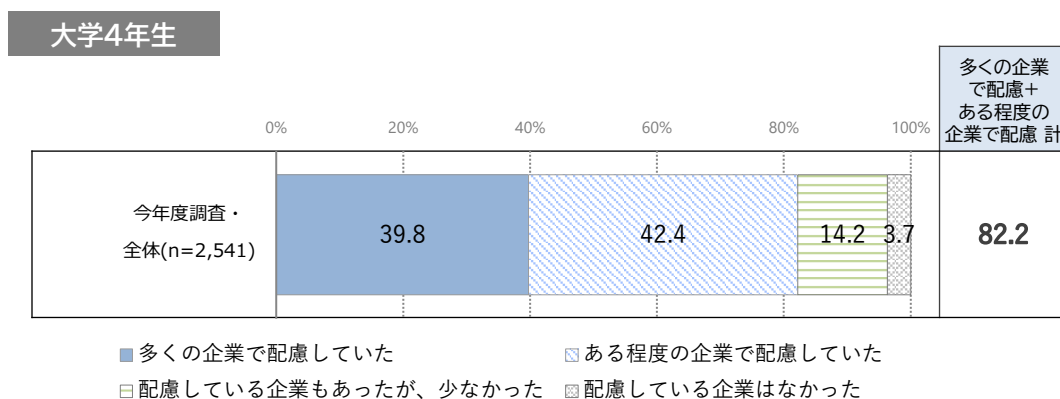
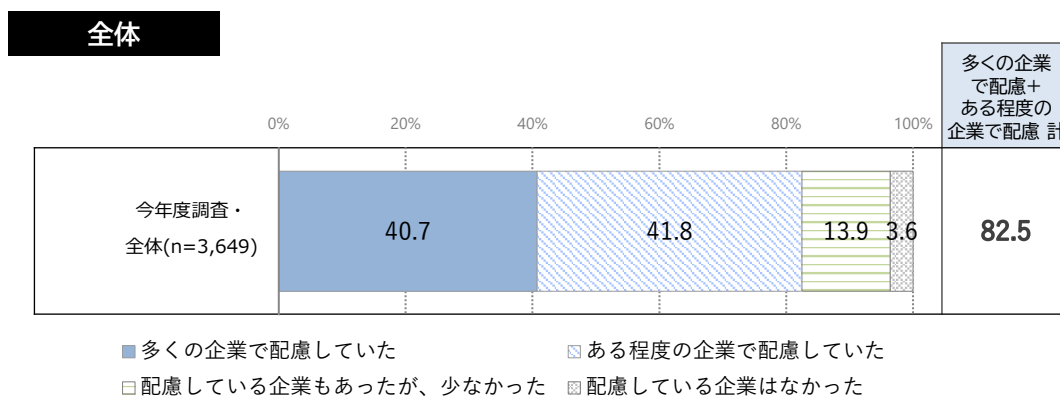


※1：「評価は企業によってばらばらなので一概には言えない」の調査項目は2022年度調査で新たに設けた項目である。

(3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

①説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

就職活動を行った企業において説明会や個別の面接日時・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。



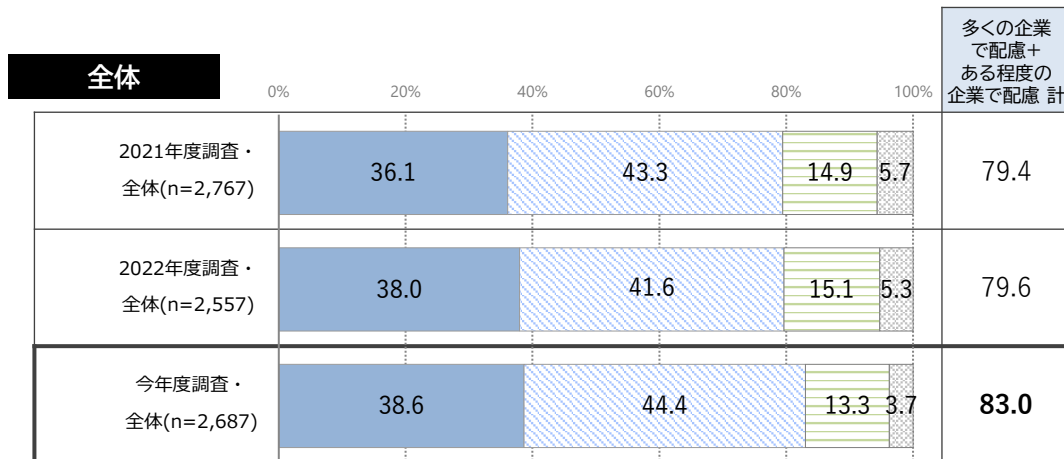
※1：就職活動を行った企業について、「説明会や個別の面接日時・時間帯について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか。」という設問に対して、「よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(4) 遠隔地への就職活動への配慮

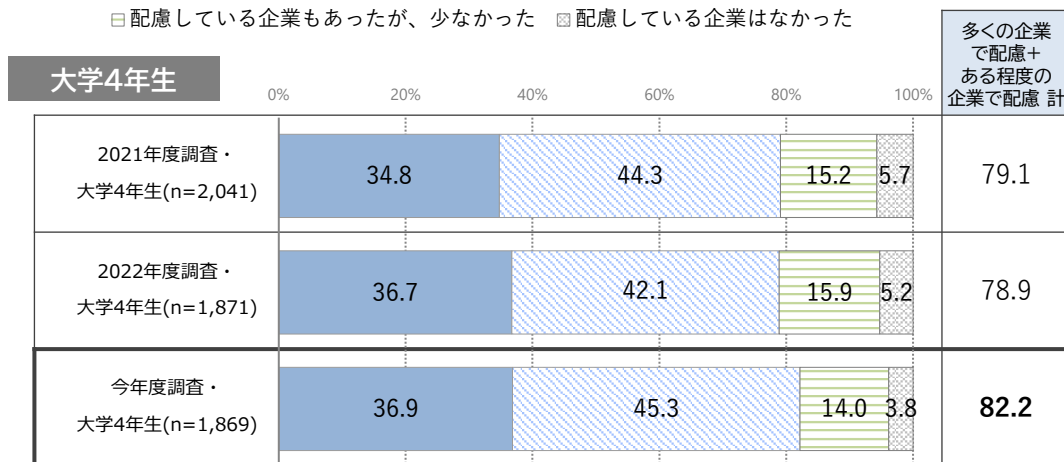
①遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況

地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと※1、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

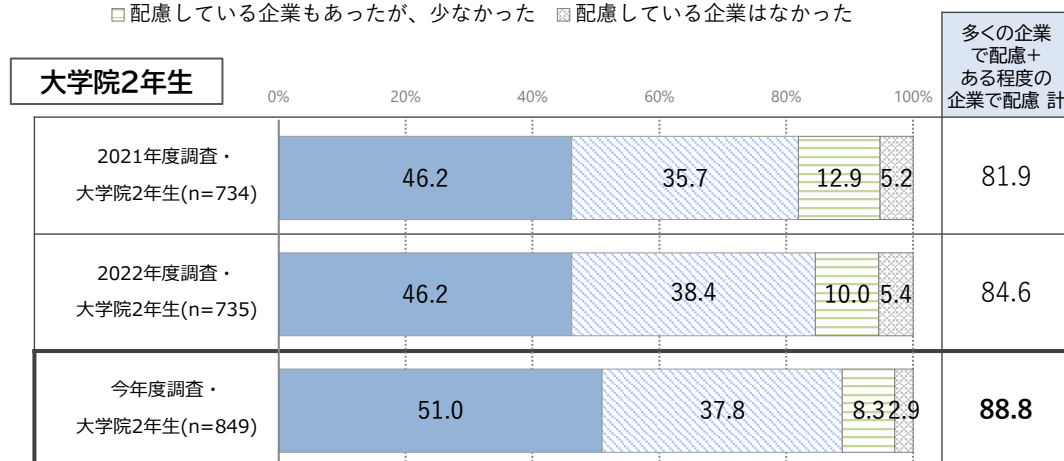
過年度調査と比較すると、やや増加傾向となっている。



■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった



■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった



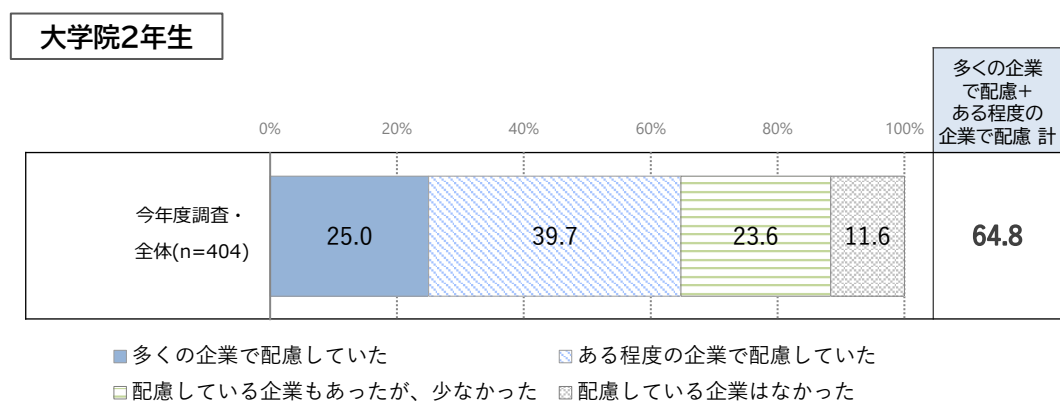
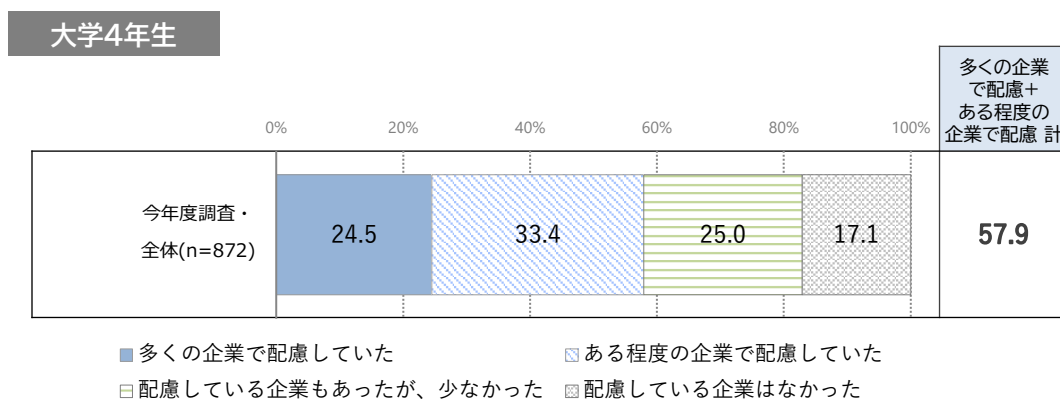
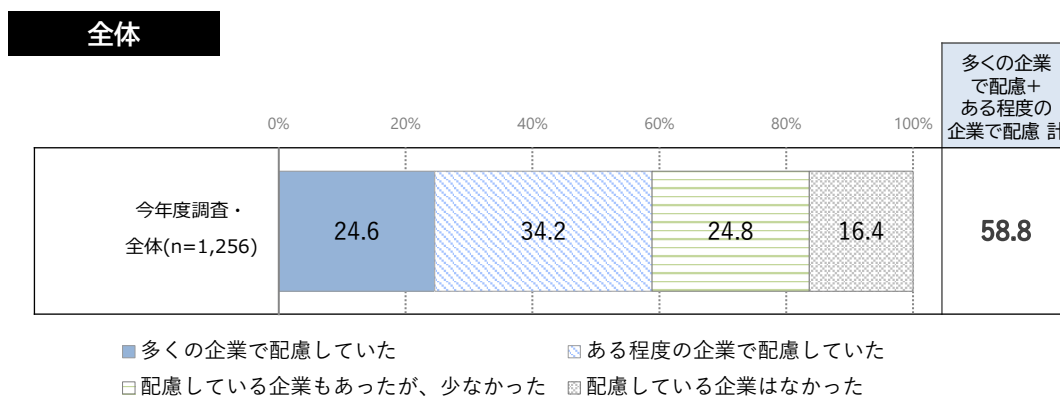
■ 多くの企業で配慮していた ■ ある程度の企業で配慮していた
 □ 配慮している企業もあったが、少なかった □ 配慮している企業はなかった

※1：「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、2022年度調査以前においては「自身が該当しないため、よくわからない」、今年度調査においては「よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

(5) 留学経験者への配慮

①企業側から留学経験者に対する配慮の状況

就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」と回答したものを除くと※1、約6割が「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」と回答している。



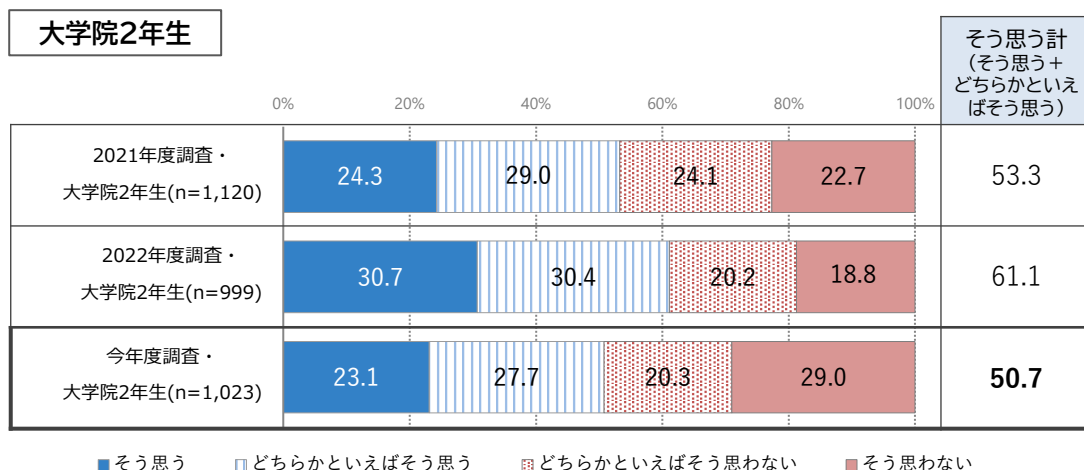
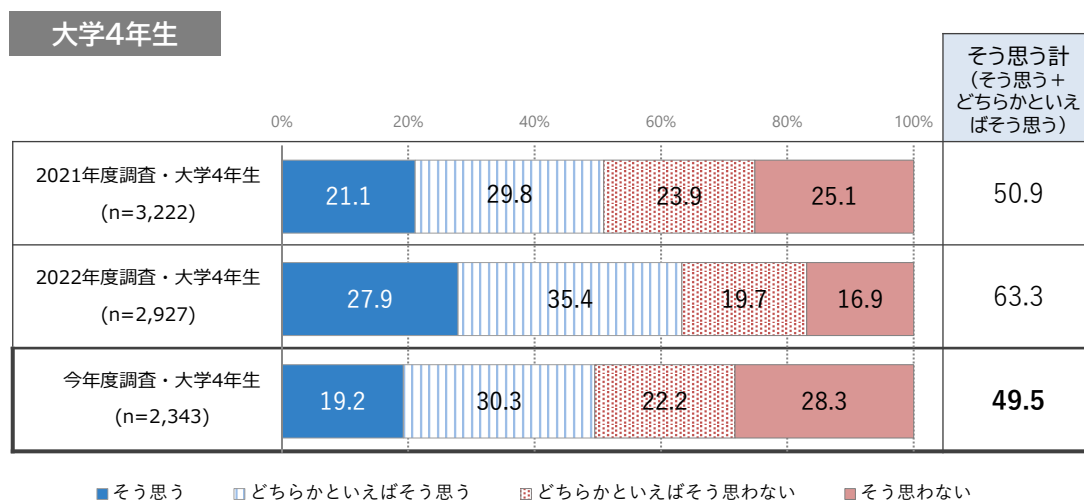
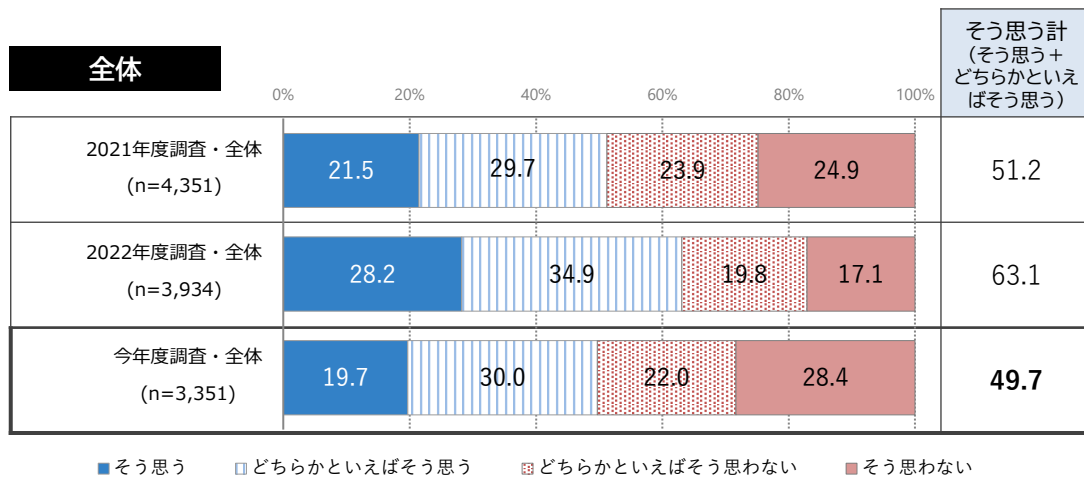
※1：「あなたが就職活動をした企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「わからない」と回答した者は除いて集計した。

(6) 秋採用や通年採用などに関する機会提供や情報発信

①秋採用や通年採用などに関する企業の機会提供や情報発信の状況

秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたか※1について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約5割となっている。

2022年度調査と比較すると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は低下傾向にある※2。

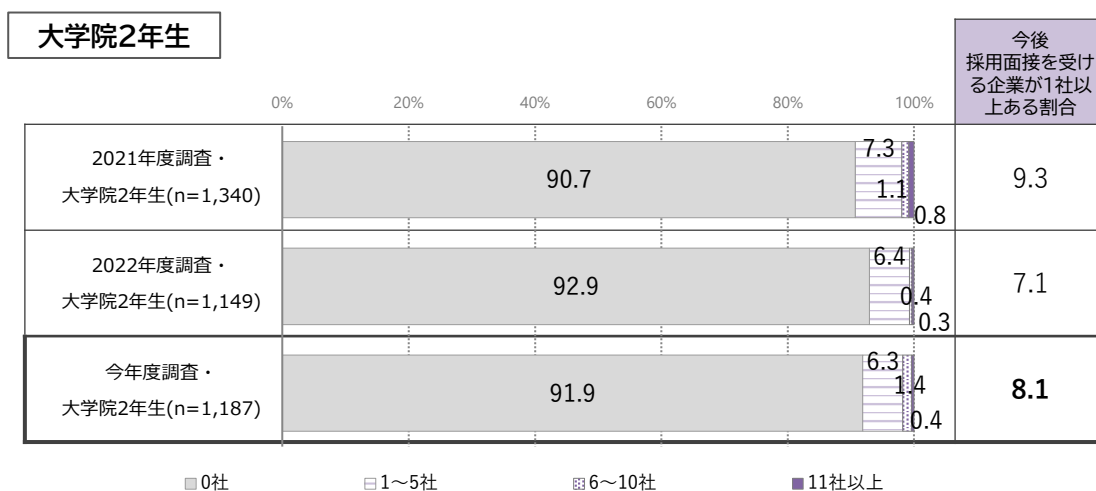
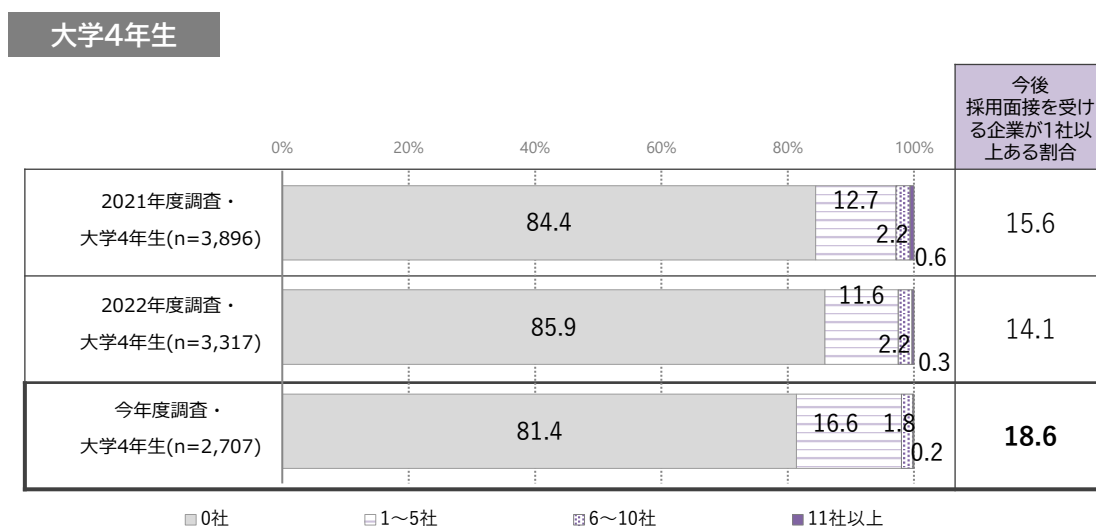
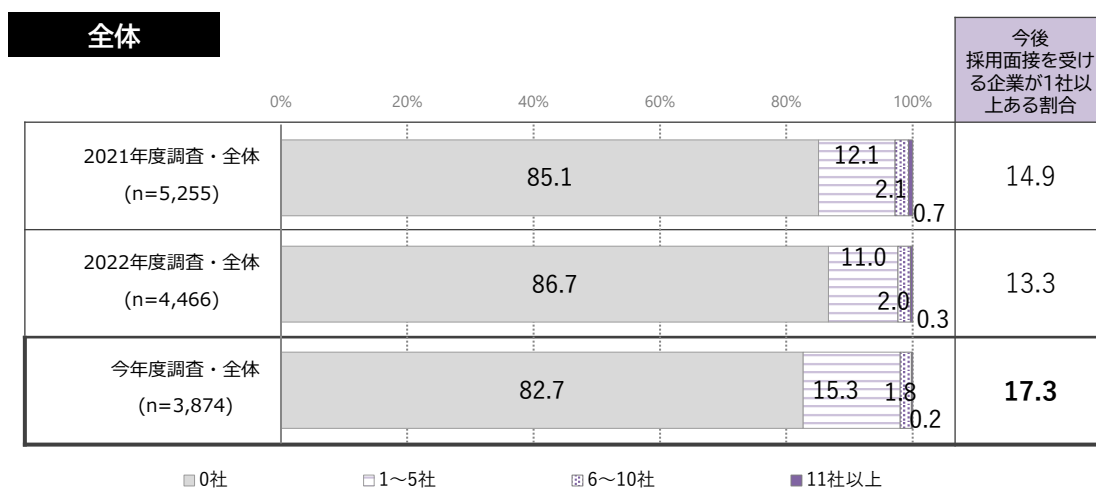


※1：就職活動を行った企業について、「秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたか」という設問に対して、「わからない」と回答した者は除いて集計した。

※2：前年度までは「秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信は、企業からあなたを含めた応募者に対してなされていたか」と尋ねていたが、今年度調査では「秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信は、企業からあなたに対してなされていたか」と尋ねた。

②今後の採用面接の予定

今後採用面接を受ける予定の企業数について、1社以上である者が約2割となっている。
過年度調査と比較すると、「1社以上」の回答割合は増加傾向にある※1。



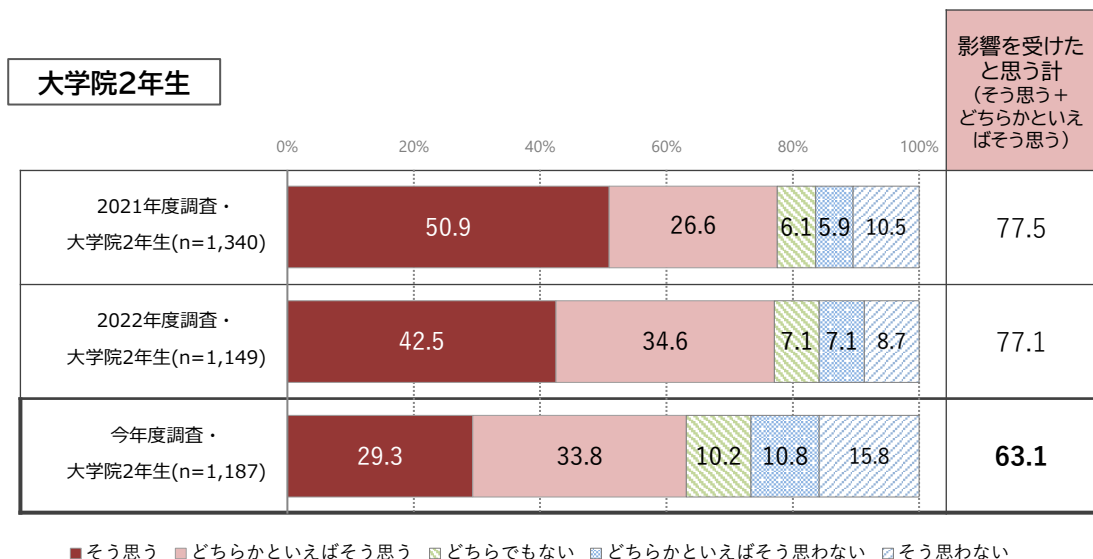
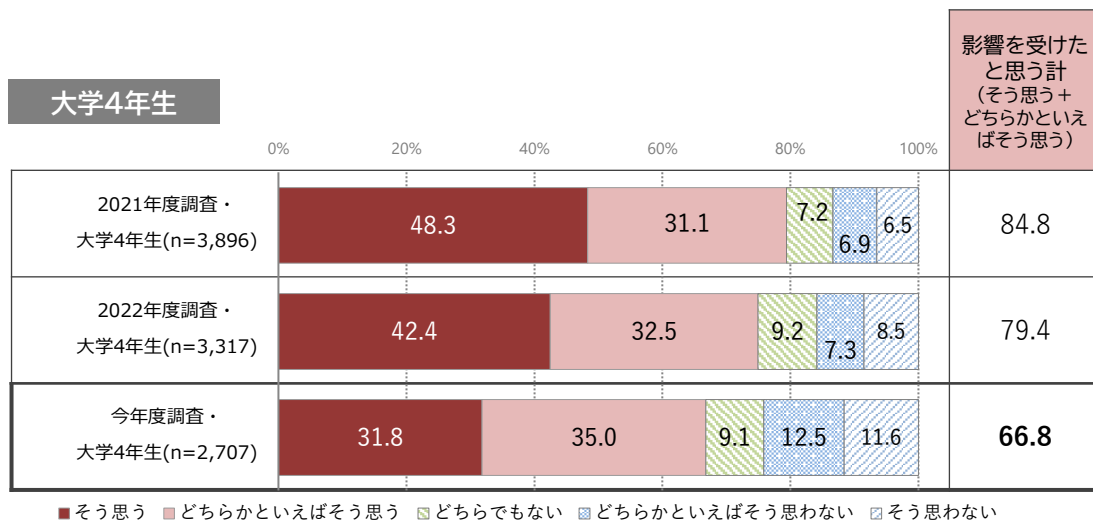
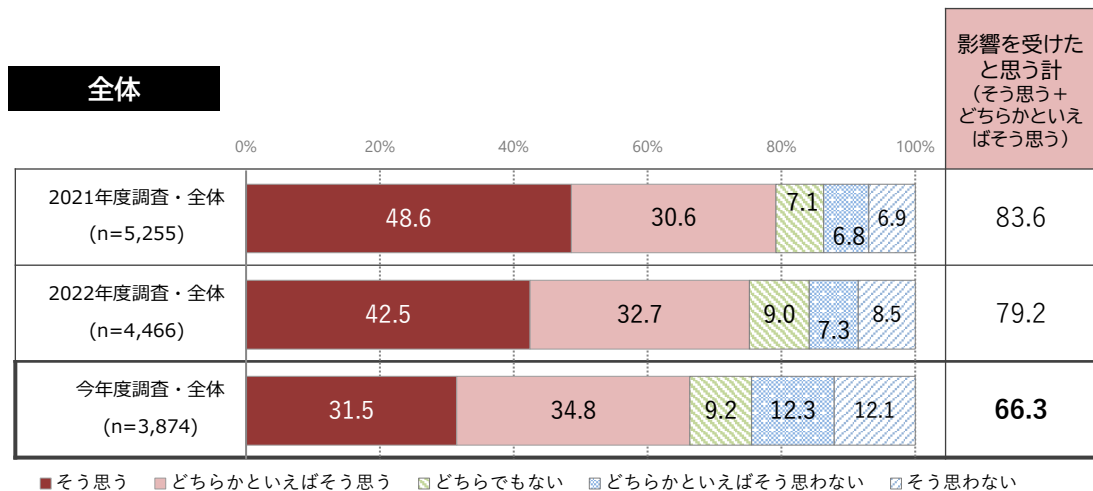
※1：2022年度以前調査では「秋採用や通年採用の実施により、今後採用面接を受ける予定の企業数はどの程度あるか」について尋ねていたが、今年度調査では秋採用や通年採用の限定せず、「今後採用面接を受ける予定の企業はどの程度あるか」を尋ねた。

(7) 新型コロナウイルス感染症の影響

①就職活動全般について新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うか

就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている。

過年度調査と比較すると、「そう思う」の回答割合は減少傾向にある。

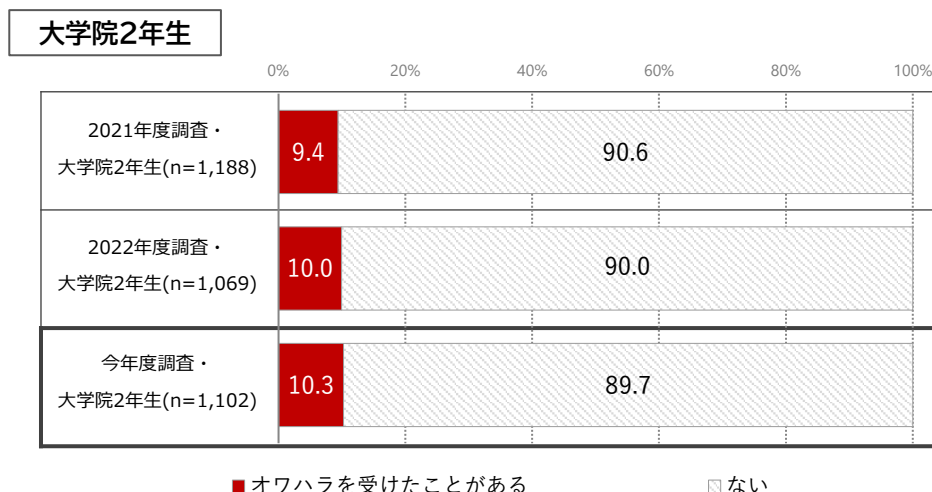
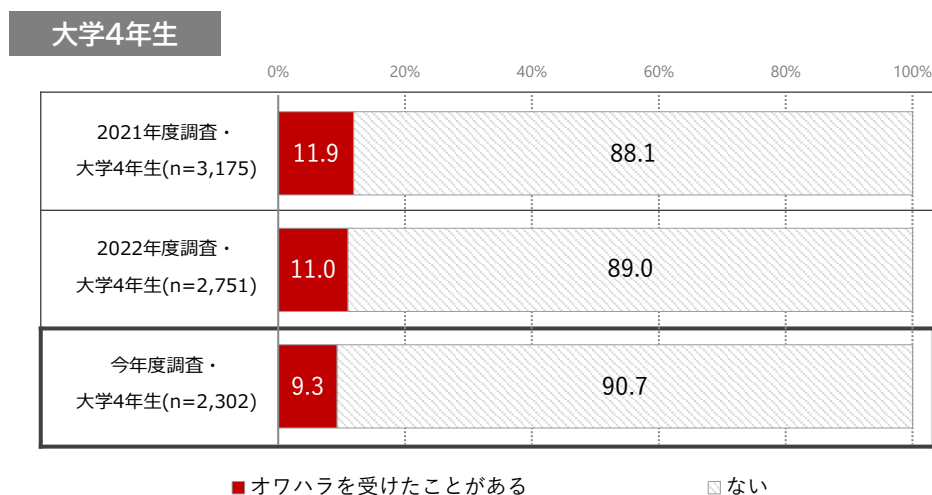
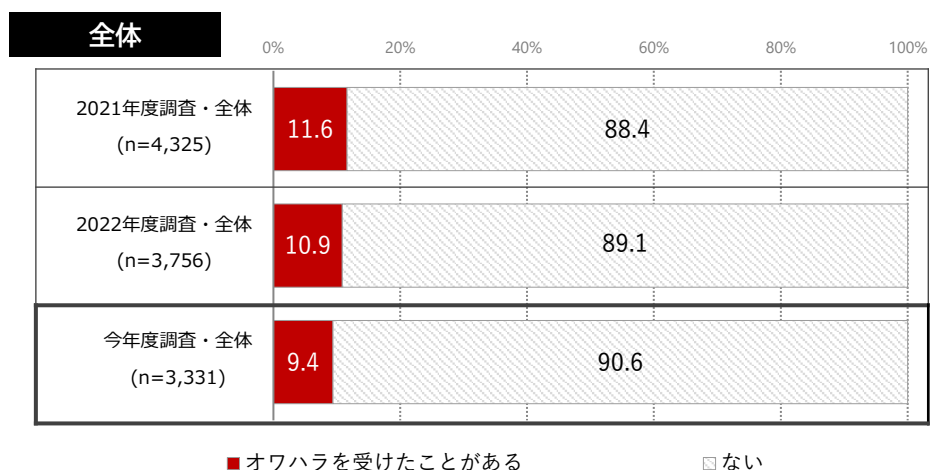


(8)「オワハラ」の状況

①「オワハラ」の有無

企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ※1」)を受けたことがあるかについて※2、約1割の者が「ある」と回答している。

過年度調査と比較すると、「ある」と回答した割合は、やや減少傾向にある。

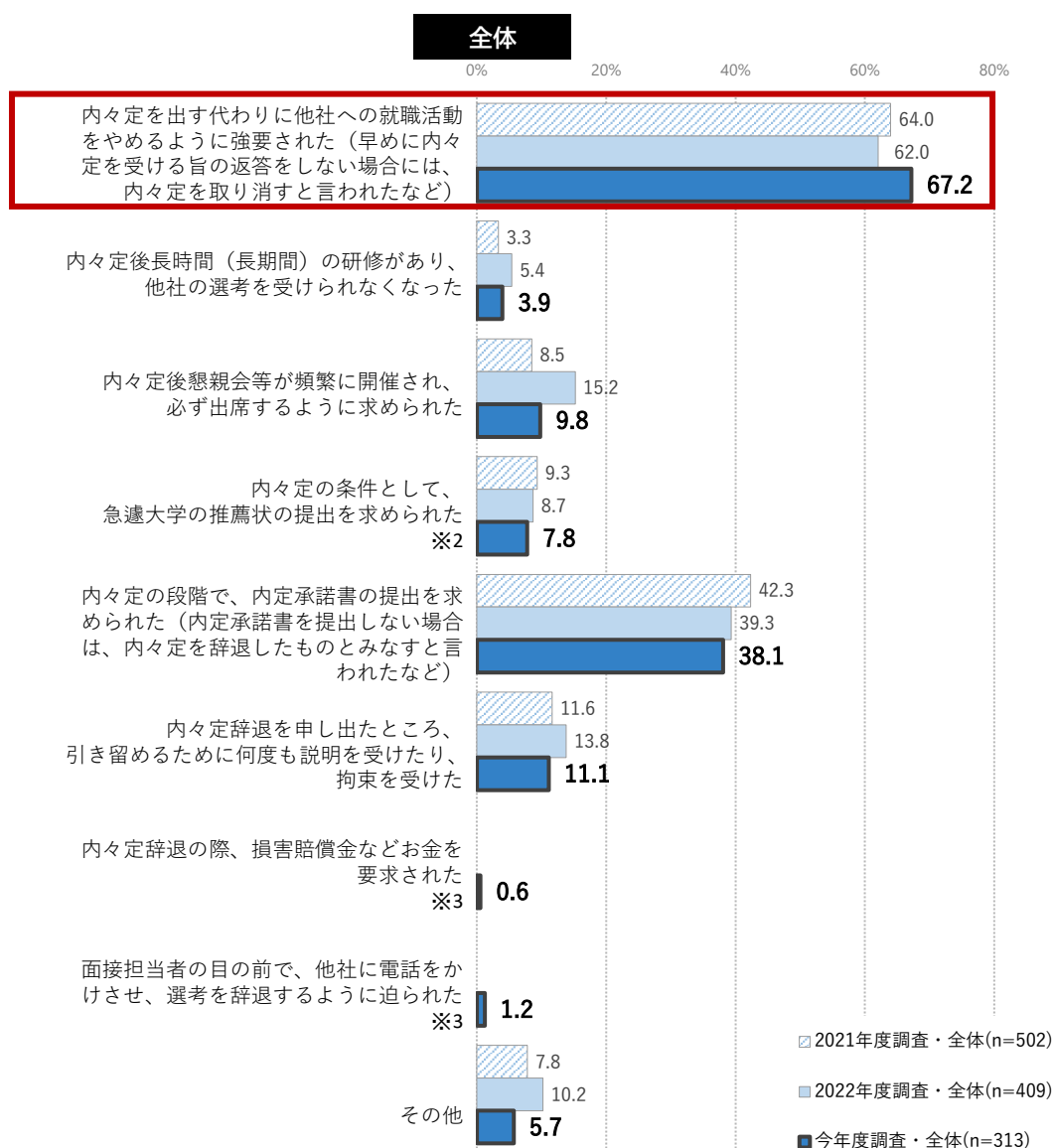


※1：今年度調査から設問において「(例) 正式な内定前に他社への就職活動の終了を迫ったり、誓約書等を要求したりすること」「(例) 内(々) 定期間中に行われた業務性が強い研修について、内(々) 定辞退後に研修費用の返還を求めたり、事前にその誓約書を要求したりすること」といった例を提示したうえで、調査を行った。

※2：内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。

②「オワハラ」の内容

企業等から、「オワハラ※1」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）」の回答割合が約7割となっており、2022年度調査と比較して高くなっている。

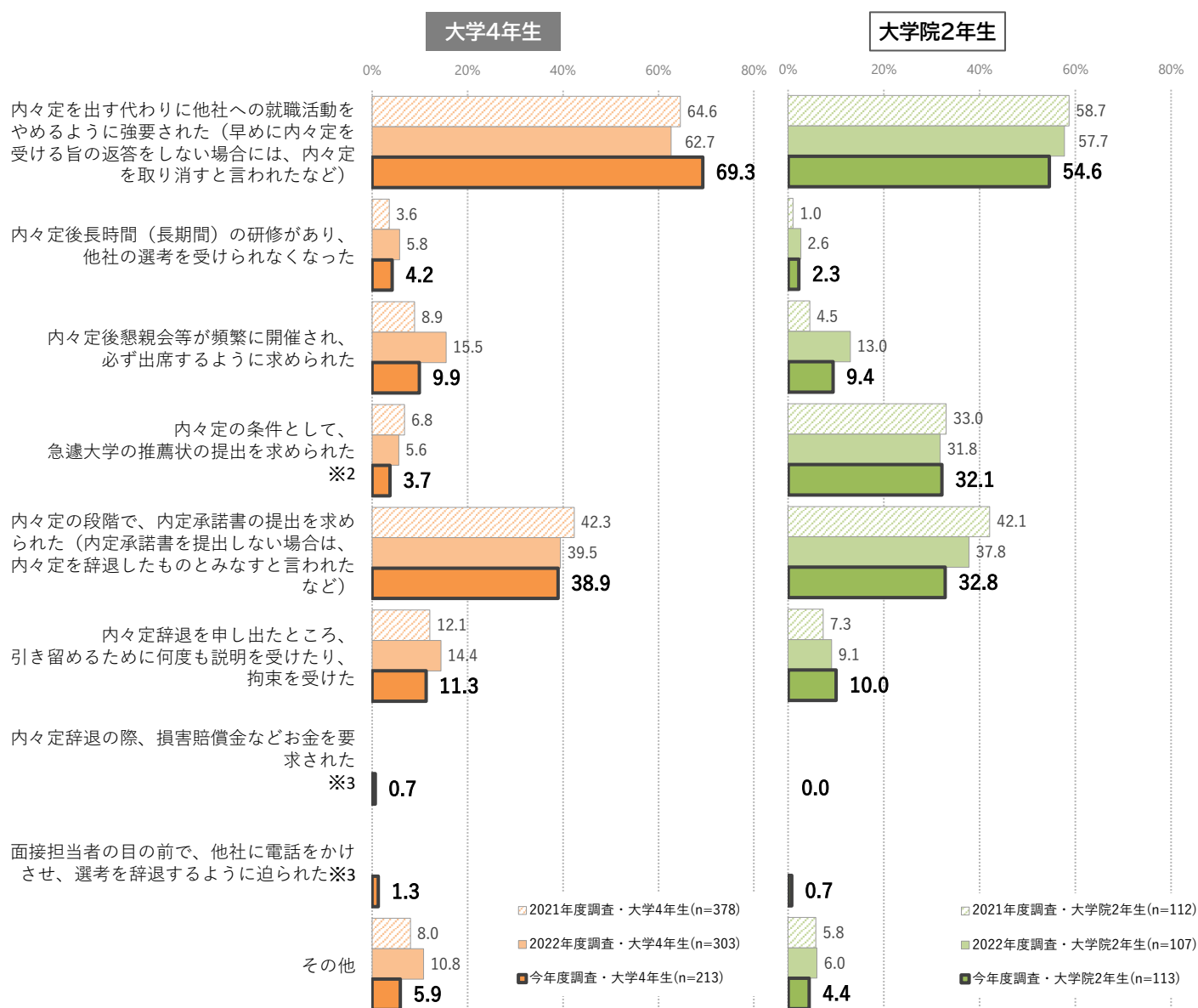


※1：オワハラについては、今年度調査では「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

※2：2022年度以前の選択肢は「自由応募であったのに、内々定の段階になって、まだ他社の選考を受けたいにも関わらず、急遽大学の推薦状の提出を求められた」。

※3：「内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された」「面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた」は今年度調査より新たに設けた項目である。そのため、「その他」の数値についても注意が必要。

②「オワハラ」の内容

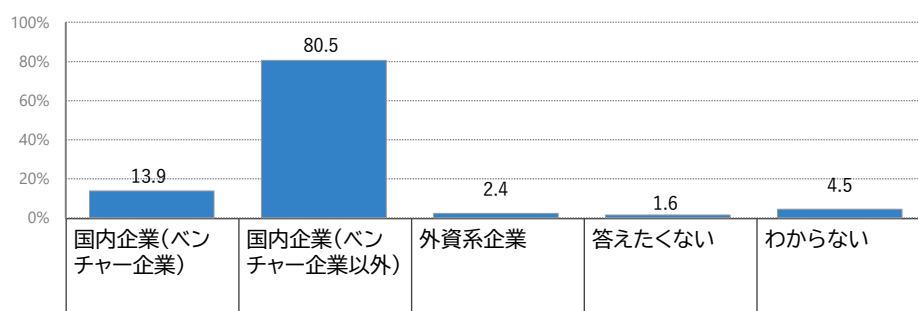


③オワハラを受けた企業の種類

他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（「オワハラ※1」）を受けたことがある企業の種類について、「国内企業（ベンチャー企業以外）」が約8割。「国内企業（ベンチャー企業）」が約1割、「外資系企業」が2.4%となっている。

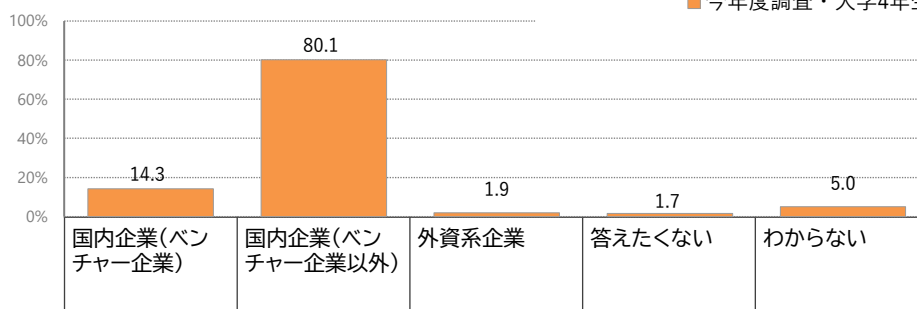
全体

■ 今年度調査・全体(n=313)



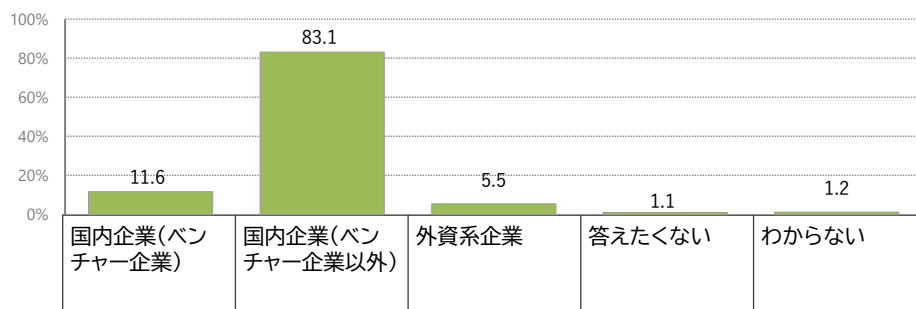
大学4年生

■ 今年度調査・大学4年生(n=213)



大学院2年生

■ 今年度調査・大学院2年生(n=113)

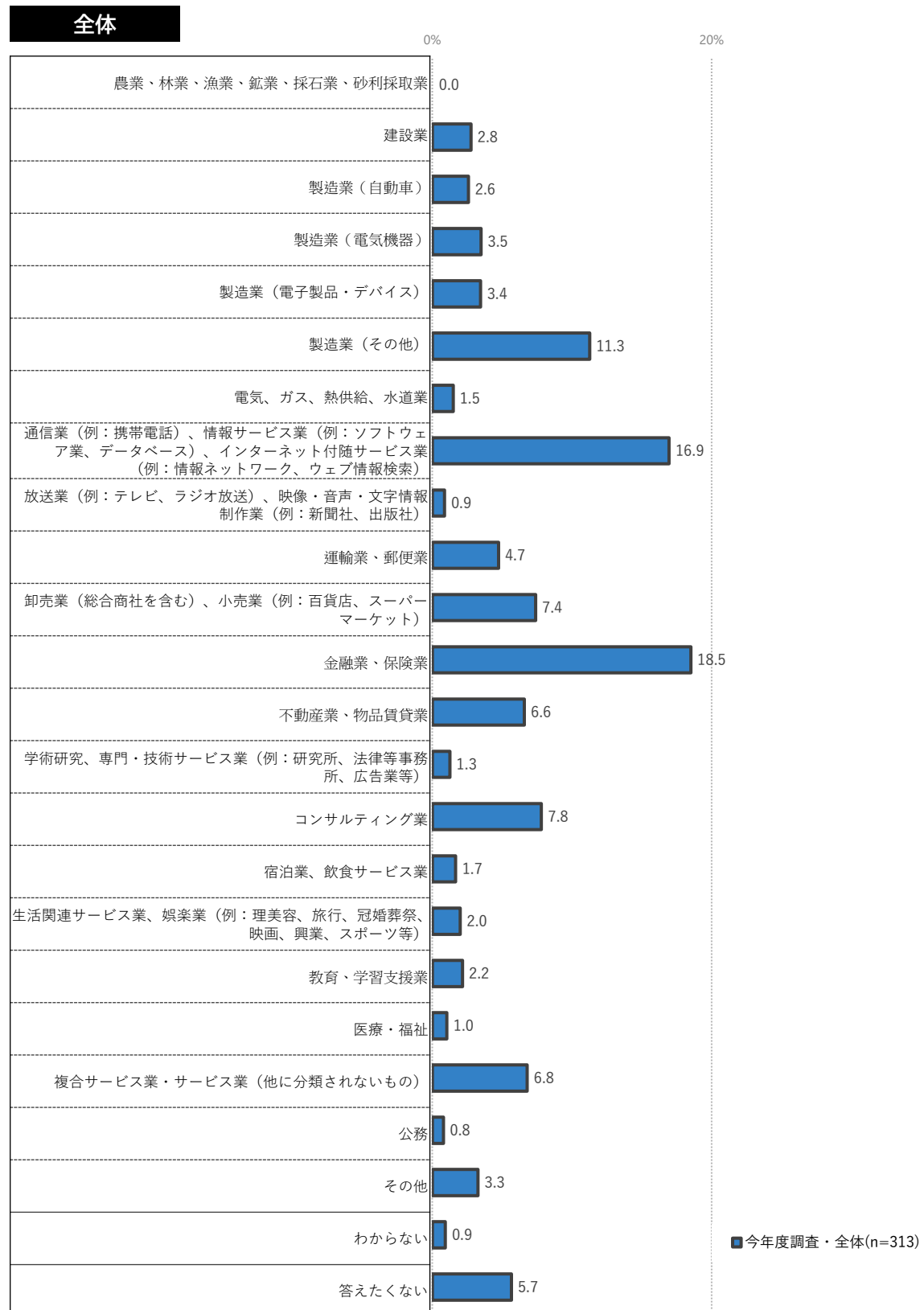


※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

※2：ベンチャー企業については、「ここでは、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこことする。」と、回答者に案内した上で調査を行った。

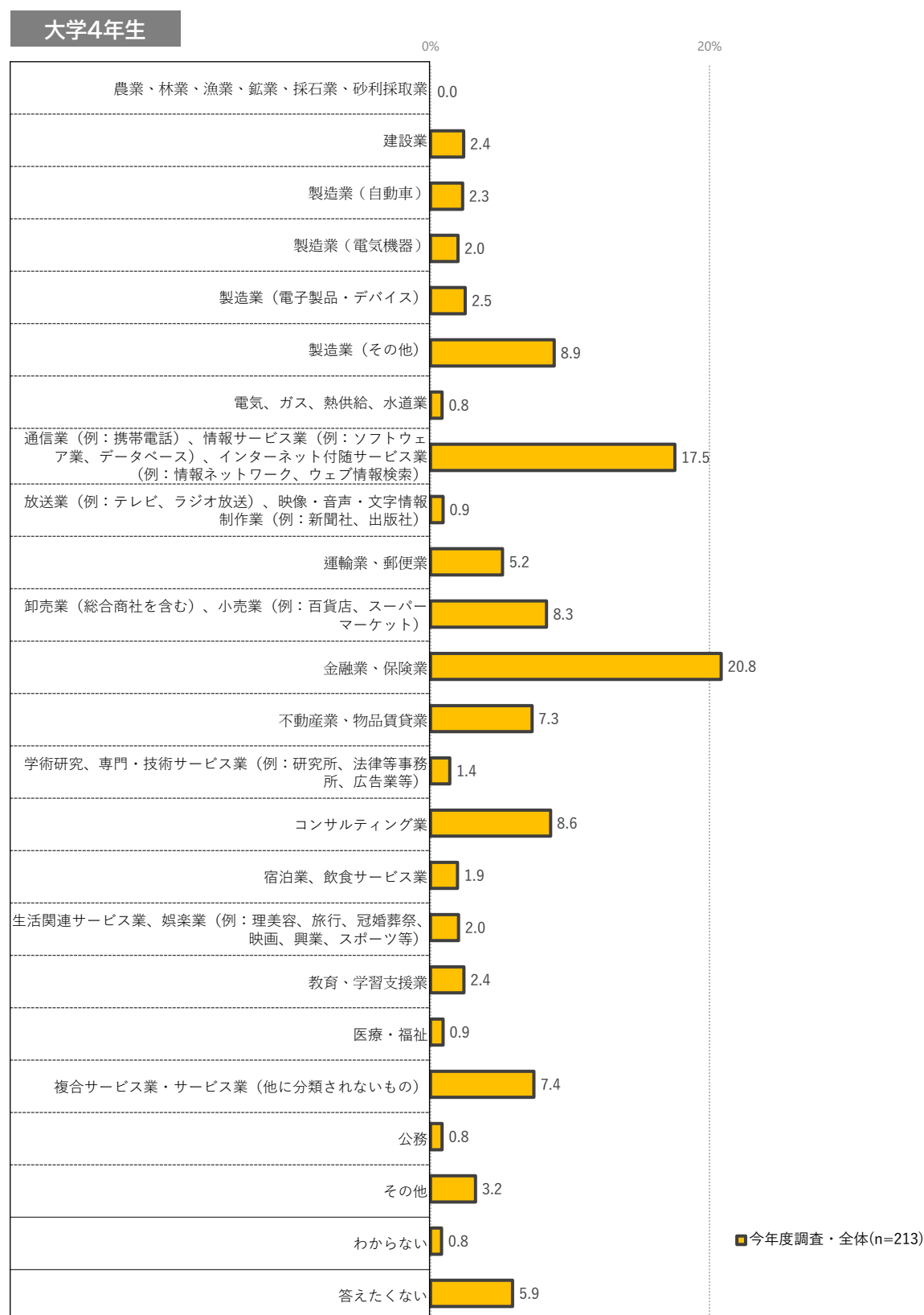
④オワハラを受けた企業の業界

他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ※1」)を受けたことがある企業の業界について、「金融業・保険業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が約2割。「製造業(その他)」「コンサルティング業」「卸売業、小売業」「複合サービス業・サービス業」「不動産業・物品賃貸業」が約1割となっている。

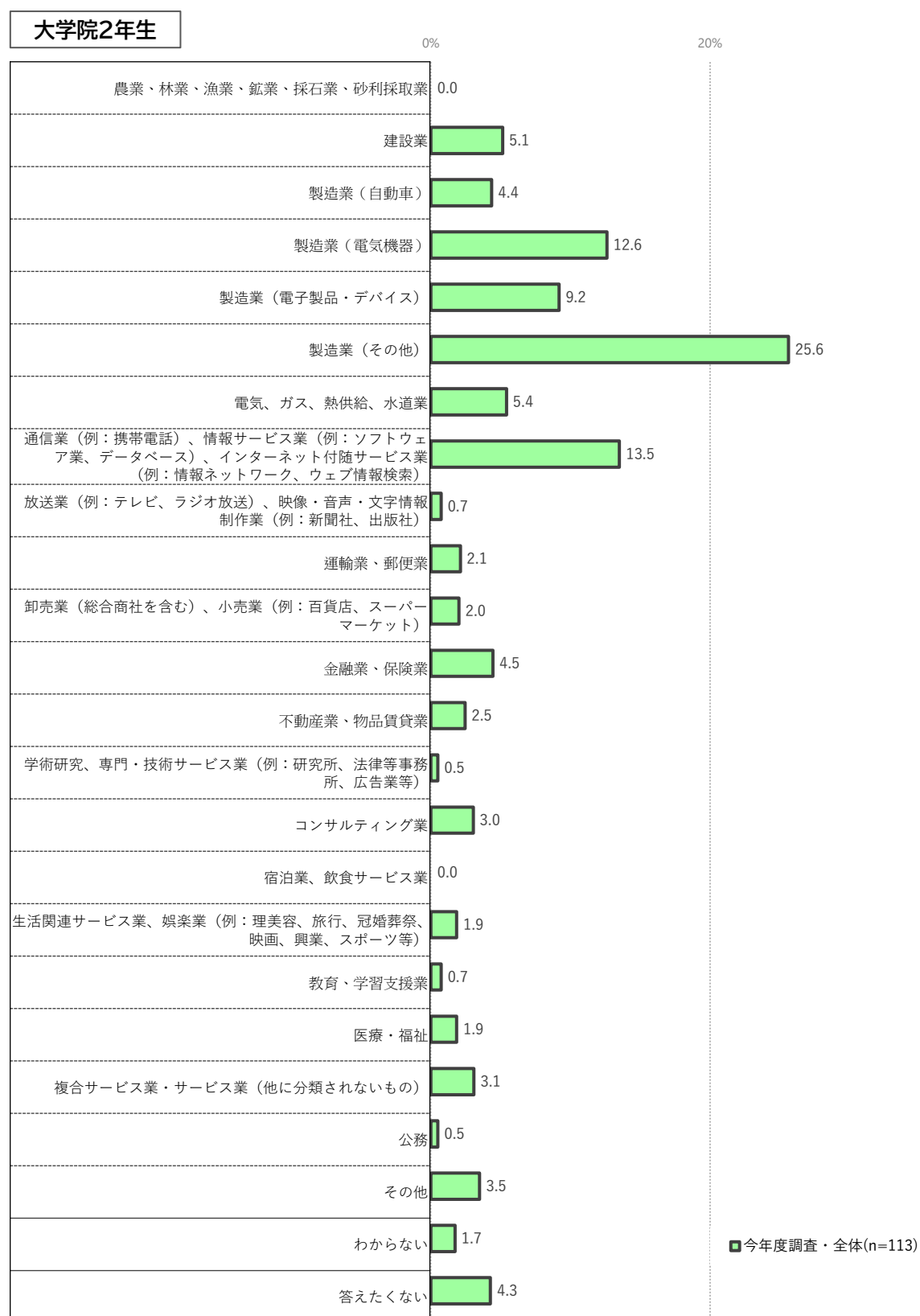


※1: オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

④オワハラを受けた企業の業界



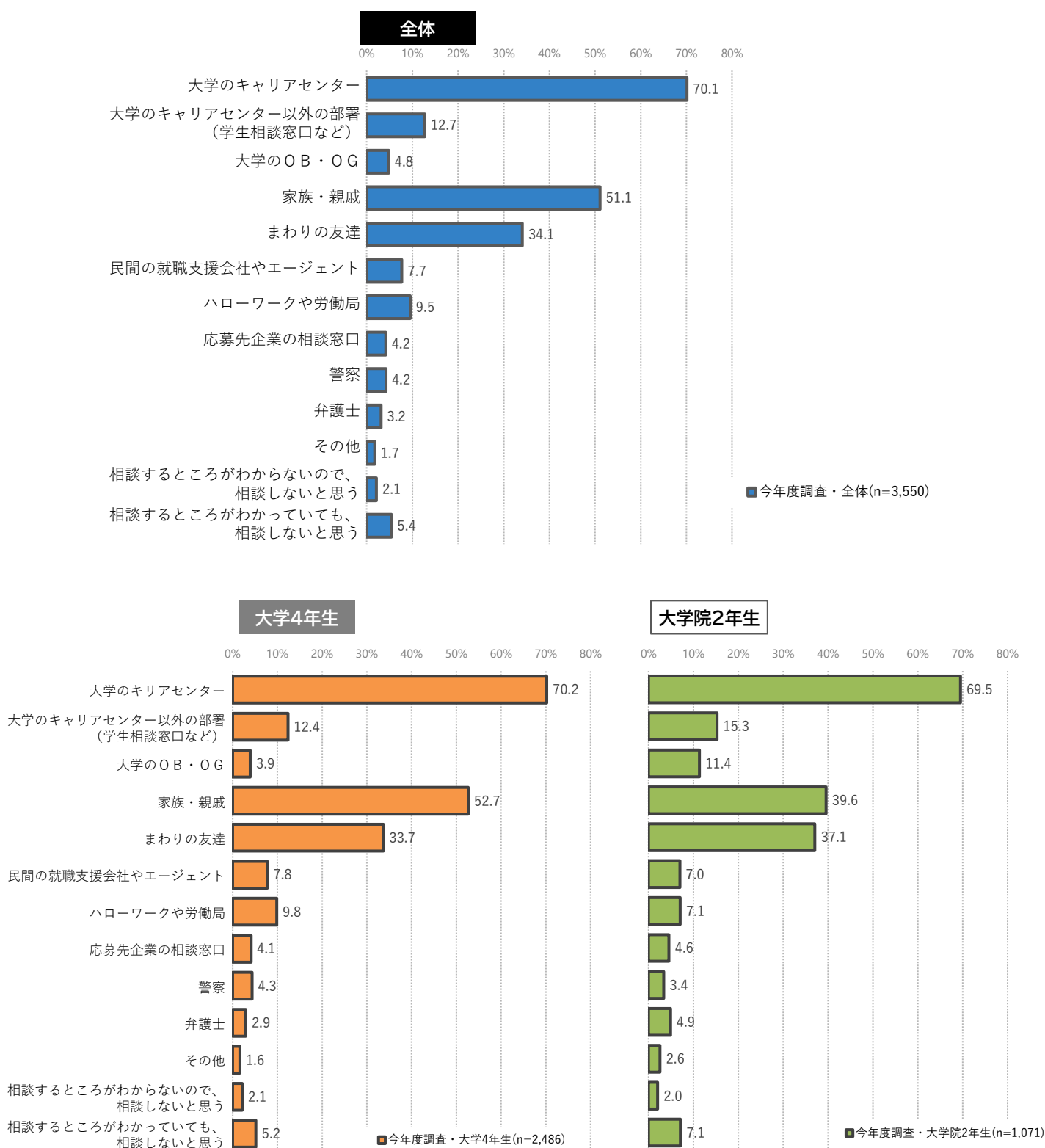
④オワハラを受けた企業の業界



⑤「オワハラ」を受けたとしたらどこに相談すると思うか(オワハラを受けていない人が対象)

他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ※1」)を受けていない人に対して、もし受けたとしたらどこに相談するかについて、「大学のキャリアセンター」の回答割合が約7割と最も高く、次に「家族・親戚」が約5割、「まわりの友達」が約3割となっている。

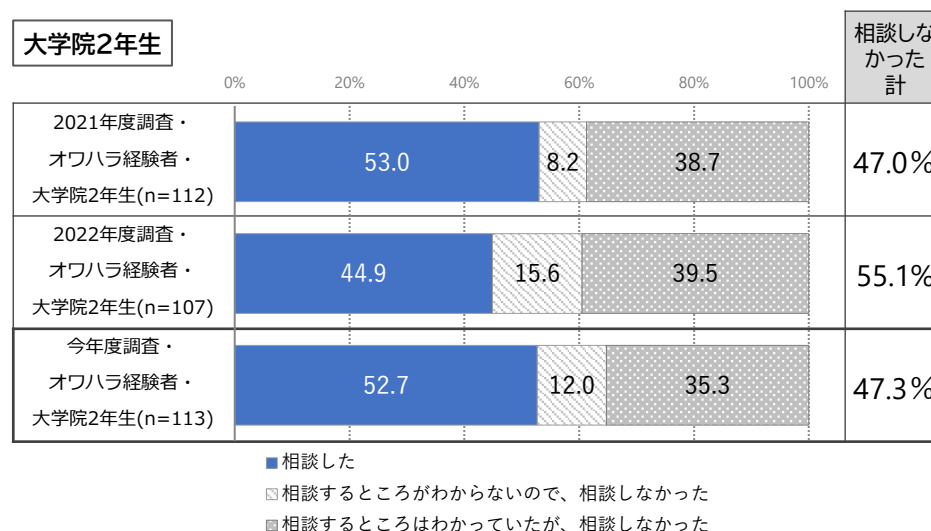
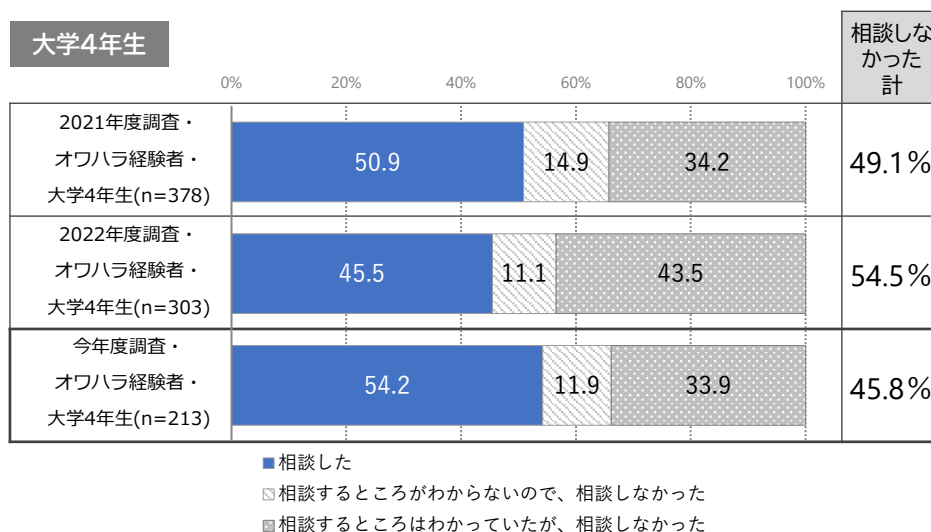
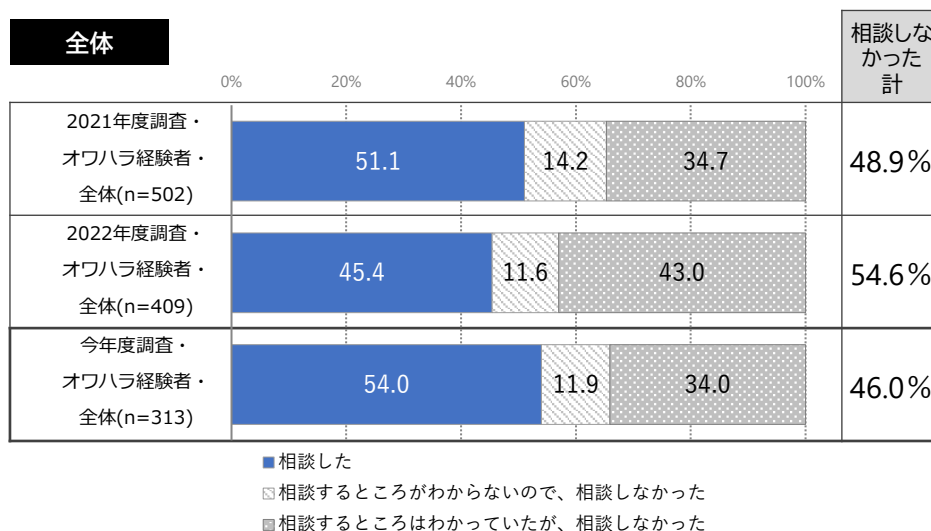
一方、「相談しないと思う(相談するところがわからない、相談するところがわかっていても相談しないの計)」は、約1割となっている。



※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)

オワハラを受けた際の対応について、2022年度結果と比較すると、「相談した」が今年度調査では54.0%(2022年度結果は45.4%)と増加傾向。「相談するところはわかっていたが、相談しなかった」が、今年度調査では34.0%(2022年度結果は43.0%)と減少。



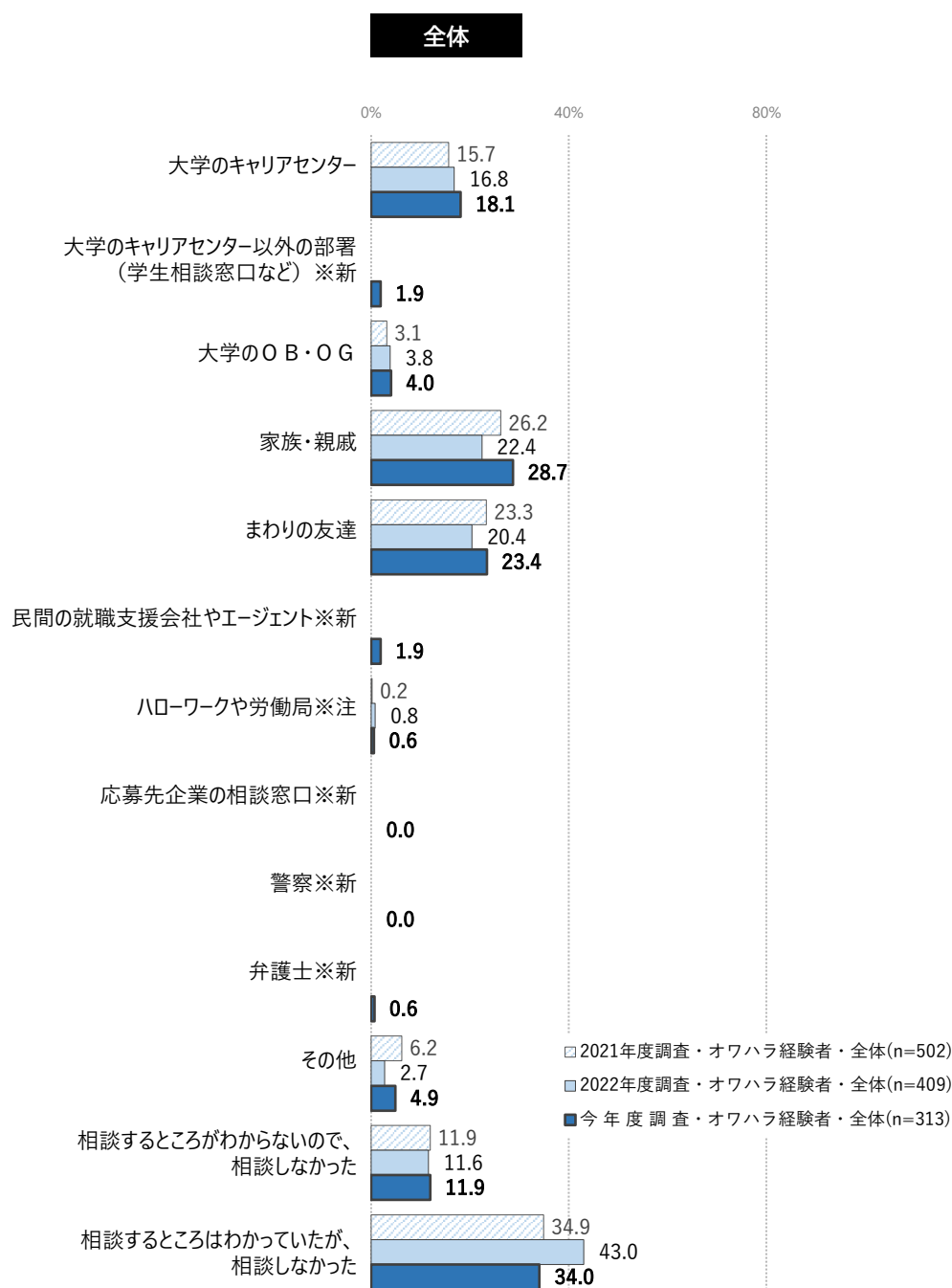
※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)

他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為(「オワハラ※1」)を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。

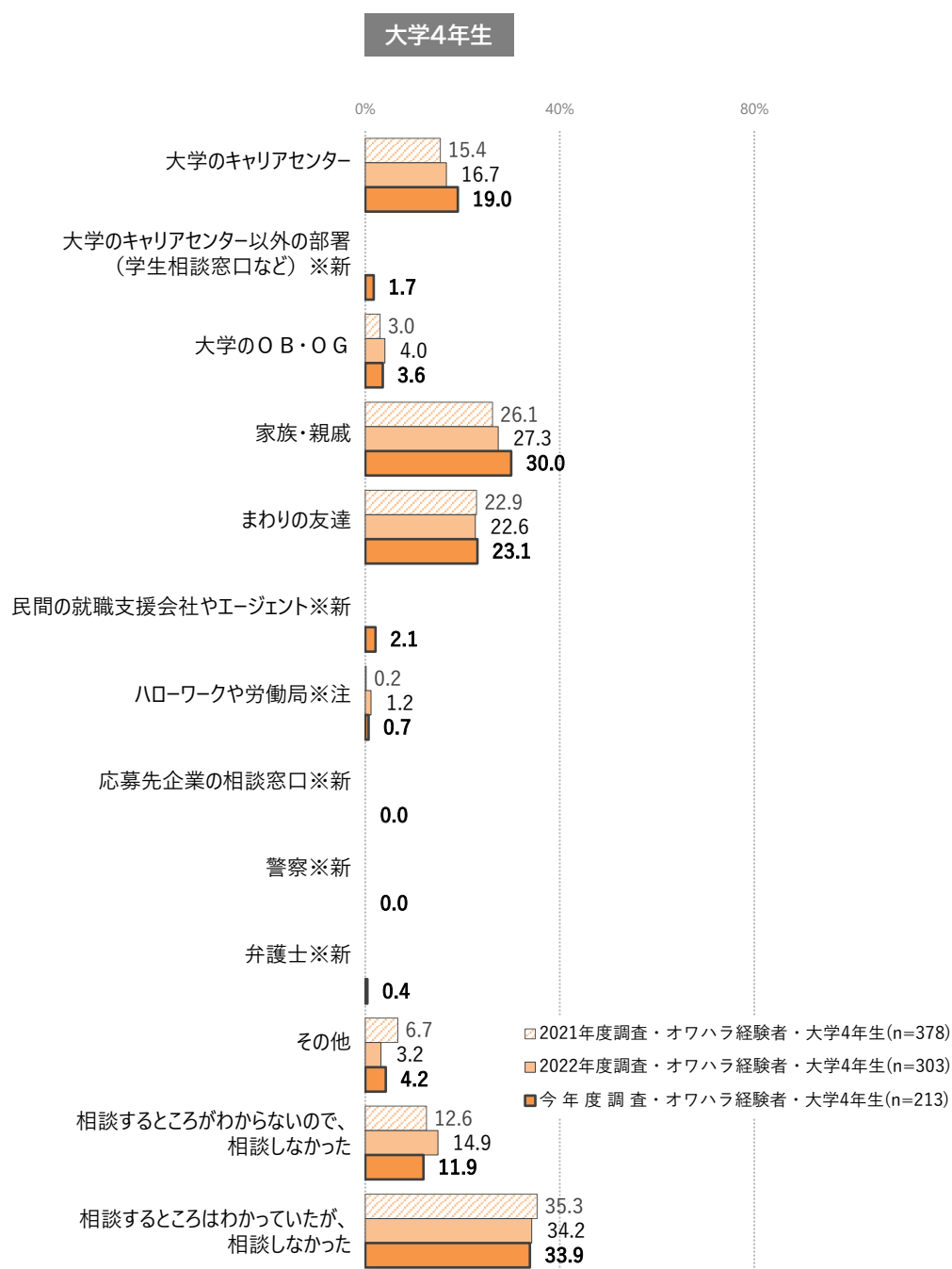
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている。

過年度調査と比較すると、「大学のキャリアセンター」が増加傾向にあり、昨年度と比較すると、「家族・親戚」の割合が増加している。

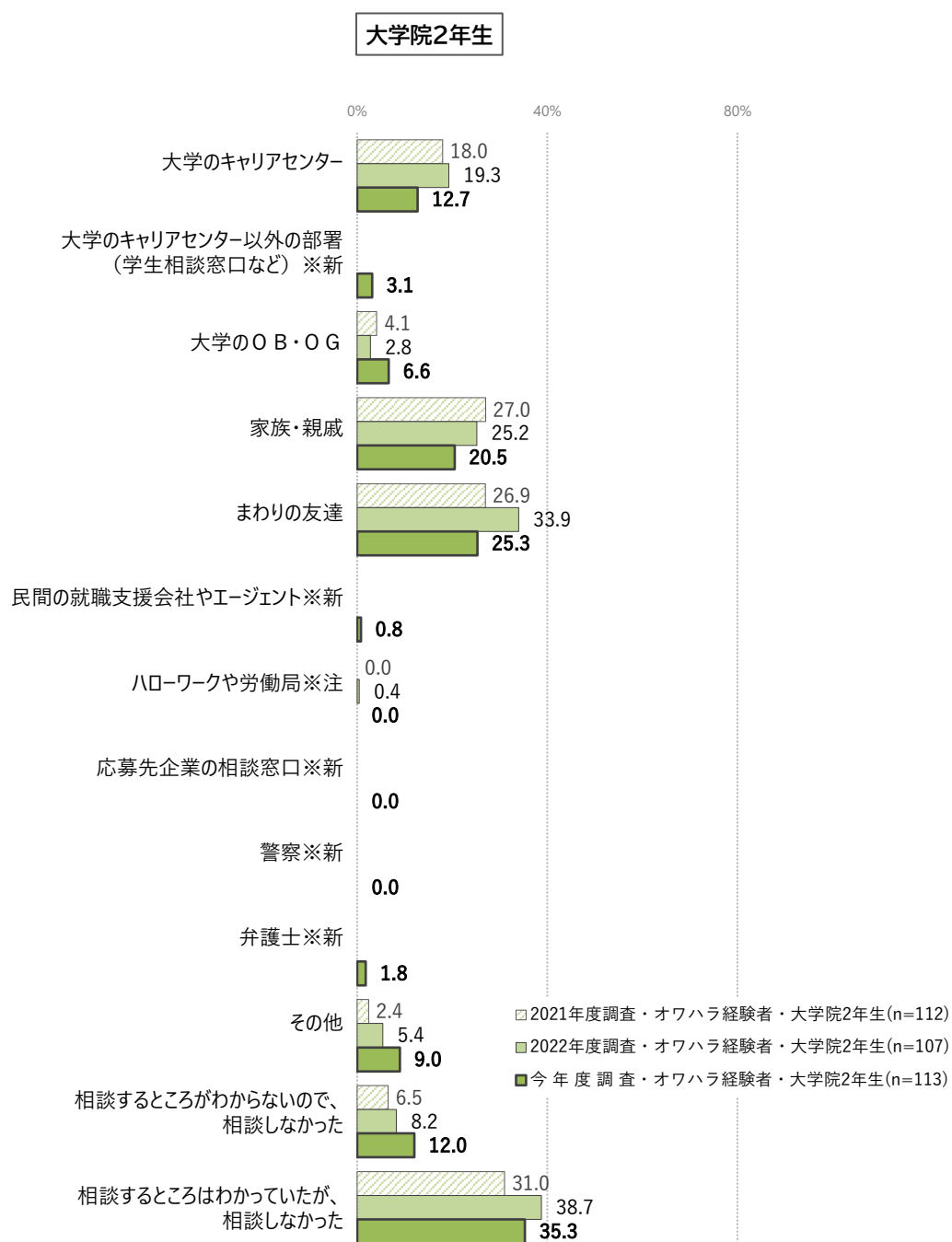


※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)



⑥「オワハラ」について相談したかどうか(オワハラを受けた人が対象)

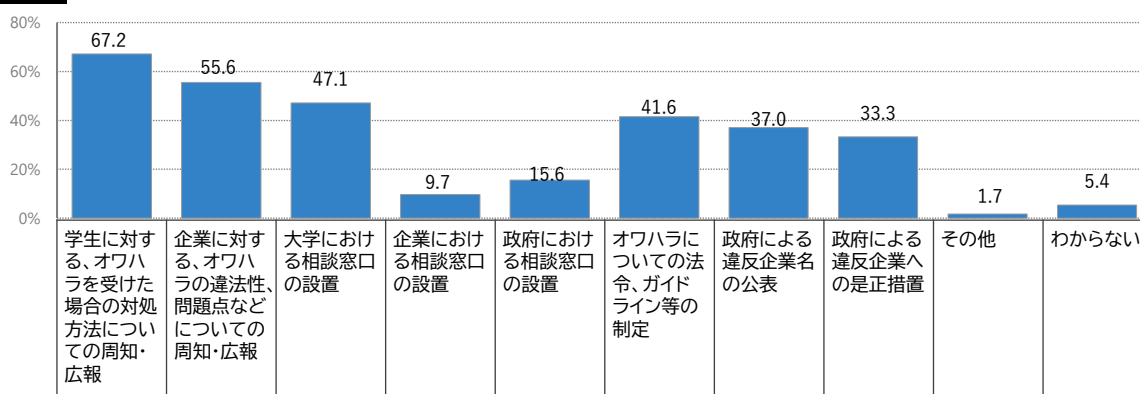


⑦「オワハラ」をなくすために求めていること

オワハラ※1をなくすために求めていることについて、「学生に対する、オワハラを受けた場合の対処方法についての周知・広報」が約7割と最も高く、「企業に対する、オワハラの違法性、問題点などについての周知・広報」が約6割となっている。

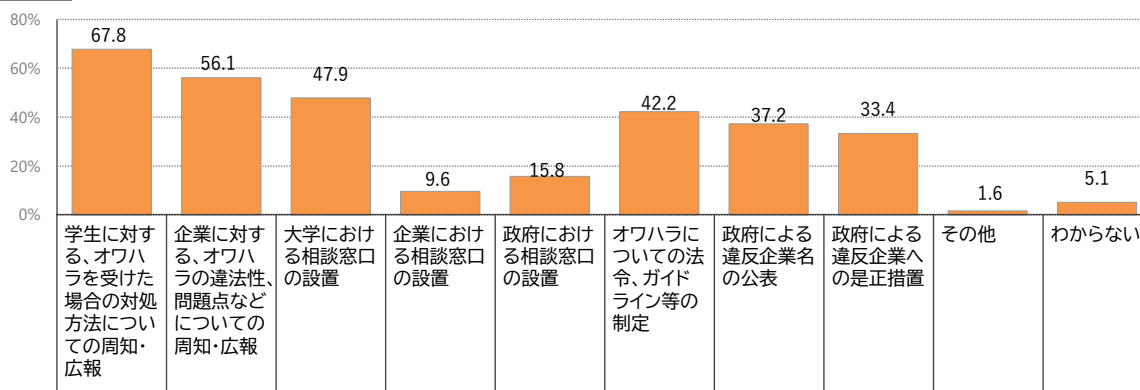
全体

■ 今年度調査・全体(n=3,874)



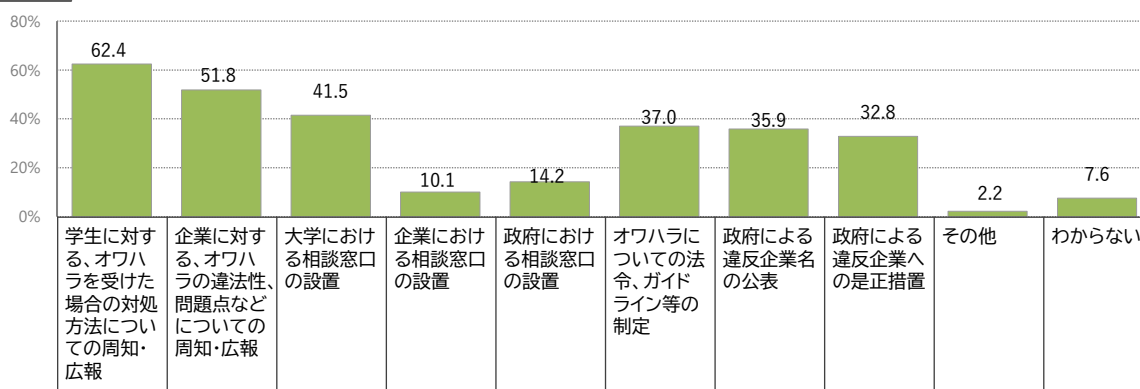
大学4年生

■ 今年度調査・全体(n=2,707)



大学院2年生

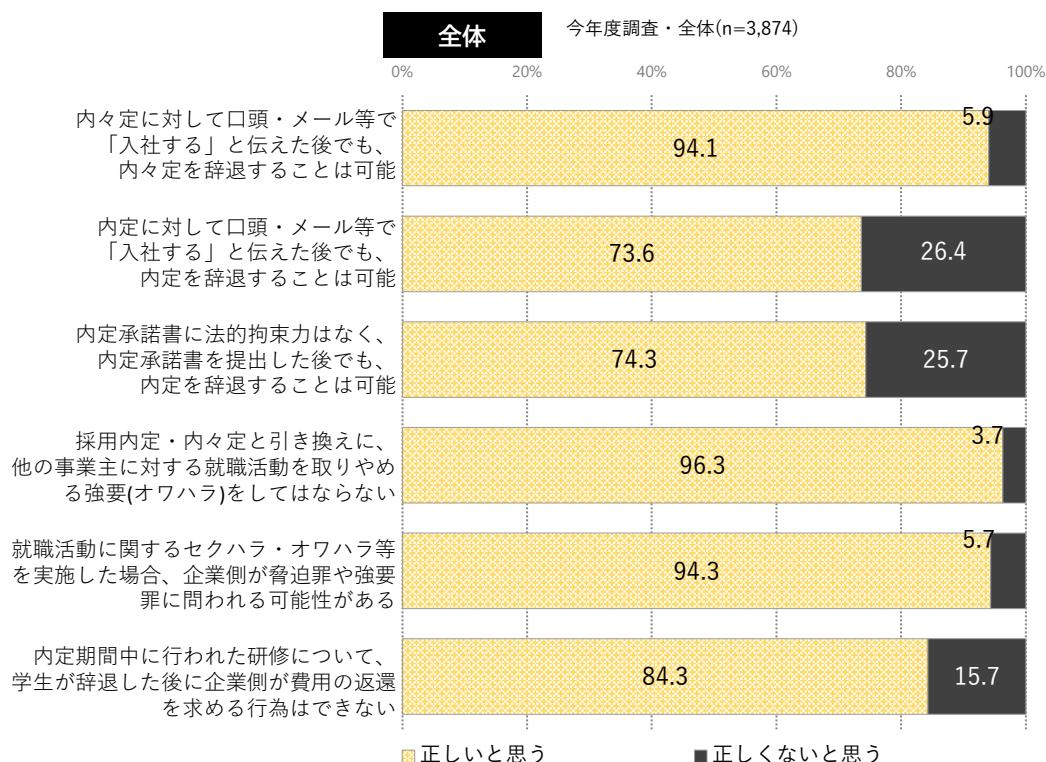
■ 今年度調査・全体(n=1,187)



※1：オワハラについては、「企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為」と案内した上で調査を行った。

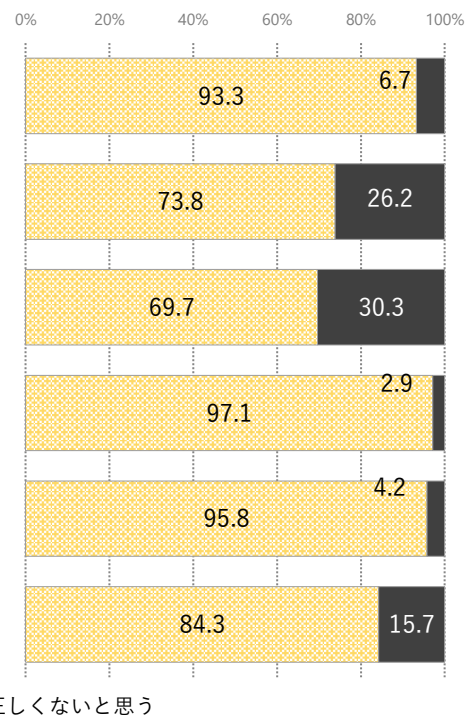
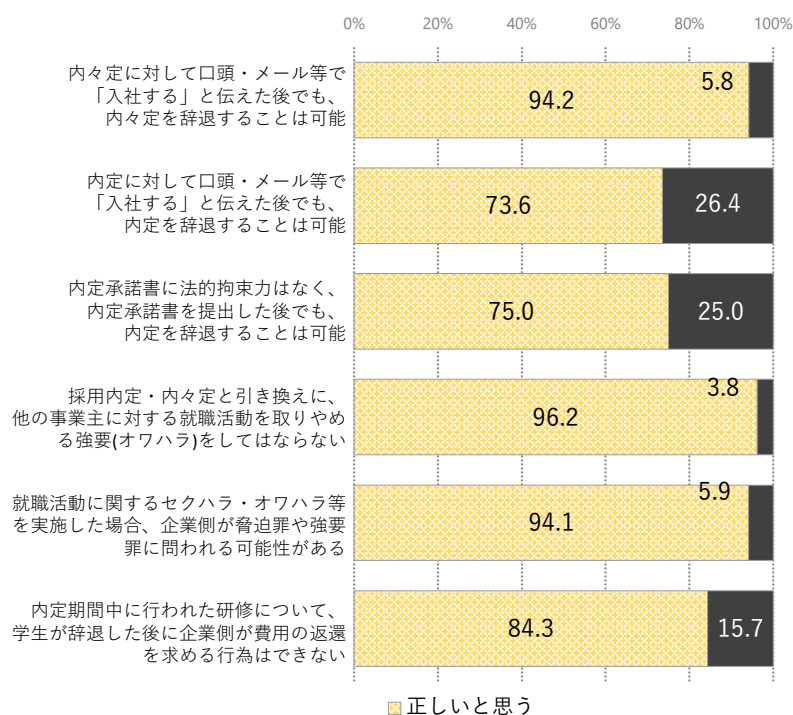
⑧就職活動に関連する法律(労働法令等)についての理解

就職活動に関連する法律(労働法令等)について、正しいと思うものを尋ねたところ、「内定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、内定を辞退することは可能」、「内定承諾書に法的拘束力はなく、内定承諾書を提出した後でも、内定を辞退することは可能」は、「正しいと思う」が約7割となっている。



大学4年生 今年度調査・大学4年生(n=2,707)

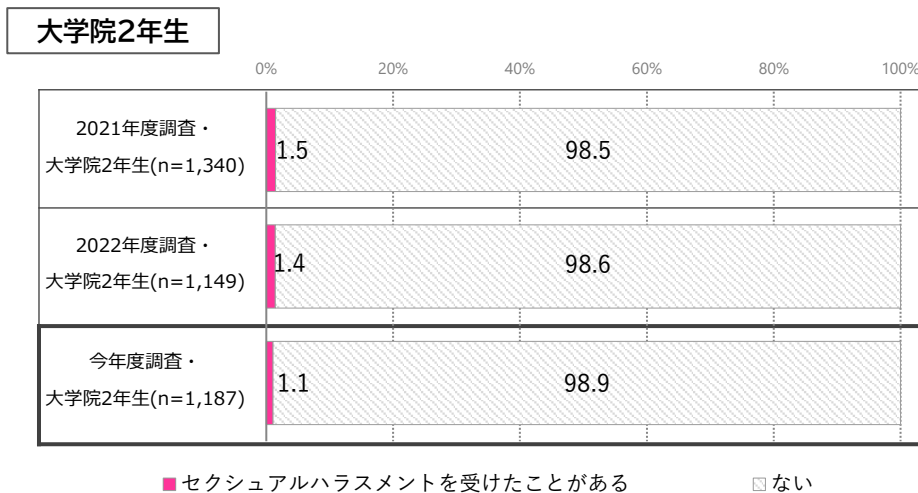
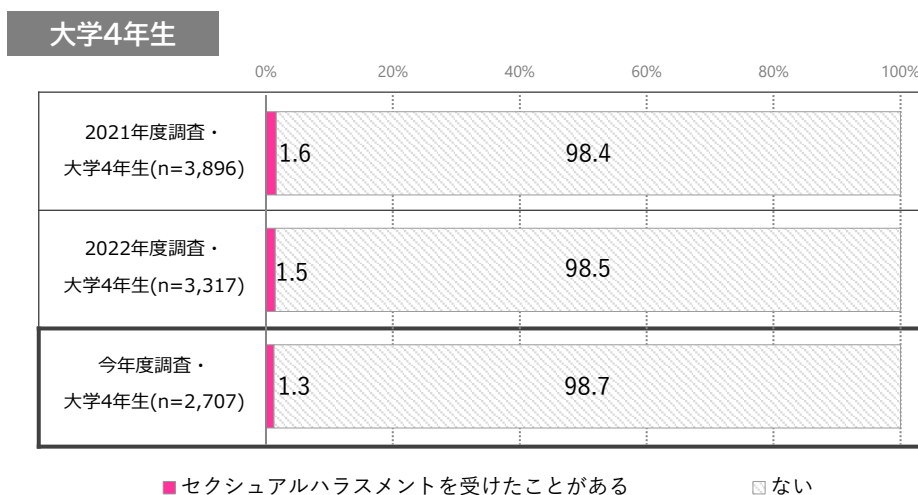
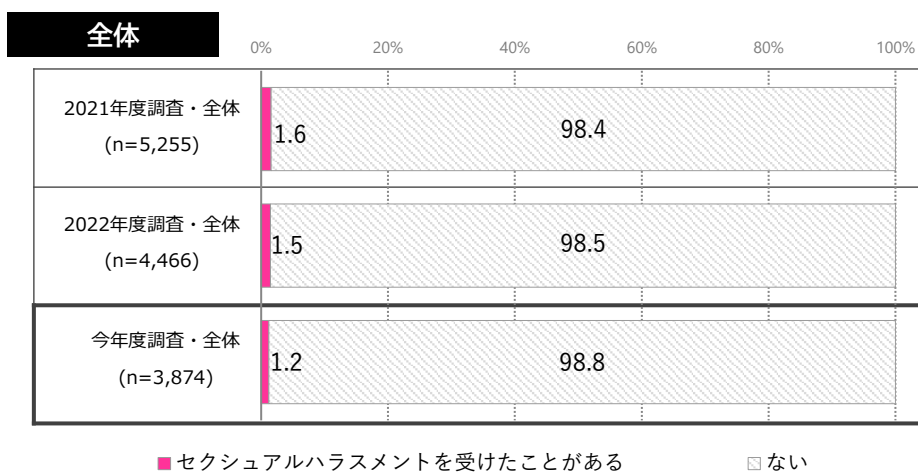
大学院2年生 今年度調査・大学院2年生(n=1,187)



(9) 「セクシュアルハラスメント」の状況

①「セクシュアルハラスメント」行為の有無

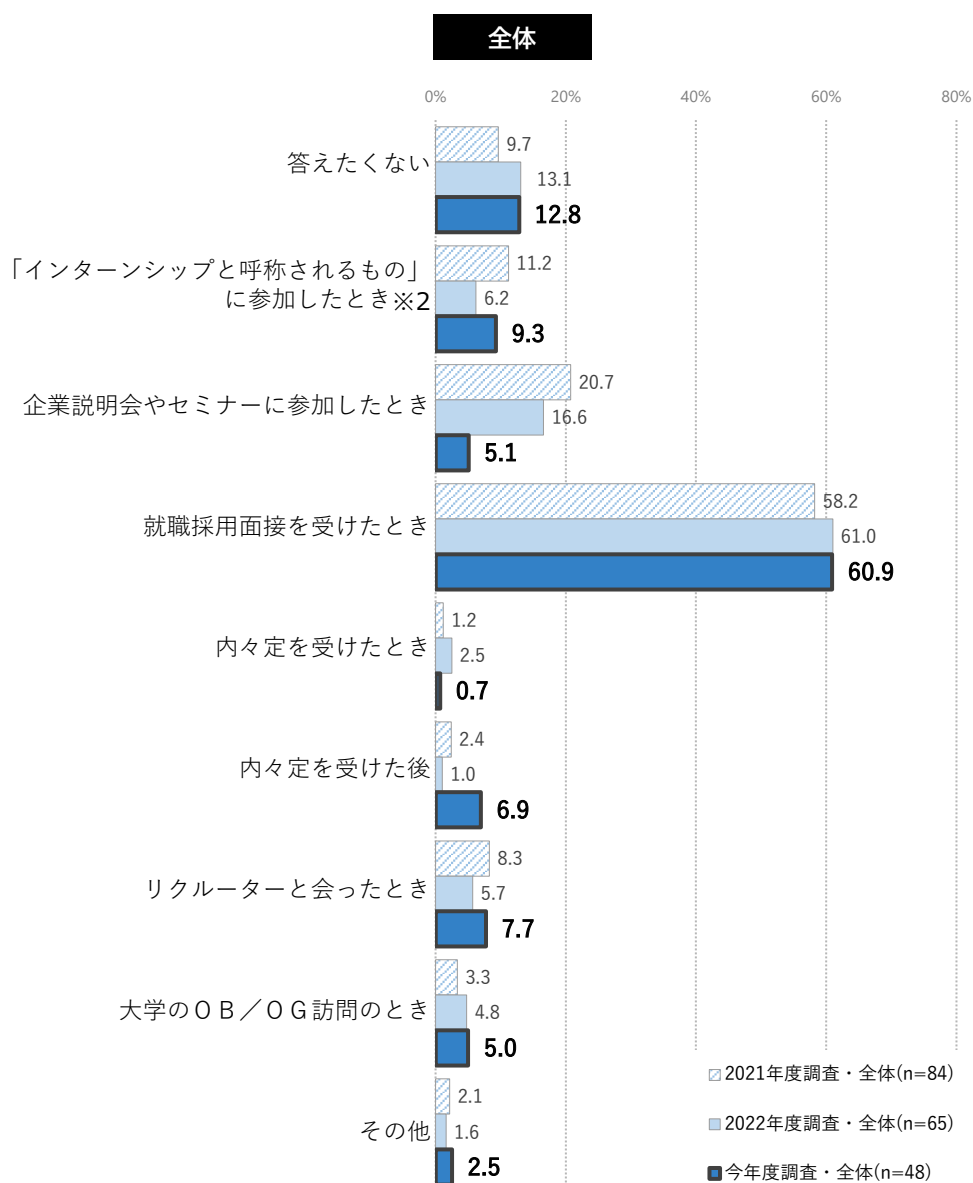
就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.2%であった。過年度調査と比較すると、ほぼ同様の結果となっている。



②「セクシュアルハラスメント」行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し※1、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も高く、次いで「インターンシップと呼称されるもの」に参加した時」が約1割となっている。

過年度調査と比べると、「企業説明会やセミナーに参加したとき」の回答割合が低くなっている。



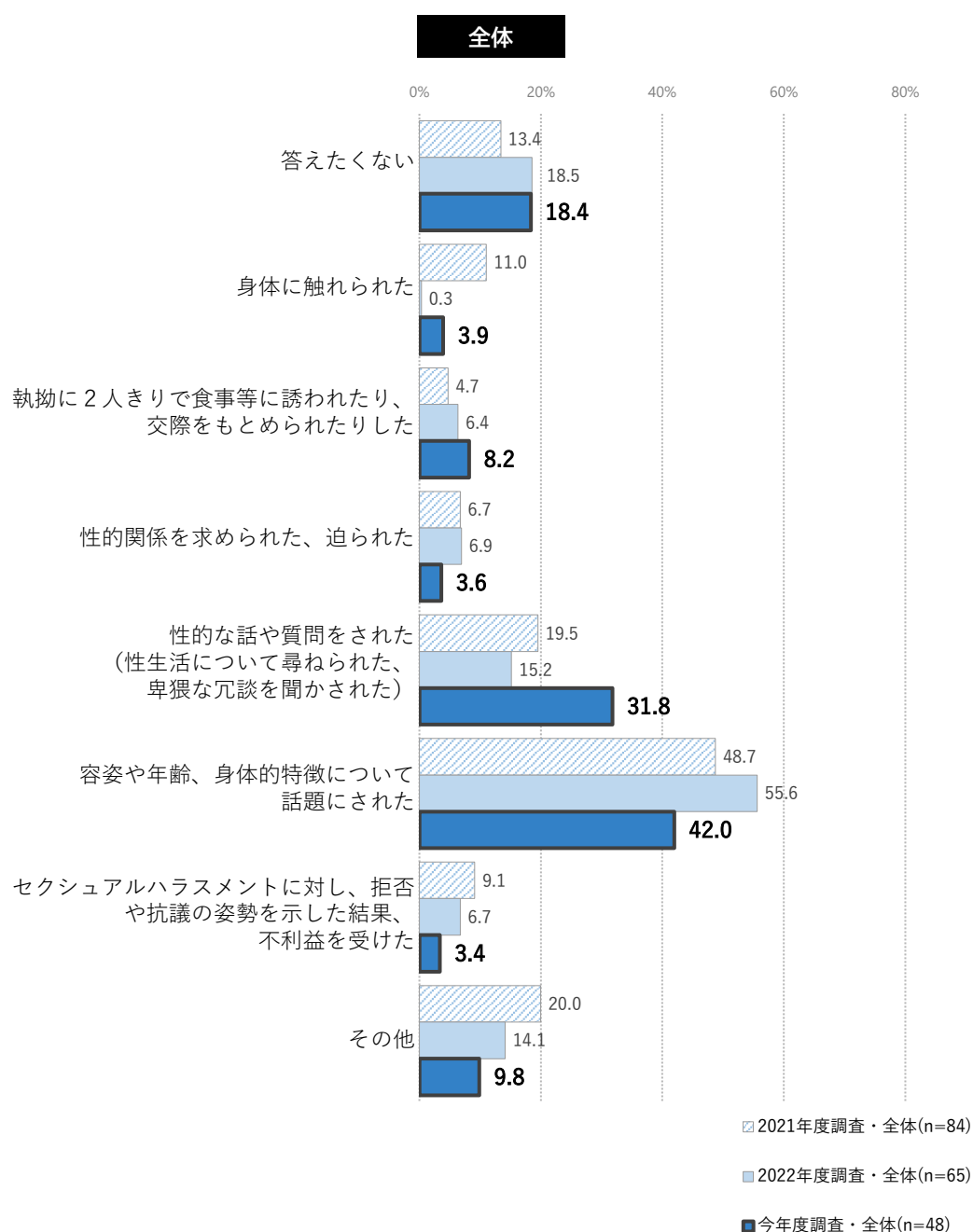
※1：本設問はセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※2：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

③「セクシュアルハラスメント」行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約4割、「性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」が約3割となっている。

過年度調査と比較すると、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」の回答割合が減少傾向にある。一方、「性的な話や質問をされた(性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた)」の回答割合は増加傾向にある。



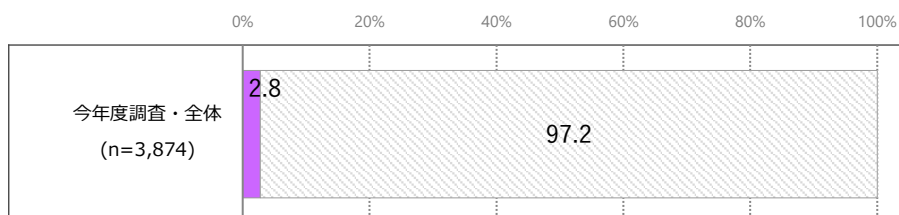
※：「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けがあった」は今年度調査より新たに設けた項目である。

(10) 「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」の状況

①「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け」有無

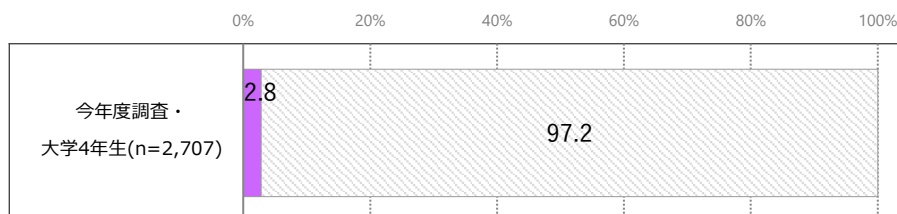
就職活動の過程において、特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け※1を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は2.8%であった。

全体



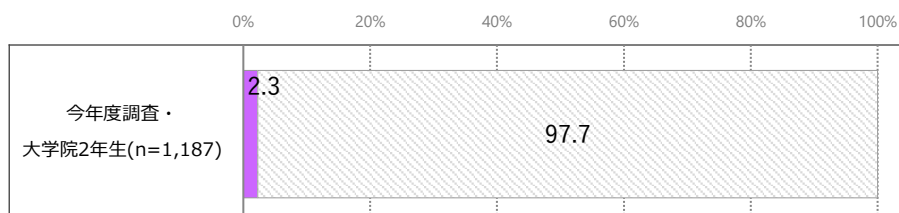
■ 特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けを受けたことがある □ ない

大学4年生



■ 特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けを受けたことがある □ ない

大学院2年生

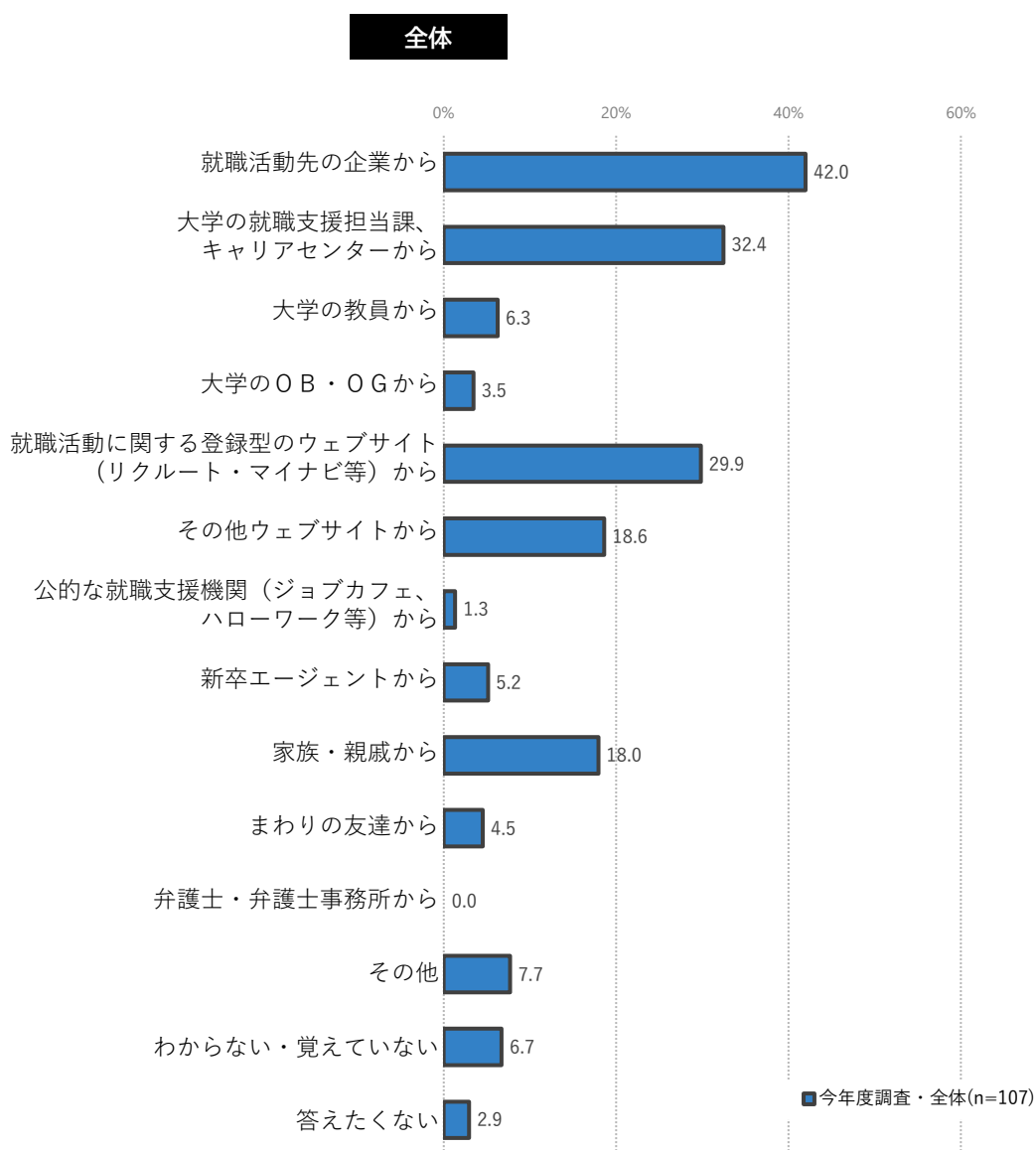


■ 特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けを受けたことがある □ ない

※1：「意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等」といった例を提示したうえで、調査を行った。

②「特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的なマナーの押し付け」を受けた対象

意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け※1を受けたことがあると回答した者に関し※2、どこから受けたかについては、「就職活動先の企業から」が約4割と最も高く、次に「大学の就職支援担当課、キャリアセンターから」「就職活動に関する登録型のウェブサイト(リクルート・マイナビ等)から」が約3割となっている。



※1：「意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等」といった例を提示したうえで、調査を行った。

※2：本設問は特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的なマナーの押し付けを受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

第六章 ジョブ型採用について

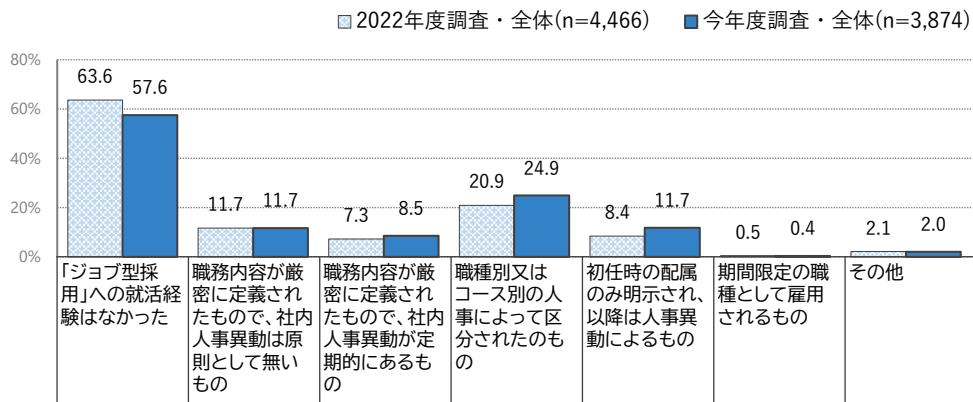
第六章 ジョブ型採用について

(1) ジョブ型採用での就職活動経験について

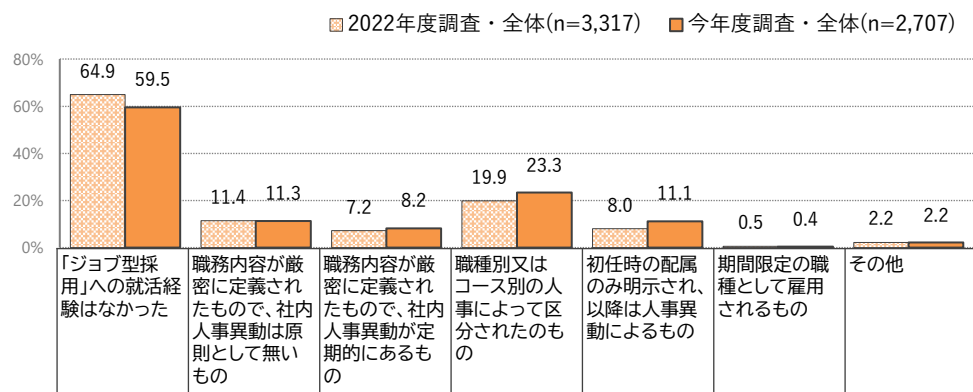
①ジョブ型採用での就職活動経験について

ジョブ型採用※1についての就職活動経験について※2、「「ジョブ型採用」への就活経験はなかった」の回答割合が約6割と最も高く、ジョブ型採用での就職活動経験がある者の中では、「職種別又はコース別の人事によって区分されたもの」が約2割と高い。

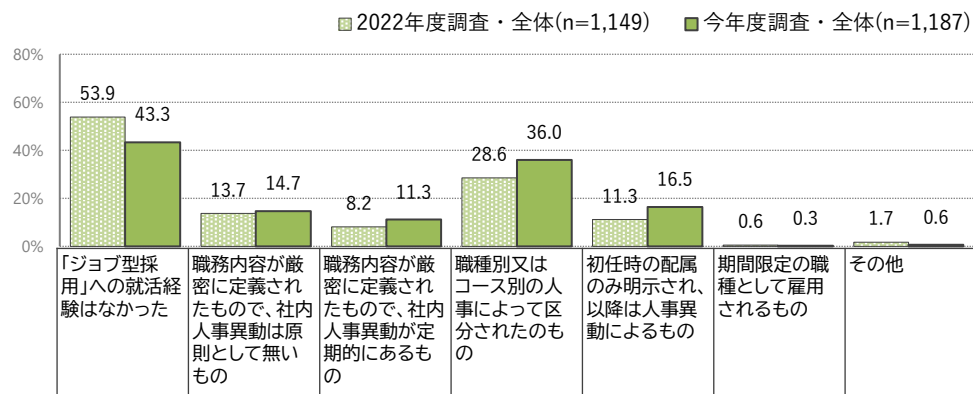
全体



大学4年生



大学院2年生



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

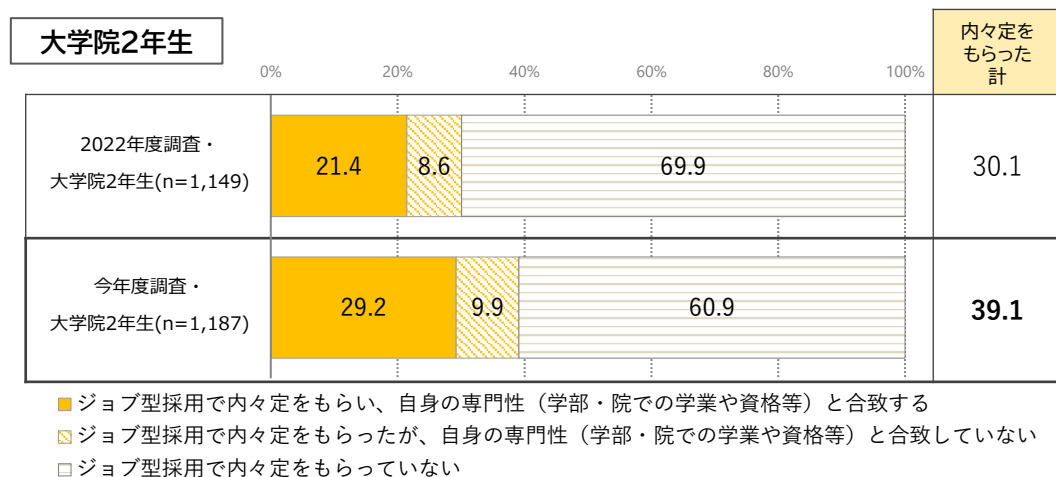
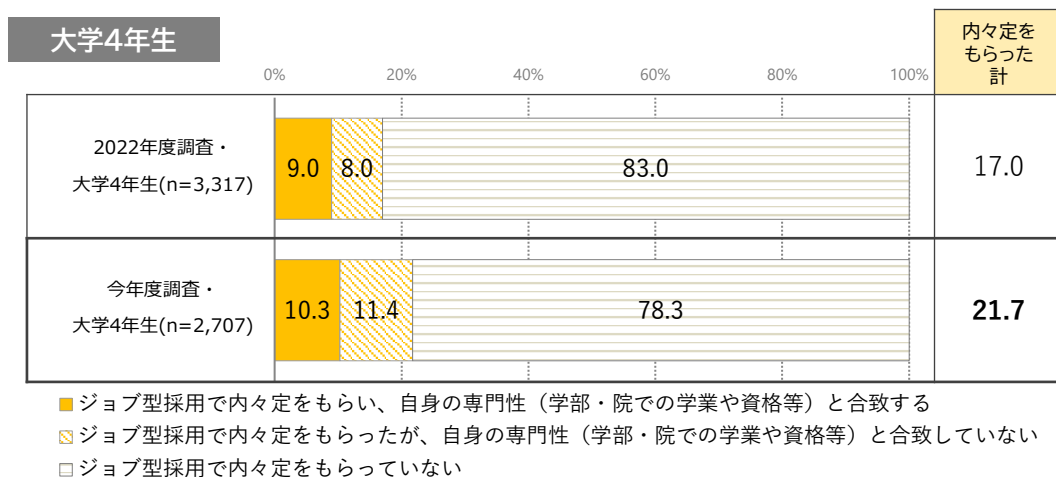
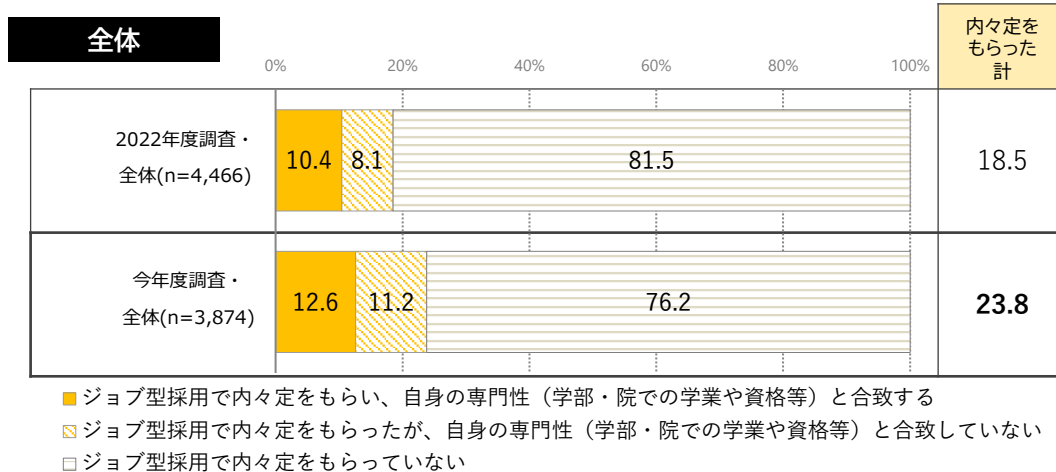
※2：就活経験について、今年度調査から「企業に応募した経験やエントリーした経験など」と具体例を示したうえで、調査を行った。

(2) ジョブ型採用での内々定の状況

①ジョブ型採用での内々定の状況(就職活動実施者対象)

就職活動実施者におけるジョブ型採用※1での内々定の状況について、「ジョブ型採用で内々定をもらい、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致する」が約1割、「ジョブ型採用で内々定をもらったが、自身の専門性(学部・院での学業や資格等)と合致していない」が約1割となり、「ジョブ型採用で内々定をもらった」とする回答割合は約2割となった。

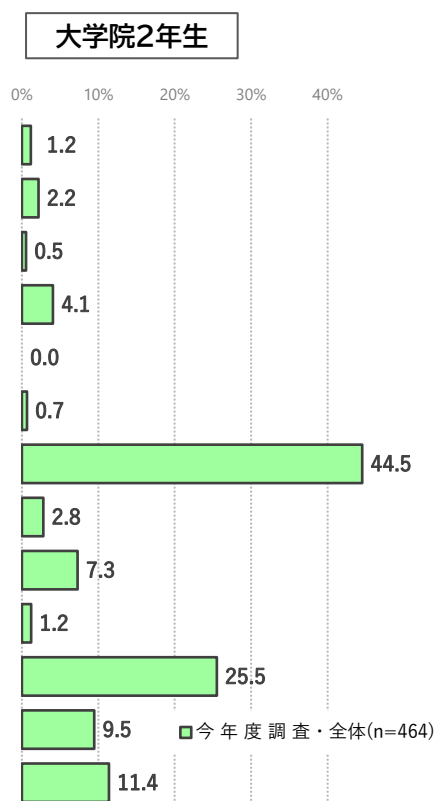
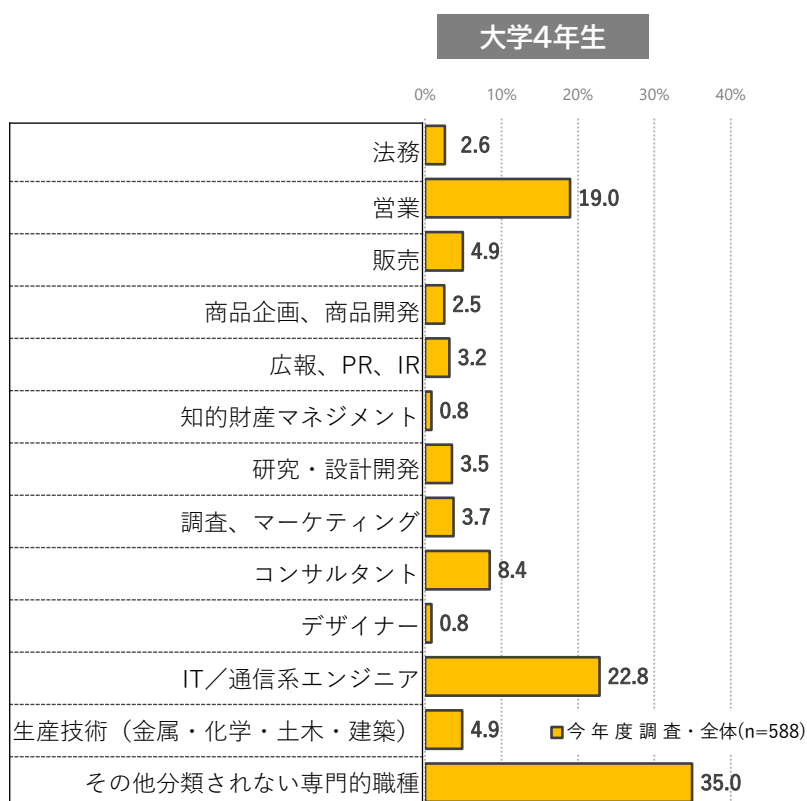
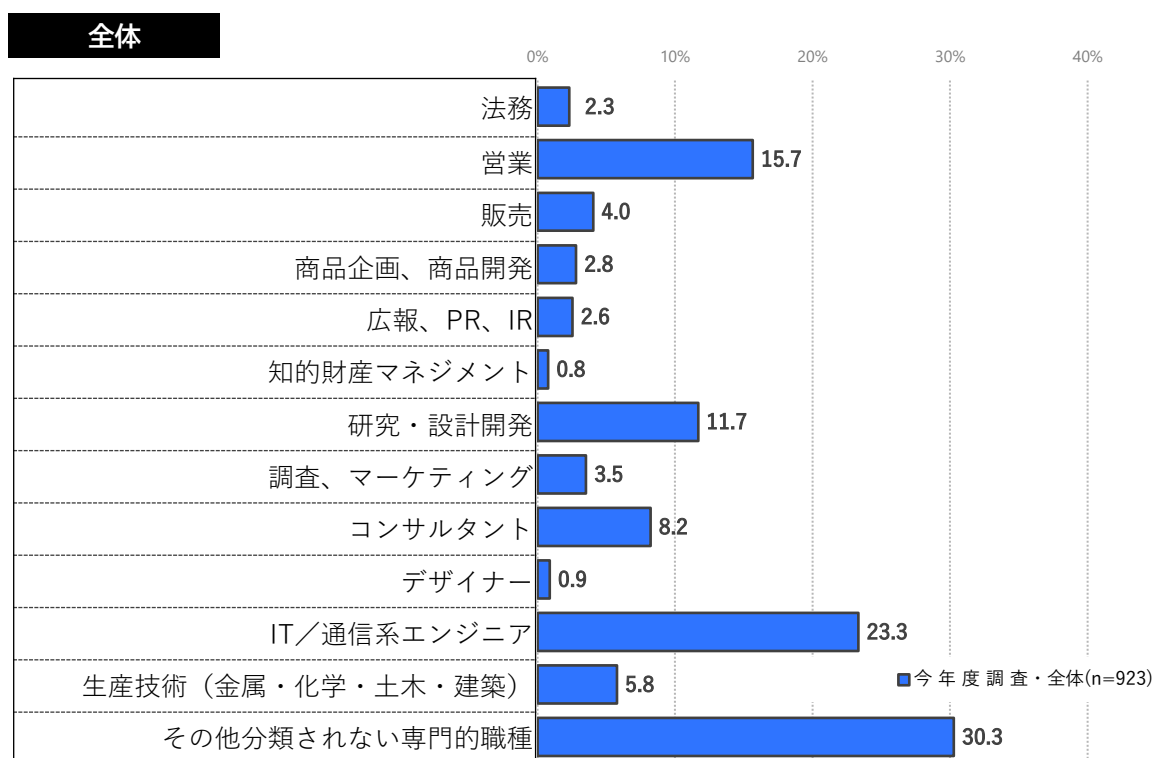
過年度調査と比べると、「ジョブ型採用で内々定をもらった」の回答割合が高くなっている。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

②ジョブ型採用で内々定を受けた職種

ジョブ型採用※1で内々定を受けた職種について、「その他分類されない専門的職種」を除いては「IT／通信系エンジニア」「営業」が約2割、「研究・設計開発」が約1割。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

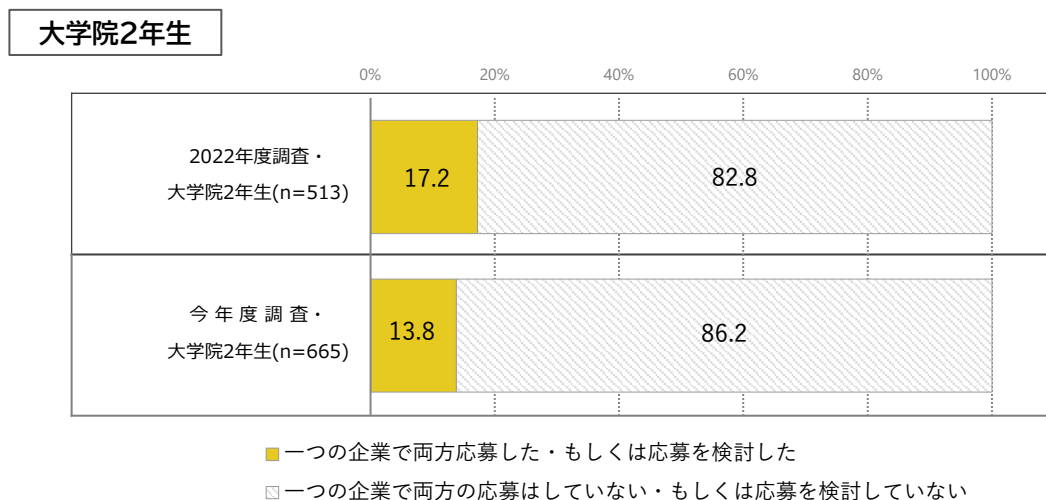
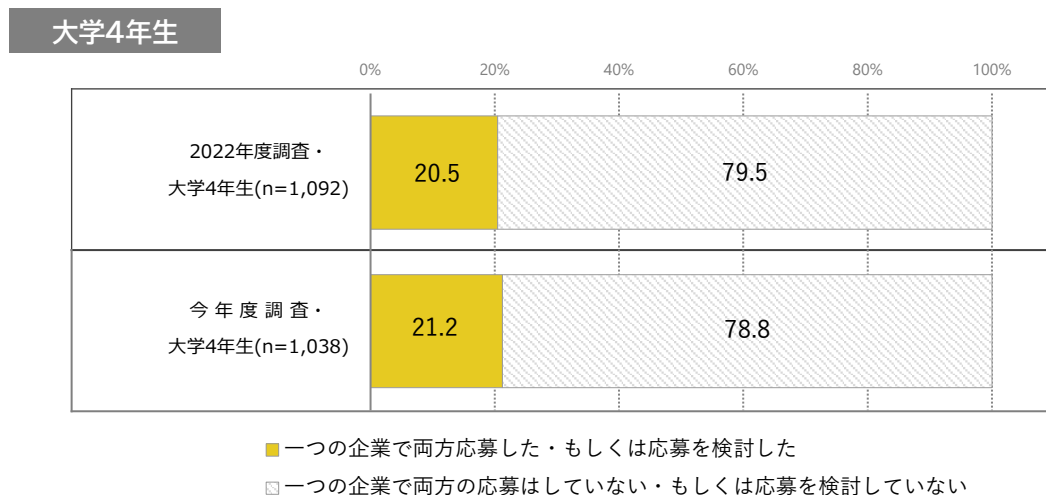
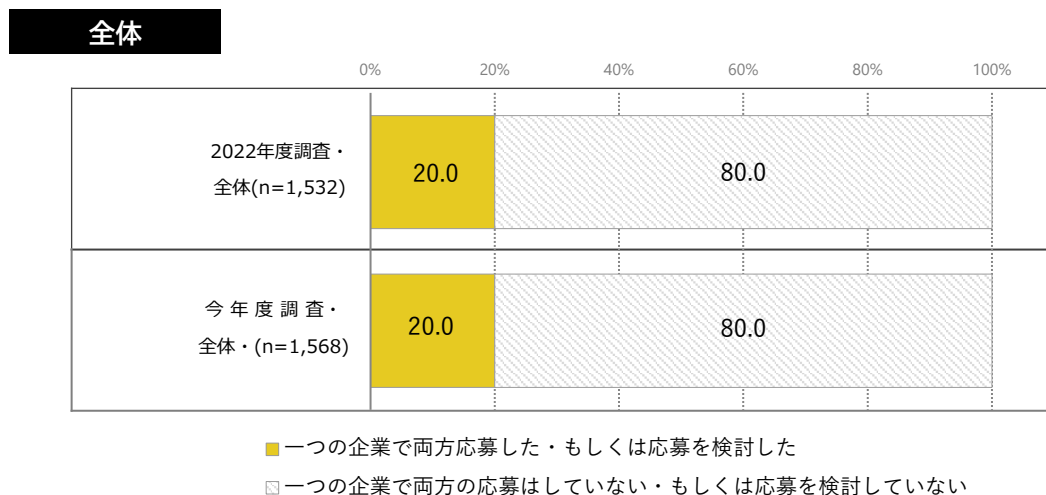
(3) ジョブ型採用とそうでない採用の応募・待遇について

①ジョブ型採用とそうでない採用の応募状況

ジョブ型採用※1での就職活動経験がある者に関して、一つの企業において「ジョブ型採用」とそうでない採用の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがあったかについて、文系・理系別、国立・公立・私立別、学部別で集計した。

「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は2割となった。

過年度調査と比べると、「一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した」の回答割合は同様である。



※1：「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

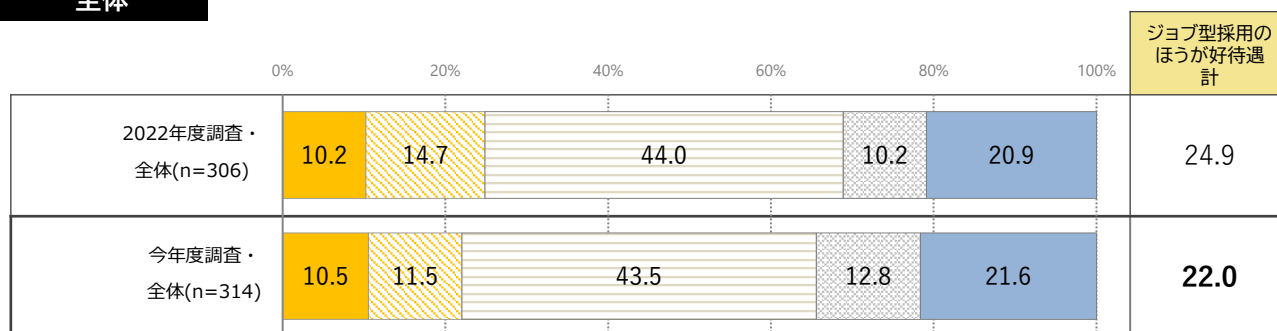
②ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俸・諸手当等)の違いがあったか

ジョブ型採用※1とそうでない採用の両方へ応募・もしくは応募を検討した者に関して、ジョブ型採用とそうでない採用で待遇(初任給や年俸・諸手当等)の違いがあったかについて、文系・理系別、国立・公立・私立別、学部別で集計した。

「どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない」が約4割と最も高い。「ジョブ型採用のほうが好優遇」とする回答割合は約2割となった。

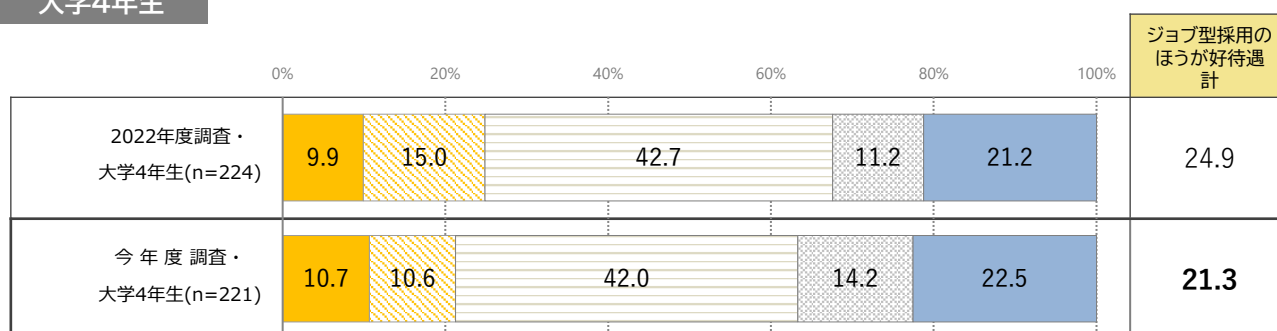
過年度調査と比べると、ほとんど同様の傾向である。

全体



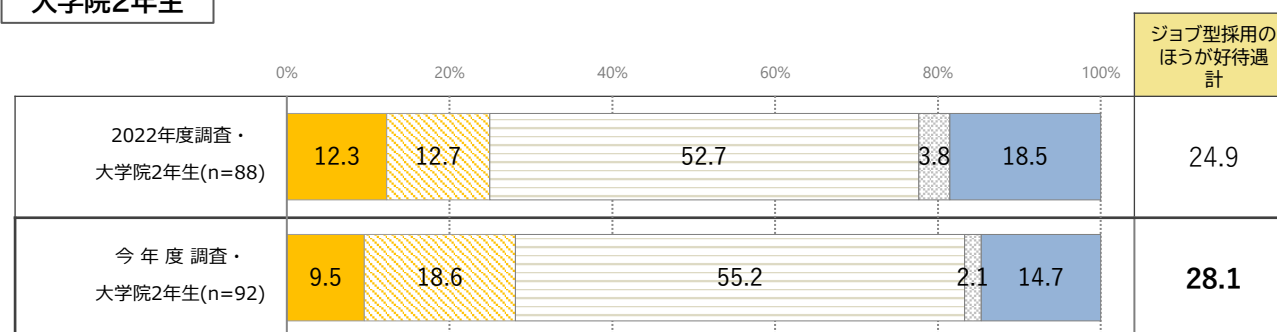
- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- ▤ どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▦ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

大学4年生



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- ▤ どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▦ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

大学院2年生



- ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ▨ ジョブ型採用の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- ▤ どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ▦ ジョブ型採用の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- 待遇面の違いはよくわからなかった

※1: 「特定の職務等を限定した採用(ジョブ型採用)」については、設問に入る前に「特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定させた採用方式のこととする。または、入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。」と説明した。

第七章 就活ルール解禁前の活動

第七章 就活ルール解禁前の活動

(1) 就活ルール解禁前の活動について

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

採用を目的とした企業説明会やセミナー※1について、集計を行った。

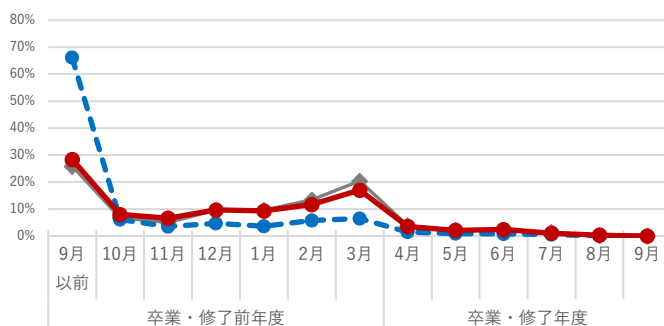
最初に参加した時期について、採用を目的とした企業説明会やセミナーの時期は、卒業・修了前年度の2月以前の累積割合で、約7割となっている。採用を目的とした企業説明会やセミナーの参加のピークについては、卒業・修了前年度の3月が約4割と最も高くなっている。

2022年度調査と比較すると、最初に参加した時期について、今年度は卒業・修了前年度の2月以前の割合が高まっている。

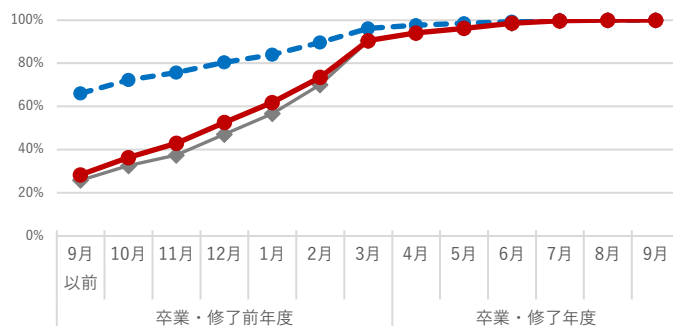
全体

最初に参加した時期

月別回答割合

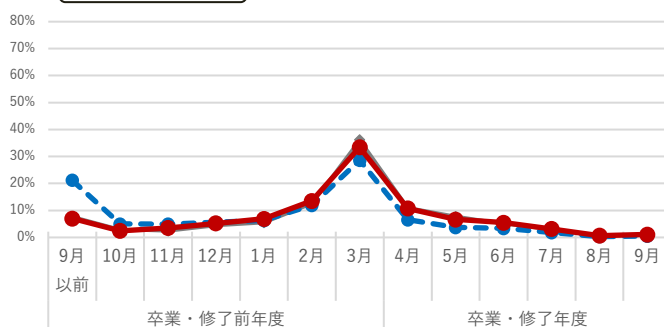


累計割合

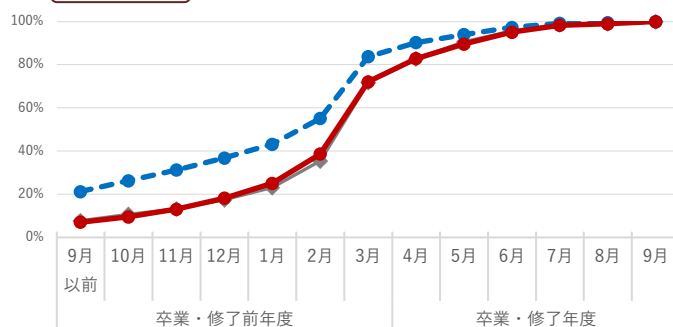


参加のピーク

月別回答割合



累計割合



※1：採用を目的とした企業説明会・セミナー等については、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限る。いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となる旨を伝えている。採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等は省いて考えていただくように回答者に案内した上で調査を行った。

①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(全体)】※全て%

2022年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	10.5	5.4	5.5	4.5	6.7	4.9	9.6	9.6	13.4	20.4	3.8	2.1	2.1	1.3	0.2	0.0
累積割合	10.5	15.9	21.3	25.8	32.6	37.5	47.1	56.7	70.1	90.5	94.3	96.4	98.5	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.5	1.4	2.9	1.9	3.0	2.4	4.4	5.5	12.4	36.2	11.1	7.8	5.1	2.9	0.5	0.9
累積割合	1.5	2.9	5.9	7.7	10.8	13.2	17.6	23.1	35.5	71.7	82.8	90.6	95.7	98.6	99.1	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	35.7	16.1	9.8	4.5	6.1	3.5	4.7	3.6	5.7	6.4	1.5	0.9	0.7	0.6	0.1	0.0
累積割合	35.7	51.8	61.6	66.1	72.2	75.7	80.4	84.0	89.7	96.1	97.7	98.6	99.3	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	2.7	4.1	9.8	4.7	5.0	5.0	5.6	6.3	11.9	28.6	6.6	3.7	3.4	1.8	0.3	0.5
累積割合	2.7	6.8	16.6	21.2	26.3	31.3	36.8	43.2	55.1	83.7	90.3	94.0	97.3	99.1	99.5	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	9.8	6.9	6.7	5.0	8.0	6.6	9.7	9.3	11.6	17.0	3.6	2.1	2.4	1.1	0.4	0.0
累積割合	9.8	16.7	23.4	28.4	36.3	42.9	52.6	61.9	73.5	90.5	94.0	96.2	98.6	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.9	1.0	2.8	2.4	2.5	3.5	5.1	6.9	13.6	33.4	10.8	6.7	5.5	3.2	0.7	1.1
累積割合	0.9	1.9	4.7	7.1	9.5	13.1	18.2	25.1	38.7	72.1	82.9	89.6	95.1	98.2	98.9	100.0

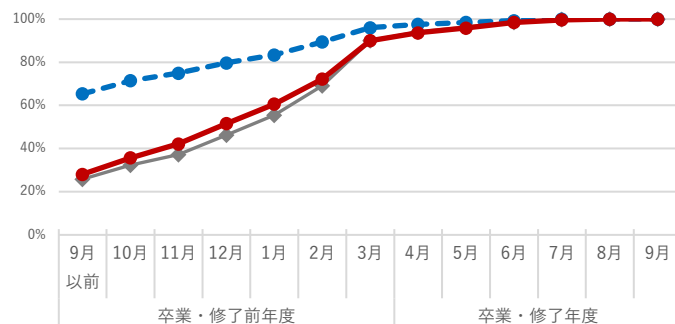
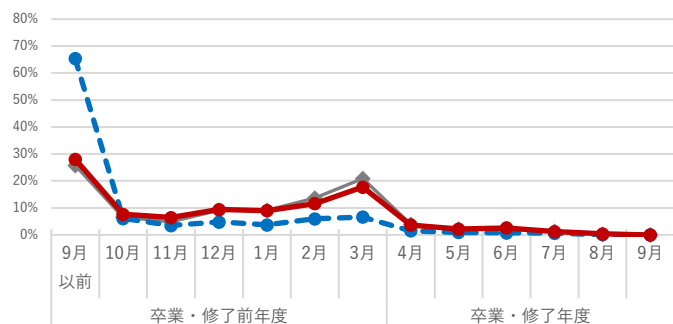
①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

大学4年生

最初に参加した時期

月別回答割合

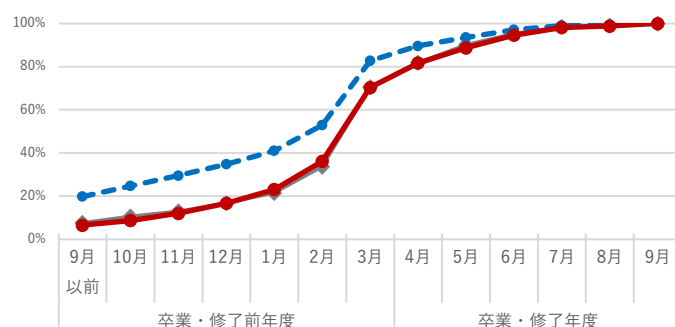
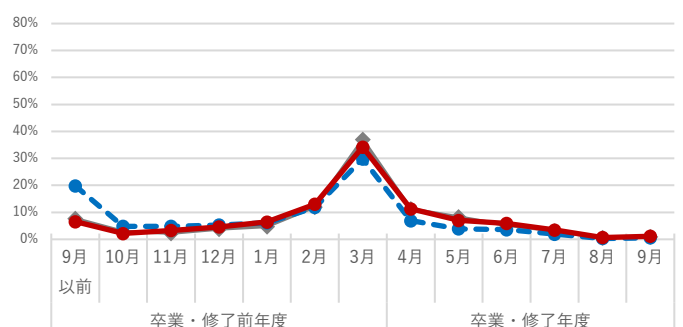
累計割合



参加のピーク

月別回答割合

累計割合



①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学4年生)】※全て%

2022年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	10.6	5.3	5.4	4.4	6.6	4.8	9.1	9.2	13.6	20.9	4	2.2	2.2	1.4	0.2	0
累積割合	10.6	16	21.4	25.8	32.4	37.2	46.3	55.5	69.1	90	94	96.2	98.4	99.8	100	100
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.5	1.4	3.0	1.8	3.0	2.3	3.8	4.8	12.0	37.0	11.2	8.3	5.3	3.1	0.6	1.0
累積割合	1.5	2.9	5.9	7.8	10.8	13.0	16.8	21.6	33.6	70.6	81.8	90.1	95.4	98.5	99.0	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	34.8	16.1	9.8	4.6	6.1	3.5	4.8	3.7	6.0	6.6	1.5	0.9	0.8	0.6	0.1	0.0
累積割合	34.8	50.9	60.7	65.4	71.4	74.9	79.7	83.4	89.4	96.0	97.5	98.5	99.2	99.9	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.3	3.7	9.6	4.2	4.9	4.8	5.3	6.2	11.9	29.8	6.9	3.9	3.6	2.0	0.4	0.6
累積割合	2.3	6.0	15.6	19.8	24.7	29.6	34.9	41.0	52.9	82.7	89.6	93.5	97.1	99.1	99.4	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.6	6.9	6.7	4.9	7.6	6.5	9.4	9.0	11.6	17.7	3.7	2.2	2.6	1.2	0.4	0.0
累積割合	9.6	16.4	23.1	28.1	35.7	42.2	51.6	60.6	72.2	89.9	93.6	95.8	98.4	99.6	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	0.7	0.8	2.7	2.3	2.2	3.3	4.6	6.4	13.0	34.2	11.3	7.0	5.9	3.5	0.7	1.2
累積割合	0.7	1.6	4.3	6.6	8.8	12.1	16.7	23.1	36.2	70.3	81.6	88.7	94.6	98.1	98.8	100.0

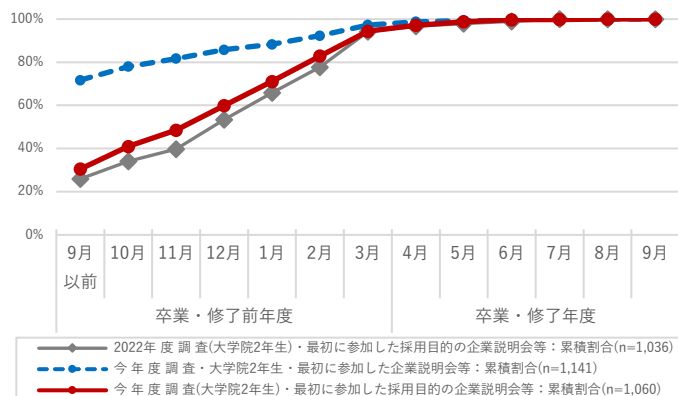
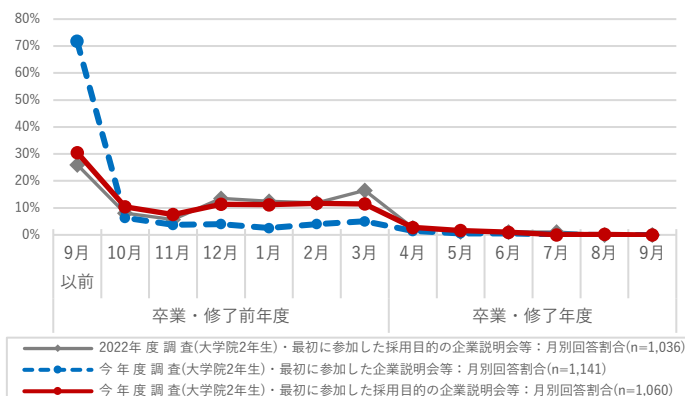
①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

大学院2年生

最初に参加した時期

月別回答割合

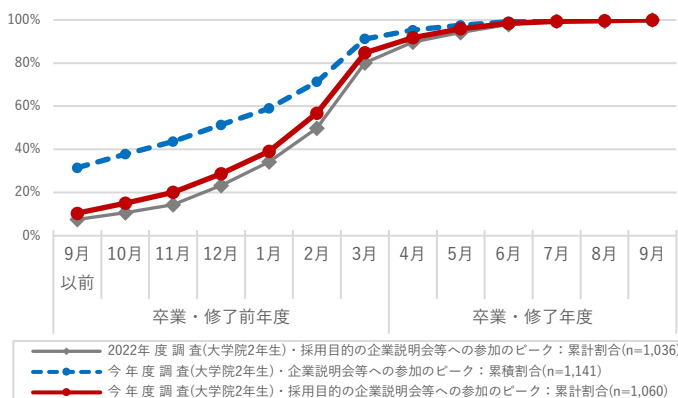
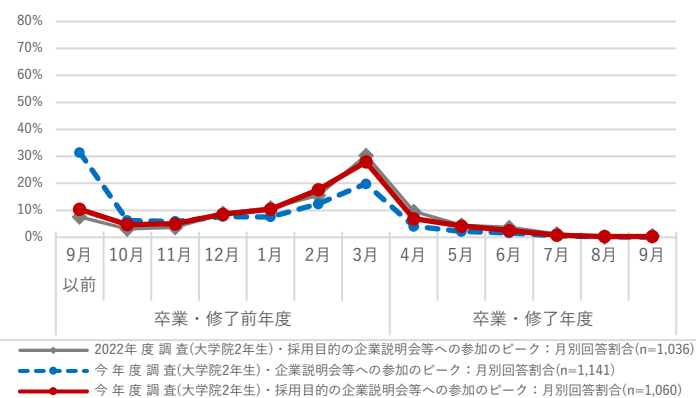
累計割合



参加のピーク

月別回答割合

累計割合



①採用を目的とした企業説明会やセミナー等の参加時期

【詳細データ(大学院2年生)】※全て%

2022年度

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	9.3	5.7	6.0	4.9	8.1	5.7	13.6	12.4	11.9	16.5	2.6	1.2	1.0	1.0	0.0	0.0
累積割合	9.3	15.1	21.0	26.0	34.0	39.8	53.4	65.8	77.7	94.1	96.7	97.9	99.0	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	1.4	1.5	2.5	2.2	3.1	3.7	8.9	11.0	15.5	30.3	9.6	4.5	3.7	1.4	0.1	0.6
累積割合	1.4	2.9	5.4	7.6	10.7	14.4	23.3	34.3	49.8	80.1	89.7	94.2	97.9	99.3	99.4	100.0

今年度

【参加した企業説明会・セミナーの参加時期】

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	42.6	15.4	9.8	3.7	6.3	3.7	4.0	2.5	4.0	5.0	1.5	0.6	0.5	0.2	0.0	0.0
累積割合	42.6	58.1	67.9	71.7	78.0	81.7	85.7	88.3	92.3	97.3	98.7	99.3	99.8	100.0	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	5.8	6.8	10.9	8.0	6.3	5.9	7.7	7.6	12.4	19.9	4.1	2.2	1.7	0.6	0.2	0.1
累積割合	5.8	12.6	23.5	31.5	37.8	43.7	51.4	59.0	71.3	91.2	95.2	97.4	99.1	99.7	99.9	100.0

【採用を目的とした企業説明会・セミナーの参加時期】

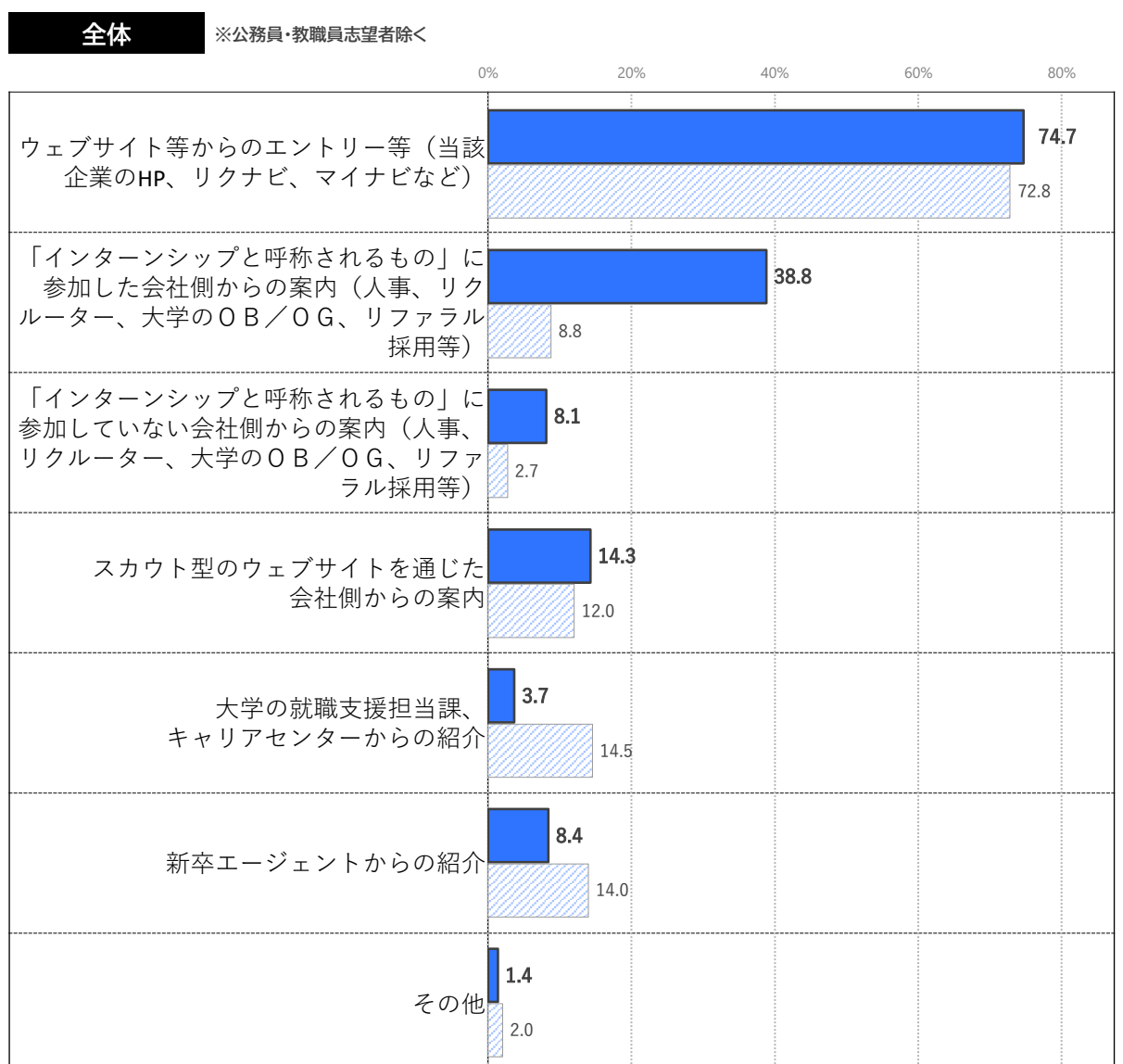
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	11.8	6.9	6.6	5.3	10.4	7.5	11.4	11.2	11.7	11.5	2.8	1.7	1.0	0.1	0.2	0.0
累積割合	11.8	18.7	25.2	30.5	41.0	48.5	59.9	71.1	82.8	94.3	97.1	98.7	99.7	99.8	100.0	100.0
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降(予定)
月別回答割合	2.0	2.1	3.6	2.7	4.7	5.0	8.6	10.4	17.7	28.0	6.9	4.2	2.6	0.8	0.4	0.4
累積割合	2.0	4.1	7.7	10.4	15.1	20.1	28.7	39.2	56.8	84.8	91.7	95.9	98.5	99.3	99.6	100.0

②最初に受けた「面接」の企業の経路

最初に受けた「面接」について、卒業・修了年度の6月以降(就活ルール内)と、卒業・修了年度の5月以前(就活ルールより前)で分類し、それぞれについて集計を行った。

どのような経路で面接を受けたかについて、卒業・修了年度の5月以前、6月以降共に、「ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど)」が約7割と最も高い。

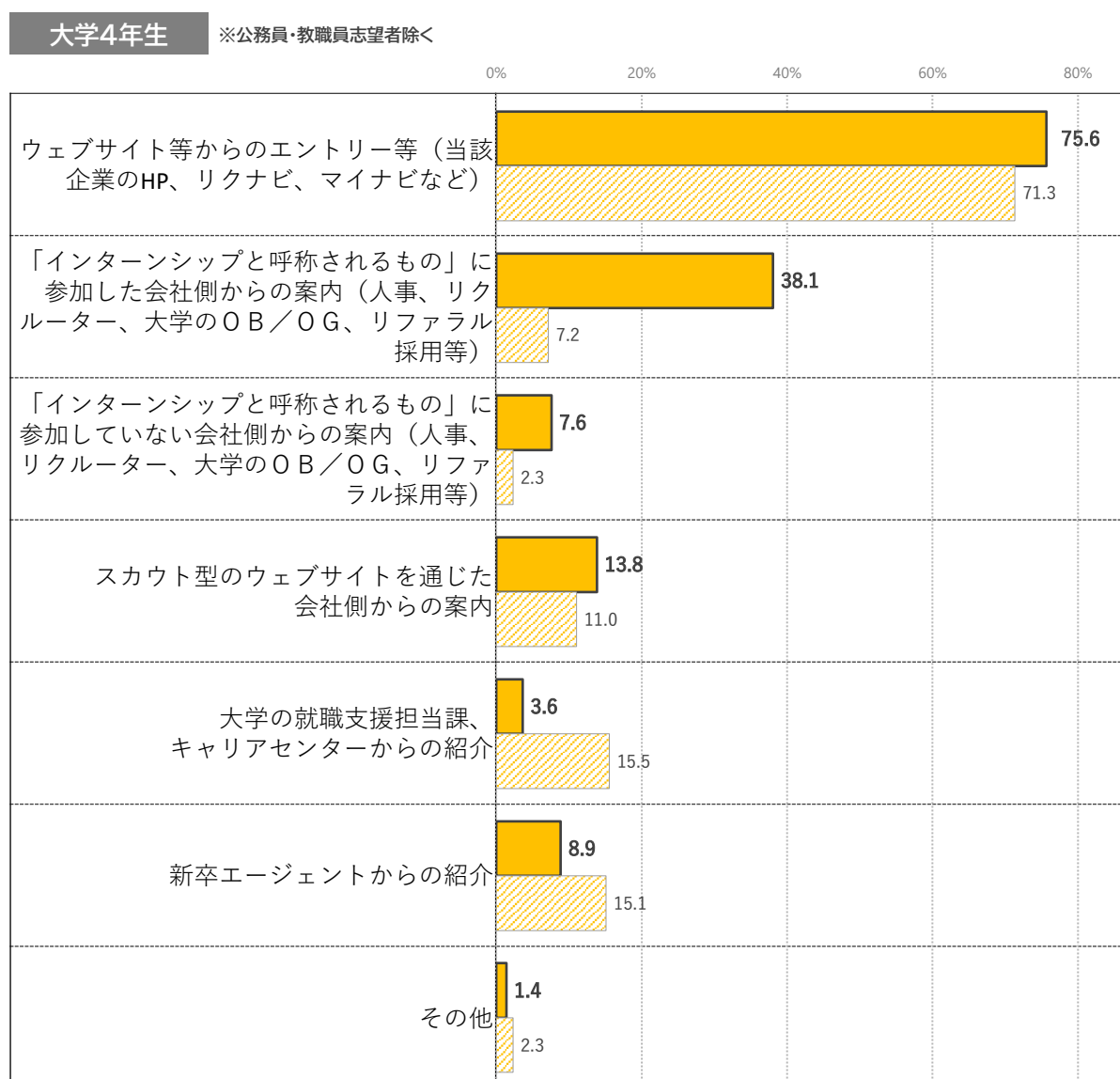
卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が特に高い経路は、「「インターンシップと呼称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクレーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)」となった。



■ 卒業・修了年度の5月以前・全体(n=3,113)

□ 卒業・修了年度の6月以降・全体(n=119)

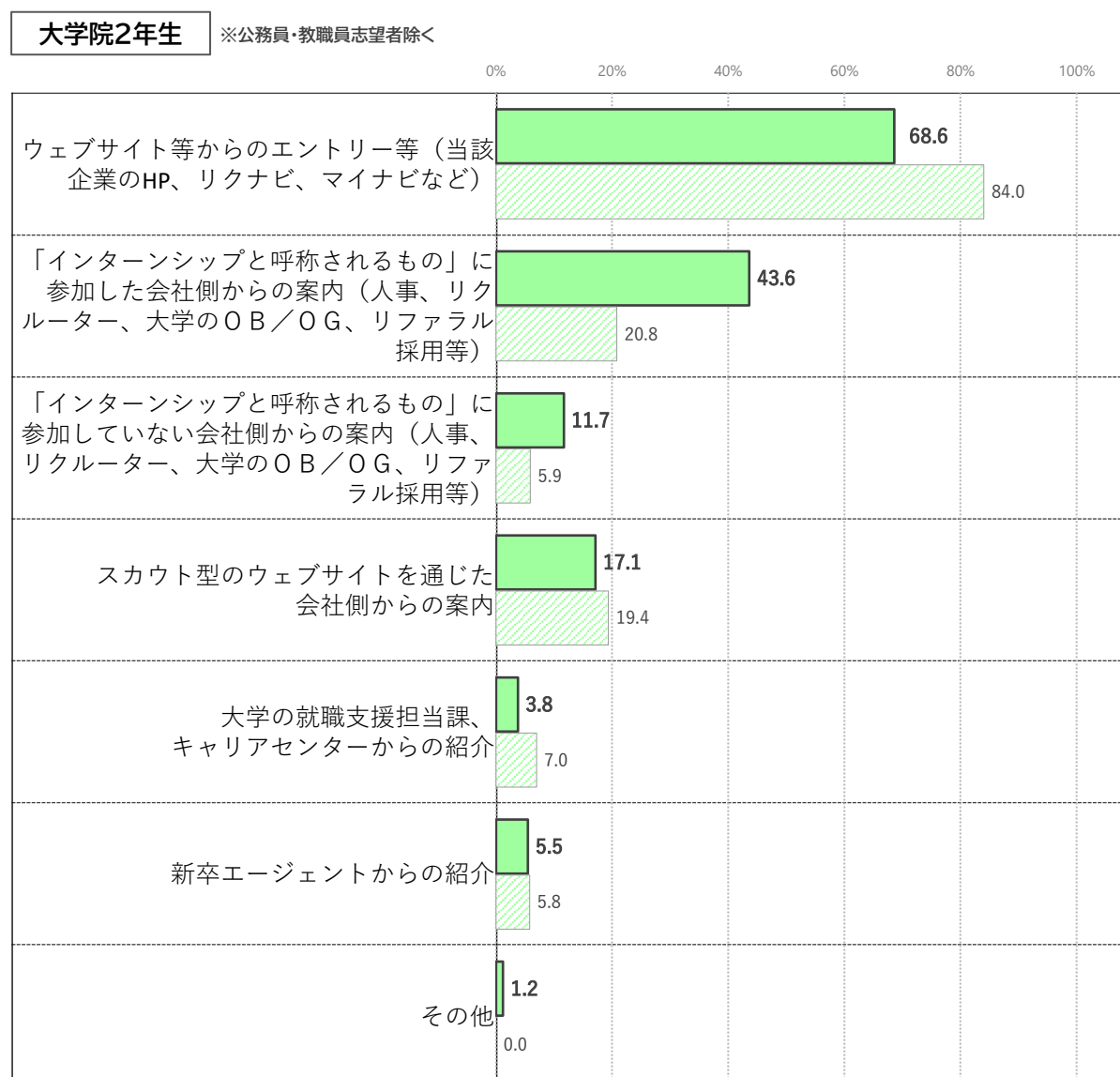
②最初に受けた「面接」の企業の経路



■ 卒業・修了年度の5月以前・大学4年生(n=2,145)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学4年生(n=84)

②最初に受けた「面接」の企業の経路



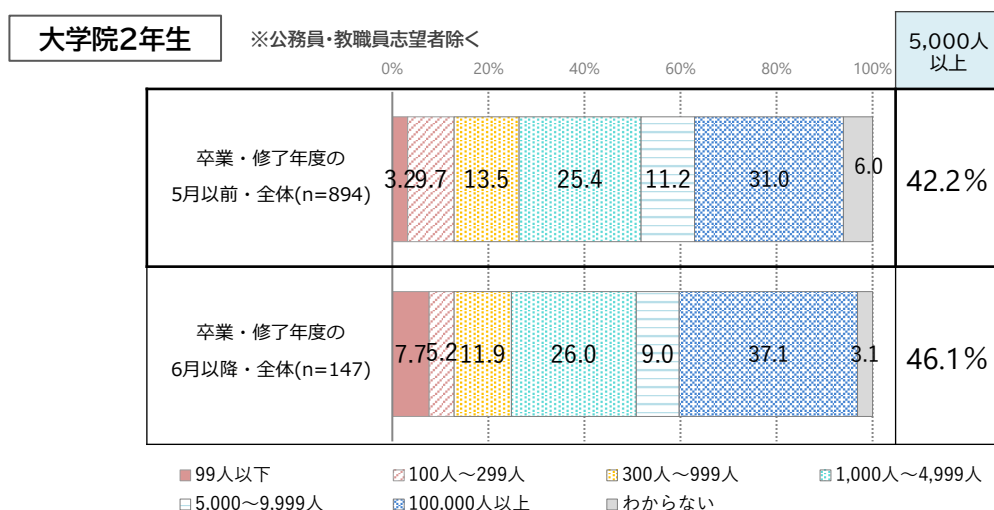
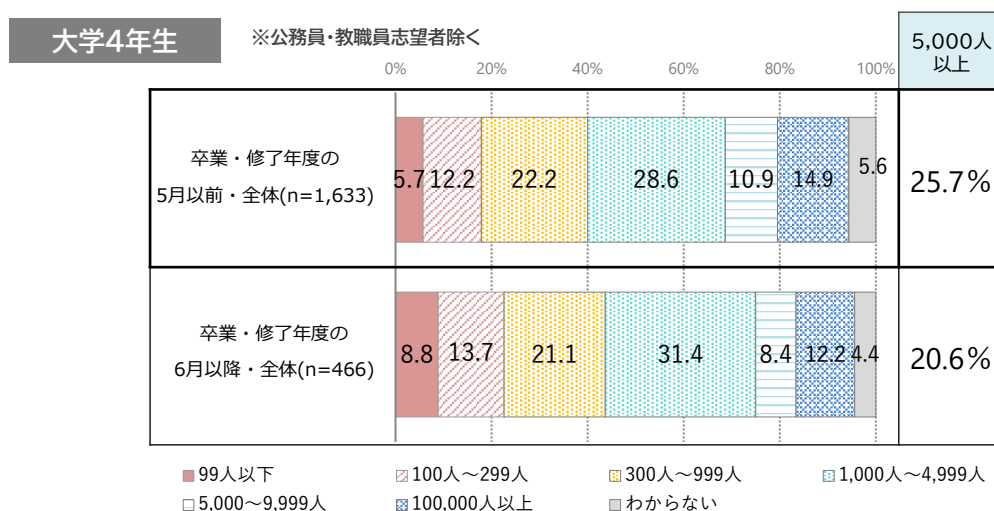
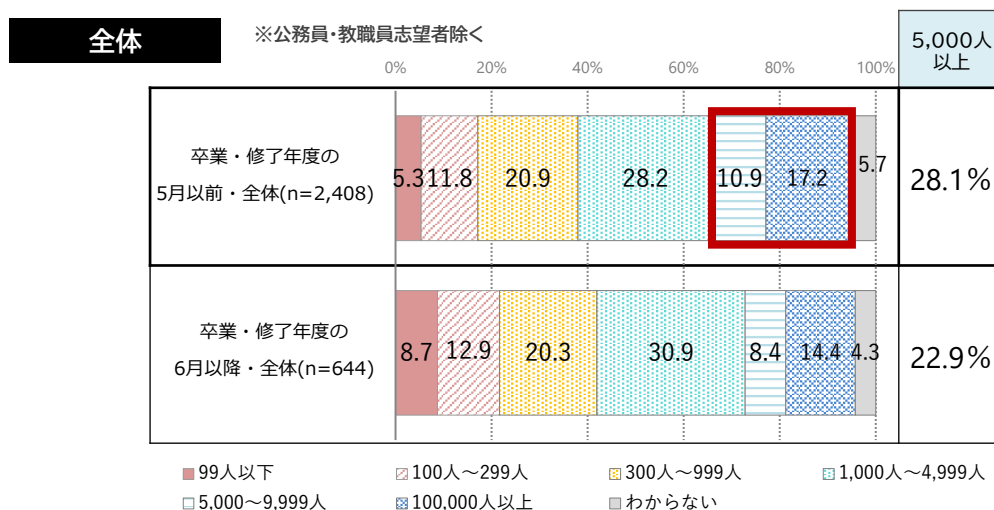
■ 卒業・修了年度の5月以前・大学院2年生 (n=1,049)

▨ 卒業・修了年度の6月以降・大学院2年生 (n=36)

③最初に内々定を受けた企業の規模

最初に内々定※1を受けた企業の企業規模について、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

「卒業・修了年度の5月以前」では「5,000人以上」が28.1%と、「卒業・修了年度の6月以降」22.9%と比べて高い。



※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

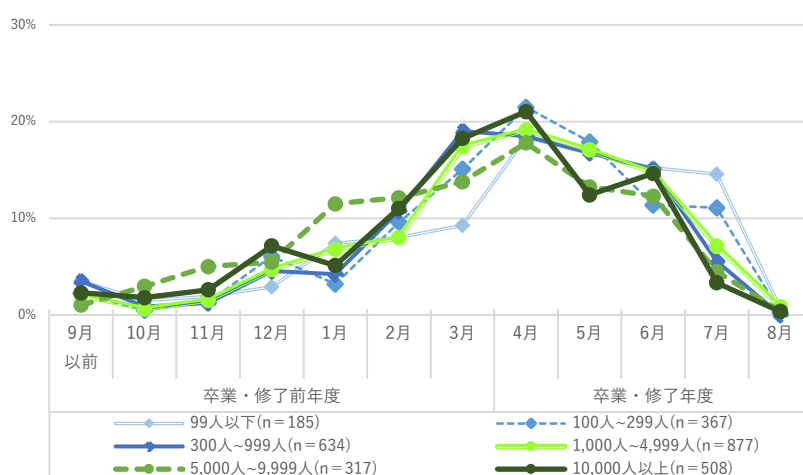
最初に内々定を受けた企業の規模別に、最初の内々定時期を見ると※1、いずれの規模でも、4月の割合が最も高い。一方「5,000人～9,999人規模」では、「1月」の割合が他規模に比べて高く、「99人以下規模」では、「3月」の割合が低く、「7月」の割合が高い。

累計割合で見ると、「5,000人～9,999人規模」「10,000人以上規模」では約5割が3月までに最初の内々定を受けている。

全体

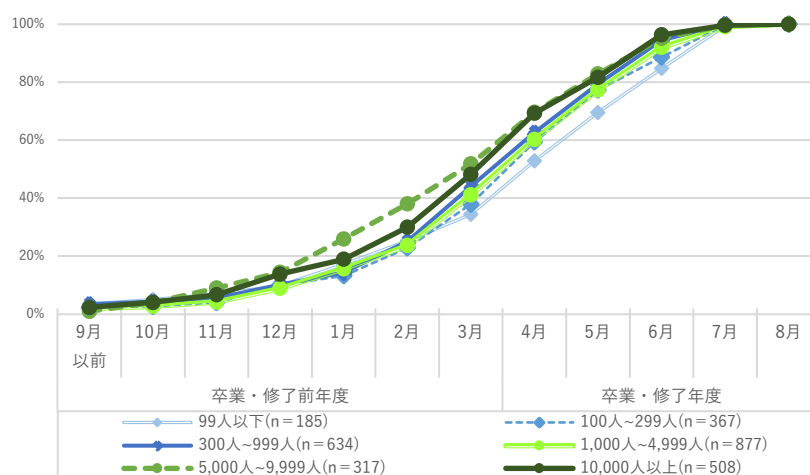
月別回答割合

※公務員・教職員志望者除く



累計割合

※公務員・教職員志望者除く



※1：企業の規模別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

④最初に内々定を受けた企業の規模別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【99人以下】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7	0.7	1.2	1.0	1.5	1.9	2.9	7.4	8.0	9.3	18.4	16.7	15.2	14.6	0.7
累積割合	0.7	1.3	2.6	3.5	5.0	6.9	9.8	17.2	25.2	34.5	52.8	69.5	84.8	99.3	100.0

【100人～299人】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.3	1.2	0.0	0.6	0.5	1.3	6.0	3.2	9.6	15.1	21.5	17.9	11.4	11.1	0.3
累積割合	0.3	1.6	1.6	2.2	2.7	4.0	10.0	13.2	22.8	37.9	59.4	77.3	88.7	99.7	100.0

【300人～999人】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.3	0.7	0.9	0.6	0.9	1.2	4.6	4.2	10.7	19.0	18.5	16.8	15.1	5.5	0.0
累積割合	1.3	2.0	2.9	3.5	4.4	5.6	10.1	14.3	25.1	44.1	62.6	79.4	94.5	100.0	100.0

【1,000人～4,999人】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.3	0.8	0.5	0.6	1.5	4.7	6.8	8.0	17.4	19.1	17.1	14.7	7.1	0.8
累積割合	0.4	0.7	1.5	2.0	2.7	4.2	8.9	15.7	23.7	41.1	60.2	77.3	92.0	99.2	100.0

【5,000人～9,999人】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.0	0.0	0.4	0.6	3.0	5.0	5.5	11.5	12.1	13.8	17.8	13.2	12.3	4.5	0.4
累積割合	0.0	0.0	0.4	1.0	4.0	9.0	14.4	25.9	38.0	51.8	69.6	82.9	95.1	99.6	100.0

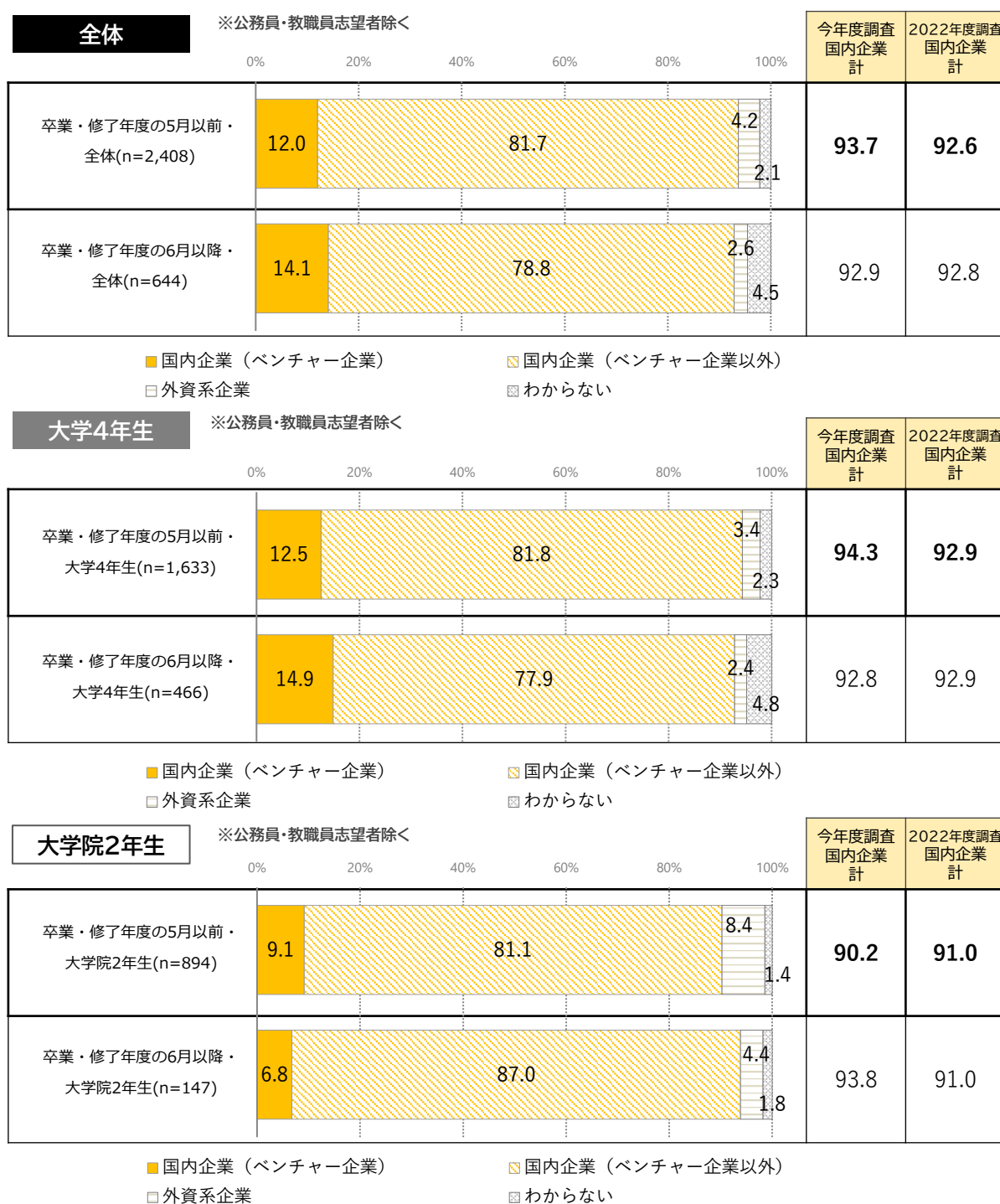
【10,000人以上】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.2	0.3	0.3	0.5	1.8	2.6	7.1	5.1	11.0	18.3	21.0	12.4	14.6	3.3	0.3
累積割合	1.2	1.5	1.8	2.3	4.1	6.7	13.8	18.9	29.9	48.2	69.3	81.7	96.3	99.7	100.0

⑤最初に内々定を受けた企業の種類

最初に内々定を受けた企業が国内企業かどうかについて、卒業・修了年度の5月以前に受けた者と、卒業・修了年度の6月以降に受けた者に分けて集計を行った。

両者の回答結果はほぼ同様に、「国内企業（ベンチャー企業以外）※1」が約8割と最も高く、「国内企業（ベンチャー企業）」と合わせて「国内企業」と回答した者は全体で約9割となった。また、「外資系企業」では、卒業・修了年度の5月以前に受けた者が4.2%に対し、卒業・修了年度の6月以降に受けた者は2.6%と、僅かに時期が早まっている。



※1：ベンチャー企業については、今年度調査では「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行った。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

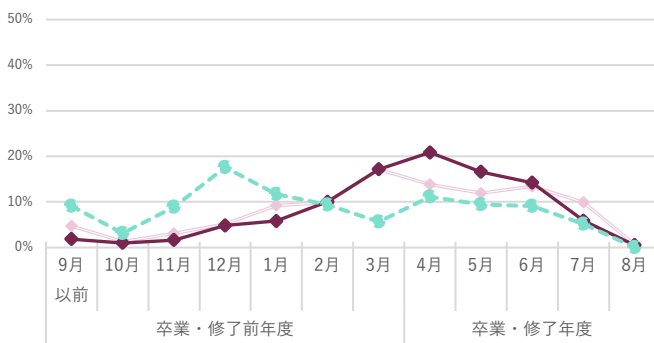
内々定を受けた時期を企業の種類別に見ると※1、最初の内々定について「国内企業（ベンチャー企業※2以外）」では「2023年4月」が約2割と他時期と比べて比較的高い。一方「外資系企業」では「2022年12月」が約2割と高い。就職予定企業では、「国内企業」では6月が最も高い。一方、「外資系企業」では2月以前の割合が4割にのぼり、「国内企業」と比べて早い傾向がみられた。

全体

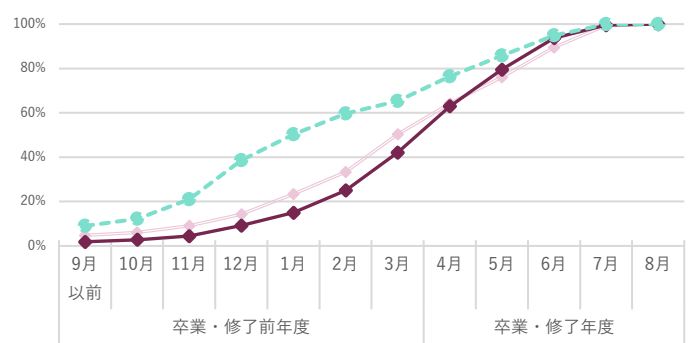
最初に内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



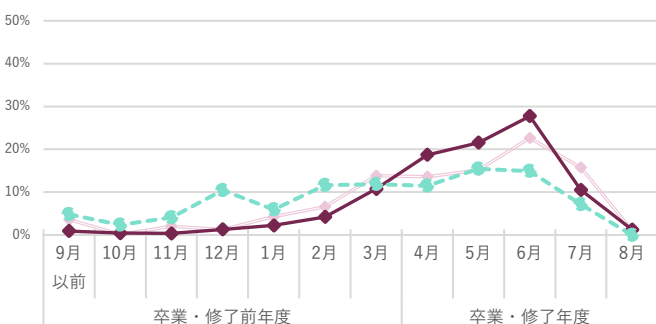
累計割合



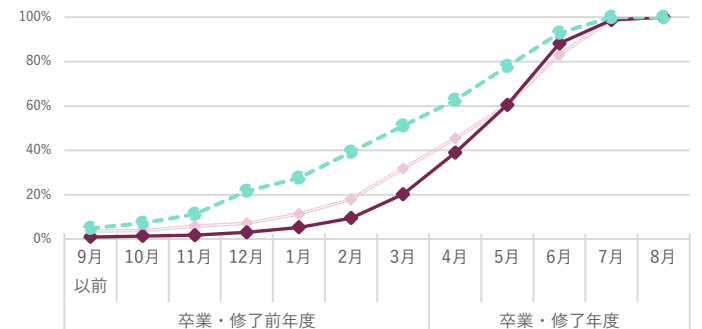
就職予定企業の内々定を受けた時期

※公務員・教職員志望者除く

月別回答割合



累計割合



※1：企業の種類別の集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

※2：ベンチャー企業については、今年度調査では「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行った。

⑥最初に内々定を受けた企業の種類別の内々定時期

【今年度調査・詳細データ】※全て%

全体

※公務員・教職員志望者除く

【最初に内々定を受けた時期】

【国内企業（ベンチャー企業）】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1	0.9	1.4	2.3	1.3	3.0	5.2	9.2	9.9	17.1	13.8	11.9	13.4	9.9	0.6
累積割合	0.1	1.0	2.4	4.7	6.0	9.0	14.2	23.4	33.3	50.4	64.2	76.1	89.5	99.4	100.0

【国内企業（ベンチャー企業以外）】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.8	0.5	0.4	0.1	1.0	1.6	4.8	5.8	10.0	17.1	20.8	16.6	14.2	5.8	0.5
累積割合	0.8	1.3	1.7	1.8	2.8	4.4	9.2	14.9	25.0	42.1	62.9	79.5	93.7	99.5	100.0

【外資系企業】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0	0.0	2.7	5.4	3.1	8.8	17.6	11.7	9.4	5.6	11.1	9.4	9.1	5.2	0.0
累積割合	1.0	1.0	3.7	9.0	12.2	21.0	38.6	50.2	59.6	65.3	76.4	85.8	94.8	100.0	100.0

【就職予定企業の内々定を受けた時期】

【国内企業（ベンチャー企業）】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7	1.1	0.1	1.7	0.2	2.0	1.3	4.3	6.6	13.8	13.6	15.1	22.6	15.8	1.1
累積割合	0.7	1.7	1.9	3.6	3.8	5.8	7.1	11.3	17.9	31.7	45.3	60.5	83.1	98.9	100.0

【国内企業（ベンチャー企業以外）】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4	0.3	0.2	0.0	0.5	0.4	1.3	2.2	4.2	10.8	18.7	21.5	27.7	10.5	1.2
累積割合	0.4	0.7	0.9	0.9	1.4	1.7	3.0	5.3	9.5	20.2	38.9	60.5	88.2	98.8	100.0

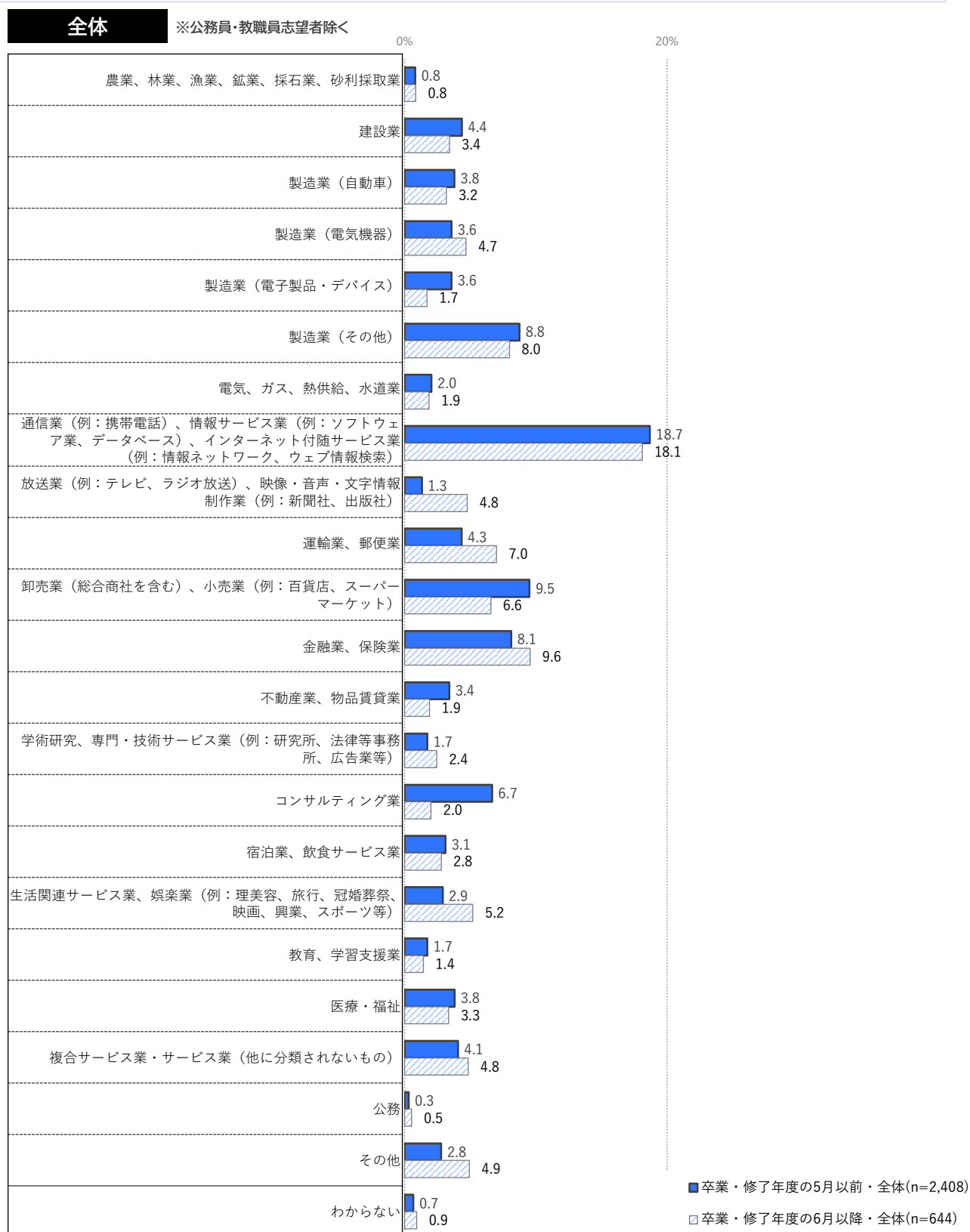
【外資系企業】

	6月 以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	1.0	0.0	0.4	3.4	2.3	4.1	10.4	5.9	11.6	11.9	11.5	15.4	14.9	7.1	0.0
累積割合	1.0	1.0	1.4	4.8	7.2	11.2	21.6	27.6	39.2	51.1	62.6	78.0	92.9	100.0	100.0

⑦最初に内々定を受けた企業の業界

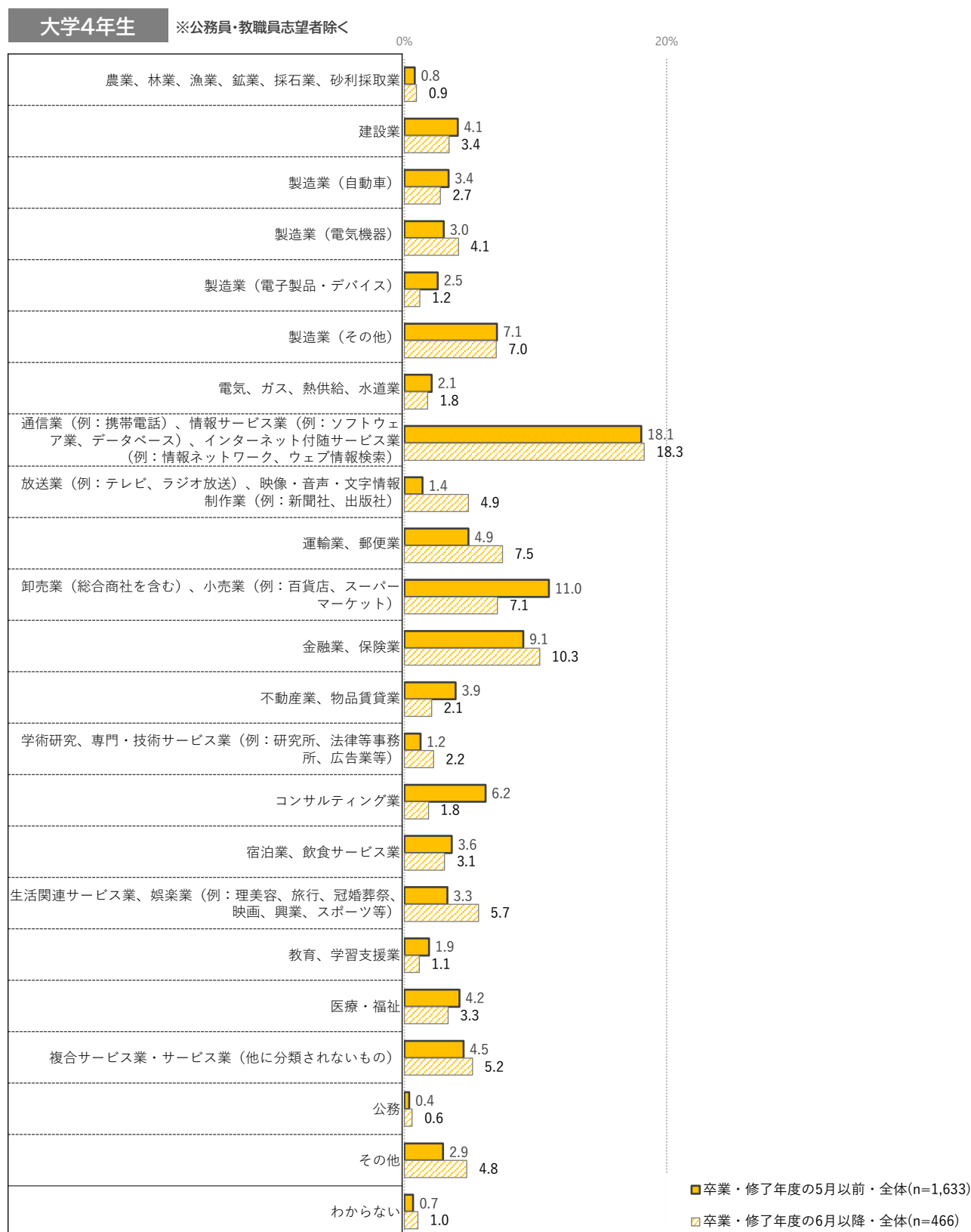
「最初に内々定※1を受けた」業種について、卒業・修了年度の5月以前、6月以降共に、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が最も高く、約2割。卒業・修了年度の5月以前では、次に「卸売業、小売業」、「製造業(その他)」、「金融業・保険業」、「コンサルティング業」が約1割と続く。

卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が高い業界は、「コンサルティング業」等。

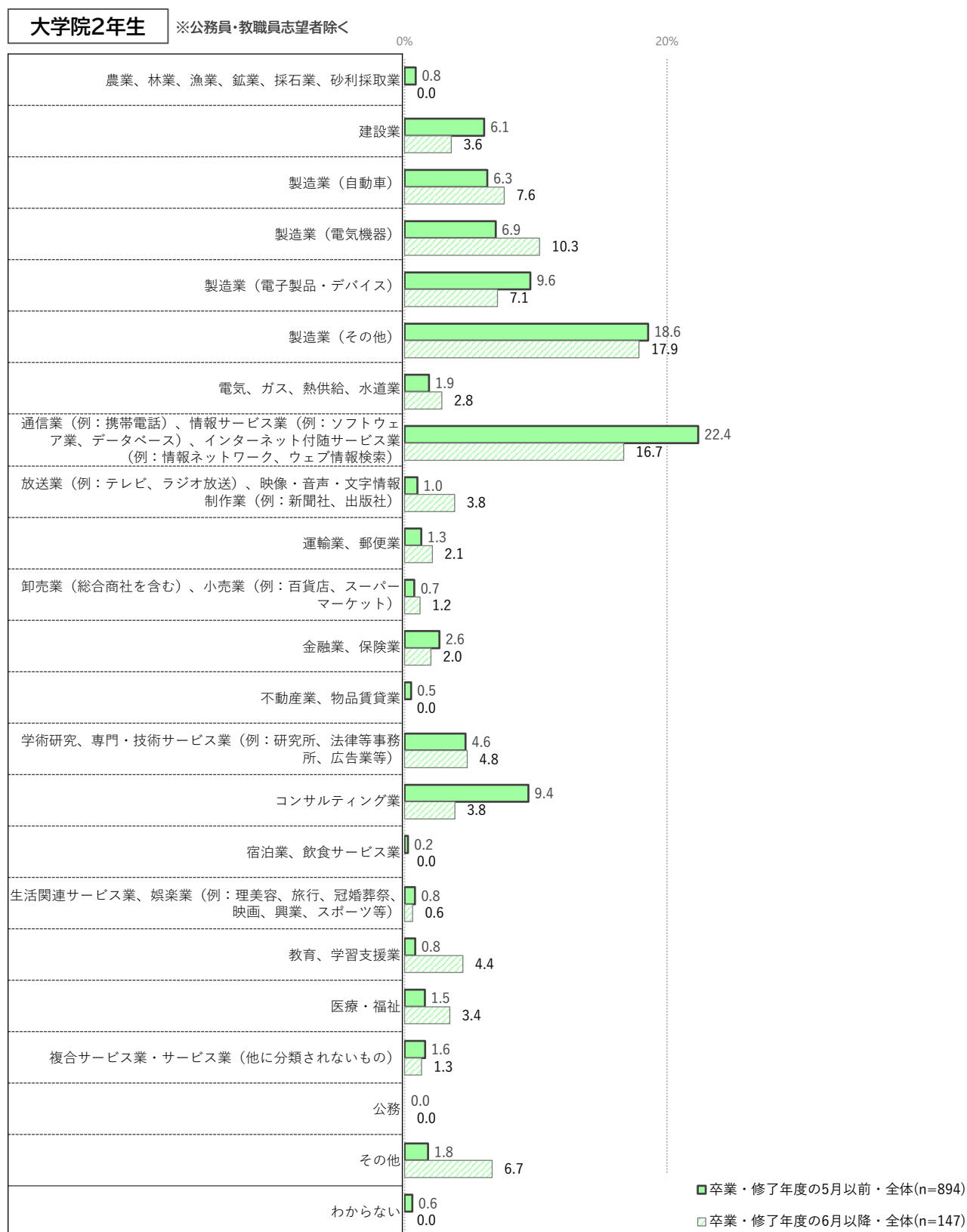


※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑦最初に内々定を受けた企業の業界



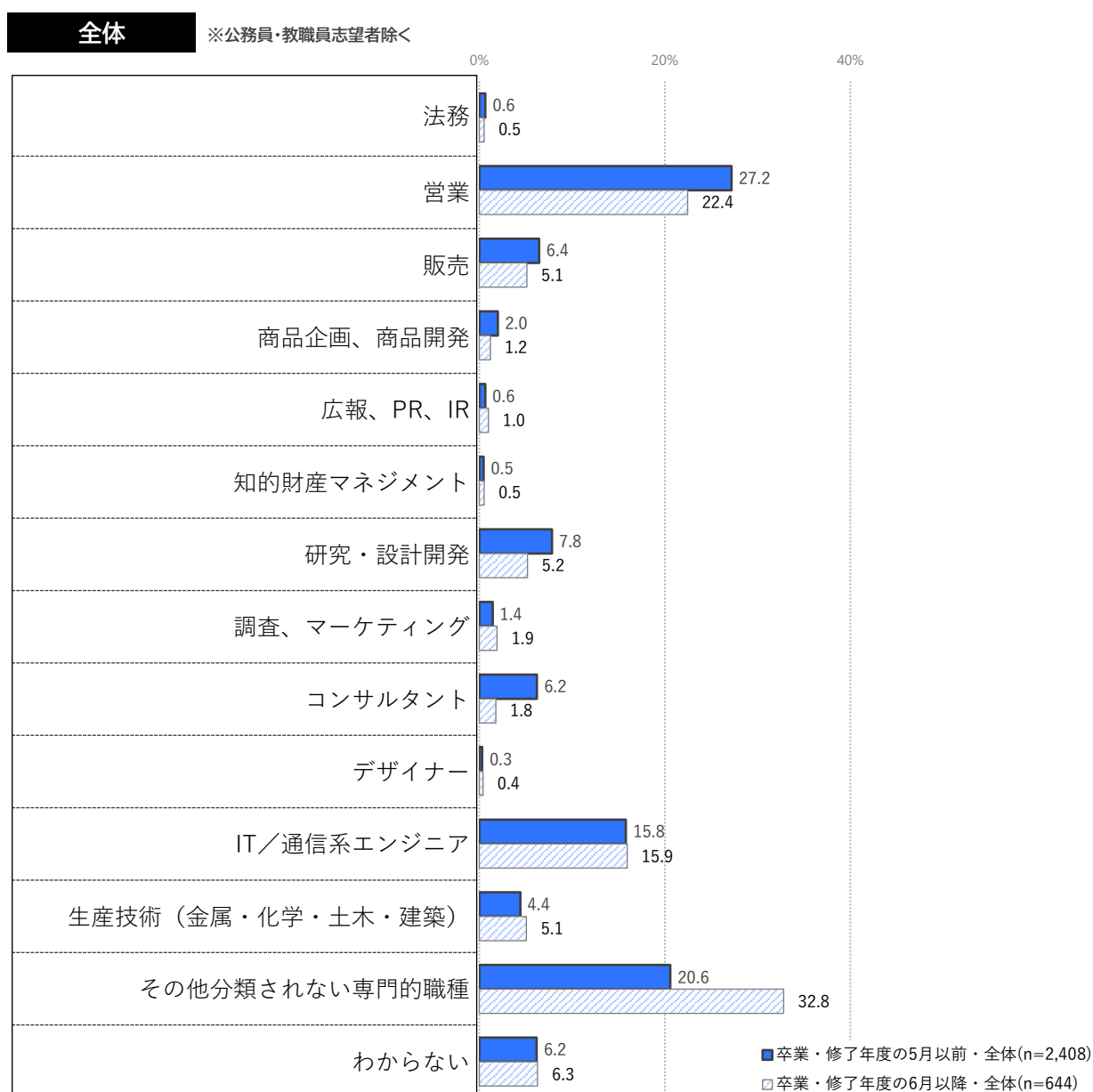
⑦最初に内々定を受けた企業の業界



⑧最初に内々定を受けた職種

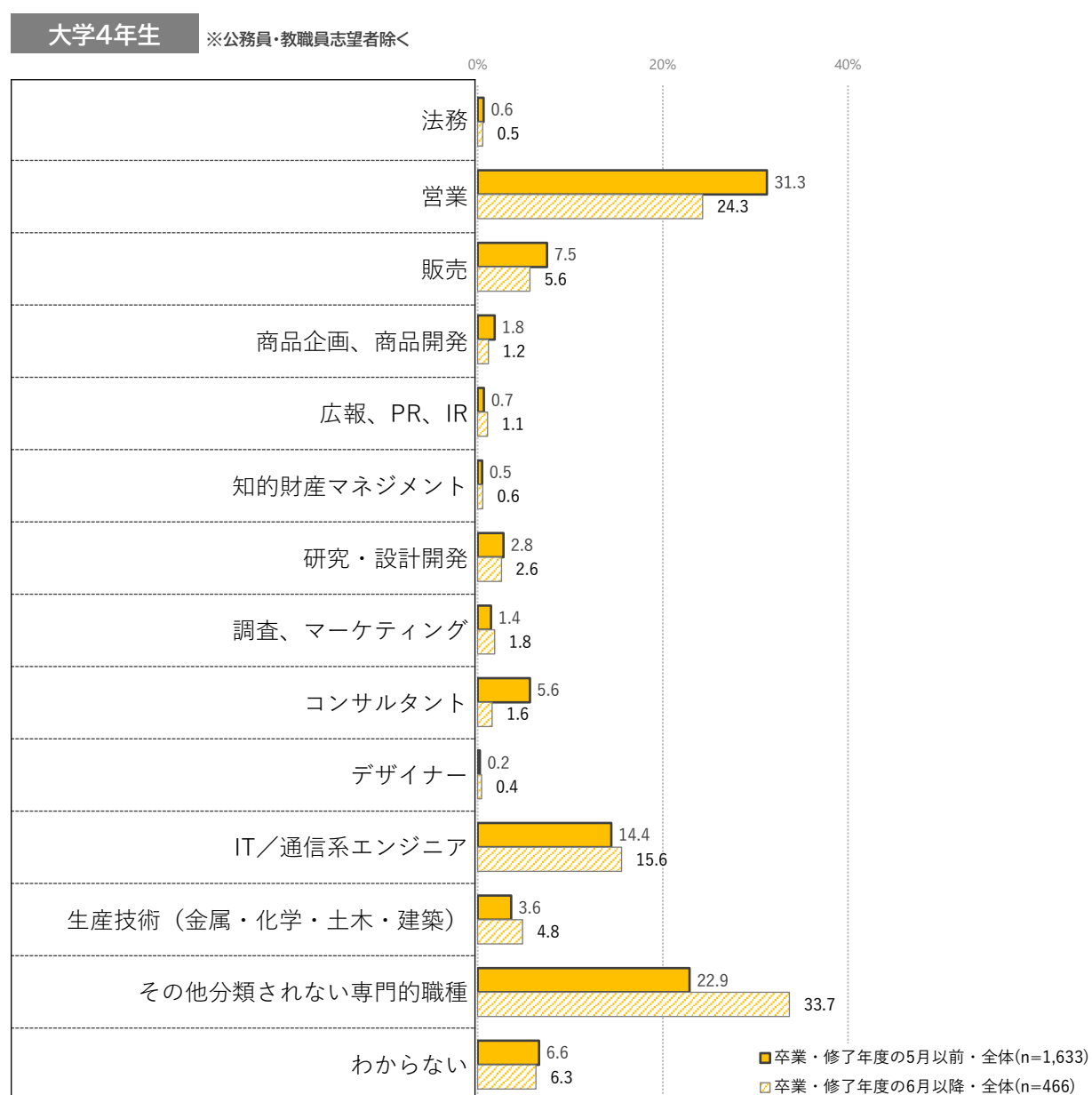
「最初に内々定※1を受けた」職種について、卒業・修了年度の5月以前では、「営業」が約3割と最も高く、次に「IT／通信系エンジニア」が約2割と高い。卒業・修了年度の6月以降では、「その他分類されてない専門的職種」が約3割と最も高い。

卒業・修了年度の6月以降に対して、卒業・修了年度の5月以前の方が高い業界は、「営業」等。

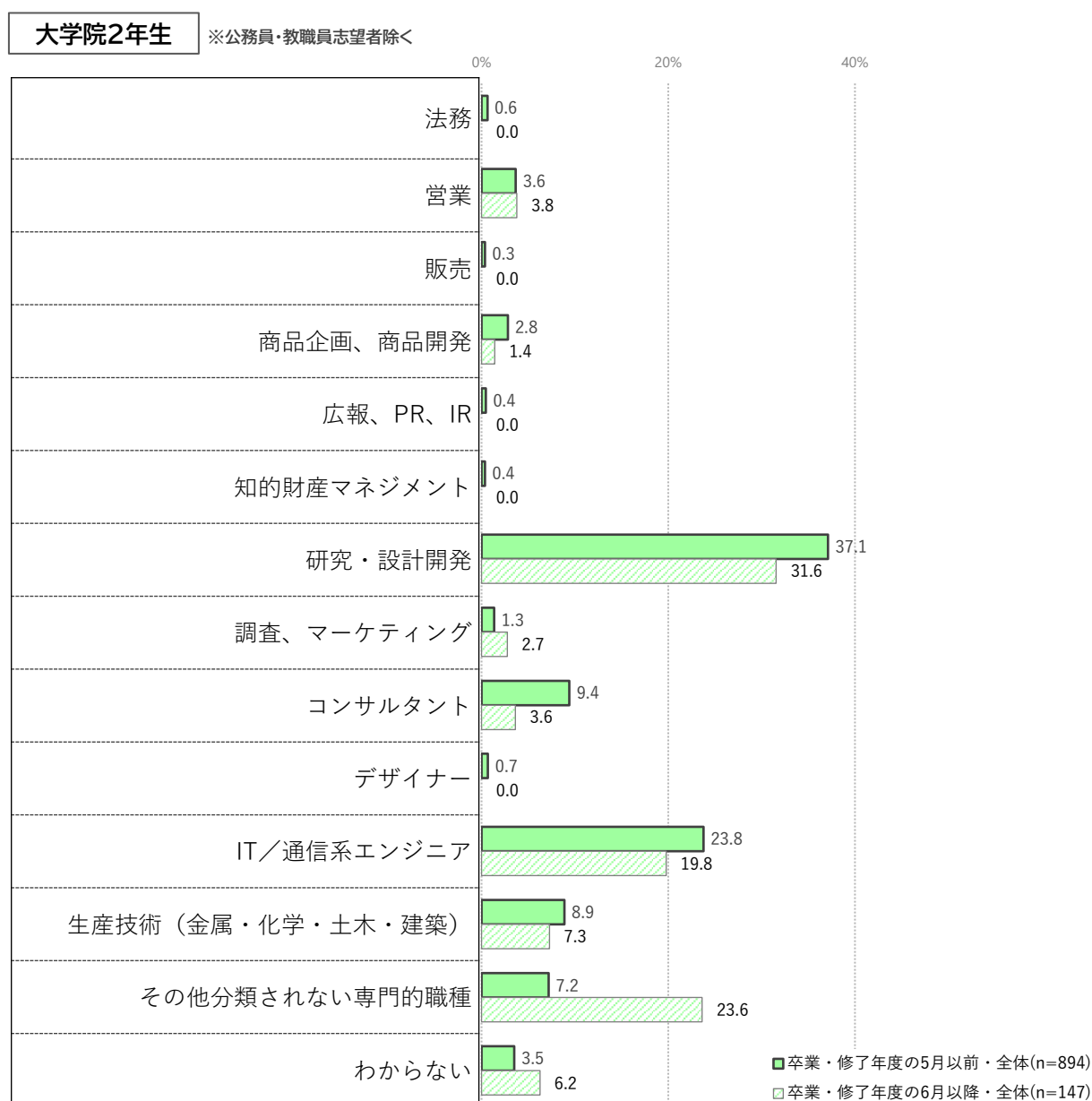


※1：今年度調査より、内々定については、正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したものと案内をした上で調査を行った。

⑧最初に内々定を受けた職種



⑧最初に内々定を受けた職種



第八章 文系・理系別の分析

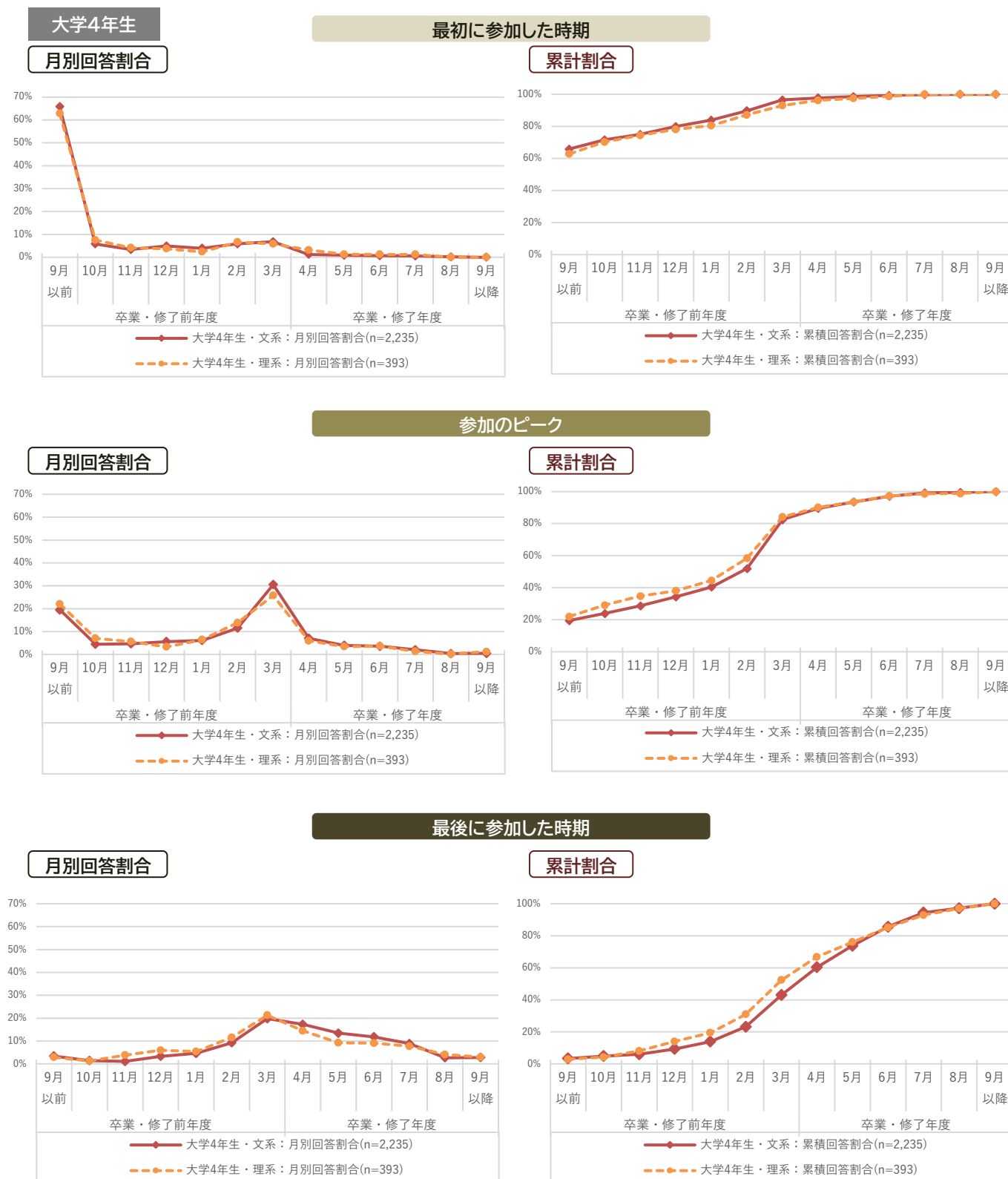
第八章 文系・理系別の分析

(1) 文系・理系別の就職活動の内容

①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

文系・理系別※1に、企業説明会やセミナー等の参加状況について集計すると、大学4年生では、「最初に参加した時期」は文系・理系で概ね同様となっており、「参加のピーク」「最後に参加した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。



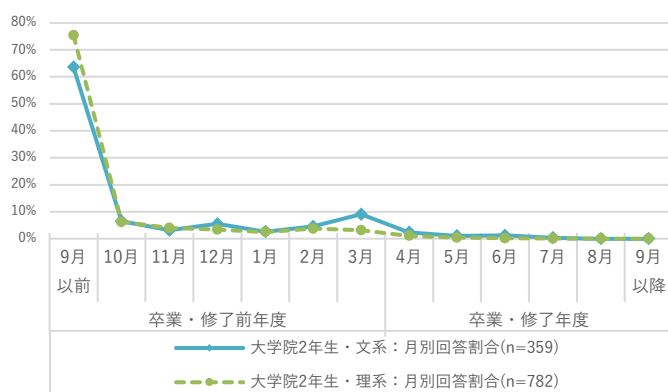
※1：「人文科学」、「社会科学」、「情報」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている。

①文系・理系別の企業説明会やセミナー等の参加状況

大学院2年生では、「最初に参加した時期」「参加のピーク」は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。「最後に参加した時期」は修了前年度1月までは文系の学生の方が早期の回答割合が高くなっているが、2月以降は理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

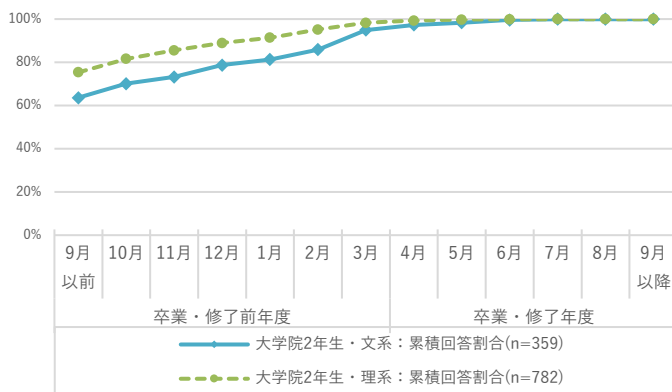
大学院2年生

月別回答割合



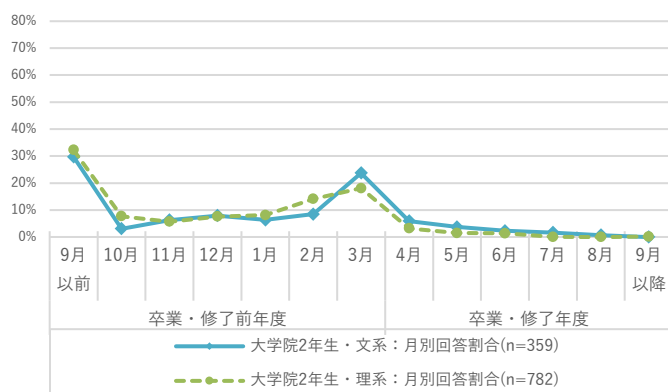
最初に参加した時期

累計割合

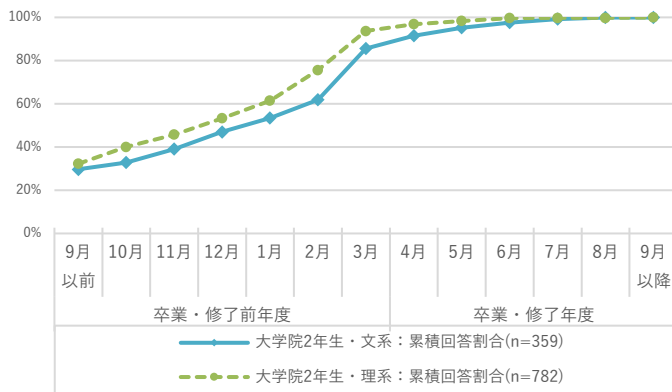


参加のピーク

月別回答割合

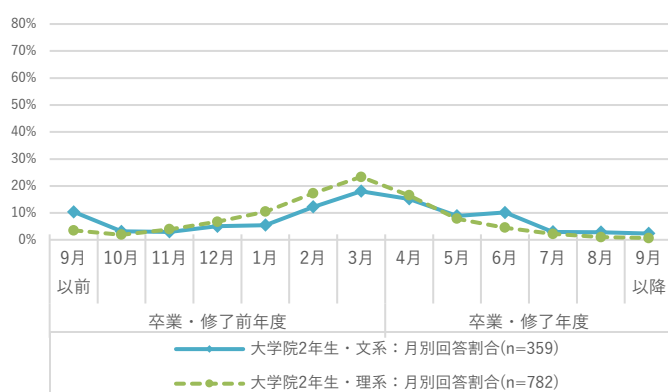


累計割合

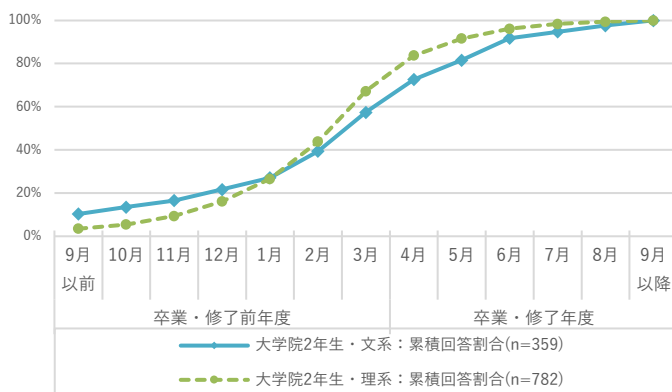


最後に参加した時期

月別回答割合



累計割合



②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

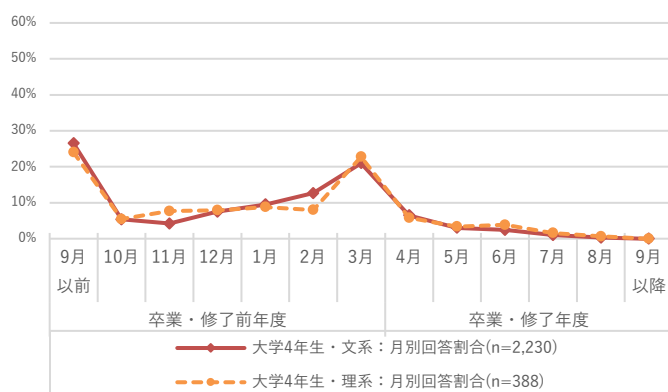
文系・理系別に、エントリーシートの提出状況について集計すると、大学4年生では、「最初に提出した時期」は文系・理系で概ね同様となっており、「提出のピーク」「最後に提出した時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高くなっている。

※「まだ提出していない・提出する予定もない」と回答した者は、集計の対象外とした。

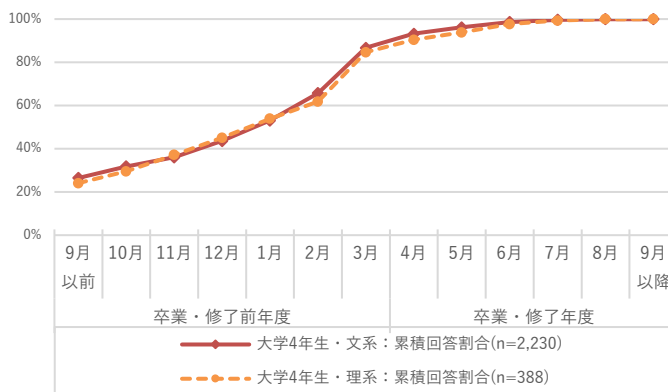
大学4年生

最初に提出した時期

月別回答割合

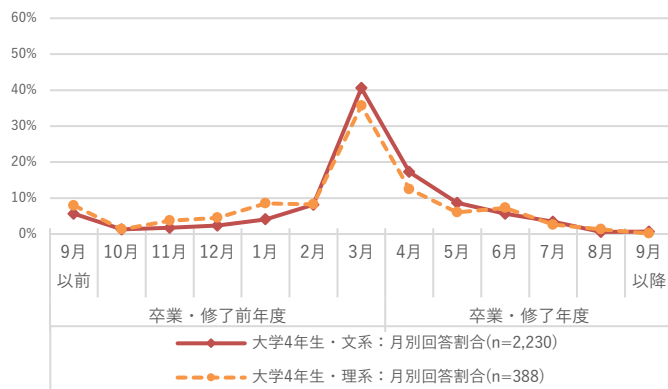


累計割合

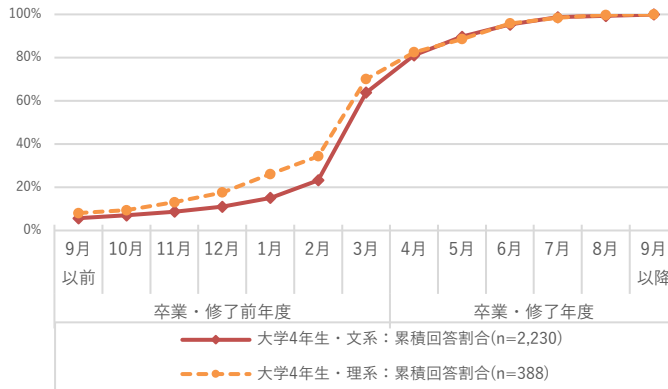


提出のピーク

月別回答割合

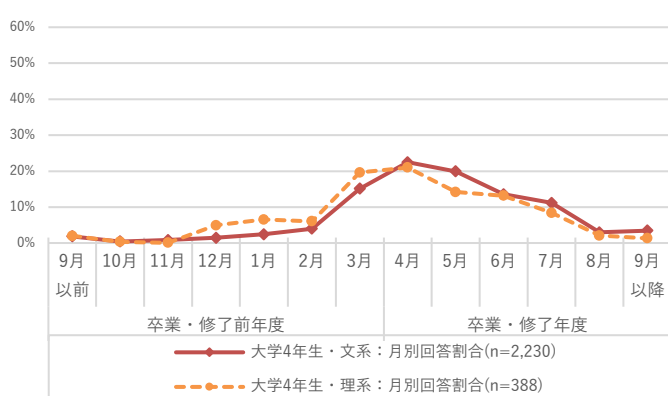


累計割合

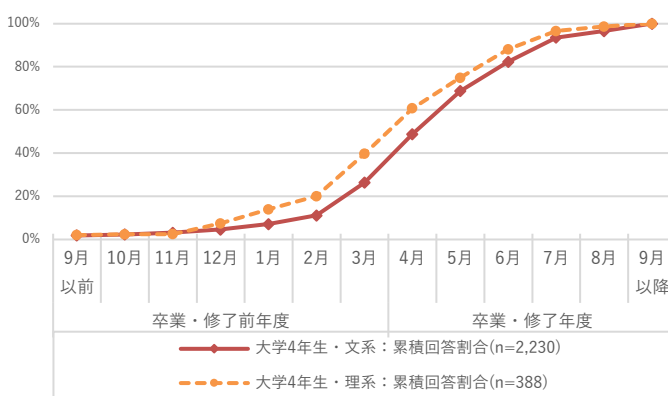


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合

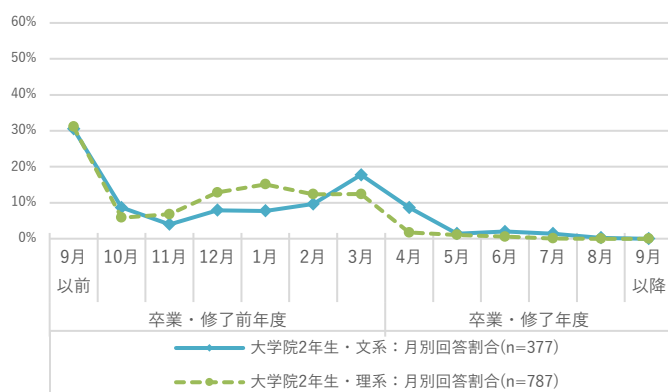


②文系・理系別のエントリーシートの提出状況

大学院2年生では、「最初に提出した時期」、「提出のピーク」、「最後に提出した時期」いずれも理系の学生の方が早期の回答割合が高くなっている。

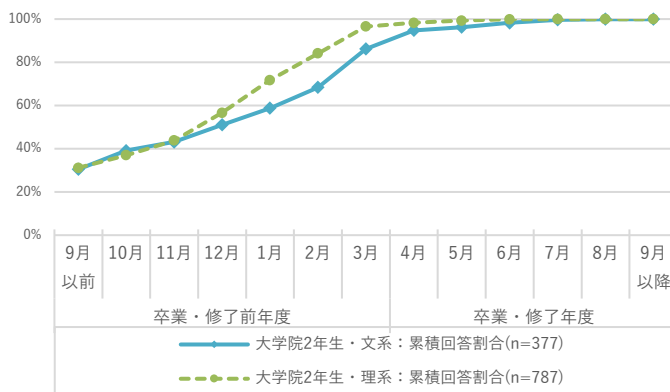
大学院2年生

月別回答割合



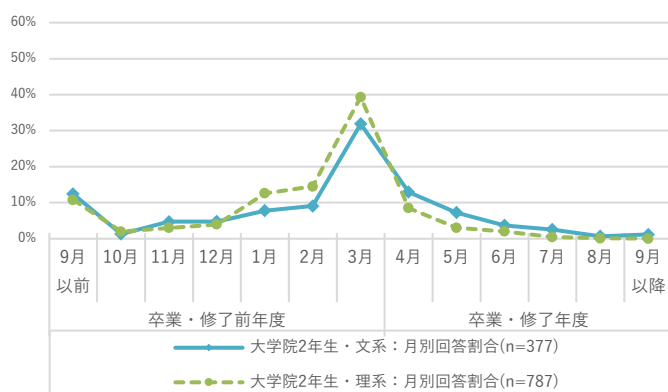
最初に提出した時期

累計割合

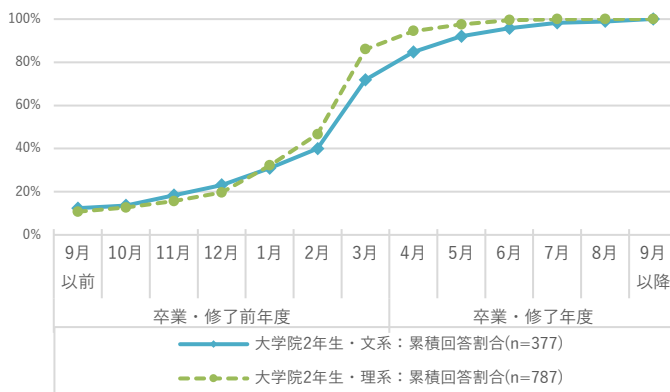


提出のピーク

月別回答割合

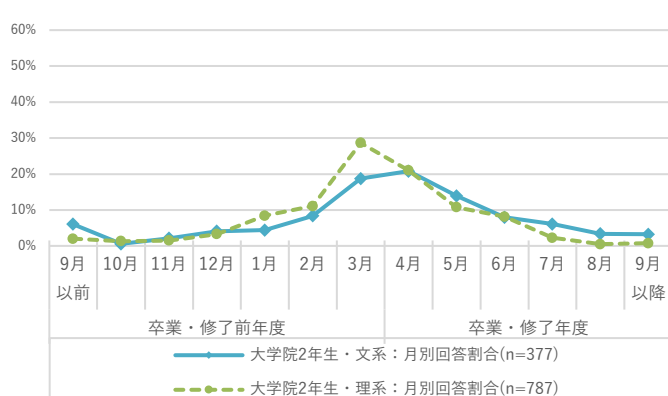


累計割合

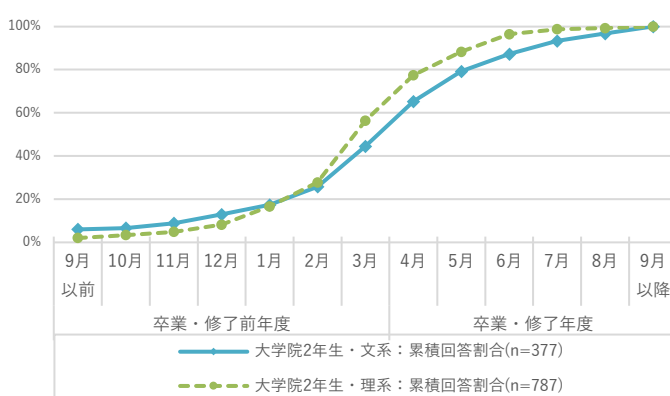


最後に提出した時期

月別回答割合



累計割合



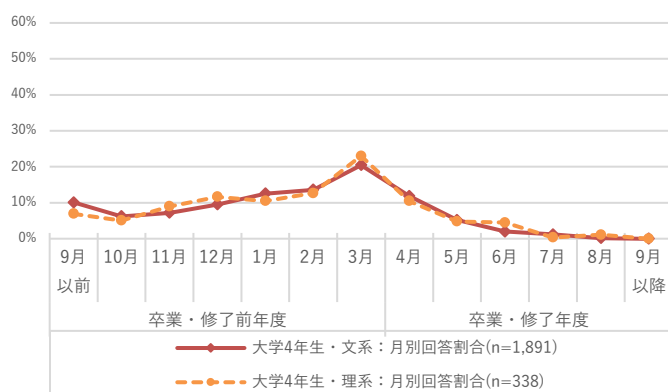
③文系・理系別の採用面接の実施状況

文系・理系別に、採用面接の実施状況について集計すると※1、大学4年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は文系・理系で概ね同様となっており、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」は理系の学生の方が早期の回答割合が若干高い時期が見られる。

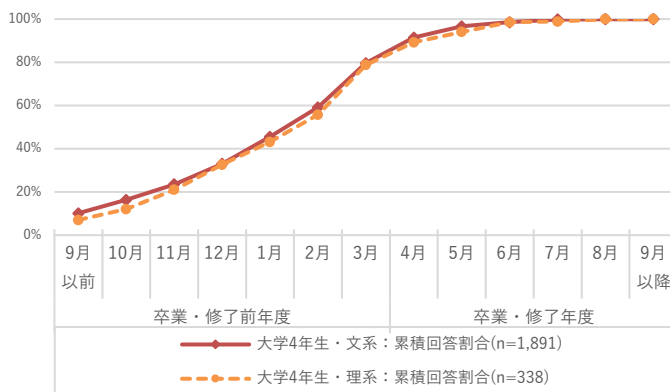
大学4年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

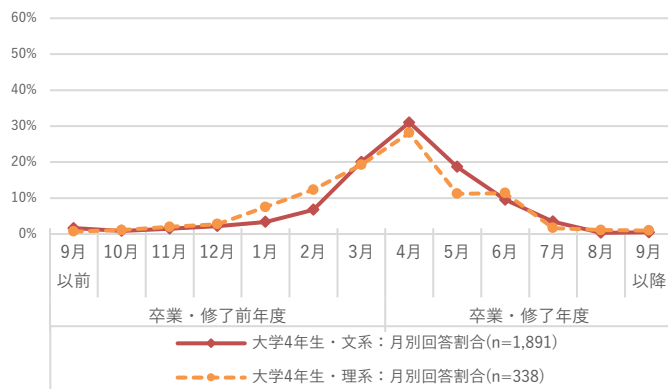


累計割合

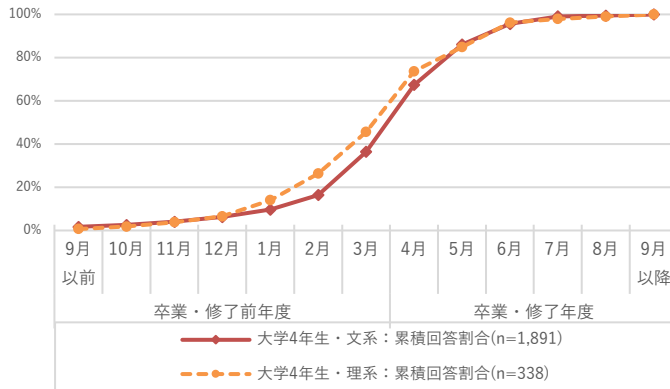


採用面接のピーク

月別回答割合

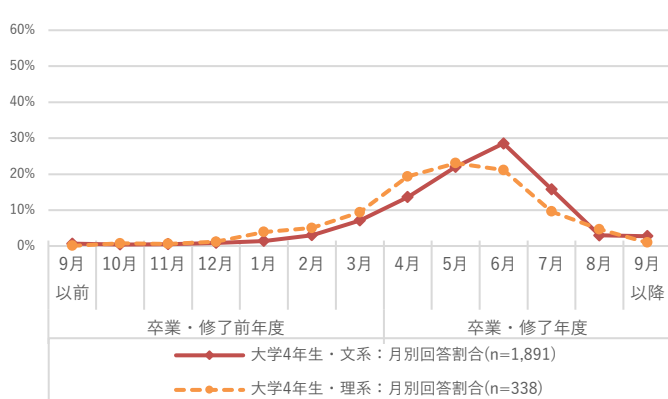


累計割合

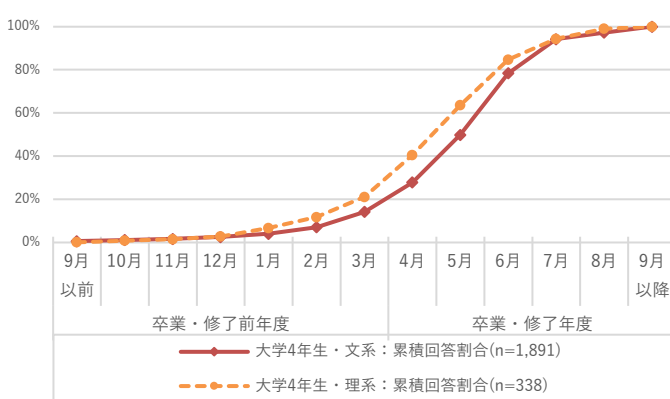


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



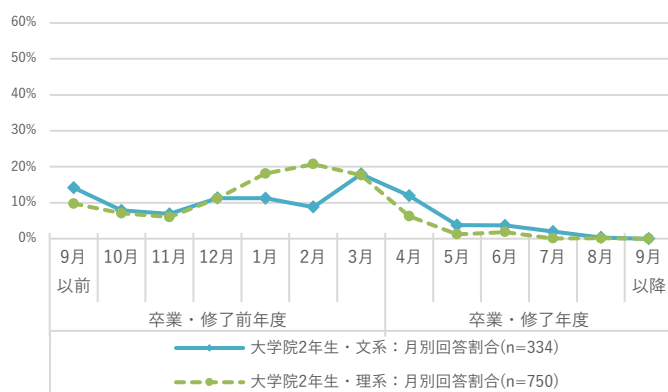
※1：公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、「まだ参加していない・参加する予定もない」と回答した者は集計の対象外とした。

③文系・理系別の採用面接の実施状況

大学院2年生では、「最初に受けた採用面接の時期」は修了前年度の2月以降、「採用面接のピーク」「最後に受けた採用面接の時期」については3月以降の時期において、理系の学生の方がより早期の回答割合が高くなっている。

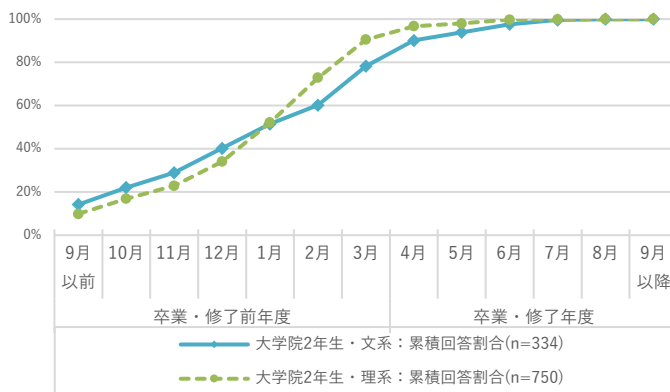
大学院2年生

月別回答割合



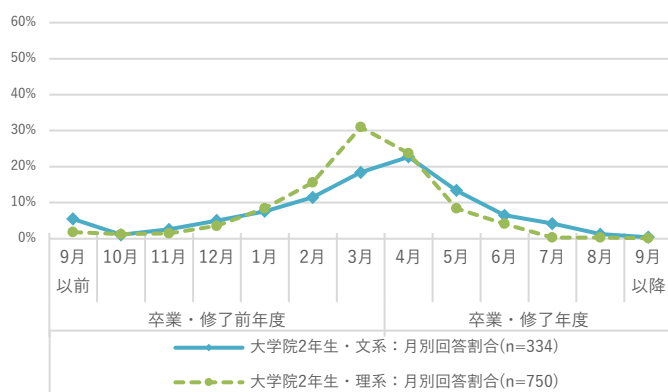
最初に受けた採用面接の時期

累計割合

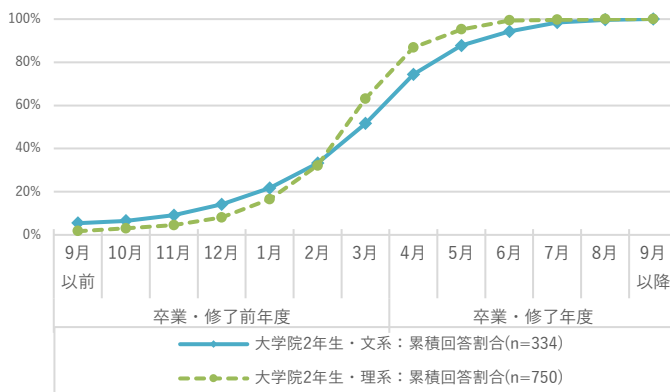


採用面接のピーク

月別回答割合

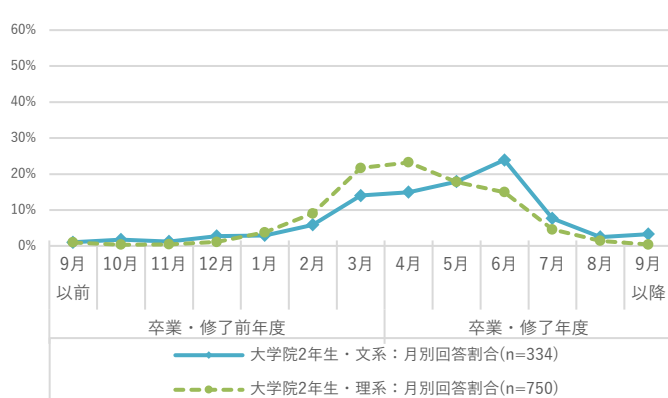


累計割合

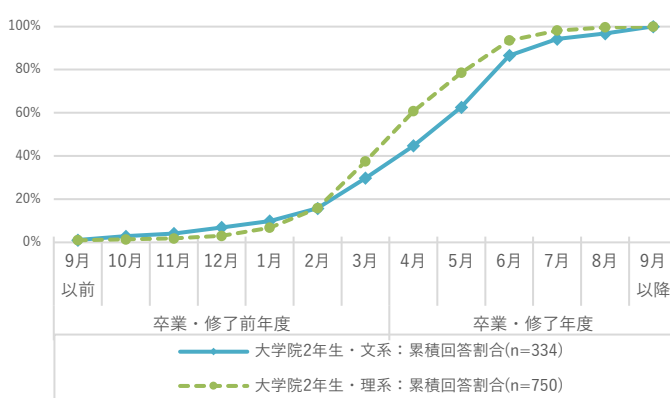


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



④文系・理系別の内々定を受けた時期

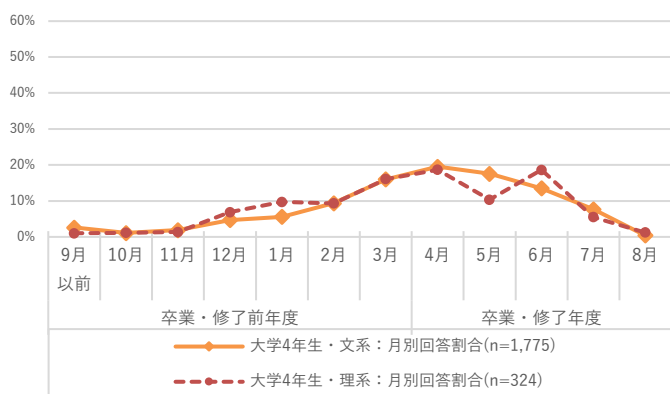
文系・理系別に、最初の内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、文系は卒業年度の4月と6月が高いが、理系は卒業年度の4月の割合が最も高くなっている。

大学院2年生では、文系の学生は修了年度の4月、理系の学生は修了前年度の3月の回答割合が最も高くなっている。

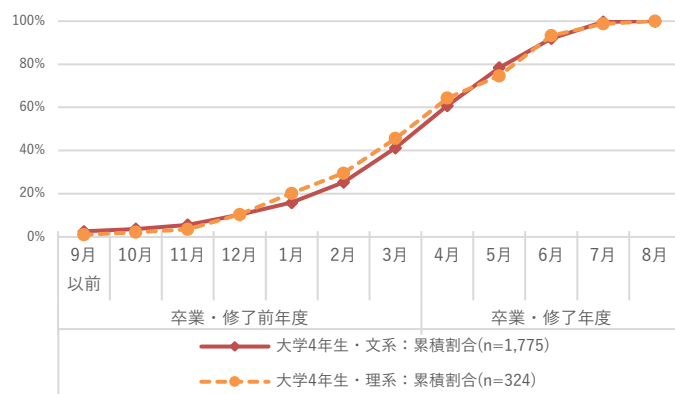
大学4年生

最初の内々定を受けた時期

月別回答割合

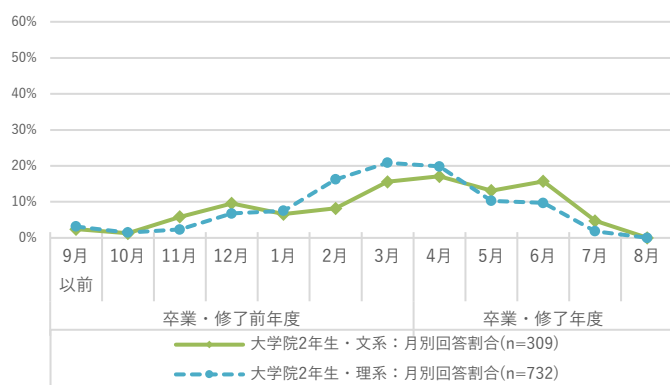


累計割合

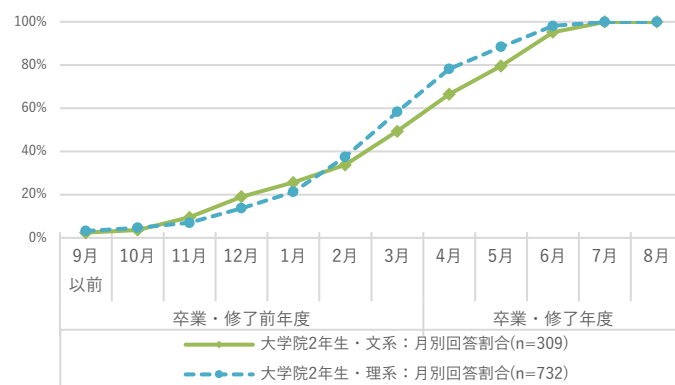


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初の内々定を受けた時期について集計した。
 なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を「まだ受けていない」と回答した者は集計の対象外としている。

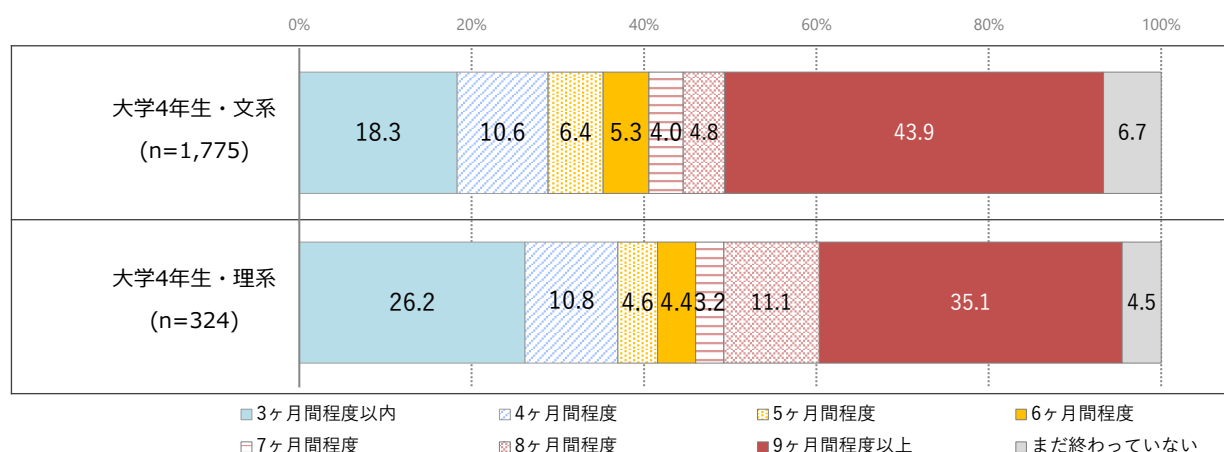
⑤就職活動の始まりから終わりまでの期間

文系・理系別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間※1を集計すると、特に大学4年生に関して、理系の学生の方がより短い期間の割合が高くなっている。

大学院2年生については、理系の学生は「9ヶ月間程度以上」の割合が約5割と高く、「3～4ヵ月間程度」で約2割。文系の学生は「9ヶ月間程度以上」の割合が約3割、「3～4ヵ月間程度」で約3割と、文系の学生の方が短い期間の割合が高い傾向が見られた。

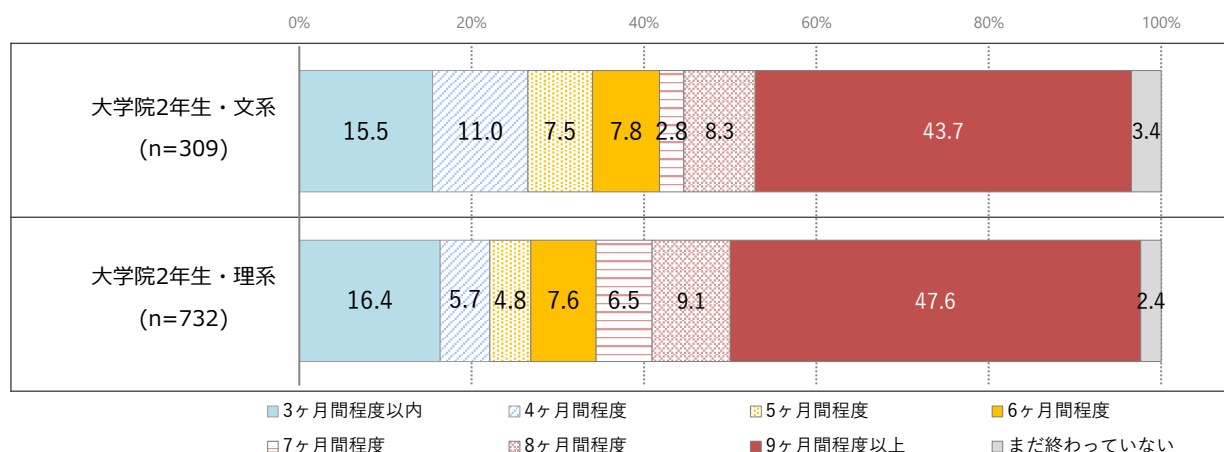
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

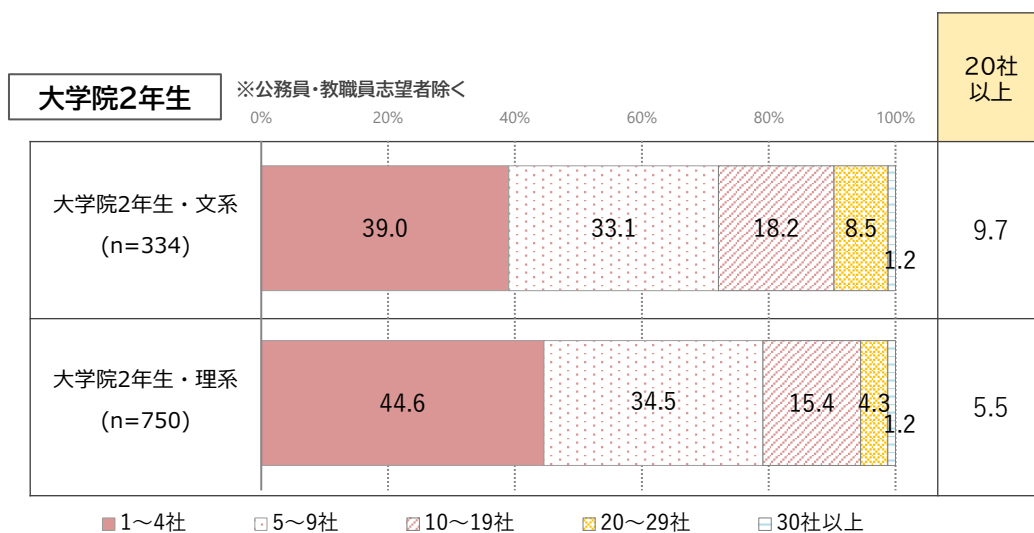
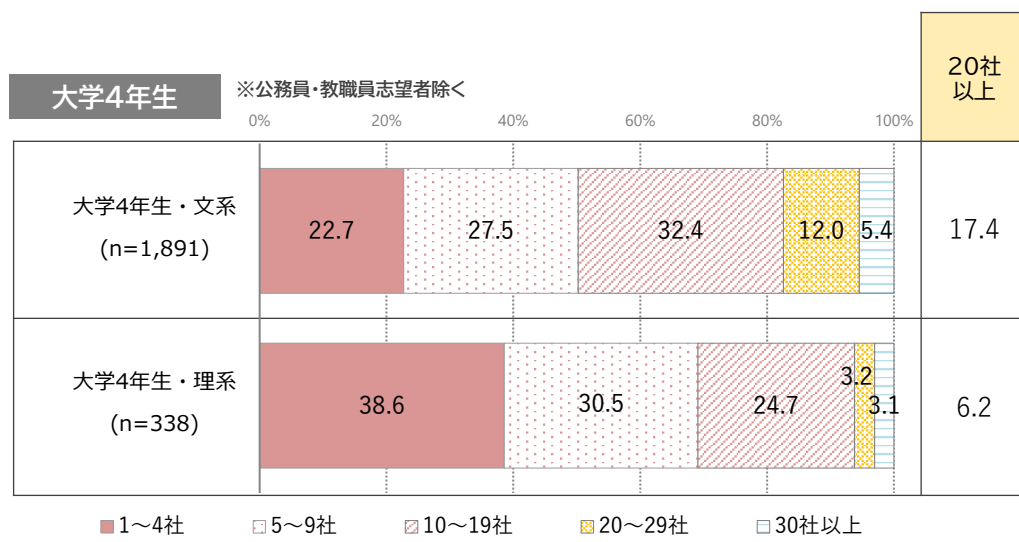


※1：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

⑥採用面接を受けた企業数

文系・理系別に、採用面接を受けた企業数について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「1～4社」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学4年生に関して、その差は大きくなっている。20社以上の採用面接を受けた者の割合についても、大学4年生では顕著に差があり、文系が17%に対して、理系は6%となっている。

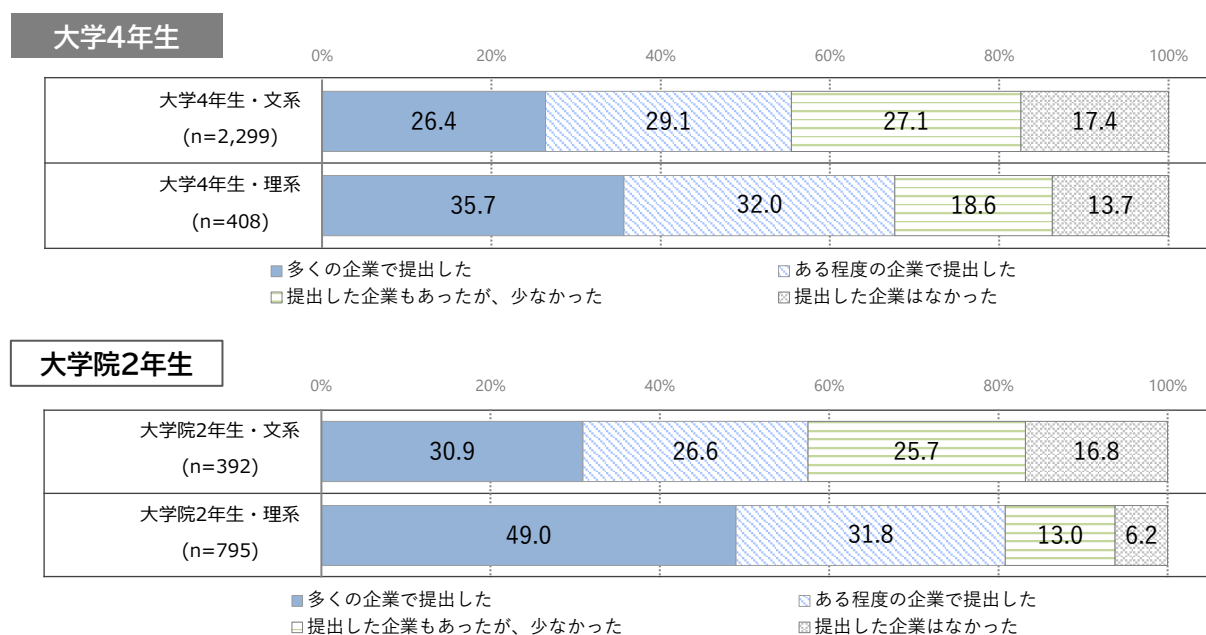


⑦文系・理系別の学業重視の選考

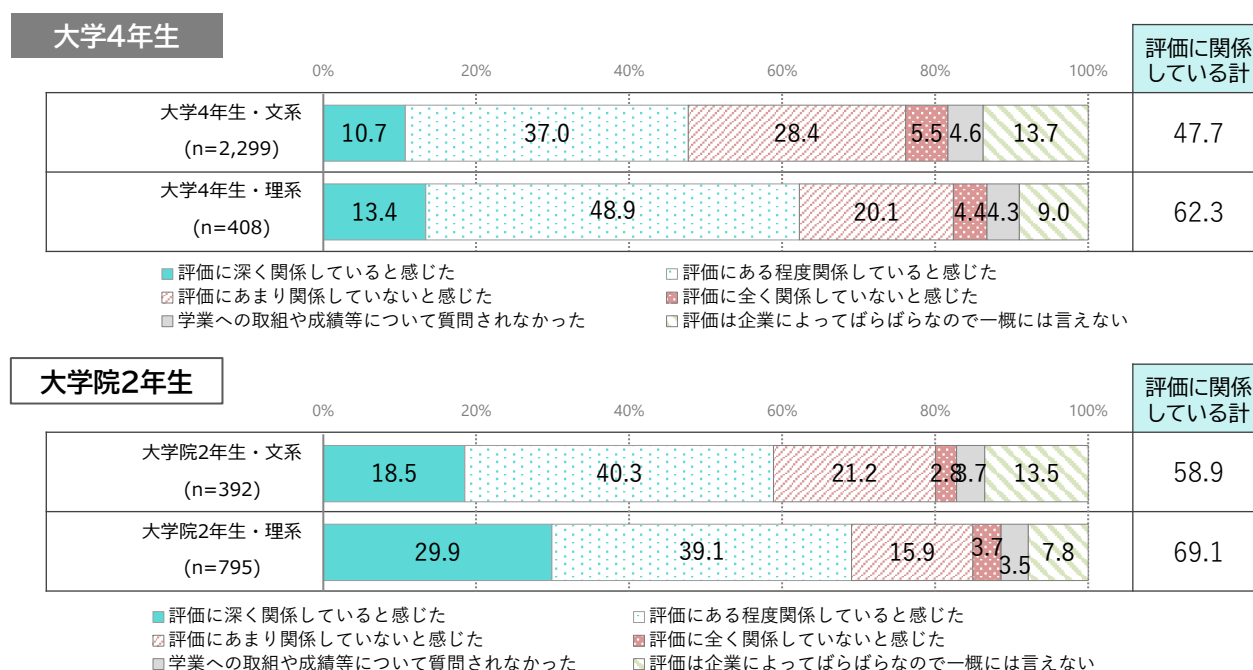
文系・理系別に、就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴(成績証明書など)の提出がどの程度求められたかについて集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「多くの企業で提出した」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

また、採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、文系・理系別に集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、「評価に深く関係していると感じた」の回答割合は、理系の学生の方が高く、特に大学院2年生においてその差が大きくなっている。

【履修履歴(成績証明書など)の提出の状況】



【採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか】



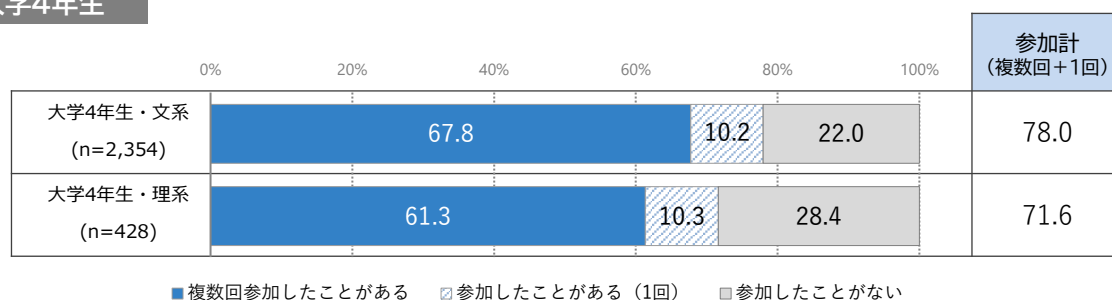
⑧文系・理系別のインターンシップと呼称されるものの参加状況

文系・理系別に、インターンシップと呼称されるもの※1の参加経験の有無について集計すると、「参加したことがある」の回答割合は、大学4年生では文系の学生の方が高く、大学院2年生では理系の学生の方が高くなっている。

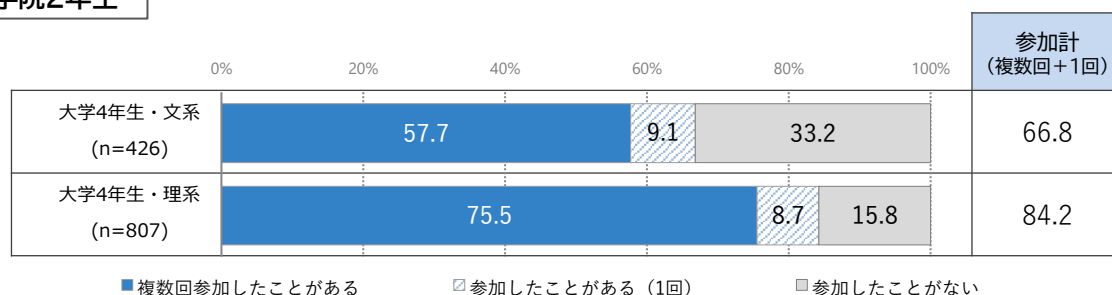
また、参加日数(参加したインターンシップと呼称されるもののうち、最長の日数のもの)について、5日以上に参加したことがある者の割合は、大学4年生では理系の学生の方が高く、大学院2年生では文系の学生の方が高くなっている。

【インターンシップと呼称されるものの参加経験の有無】

大学4年生

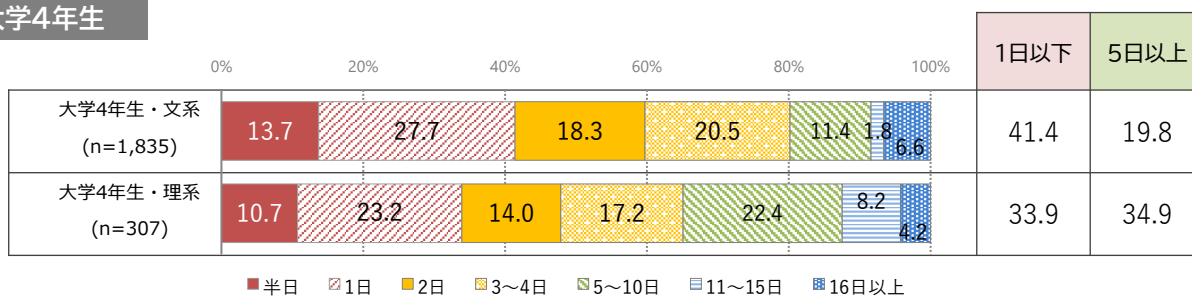


大学院2年生

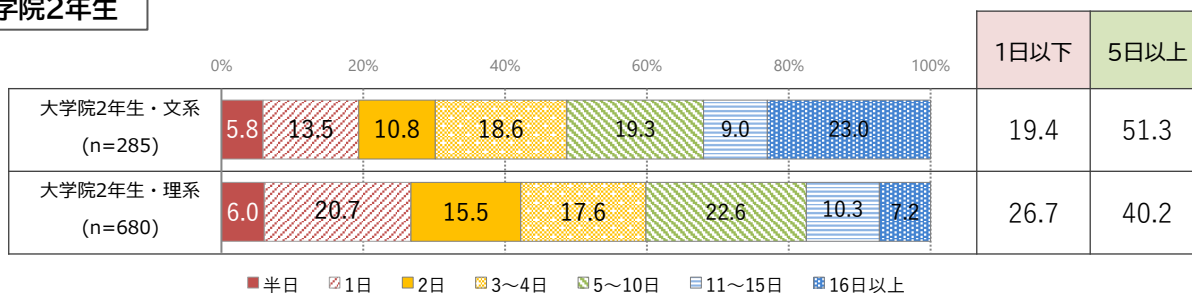


【インターンシップと呼称されるものの参加最長日数】

大学4年生



大学院2年生



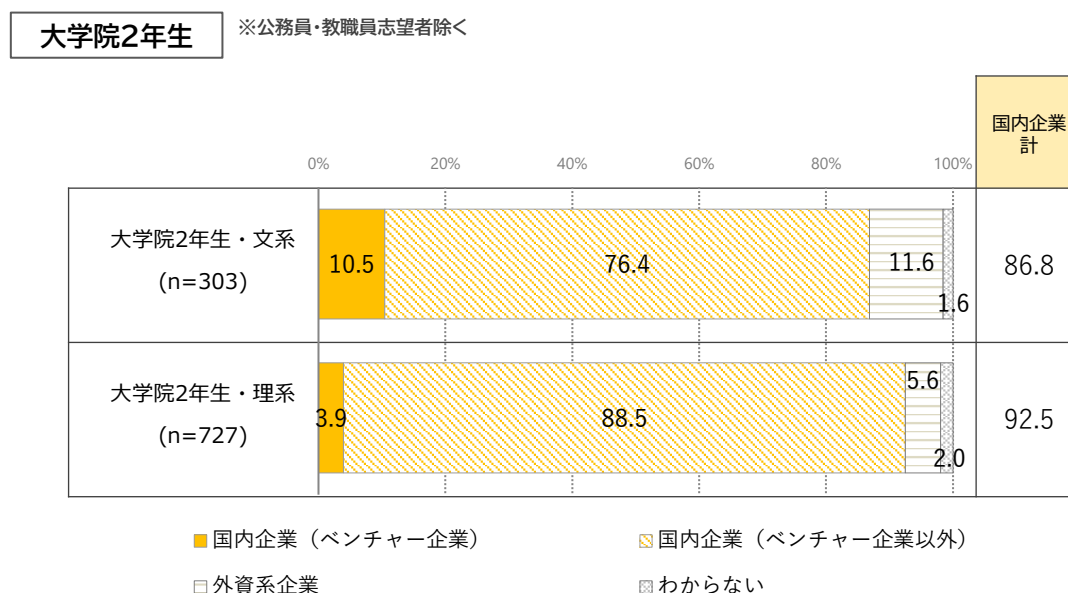
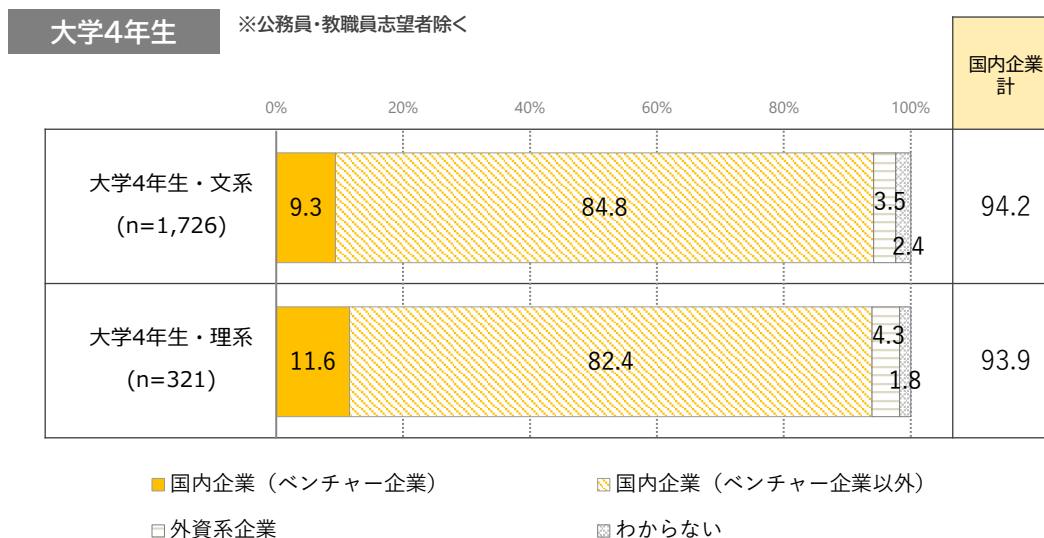
※1：今年度調査では、定義変更に伴い、インターンシップについて「インターンシップと呼称されるもの」と提示した。

(2) 文系・理系別の就職予定企業について

①就職予定の企業の種類

文系・理系別に、就職予定の企業が国内企業かどうかについて集計すると、大学4年生では、「国内企業（ベンチャー企業※1）」の回答割合は約1割で、「国内企業（ベンチャー企業以外）」と合わせると国内企業は約9割と、文系・理系で概ね同様となっている。

大学院2年生では、文系の学生の方が「国内企業（ベンチャー企業）」「外資系企業」の回答割合が低くなっている。



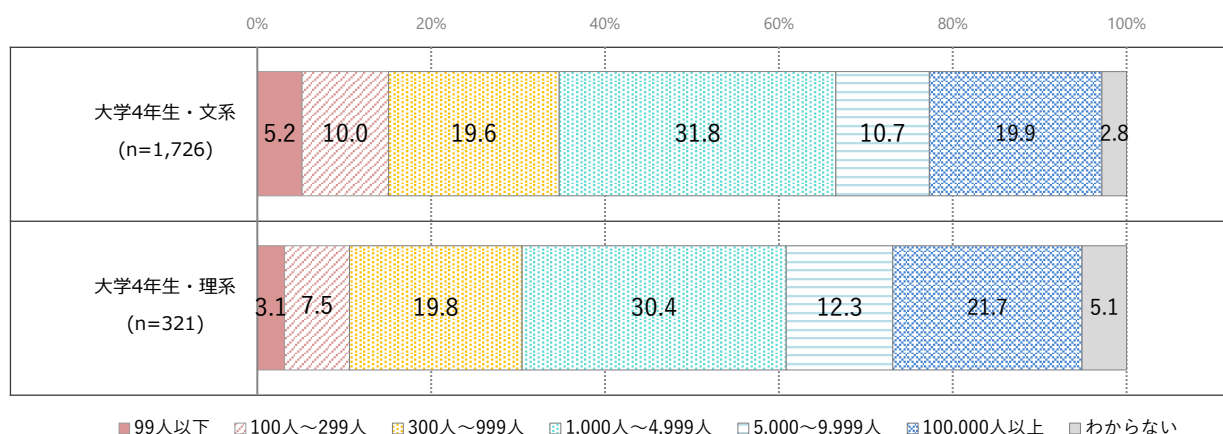
※1：ベンチャー企業については、2022年度調査では「ここでは、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業のこととする。」と案内、今年度調査では「新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業」と案内した上で調査を行った。

②就職予定の企業の企業規模(従業員数)

文系・理系別に、就職予定の企業の企業規模(従業員数)について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに、理系の学生の方が規模(従業員数)の大きい企業である割合が高く、特に大学院2年生に関して、理系の学生の方が「100,000人以上」の回答が占める割合が高くなっている。

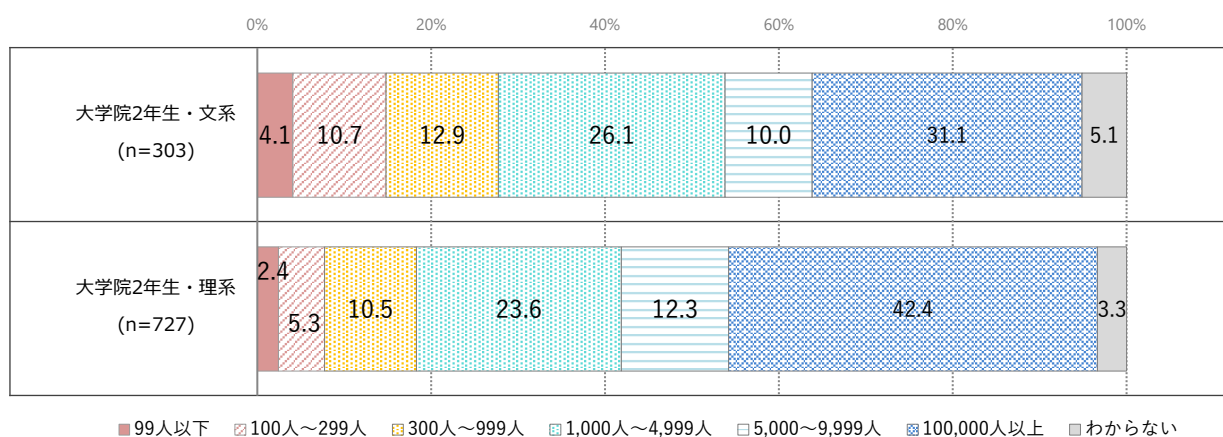
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く

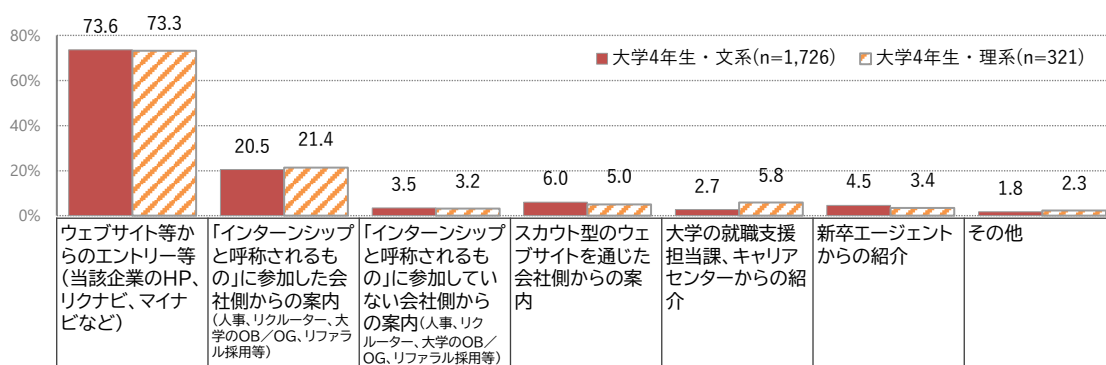


③就職予定の企業について採用試験・面接等を受けた経路

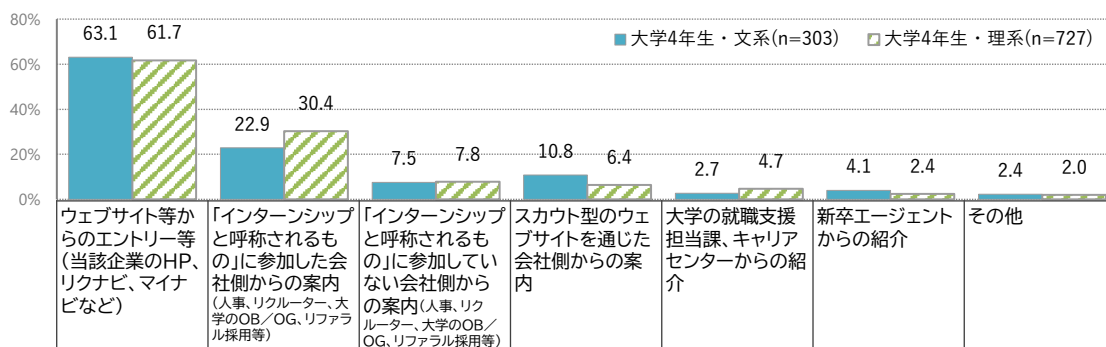
文系・理系別に、就職予定の企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたかについて集計すると、大学4年生では、文系・理系ともに「ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど）」の割合が約7割と最も高く、概ね同様の結果となっている。

大学院2年生では、大学4年生と同じく「ウェブサイト等からのエントリー等」が文系・理系ともに最も高いが、「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）」の割合は、理系の学生の方が高くなっている。

大学4年生



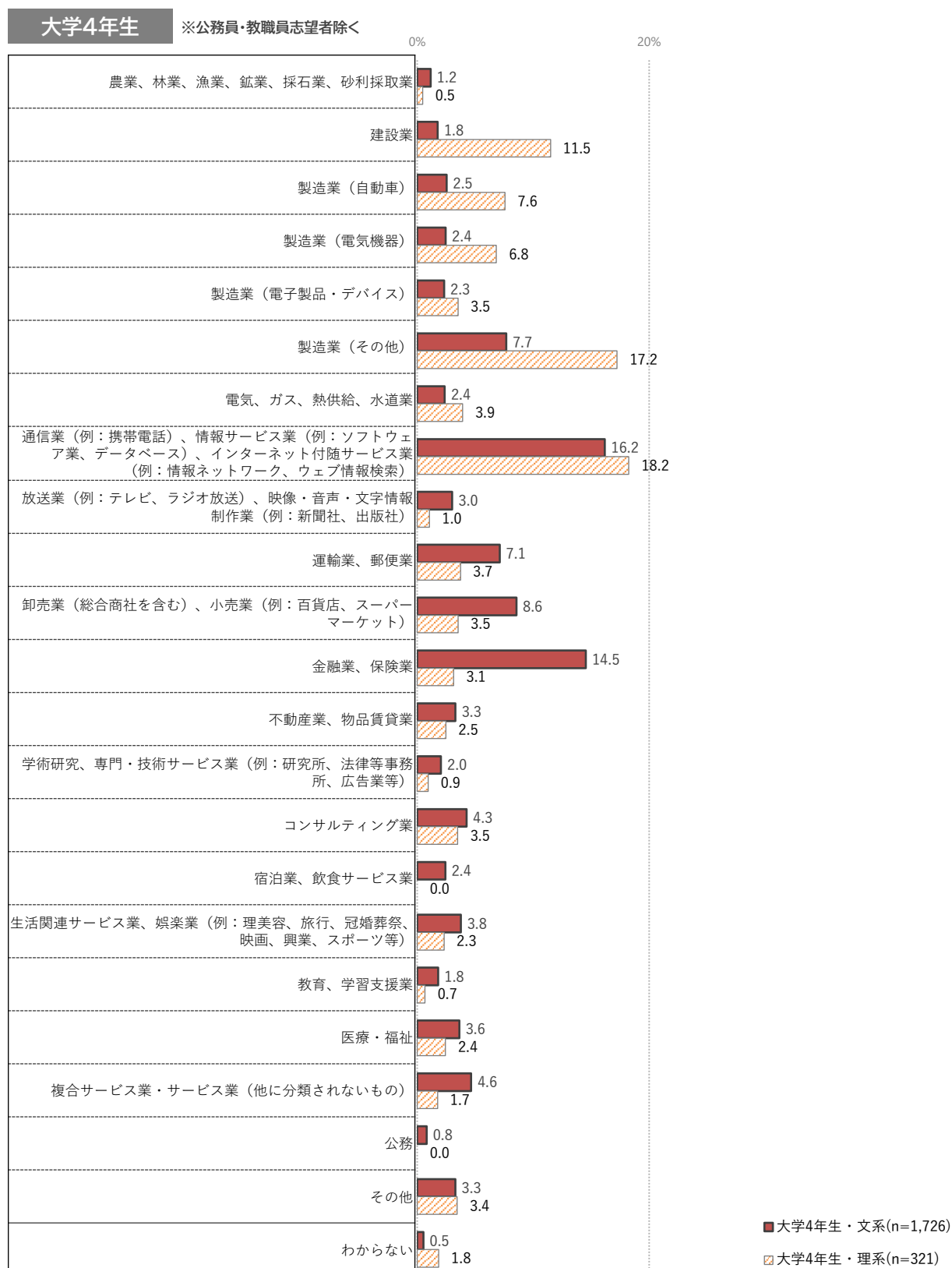
大学院2年生



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学4年生では、文系・理系ともに「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が最も高く、約2割。

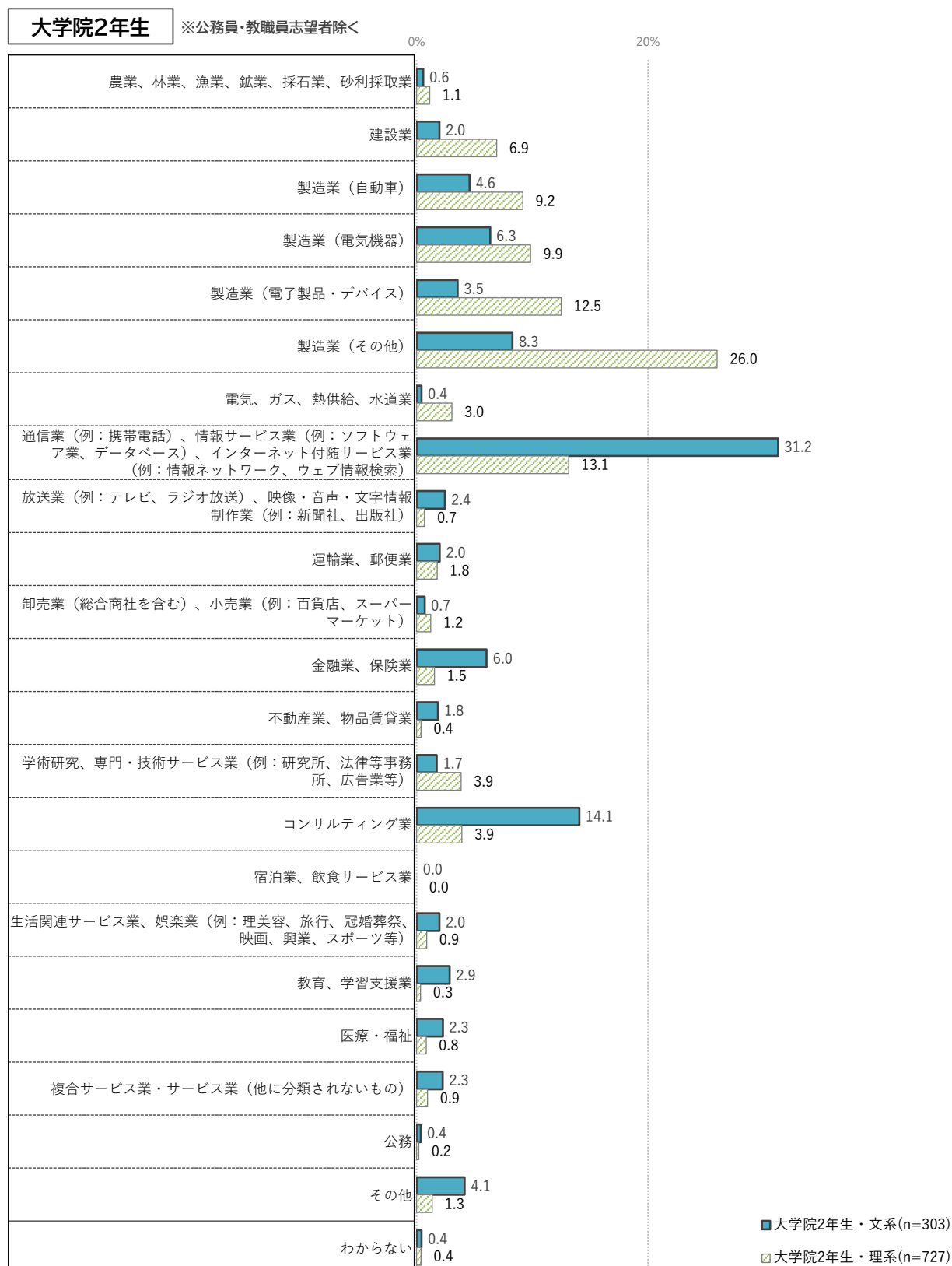
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「金融業、保険業」「卸売業、小売業」「運輸業、郵便業」等。理系の方が高い業界は「建設業」「製造業(その他)」「製造業(自動車)」「製造業(電気機器)」等。



④就職予定の企業の業界

文系・理系別に、就職予定の企業の業種について集計すると、大学院2年生では、文系で「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」が、理系で「製造業(その他)」が約3割と最も高くなっている。

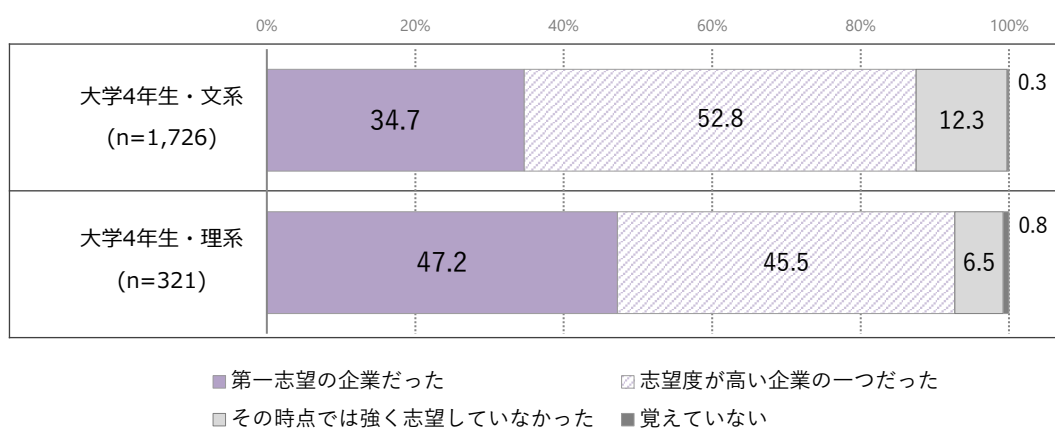
文系の方が高い業界について、差が大きい順に並べると、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「コンサルティング業」等。理系の方が高い業界は「製造業(その他)」「製造業(電子製品・デバイス)」「建設業」等。



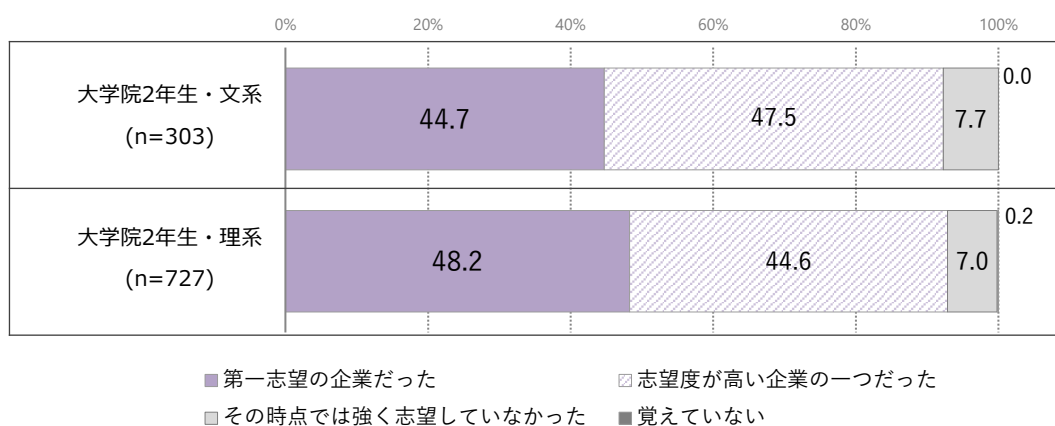
⑤就職予定の企業は第一志望だったか

文系・理系別に、就職予定の企業は第一志望だったかについて集計すると、「第一志望の企業だった」の回答割合は、大学4年生・大学院2年生ともに理系の学生の方が高く、特に大学4年生に関して、その差は大きくなっている。

大学4年生



大学院2年生



第九章 就職予定の企業の業界別の集計

第九章 就職予定の企業の業界別の集計

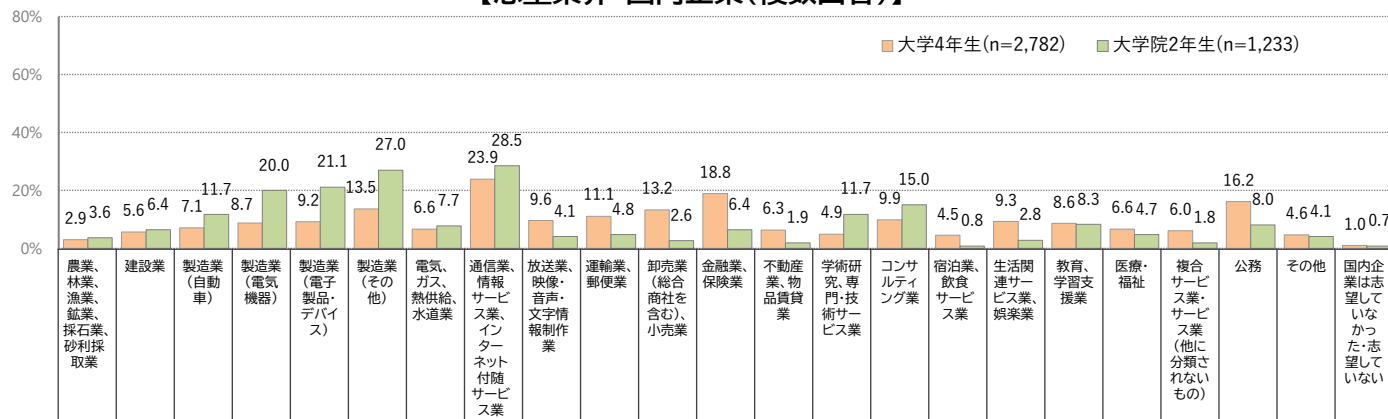
(1) 就職予定の企業の業界別の就職活動内容

①志望業界・就職予定の企業の業界に関する回答状況

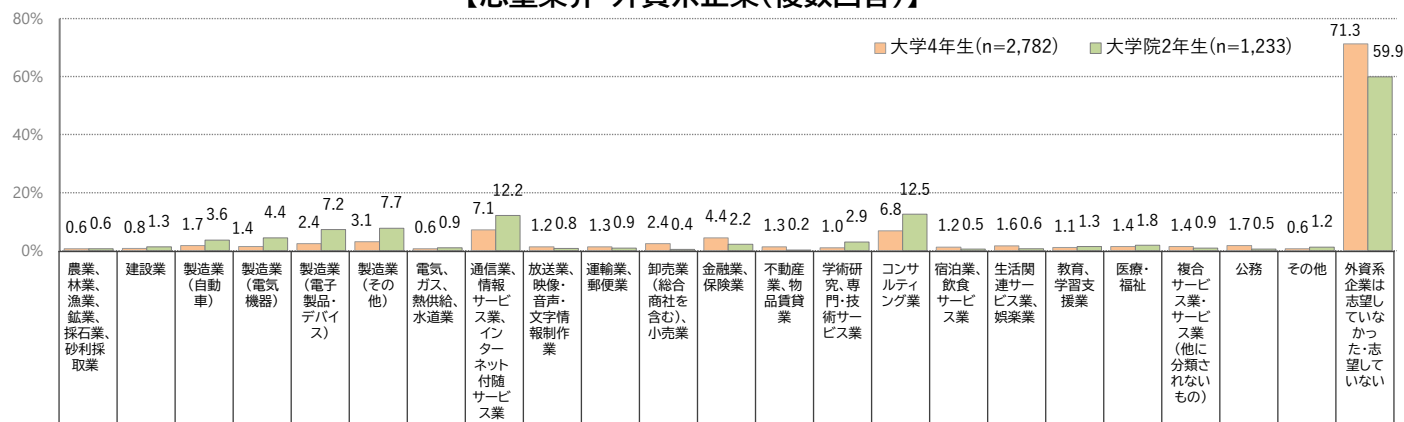
就職活動を行うにあたり、志望していた(志望している)国内企業の業界について集計すると、大学4年生・大学院2年生ともに「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の回答割合が最も高くなっている。外資系企業については、「外資系企業は志望していなかった・志望していない」を除いて、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、大学院2年生では「コンサルティング業」の回答割合が最も高くなっている。

就職予定の企業の業界では※1、大学4年生では「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「金融業、保険業」、「製造業(その他)」の順、大学院2年生では「製造業(その他)」、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」、「製造業(電子製品・デバイス)」の順で回答割合が高くなっている。

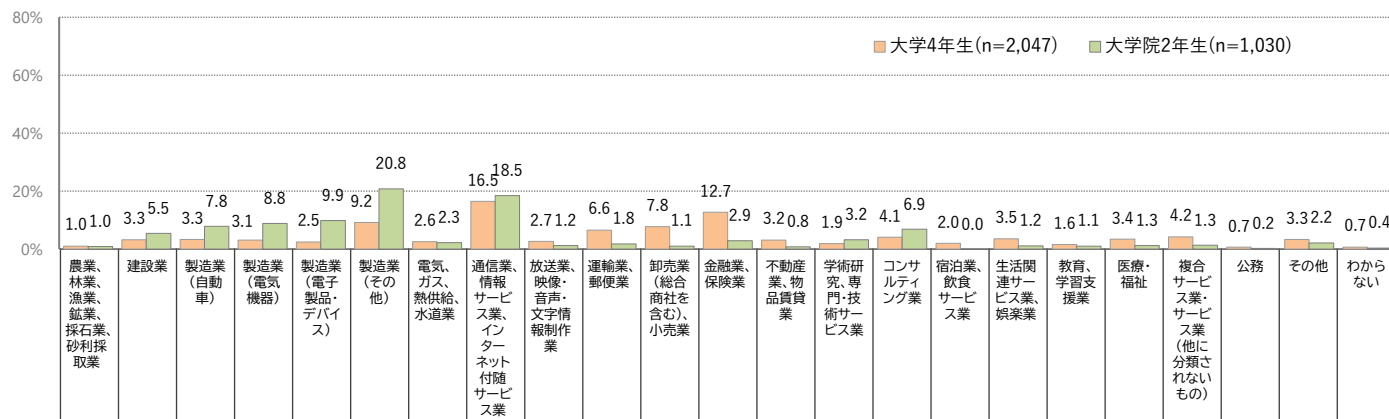
【志望業界・国内企業(複数回答)】



【志望業界・外資系企業(複数回答)】



【内々定を受けた就職予定の企業の業界(単数回答)】 ※公務員・教職員志望者除く



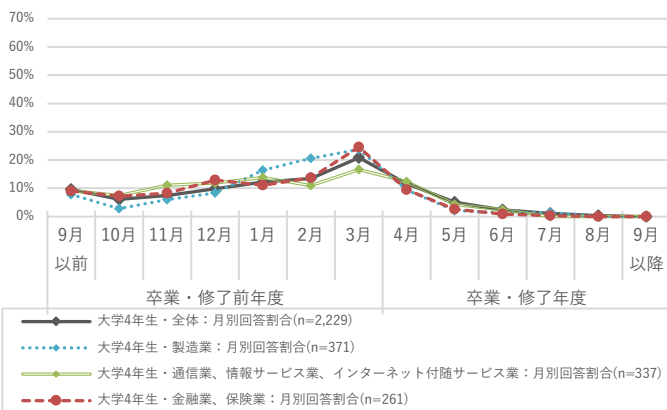
※1：【志望業界(複数回答)】の図は志望していた就職先の業界について該当するものをすべて回答してもらったものであるのに対し、【内々定を受けた就職予定の企業の業界】は、就職予定の企業について選択肢よりひとつのみ回答する方式によるものである。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

就職予定の企業の業界について該当する割合が高い3業種(大学4年生は「製造業※1」・「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「金融業、保険業」、大学院2年生は「製造業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」「コンサルティング業」)で、業界別の採用面接の実施状況を集計すると※2、大学4年生では、「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者で、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。大学院2年生では、「コンサルティング業」「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者について、「最初」「ピーク」「最後」のいずれについても、早期で回答割合が高い時期が見られる。特に「コンサルティング業」の者については、早期の回答割合が顕著に高い。

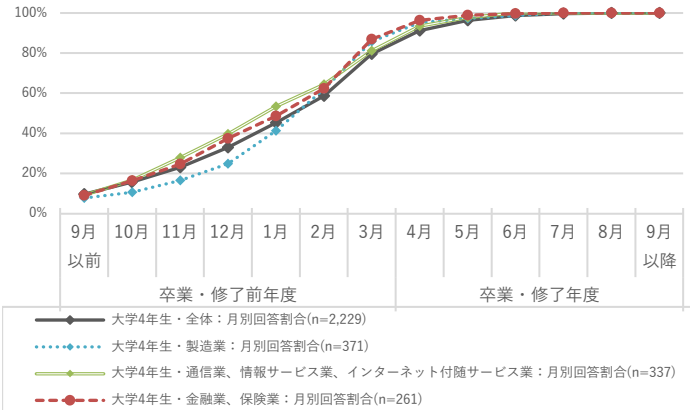
大学4年生

月別回答割合



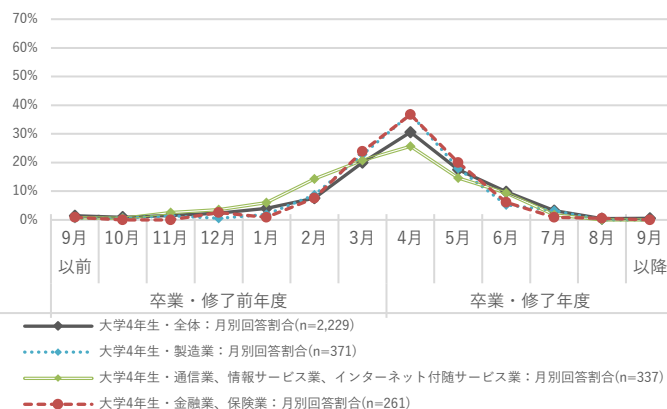
最初に受けた採用面接の時期

累計割合

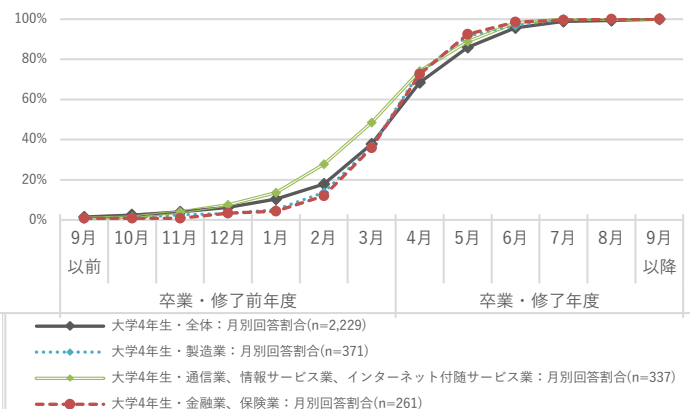


採用面接のピーク

月別回答割合

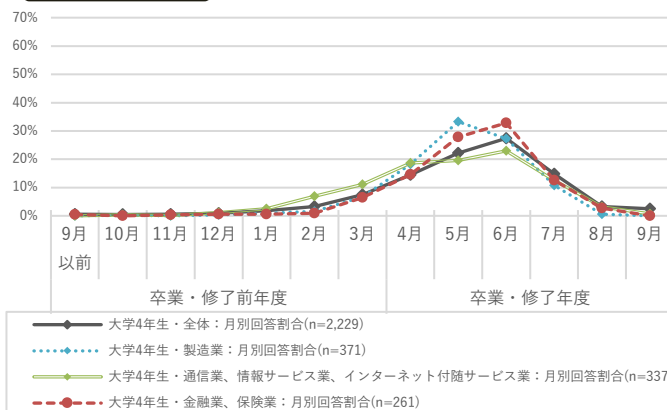


累計割合

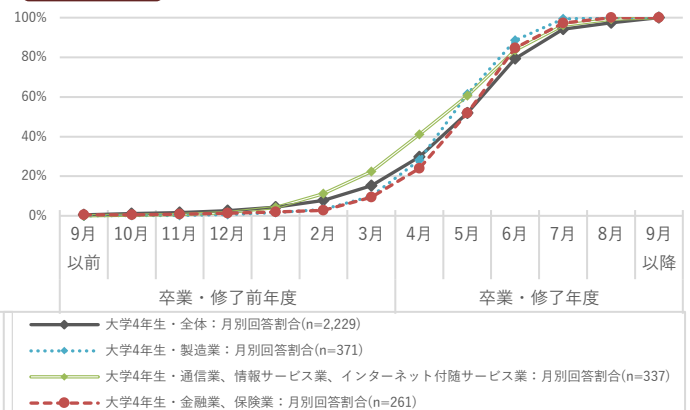


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合



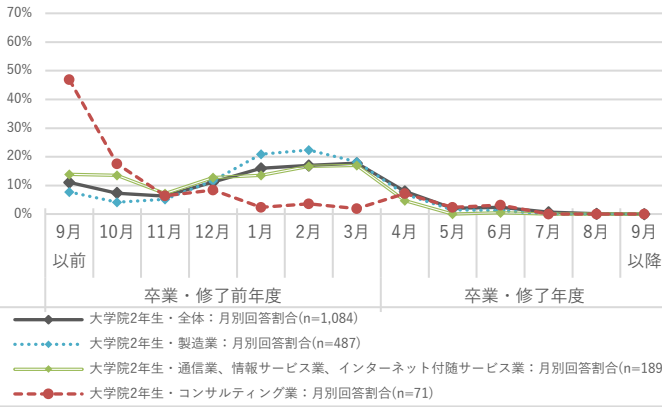
※1：製造業は「製造業（自動車）」「製造業（電気機器）」「製造業（電子製品・デバイス）」「製造業（その他）」を合算している。
 ※2：採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

②就職予定の企業の業界別の採用面接の実施状況

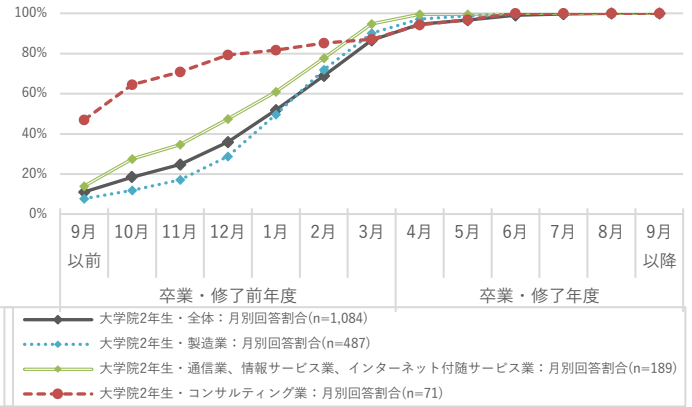
大学院2年生

最初に受けた採用面接の時期

月別回答割合

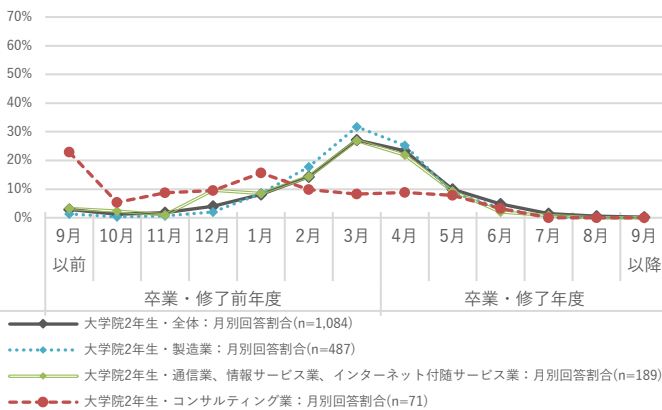


累計割合

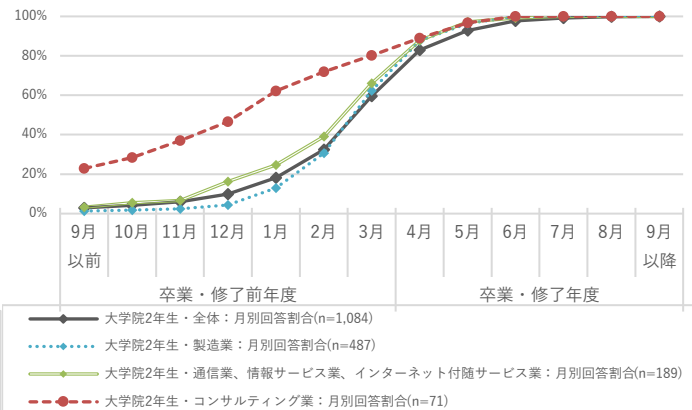


採用面接のピーク

月別回答割合

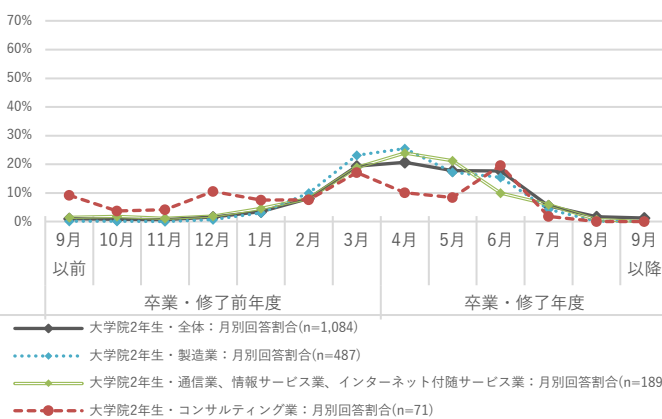


累計割合

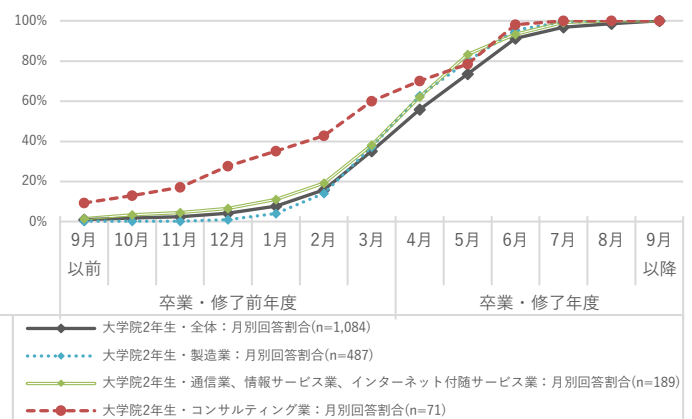


最後に受けた採用面接の時期

月別回答割合



累計割合

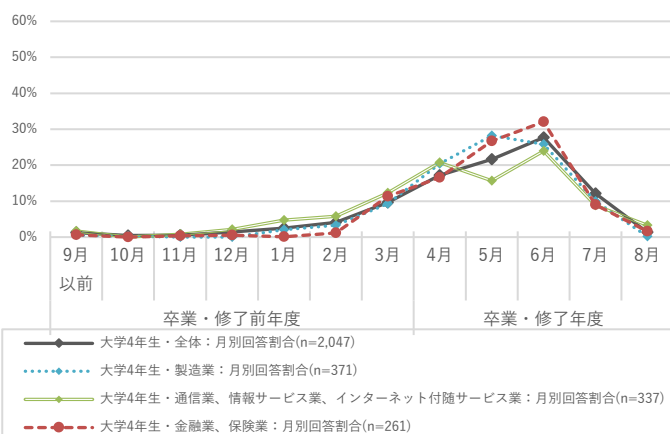


③就職予定の企業の業界別の内々定を受けた時期

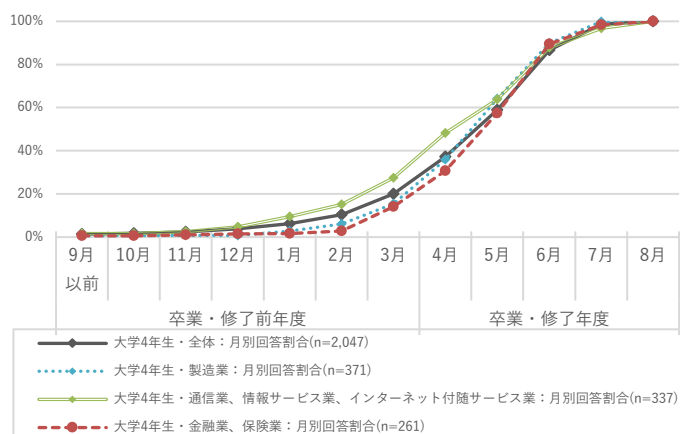
就職予定の企業の業界別に内々定を受けた時期について集計すると※1、大学4年生では、就職予定の企業の業界が「通信業、情報サービス業、インターネット付随サービス業」の者は、より早い時期に内々定を受けた割合が若干高くなっている。また、大学院2年生では、就職予定の企業の業界が「コンサルティング業」の者で、修了前年度に内々定を受けた割合が、他業界と比較して大幅に高くなっている。

大学4年生

月別回答割合

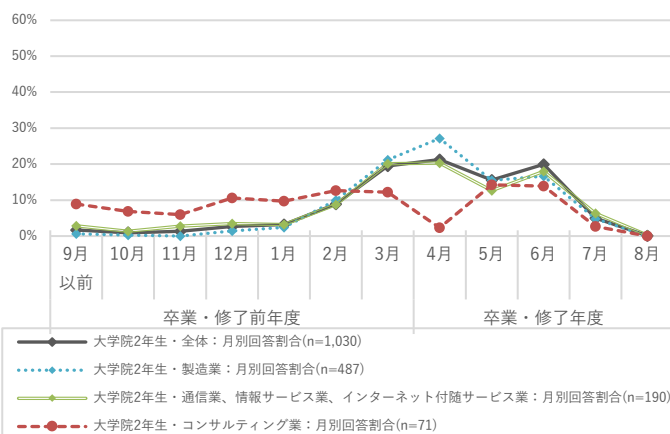


累計割合

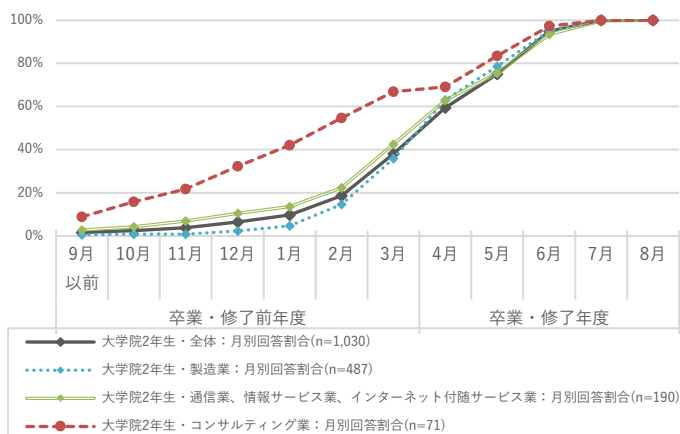


大学院2年生

月別回答割合



累計割合



※1：1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの「内々定」は就職予定の企業のものに限らない。また各学年における全体値は、就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計している。

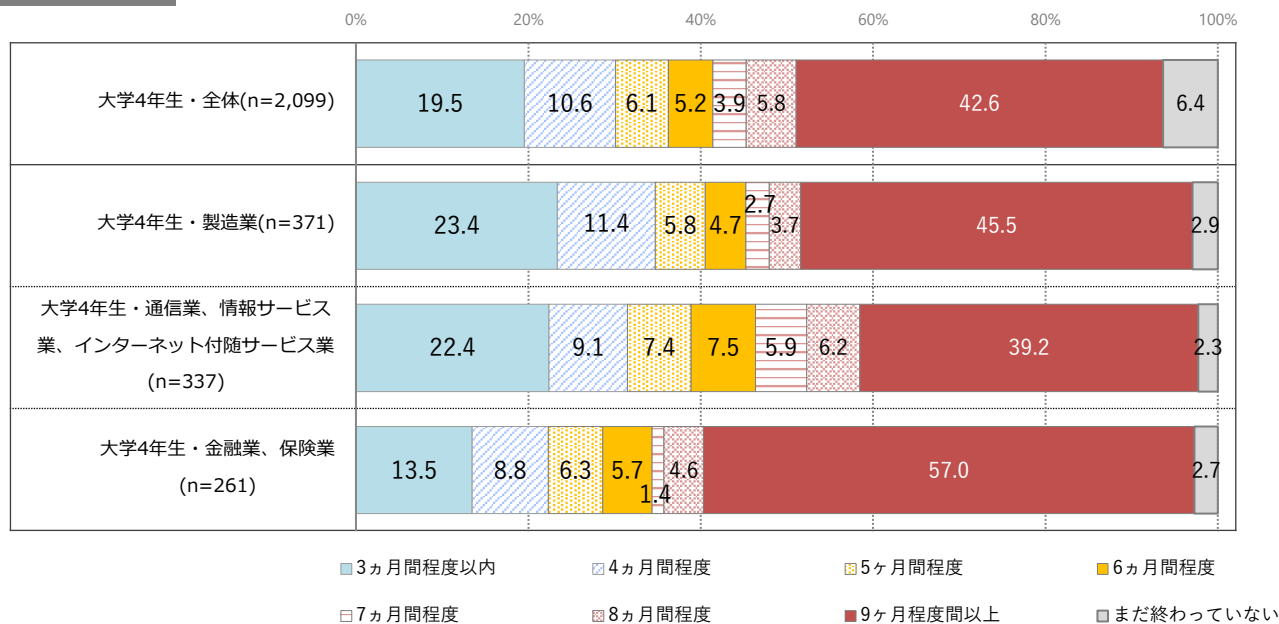
④就職予定の企業の業界別の、就職活動の始まりから終わりまでの期間

就職予定の企業の業界別に、「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」までの期間を集計すると※1※2※3、大学4年生では就職予定の企業の業界が「金融業、保険業」の者で「3ヶ月間程度以内」の回答割合が低く、「9ヶ月間程度以上」の割合が約6割と、他業界と比べ高くなっている。

大学院2年生では、「製造業」の者で、「9か月間程度以上」の割合が5割と、他業界と比べ高くなっている。

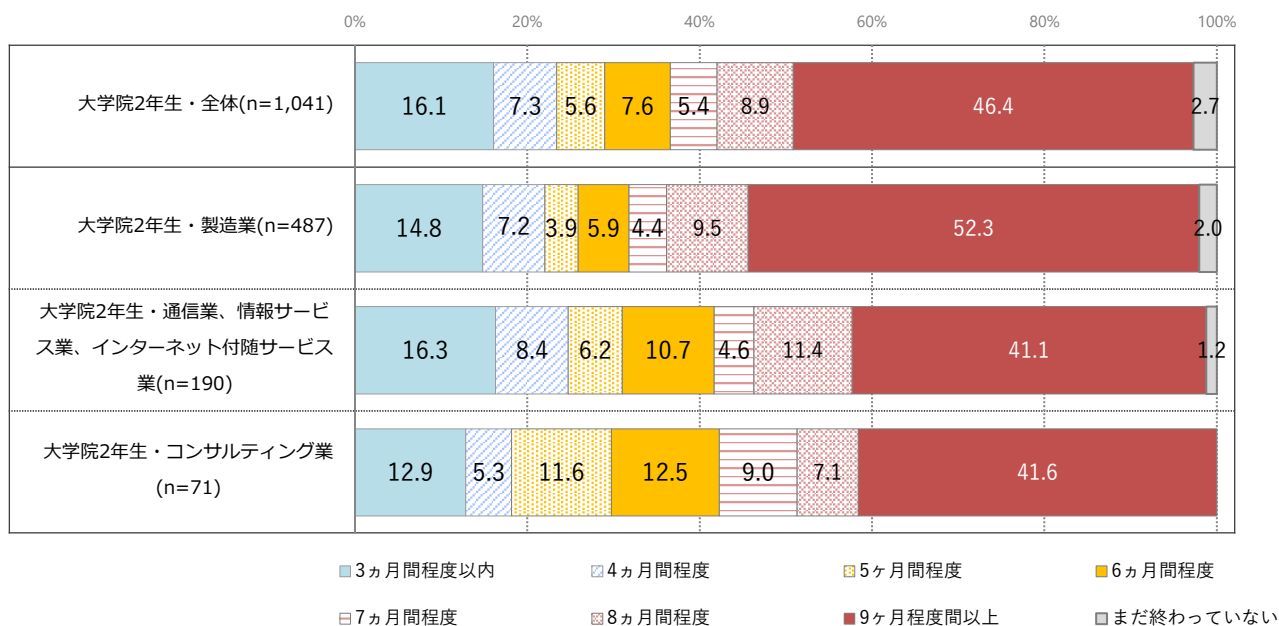
大学4年生

※公務員・教職員志望者除く



大学院2年生

※公務員・教職員志望者除く



※1：「全体」の集計結果は就職予定企業がある者を対象としているが、公務員や教職員志望者を除いて集計したものである。

※2：ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間を意味するものではない点に留意が必要である。

※3：就職予定企業があることは就職活動が終わっているとは必ずしも言えないため、就職予定企業がある者でも「まだ終わっていない」は回答可能となっている。

參考資料

【調査票】

◆令和5年度 学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査

注意事項

回答中にブラウザバックは使用しないでください。
回答は、各ページ60分以内に送信してください。
JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

推奨ブラウザ

【Windows】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Microsoft Edge 最新版
【MacOS】
Chrome 最新版
Firefox 最新版
Safari 最新版
【Android】
標準ブラウザ（Chrome） 最新版
【iOS】
標準ブラウザ（Safari） 最新版
Chrome 最新版

【1】あなたご自身についてお聞きます。

[必須]

Q1 あなたの年齢をご記入ください。／歳

※半角整数で記入

 歳

[必須]

Q2 あなたの性別を教えてください。（ひとつ）

- ☐ 男性
- ☐ 女性
- ☐ その他
- ☐ 答えたくない

[必須]

Q3 現在のあなたの学年をお選びください。（ひとつ）

※留学、留年、休学、編入等をされた方で、来年（2024年）3月に卒業・修了をする年次の方については、在学年数等に関わらず、「大学4年生」あるいは「大学院2年生」を選択してください。

※「大学院2年生」とは、修士課程（博士前期課程）2年生を指すこととします。（以下、同様）

- ☐ 大学4年生
- ☐ 大学院2年生
- ☐ その他

[必須]

Q4 あなたが通っている大学／大学院はどれにあてはまりますか。（ひとつ）

- ☐ 国立
- ☐ 公立
- ☐ 私立

[必須]

Q5 あなたが通っている大学／大学院名をお答えください。 例：〇〇大学（直接記入）

[必須]

Q6 あなたが通っている大学／大学院の所在地はどちらですか。（ひとつ）

選択して下さい▼

[必須]

Q7 あなたの出身地はどちらですか。（ひとつ）

※生まれた場所に限らず、実家がある場所など、大学に入学するまでの間、最もつながりがあると考える地域についてお答えください。

選択して下さい▼

[必須]

Q8 あなたの専攻はどれにあてはまりますか。（ひとつ）

- ☐ 人文科学（文学、言語学、史学、地理学、哲学、コミュニケーション学、心理学等）
- ☐ 社会科学（法学・政治学、商学・経済学、経営学、社会学等）
- ☐ 情報（データサイエンス・統計学等）
- ☐ 理学（数学、物理学、化学、生物学、地学等）
- ☐ 工学（機械工学、電気通信工学、土木建築工学、航空工学等）
- ☐ 農学（農学、農業経済学、林学、畜産学、水産学等）
- ☐ 保健（保健衛生学、スポーツ・健康医学等）
- ☐ 家政（家政学、栄養学、被服学）
- ☐ 教育（教育学、教育発達学等）
- ☐ 芸術（芸術、デザイン、音楽等）
- ☐ その他（教養学、国際関係学、総合科学、一般教養課程等）

【2】就職活動に関する意識・準備についてお聞きます。

[必須]

Q9 あなたは、**来年（2024年）3月**に卒業・修了（予定含む）するにあたり、就職活動（民間企業・官公庁等の職業に就くための活動）を行いましたか。（ひとつ）

※8月1日時点の状況を回答ください。

- ☐ 就職活動を行った（終えた）
- ☐ 就職活動を行っている（継続している）
- ☐ これから就職活動を行う予定である
- ☐ 就職活動を行わなかった（行う予定はない）

[必須]

Q10 あなたは、現在通っている大学／大学院を卒業・修了後にどのような進路を予定（希望）していますか。既に進路が決まっている場合は、その進路先について選択してください。まだ決まっていない場合などは、希望する進路先について回答してください。（いくつでも）

※例えば現在学部生で、大学院に進学した後に就職することを予定(希望)している場合、ここでは、「進学(国内)」や「海外留学」を選択してください。（院生の博士希望等も同様）

- ☐ 民間企業に就職
- ☐ 公務員に就職
- ☐ 教職員に就職
- ☐ NPOに就職
- ☐ 自営・家業に就職
- ☐ その他の就職
- ☐ 進学（国内）
- ☐ 海外留学
- ☐ 起業する
- ☐ 社会人としての経験があり、かつ卒業・修了後に元の職場に復職
- ☐ 就職も進学もしない
- ☐ まだわからない

[必須]

Q11 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の**国内企業**の**業界**を教えてください。（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

- ☐ 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- ☐ 建設業
- ☐ 製造業（自動車）
- ☐ 製造業（電気機器）
- ☐ 製造業（電子製品・デバイス）
- ☐ 製造業（その他）
- ☐ 電気、ガス、熱供給、水道業
- ☐ 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- ☐ 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- ☐ 運輸業、郵便業
- ☐ 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- ☐ 金融業、保険業
- ☐ 不動産業、物品賃貸業
- ☐ 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- ☐ コンサルティング業
- ☐ 宿泊業、飲食サービス業
- ☐ 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- ☐ 教育、学習支援業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- ☐ 公務
- ☐ その他
- ☐ 国内企業は志望していなかった・志望していない

[必須]

Q12 就職活動を行うにあたり、志望していた（志望している）就職先の**外資系企業**の**業界**を教えてください。（いくつでも）

※既に就職先が決まっている人であっても、就職活動を行う際に志望していた業界を教えてください。

- ☐ 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- ☐ 建設業
- ☐ 製造業（自動車）
- ☐ 製造業（電気機器）
- ☐ 製造業（電子製品・デバイス）
- ☐ 製造業（その他）
- ☐ 電気、ガス、熱供給、水道業
- ☐ 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- ☐ 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- ☐ 運輸業、郵便業
- ☐ 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- ☐ 金融業、保険業
- ☐ 不動産業、物品賃貸業
- ☐ 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- ☐ コンサルティング業
- ☐ 宿泊業、飲食サービス業
- ☐ 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- ☐ 教育、学習支援業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- ☐ 公務
- ☐ その他
- ☐ 外資系企業は志望していなかった・志望していない

[必須]

Q13 あなたが、就職先を決めるにあたって重視しているものを教えてください。（いくつでも）

※その他の場合はその内容について記載してください。

☐	企業等の安定性
☐	企業等の成長可能性
☐	知名度が高い
☐	給与や賞与が高い／手当や社会保障が充実
☐	残業が少なく、休暇が取れるなどのワークライフバランス
☐	リモートワーク・在宅勤務が選択可能
☐	兼業・副業が認められている
☐	正社員として働ける
☐	性別等関係なく活躍できる
☐	育児休業や保育所などの両立支援の充実
☐	地元(出身地)で働ける
☐	希望する勤務地で働ける
☐	職場の雰囲気良さそう
☐	自分の能力や専門性を生かせる
☐	自分の能力を高めキャリアアップにつなげられる
☐	自分のやりたい仕事ができる（やりがいがあることを含む）
☐	社会貢献度が高い
☐	若者の採用・育成に積極的である
☐	その他

[必須]

Q14 就職活動は、主にどの地域で行いましたか。（それぞれひとつずつ）

※複数の地域で活動された場合は、主に活動した都道府県を順に3つまで回答してください。

※オンラインで行った場合は「会社の所在地（勤務地）」について選択してください。

地域1

選択して下さい▼

地域2

選択して下さい▼

地域3

選択して下さい▼

<<政府が経済団体等に要請している、いわゆる「就活日程ルール」について>>

現在の大学4年生、大学院2年生等の就職・採用活動時期については、

2022年度と同様に、**広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降**に開始することとされました。

[必須]

Q15 あなたは就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期（就活日程ルール）が2022年度と同様の日程（**広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降など**）で行われることについて、知っていましたか。（それぞれひとつ）

	よく知っていた	ある程度知っていた	聞いたことはあるがあまりよく知らなかった	知らなかった
広報活動は3月1日以降	→	☐	☐	☐
採用選考活動は6月1日以降	→	☐	☐	☐
正式内定は10月1日以降	→	☐	☐	☐

[必須]

Q16 就職・採用活動開始時期（就活日程ルール）（**広報活動開始：卒業・修了年度に入る直前の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降**）について、どう考えますか。（それぞれひとつ）

※その他の場合はその内容について記載してください。

	現在の開始時期より早い方がよい	現在の開始時期がよい	ルールは必要だが、現在の開始時期より遅い方がよい	ルールは必要ない	その他
広報活動は3月1日以降	→	☐	☐	☐	☐
採用選考活動は6月1日以降	→	☐	☐	☐	☐
正式内定は10月1日以降	→	☐	☐	☐	☐

[必須]

Q17 就職・採用活動時期に関し、2022年度と同様の時期に設定された（広報活動は本年3月1日以降、採用選考活動は本年6月1日以降に開始）ことについて、あなたはどのように思いますか。（それぞれひとつずつ）

	→	とても思わない	やや思わない	どちらでもない	やや思う	とても思う
先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた	→	☐	☐	☐	☐	☐
どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた	→	☐	☐	☐	☐	☐
就職活動期間が比較的短期間で済んだ	→	☐	☐	☐	☐	☐
大学・大学院の試験（※定期試験など）に落ち着いて取り組むことができた	→	☐	☐	☐	☐	☐
卒業論文（研究）・修士論文（研究）に早い時期から取り組むことができた	→	☐	☐	☐	☐	☐
夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ	→	☐	☐	☐	☐	☐
ボランティア、部活動、クラブやサークル活動など課外活動に取り組む機会を充実することができた	→	☐	☐	☐	☐	☐
企業研究や就職先の選択のための時間が十分確保できた	→	☐	☐	☐	☐	☐
面接などの選考活動を早期に開始する企業があったが、混乱せずに対応できた	→	☐	☐	☐	☐	☐

【3】「インターンシップと称されるもの（それ以外のキャリア形成支援は除く）」についてお聞きます。

【必須】

Q18 あなたは大学／大学院に入学以後、これまでに「インターンシップと称されるもの」に参加したことがありますか。参加したことがある方は、何日間のものに参加しましたか。（いくつでも）

※それぞれの日数に対して参加したかしていないかチェック、参加した場合はこのあとの設問で件数を半角整数で記入。

※「半日」は、「半日以下」のものも含みます。

※一度も参加していない方は、①～⑦の全てについて「2.参加していない」をお選びください。

回答方向→		参加した	参加していない
半日	→	☐	☐
1日	→	☐	☐
2日	→	☐	☐
3～4日	→	☐	☐
5～10日	→	☐	☐
11～15日	→	☐	☐
16日以上	→	☐	☐

【必須】

Q18_2 前問で参加したとお答えになった「インターンシップと称されるもの」のそれぞれの日数に対して件数を半角整数で記入してください。

※同一企業であったとしても、複数参加した場合は参加回数を件数としてご記入ください。

半日		件
1日		件
2日		件
3～4日		件
5～10日		件
11～15日		件
16日以上		件
トータル参加件数		件

【必須】

Q19 あなたは、どのような基準で参加した「インターンシップと称されるもの」を選択しましたか。当てはまるものを選択ください。（いくつでも）

☐ 業界・業種への理解を深められるプログラムだから
☐ 就職先として興味・関心を抱いている企業であったから
☐ 学業に役立つプログラムだから
☐ 社会人として必要なスキルや能力が身につくから
☐ そのまま採用選考につながるプログラムだから
☐ 給料が出るから（給料が他と比べても良いから）
☐ その他

[必須]

Q20 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」について、「対面のみでの実施」、「ウェブ等のみでの実施」、「対面とウェブ等の両方での実施」は何件程度ありましたか。（半角整数で記入）

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

トータルで 【[回答: Q18_2.c8]】 件参加と回答

対面のみでの参加→ 件程度

ウェブ等のみでの参加→ 件程度

対面とウェブ等の両方での参加→ 件程度

[必須]

Q21 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」で、**就業体験**を行ったものは何件ぐらいでしたか。そのうち**有給**のものは何件ぐらいでしたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入。
※「半日」は、「半日以下」のものも含みます。
※企業の業務内容の説明や職場見学のみのは含まれません。
※「0」件の場合は「0」と入力してください。

	A.就業体験	B.うち有給
半日 【[回答: Q18_2.c1]】件参加と回答	→ 件	件
1日 【[回答: Q18_2.c2]】件参加と回答	→ 件	件
2日 【[回答: Q18_2.c3]】件参加と回答	→ 件	件
3～4日 【[回答: Q18_2.c4]】件参加と回答	→ 件	件
5～10日 【[回答: Q18_2.c5]】件参加と回答	→ 件	件
11～15日 【[回答: Q18_2.c6]】件参加と回答	→ 件	件
16日以上 【[回答: Q18_2.c7]】件参加と回答	→ 件	件

[必須]

Q22 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」は、**採用のための実質的な選考を行う活動**や**採用活動等への案内**を含んでいたものは何件ありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入。
※「半日」は、「半日以下」のものも含みます。
※「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、以下の内容等を含みます。
・「インターンシップと称されるもの」への参加が採用面接等を受けるための必須条件になっていた
・「インターンシップと称されるもの」の結果が内々定の獲得に影響していた
※「0」件の場合は「0」と入力してください。

半日 【[回答: Q18_2.c1]】件参加と回答	件
1日 【[回答: Q18_2.c2]】件参加と回答	件
2日 【[回答: Q18_2.c3]】件参加と回答	件
3～4日 【[回答: Q18_2.c4]】件参加と回答	件
5～10日 【[回答: Q18_2.c5]】件参加と回答	件
11～15日 【[回答: Q18_2.c6]】件参加と回答	件
16日以上 【[回答: Q18_2.c7]】件参加と回答	件

[必須]

Q23 「インターンシップと称されるもの」に参加後に、参加者を対象とした採用説明会・採用面接等のアプローチを受けましたか。（当てはまるもの全て）

- ☐ 採用説明会、セミナーに参加した（2023年2月以前に開催されたもの）
- ☐ 採用説明会、セミナーに参加した（2023年3月以降に開催されたもの）
- ☐ 採用試験、面接等を受けた（2023年5月以前に実施されたもの）
- ☐ 採用試験、面接等を受けた（2023年6月以降に実施されたもの）
- ☐ 早期選考の案内
- ☐ 人事・リクレーターからの接触
- ☐ エントリーの案内
- ☐ 内々定（「インターンシップと称されるもの」からの採用直結であり、2023年5月以前に受けたもの）
- ☐ その他
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」の参加者を対象とした採用に関わるものは何も受けていない

[必須]

Q24 あなたが参加した「インターンシップと称されるもの」のうち、学業（授業）への影響のあったものは、何件ぐらいありましたか。

※それぞれ、件数を半角整数で記入。

※「半日」は、「半日以下」のものも含みます。

※授業の欠席を伴ったものなど、具体的に影響があったものをお答えください。

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

半日
【[回答: Q18_2.c1]】件参加と回答 件

1日
【[回答: Q18_2.c2]】件参加と回答 件

2日
【[回答: Q18_2.c3]】件参加と回答 件

3～4日
【[回答: Q18_2.c4]】件参加と回答 件

5～10日
【[回答: Q18_2.c5]】件参加と回答 件

11～15日
【[回答: Q18_2.c6]】件参加と回答 件

16日以上
【[回答: Q18_2.c7]】件参加と回答 件

[必須]

Q25 「インターンシップと称されるもの」に参加した時期はいつですか。時期別の参加状況について教えてください。（それぞれいくつでも）

回答方向→	4月 5月 6月					7月 8月 9月		10月 11月 12月		1月 2月 3月		左記の期間には 参加していない
大学1年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
大学2年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大学3年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大学4年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大学院1年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐
大学院2年生	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

[必須]

Q26 あなたが参加した「インターンシップと呼称されるもの」のうち、期間が「最も長かったもの」に関して、参加してどのような効果があったと感じますか。（ひとつ）

回答方向→

		→	とても 思わぬ 効果あり	やや 思わぬ 効果あり	どちら か	どちら も 思わぬ 効果なし	とても 思わぬ 効果なし
良い影響	業界・業種を理解することができた	→	●	●	●	●	●
	仕事の内容を具体的に知ることができた	→	●	●	●	●	●
	会社の雰囲気を理解することができた	→	●	●	●	●	●
	自分の将来設計（キャリアプラン）を考えるのに役だった	→	●	●	●	●	●
	日頃の学修への意欲が上がった	→	●	●	●	●	●
悪い影響	専門分野における知識、スキルや能力が身についた	→	●	●	●	●	●
	学業に支障が生じた	→	●	●	●	●	●
その他	部活動・サークル活動・アルバイトに支障が生じた	→	●	●	●	●	●
	参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた	→	●	●	●	●	●
	「インターンシップと呼称されるもの」への参加者に対して企業説明会等（広報活動）の案内があった	→	●	●	●	●	●
	「インターンシップと呼称されるもの」への参加者に対して採用試験・面接等（採用選考活動）の案内があった	→	●	●	●	●	●
	採用選考の際のプロセスが一部省略されるなど、採用選考上の優遇が受けられた	→	●	●	●	●	●
	参加した企業から内々定を受けることにつながった	→	●	●	●	●	●

【4】新型コロナウイルス感染症による就職活動への影響についてお聞きます。

[必須]

Q27 あなたの就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思いますか。（ひとつ）

- ☐ と思う
- ☐ どちらかといえばと思う
- ☐ どちらでもない
- ☐ どちらかといえばそう思わない
- ☐ そう思わない

【5】就職活動における各活動の参加時期についてお聞きます。

[必須]

Q28 企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピーク、最後に参加した時期は、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※いわゆる就職相談会、キャリアセミナー等の「採用を目的としない」説明会も含めて、お答えください。（採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等）
 ※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

【①企業説明会・セミナー等】

		2022年							2023年									
		6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降（予定）	まだ参加していない・参加する予定もない
回答方向→																		
最初に参加した企業の時期	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
参加のピーク	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
最後に参加した時期	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

[必須]

Q29 「採用を目的とした」企業説明会やセミナー等について、最初に参加した時期、参加のピークは、それぞれいつ頃でしたか。（ひとつずつ）

※先ほどの企業説明会やセミナー等の参加の回答を踏まえ、採用スケジュールなど採用に関する情報が発信されていた説明会・セミナー等や、その後の選考プロセスにおいて参加が必須であった説明会・セミナー等に限って、お答えください。
 ※当設問の趣旨は、いわゆる相談会等の採用を目的としない説明会を除いた活動の実態把握となります。（採用を目的としない説明会等の例：就職活動の準備に関する説明会、キャリアセミナー・マナー講座、自己啓発セミナー等）
 ※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

		2022年							2023年									
		6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降（予定）	まだ参加していない・参加する予定もない
回答方向→																		
最初に参加した企業の時期	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	
参加のピーク	→	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	

[必須]

Q30 最初に参加した**企業説明会やセミナー等**について、どのような経路で参加しましたか。(いくつでも)

- ※**リクルーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ☐ ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）
- ☐ スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- ☐ 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- ☐ 新卒エージェントからの紹介
- ☐ その他

[必須]

Q31 エントリーシート提出について、最初に提出した時期、提出のピーク、最後に提出した時期は、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

回答方向→	2022年							2023年								9月以降 (予定)	まだ提出していない・ 提出する予定もない
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
最初に提出した企業の時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
提出のピーク	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
最後に提出した時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[必須]

Q32 採用面接について、最初に受けた時期、採用面接のピーク、最後に受けた時期は、それぞれいつ頃でしたか。(ひとつずつ)

※まだ時期を迎えていないと考えるものがある場合には、「9月以降（予定）」を選択してください。

回答方向→	2022年							2023年								9月以降 (予定)	まだ参加していない・ 参加する予定もない
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月		
最初に受けた時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
ピーク	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
最後に受けた時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

【必須】

Q33 最初に参加した「採用面接」について、どのような経路で案内・紹介を受けましたか。（いくつでも）

- ※**リクルーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ☐ ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内（人事、リクルーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）
- ☐ スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- ☐ 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- ☐ 新卒エージェントからの紹介
- ☐ その他

【必須】

Q34 最初に**内々定**を受けたのはいつ頃ですか。また、就職予定の企業の内々定を受けたのはいつ頃ですか。実質的に内々定を受けたと感じた時期についてお答えください。（ひとつずつ）

※**内々定**：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

【④内々定】

		2022年							2023年								
回答方向→		6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ受けていない
最初の内々定	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
就職予定の企業の内々定	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

◆就職活動における「エントリーシート提出」についてお聞きます。

[必須]

Q35 あなたは**エントリーシート**を何社に提出しましたか。（半角整数で記入）

社程度

◆就職活動における「採用面接」についてお聞きます。

[必須]

Q36 合計で何社の企業の**採用面接**を受けましたか。（半角整数で記入）

社程度

[必須]

Q37 **採用面接**について、「対面のみでの実施」、「ウェブ等のみでの実施」、「対面とウェブ等の両方での実施」は何社程度ありましたか。（半角整数で記入）

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

トータルで **[回答：Q36.c1]** 社実施と回答

対面のみでの実施→ 社程度

ウェブ等のみでの実施→ 社程度

対面とウェブ等の両方での実施→ 社程度

[必須]

Q38 **秋採用**や**通年採用**などといった機会の提供や情報発信は、企業からあなたに対してなされていましたか。（ひとつ）

- ☐ そう思う
- ☐ どちらかといえばそう思う
- ☐ どちらかといえばそう思わない
- ☐ そう思わない
- ☐ わからない

[必須]

Q39 今後採用面接を受ける予定の企業はどの程度ありますか。／社程度（半角整数で記入）

※「0」件の場合は「0」と入力してください。

社程度

◆就職活動における「内々定」についてお聞きます。

[必須]

Q40 2023年8月1日までに、あなたは何社から内々定を受けましたか。

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- ☐ 1社から内々定を受けた
- ☐ 複数社から内々定を受けた→ 社

[必須]

Q41 最初に内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- ☐ 99人以下
- ☐ 100人~299人
- ☐ 300人~999人
- ☐ 1,000人~4,999人
- ☐ 5,000人~9,999人
- ☐ 10,000人以上
- ☐ わからない

[必須]

Q42 最初に内々定を受けた企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（ひとつ）

※ベンチャー企業・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- ☐ 国内企業（ベンチャー企業）
- ☐ 国内企業（ベンチャー企業以外）
- ☐ 外資系企業
- ☐ わからない

[必須]

Q43 最初に内々定を受けた企業の業界を教えてください。（ひとつ）

- ☐ 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- ☐ 建設業
- ☐ 製造業（自動車）
- ☐ 製造業（電気機器）
- ☐ 製造業（電子製品・デバイス）
- ☐ 製造業（その他）
- ☐ 電気、ガス、熱供給、水道業
- ☐ 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- ☐ 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- ☐ 運輸業、郵便業
- ☐ 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- ☐ 金融業、保険業
- ☐ 不動産業、物品賃貸業
- ☐ 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- ☐ コンサルティング業
- ☐ 宿泊業、飲食サービス業
- ☐ 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- ☐ 教育、学習支援業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- ☐ 公務
- ☐ その他
- ☐ わからない

[必須]

Q44 最初に内々定を受けた企業の職種を教えてください。(ひとつ)

- ☐ 法務
- ☐ 営業
- ☐ 販売
- ☐ 商品企画、商品開発
- ☐ 広報、PR、IR
- ☐ 知的財産マネジメント
- ☐ 研究・設計開発
- ☐ 調査、マーケティング
- ☐ コンサルタント
- ☐ デザイナー
- ☐ IT/通信系エンジニア
- ☐ 生産技術(金属・化学・土木・建築)
- ☐ その他
- ☐ わからない

[必須]

Q45 最初に内々定を受けた企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。(いくつでも)

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ※**リクルーター**…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※**リファラル採用**…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※**スカウト型のウェブサイト**…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※**新卒エージェント**…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

- ☐ ウェブサイト等からのエントリー等(当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど)
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内(人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内(人事、リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等)
- ☐ スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- ☐ 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- ☐ 新卒エージェントからの紹介
- ☐ その他

[必須]

Q46 就職予定の企業の企業規模（従業員数）を教えてください。（ひとつ）

- ☐ 99人以下
- ☐ 100人~299人
- ☐ 300人~999人
- ☐ 1,000人~4,999人
- ☐ 5,000人~9,999人
- ☐ 10,000人以上
- ☐ わからない

[必須]

Q47 就職予定の企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（ひとつ）

※ベンチャー企業・・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- ☐ 国内企業（ベンチャー企業）
- ☐ 国内企業（ベンチャー企業以外）
- ☐ 外資系企業
- ☐ わからない

[必須]

Q48 就職予定の企業の業界を教えてください。(ひとつ)

- 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- 建設業
- 製造業（自動車）
- 製造業（電気機器）
- 製造業（電子製品・デバイス）
- 製造業（その他）
- 電気、ガス、熱供給、水道業
- 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- 運輸業、郵便業
- 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- 金融業、保険業
- 不動産業、物品賃貸業
- 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- コンサルティング業
- 宿泊業、飲食サービス業
- 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- 教育、学習支援業
- 医療・福祉
- 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- 公務
- その他
- わからない

[必須]

Q49 就職予定の企業について、どのような経路で採用試験・面接等を受けましたか。（いくつでも）

※その他の場合はその内容について記載してください。

- ※リクレーター…学生と個別に接点を持ち自社のことをアピールしたり、採用選考の案内や助言をしたりする社員のこと。
- ※リファラル採用…企業が求人媒体等を通して広く募集するのではなく、自社社員から知り合いや後輩の学生を紹介・推薦してもらう形で行う採用選考方法のこと。
- ※スカウト型のウェブサイト…学生が登録した情報を参照して、会社側から学生にアプローチする形式の就職・採用に関するサイトのこと。逆求人型サイトともいう。
- ※新卒エージェント…登録すると担当者がつき、就職活動の相談・助言をしたり求人を紹介したりしてくれる民間サービスのこと。

- ☐ ウェブサイト等からのエントリー等（当該企業のHP、リクナビ、マイナビなど）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加した会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）
- ☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加していない会社側からの案内（人事、リクレーター、大学のOB／OG、リファラル採用等）
- ☐ スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内
- ☐ 大学の就職支援担当課、キャリアセンターからの紹介
- ☐ 新卒エージェントからの紹介
- ☐ その他

[必須]

Q50 就職予定の企業の採用選考に応募した時点であなたが志望していた企業のすべてを思い返してください。あなたの就職予定の企業は、第一志望の企業でしたか。または、志望度が高い企業の一つでしたか。（ひとつ）

- ☐ 第一志望の企業だった
- ☐ 志望度が高い企業の一つだった
- ☐ その時点では強く志望していなかった
- ☐ 覚えていない

[必須]

Q51 内々定（内定）を受けた企業に内々定（内定）を辞退したことはありますか。（ひとつ）

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

[必須]

Q52 就職予定の企業は、最初に内々定を受けた企業ですか。（ひとつ）

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- ☐ はい
- ☐ いいえ

特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）についてお伺いします。

<<特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）について>>

ここでは、以下のとおりとします。

- ・特定の職務等に限定した採用。入社後の職務内容を確定。または、
- ・入社後に従事する仕事が決まっており、その仕事を遂行できる人材を採用するため、応募者の専門能力を重視する。

[必須]

Q53 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」について、**現時点までに**あなたは**就活経験**がありますか。以下の種類のうち、どのようなものに応募しましたか。（いくつでも）

※就活経験：企業に応募した経験やエントリーした経験など

- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」への就活経験はなかった
- ☐ 職務内容が厳密に定義されたもので、社内人事異動は原則として無いもの
- ☐ 職務内容が厳密に定義されたもので、社内人事異動が定期的にあるもの
- ☐ 職種別又はコース別の人事によって区分されたもの
- ☐ 初任時の配属のみ明示され、以降は人事異動によるもの
- ☐ 期間限定の職種として雇用されるもの
- ☐ その他

[必須]

Q54 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」について、内々定をもらいましたか。（ひとつ）

※内々定：正式な「内定」の前の、企業と形式的に内々に合意したもの。

- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらっていない
- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらったが、自身の専門性（学部・院での学業や資格等）と合致していない
- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらい、自身の専門性（学部・院での学業や資格等）と合致する

[必須]

Q55 「**特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）**」で内々定をもらった企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（いくつでも）

※ベンチャー企業・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- ☐ 国内企業（ベンチャー企業）
- ☐ 国内企業（ベンチャー企業以外）
- ☐ 外資系企業
- ☐ わからない

[必須]

Q56 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」で内々定をもらった職種を教えてください。（いくつでも）

- ☐ 法務
- ☐ 営業
- ☐ 販売
- ☐ 商品企画、商品開発
- ☐ 広報、PR、IR
- ☐ 知的財産マネジメント
- ☐ 研究・設計開発
- ☐ 調査、マーケティング
- ☐ コンサルタント
- ☐ デザイナー
- ☐ IT／通信系エンジニア
- ☐ 生産技術（金属・化学・土木・建築）
- ☐ その他分類されない専門的職種

[必須]

Q57 あなたは就職活動で、一つの企業において「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」と、そうでない採用の両方へ応募したこと、もしくは応募を検討したことがありましたか。（ひとつ）

- ☐ 一つの企業で両方応募した・もしくは応募を検討した
- ☐ 一つの企業で両方の応募はしてない・もしくは応募を検討していない

[必須]

Q58 あなたが一つの企業において「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」と、そうでない採用の両方で応募した・応募を検討した中で、両者の「待遇(初任給や年棒・諸手当等)」は異なっていましたか。（ひとつ）

- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、かなり好待遇
- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が「限定されていない採用」よりも、採用時点では、多少好待遇
- ☐ どちらも待遇面は、ほぼ同等で変わらない
- ☐ 「特定の職務等を限定した採用（ジョブ型採用）」の方が、「限定されていない採用」よりも、待遇面では劣っている
- ☐ 待遇面の違いはよくわからなかった

◆就職活動全体についてお聞きます。

[必須]

Q59 現状と比べて、これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものは何ですか。（いくつでも）

※その他の場合はその内容について記載してください。

☐	対面での企業説明会（直接の対面式での開催）
☐	オンラインでの企業説明会
☐	OB・OG訪問
☐	対面での面接
☐	オンラインでの面接
☐	5日以上就業体験を伴う「インターンシップと称されるもの」
☐	1か月以上の就業体験を伴う「インターンシップと称されるもの」
☐	採用に直接結びつくような「インターンシップと称されるもの」
☐	個別の職種等を限定した採用
☐	秋採用・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施
☐	通年での採用活動の実施
☐	企業が主な採用スケジュールを公開すること
☐	その他
☐	特になし

[必須]

Q60 あなたにとって、就職活動が「始まった」と考えるのはいつですか。（ひとつ）

回答方向→	2022年							2023年							
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
就職活動が「始まった」と考える時期	→	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

[必須]

Q61 あなたにとって、就職活動が「始まった」と考えるのは、どのタイミングですか。（ひとつ）

※最も強く始まったと考えるタイミングについてお答えください。

- 「インターンシップと称されるもの」に関するウェブサイト(当該企業のHP、リクルート・マイナビ等)に登録した時
- 「インターンシップと称されるもの」に参加した時
- 就職活動に関するウェブサイト(リクナビ・マイナビ等)に登録した時
- SPIや資格などの就職活動で必要な勉強を始めた時
- 大学で開催される就職活動に関する説明会・セミナー・イベント等に参加した時
- 大学以外(就職活動ウェブサイト等)で開催される就職活動に関する説明会・セミナー・イベント等に参加した時
- 企業にエントリー（資料・情報の請求など）をした時
- OB・OG訪問をした時
- 企業説明会やセミナー等に参加した時
- エントリーシートを提出した時
- その他
- 特に具体的なタイミングはない・覚えていない

[必須]

Q62 あなたにとって、就職活動が「終わった」と考えるのはいつですか。（ひとつ）

	2022年							2023年								
回答方向→	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
就職活動が終わったと考える時期 →	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐	☐

[必須]

Q63 あなたにとって、就職活動が「終わった」と考えるのは、どのタイミングですか。（ひとつ）

☐	最後の面接等が終わり、もう他に何か自分から企業に対してPRする場がなくなった時
☐	最初の内々定をもらった時
☐	志望度の高い企業から内々定をもらった時
☐	内々定をもらった企業の中から就職先を決定した時
☐	内定承諾書を提出した時
☐	内定式に出た時・正式な内定通知を受けた時
☐	その他
☐	特に具体的なタイミングはない・わからない

[必須]

Q64 以下の就職活動に関連する法律（労働法令等）に関すること※について、正しいと思うもの(○)・間違いと思うもの(×)をそれぞれ教えてください。（それぞれひとつずつ）

※例：内定・内々定の辞退が法的に可能かどうか。

※内々定：正式な「内定」の前の、内々に合意したもの。

※内定：正式な労働契約。

セクハラ：セクシュアルハラスメントの略語

オワハラ（就職終われハラスメントの略語）：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

回答方向→	正しいと思う(○)		正しいと思う(×)	
内々定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、 内々定を辞退することはできる	→	●	●	
内定に対して口頭・メール等で「入社する」と伝えた後でも、 内定を辞退することはできる	→	●	●	
内定承諾書に法的拘束力はなく、内定承諾書を提出した後でも、 内定を辞退することはできる	→	●	●	
採用内定・内々定と引き換えに、他の事業主に対する就職活動を 取りやめる強要(オワハラ)をしてはならない	→	●	●	
就職活動に関するセクハラ・オワハラ等を実施した場合、 企業側が脅迫罪や強要罪に問われる可能性がある	→	●	●	
内定期間中に行われた研修について、学生が辞退した後に 企業側が費用の返還を求める行為はできない	→	●	●	

[必須]

Q65 就職活動の採用試験・面接等を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度ありましたか。（ひとつ）

- ☐ 多くの企業で提出した
- ☐ ある程度の企業で提出した
- ☐ 提出した企業もあったが、少なかった
- ☐ 提出した企業はなかった

[必須]

Q66 **就職予定の企業**から、履修履歴（成績証明書など）の提出はいつ頃求められましたか。（ひとつ）

- ☐ 応募時
- ☐ 1次面接時
- ☐ 2次面接時以降
- ☐ 内々定時
- ☐ 内々定後
- ☐ 就職予定の企業からは提出を求められていない

[必須]

Q67 採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問などを受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じましたか。（ひとつ）

- ☐ 評価に深く関係していると感じた
- ☐ 評価にある程度関係していると感じた
- ☐ 評価にあまり関係していないと感じた
- ☐ 評価に全く関係していないと感じた
- ☐ 学業への取組や成績等について質問されなかった
- ☐ 評価は企業によってばらばらなので一概には言えない

◆就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

[必須]

Q68 説明会や個別の面接日時・時間帯について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか。（ひとつ）

- ☐ 多くの企業で配慮していた
- ☐ ある程度の企業で配慮していた
- ☐ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ☐ 配慮している企業はなかった
- ☐ よくわからない

◆就職・採用活動の実施にあたり、あなたが就職活動を行った企業は、学生の学業などに対する配慮をしていたかどうか伺います。

[必須]

Q69 地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか。（ひとつ）

(例) 1次面接等を地方支社等で行う、参加しやすい土日などに面接を行う、オンラインなど遠隔地で面接ができるように対応する、など

- ☐ 多くの企業で配慮していた
- ☐ ある程度の企業で配慮していた
- ☐ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ☐ 配慮している企業はなかった
- ☐ よくわからない

[必須]

Q70 あなたが就職活動をした企業は、企業側から**留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示す**など、留学により不利にならないように配慮していましたか。（ひとつ）

- ☐ 多くの企業で配慮していた
- ☐ ある程度の企業で配慮していた
- ☐ 配慮している企業もあったが、少なかった
- ☐ 配慮している企業はなかった
- ☐ わからない

[必須]

Q71 企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為（いわゆる「オワハラ」）を受けたことはありますか。（ひとつ）

（例）正式な内定前に他社への就職活動の終了を迫ったり、誓約書を要求したりすること

（例）内（々）定期間中に行われた業務性が強い研修について、内（々）定辞退後に研修費用の返還を求めたり、事前にその誓約書を要求したりすること

☐ ある

☐ ない

[必須]

Q72 もし自分がオワハラを受けたとしたら、どこに相談すると思いますか。（いくつでも）

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

☐ 大学のキャリアセンター

☐ 大学のキャリアセンター以外の部署（学生相談窓口など）

☐ 大学のOB・OG

☐ 家族・親戚

☐ まわりの友達

☐ 民間の就職支援会社やエージェント

☐ ハローワークや労働局

☐ 応募先企業の相談窓口

☐ 警察

☐ 弁護士

☐ その他

☐ 相談するところがわからないので、相談しないと思う

☐ 相談するところがわかっていても、相談しないと思う

[必須]

Q73 どのようなオワハラを受けましたか。（いくつでも）

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- ☐ 内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）
- ☐ 内々定後長時間（長期間）の研修があり、他社の選考を受けられなくなった
- ☐ 内々定後懇親会等が頻繁に開催され、必ず出席するように求められた
- ☐ 内々定の条件として、急速大学の推薦状の提出を求められた
- ☐ 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）
- ☐ 内々定辞退を申し出たところ、引き留めるために何度も説明を受けたり、拘束を受けた
- ☐ 内々定辞退の際、損害賠償金などお金を要求された
- ☐ 面接担当者の目の前で、他社に電話をかけさせ、選考を辞退するように迫られた
- ☐ その他

[必須]

Q74 オワハラを受けた企業は、下記のうちどれに当てはまりますか。（いくつでも）

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

※ベンチャー企業・・新興企業であって、独自のアイデアや技術で新しいサービスやビジネスに挑戦している企業

- ☐ 国内企業（ベンチャー企業）
- ☐ 国内企業（ベンチャー企業以外）
- ☐ 外資系企業
- ☐ わからない
- ☐ 答えたくない

[必須]

Q75 オワハラを受けた企業は、下記の業種のうちどれに当てはまりますか。（いくつでも）

※オワハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- ☐ 農業、林業、漁業、鉱業、採石業、砂利採取業
- ☐ 建設業
- ☐ 製造業（自動車）
- ☐ 製造業（電気機器）
- ☐ 製造業（電子製品・デバイス）
- ☐ 製造業（その他）
- ☐ 電気、ガス、熱供給、水道業
- ☐ 通信業（例：携帯電話）、情報サービス業（例：ソフトウェア業、データベース）、インターネット付随サービス業（例：情報ネットワーク、ウェブ情報検索）
- ☐ 放送業（例：テレビ、ラジオ放送）、映像・音声・文字情報制作業（例：新聞社、出版社）
- ☐ 運輸業、郵便業
- ☐ 卸売業（総合商社を含む）、小売業（例：百貨店、スーパーマーケット）
- ☐ 金融業、保険業
- ☐ 不動産業、物品賃貸業
- ☐ 学術研究、専門・技術サービス業（例：研究所、法律等事務所、広告業等）
- ☐ コンサルティング業
- ☐ 宿泊業、飲食サービス業
- ☐ 生活関連サービス業、娯楽業（例：理美容、旅行、冠婚葬祭、映画、興業、スポーツ等）
- ☐ 教育、学習支援業
- ☐ 医療・福祉
- ☐ 複合サービス業・サービス業（他に分類されないもの）
- ☐ 公務
- ☐ その他
- ☐ わからない
- ☐ 答えたくない

[必須]

Q76 オフハラについて相談したことはありますか。(いくつでも)

※オフハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- ☐ 大学のキャリアセンターに相談した
- ☐ 大学のキャリアセンター以外の部署（学生相談窓口など）に相談した
- ☐ 大学のOB・OGに相談した
- ☐ 家族・親戚に相談した
- ☐ まわりの友達に相談した
- ☐ 民間の就職支援会社やエージェントに相談した
- ☐ ハローワーク・労働局に相談した
- ☐ 応募先企業の相談窓口相談した
- ☐ 警察に相談した
- ☐ 弁護士に相談した
- ☐ その他
- ☐ 相談するところがわからなかったので相談しなかった
- ☐ 相談するところはわかっていたが相談しなかった

Q77 差し支えなければ、オフハラを受けた企業名を記載してください。(複数回答可能)

※オフハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

※回答は必須ではございませんので、答えたくない場合は空欄で次にお進みください。

※今後の政策立案の参考とするため、対象となる企業のイメージを明確にするために同うものです。記載された企業に問い合わせることはしませんし、あなたの匿名性も確保されます。

[必須]

Q78 オフハラをなくすためにあなたが求めたいことは、どんなことですか。(いくつでも)

※オフハラ：企業等から、あなたの意思に反して他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント行為

- ☐ 学生に対する、オフハラを受けた場合の対処方法についての周知・広報
- ☐ 企業に対する、オフハラの実態、問題点などについての周知・広報
- ☐ 大学における相談窓口の設置
- ☐ 企業における相談窓口の設置
- ☐ 政府における相談窓口の設置
- ☐ オフハラについての法令、ガイドライン等の制定
- ☐ 政府による違反企業名の公表
- ☐ 政府による違反企業への是正措置
- ☐ その他
- ☐ わからない

[必須]

Q79 就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことはありますか。（ひとつ）

☐ ある

☐ ない

[必須]

Q80 セクシュアルハラスメント行為を受けたのはどのようなときでしたか。（いくつでも）

☐ 答えたくない

☐ 「インターンシップと称されるもの」に参加したとき

☐ 企業説明会やセミナーに参加したとき

☐ 就職採用面接を受けたとき

☐ 内々定を受けたとき

☐ 内々定を受けた後

☐ リクルーターと会ったとき

☐ 大学のOB／OG訪問のとき

☐ その他

[必須]

Q81 どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けましたか。（いくつでも）

☐ 答えたくない

☐ 身体に触れられた

☐ 執勤に2人きりで食事等に誘われたり、交際をもとめられたりした

☐ 性的関係を求められた、迫られた

☐ 性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）

☐ 容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた

☐ セクシュアルハラスメントに対し、拒否や抗議の姿勢を示した結果、不利益を受けた

☐ その他

[必須]

Q82 大学・企業等から、あなたの意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付け（※）を受けたことはありますか。（ひとつ）

※意思に反して特定の性別に基づいた性差別的・抑圧的な服装やマナーの押し付けの例：就職活動時の服装について、「男らしく」「女らしく」すべきという指南を受けること等

☐ ある

☐ ない

[必須]

Q83 そのような押し付けは、どこから受けましたか。（いくつでも）

☐ 就職活動先の企業から

☐ 大学の就職支援担当課、キャリアセンターから

☐ 大学の教員から

☐ 大学のOB・OGから

☐ 就職活動に関する登録型のウェブサイト(リクルート・マイナビ等) から

☐ その他ウェブサイトから

☐ 公的な就職支援機関（ジョブカフェ、ハローワーク等）から

☐ 新卒エージェントから

☐ 家族・親戚から

☐ まわりの友達から

☐ 弁護士・弁護士事務所から

☐ その他

☐ わからない・覚えていない

☐ 答えたくない

ご協力ありがとうございました。
これでアンケートは終了です。このページを閉じてください。
ご回答ありがとうございました。